

# 昭和十九年事務報告書

附財産明細書

天津居留民団

天津日本圖書  
備附昭和20年  
登錄第 75188 號  
寄贈天津居留民団

昭和十九年天津居留民團事務報告書目次

第一 總務課

○ 會議

一、居留民會

(一) 居留民會議員

(一) 居留民會議長並副議長

(二) 第三十七次居留民會通常會

(三) 第三十七次居留民會臨時會

(四) 第三十七次居留民會臨時會

(五) 第三十七次居留民會臨時會

(六) 第三十七次居留民會臨時會

(七) 第三十七次居留民會臨時會

(八) 第三十七次居留民會臨時會

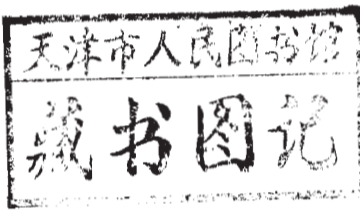
(九) 第三十七次居留民會臨時會

(十) 第三十七次居留民會臨時會

(十一) 第三十七次居留民會臨時會

(十二) 第三十七次居留民會臨時會

(十三) 第三十七次居留民會臨時會



參事會附議事項

○ 條例制定

(一) 天津居留民團特殊營業者稅條例 一八

(二) 天津居留民團遊藝飲食稅條例 二〇

(三) 天津居留民團代徵稅徵收條例 二三

○ 條例改正

(一) 天津居留民團立中等學校商業學校高等女學校授業料徵收條例中改正 二四

(二) 天津居留民團立國民學校授業料徵收條例中改正 二四頁

(三) 居留民團長、助役條例中改正 二五

(四) 會計主任條例中改正 二五

(五) 天津居留民團稅賦課徵收條例中改正 二六

(六) 天津居留民團普通稅率條例改正 二六

(七) 天津日本圖書館閱覽料徵收條例中改正 二七

(八) 天津日本療病院諸料金條例中改正 二七

(九) 天津日本公立病院諸料金條例中改正 二七

(十) 天津日本婦人病院諸料金條例中改正 二七

(十一) 天津日本實業診療所條例中改正 二七

(十二) 天津日本保養院條例中改正 二七

(十三) 天津神社維持費供進條例中改正 二七

(十四) 天津日本療病院諸料金條例中改正 二七

(十五) 天津日本保養院條例中改正 二七

(十六) 天津日本公立病院新藥費特別會計條例中改正 二七

(十七) 電氣使用條例中改正 二七

(十八) 水道使用條例中改正 二七

○ 條例廢止

(一) 水災復興資金關係諸條例廢止 二八

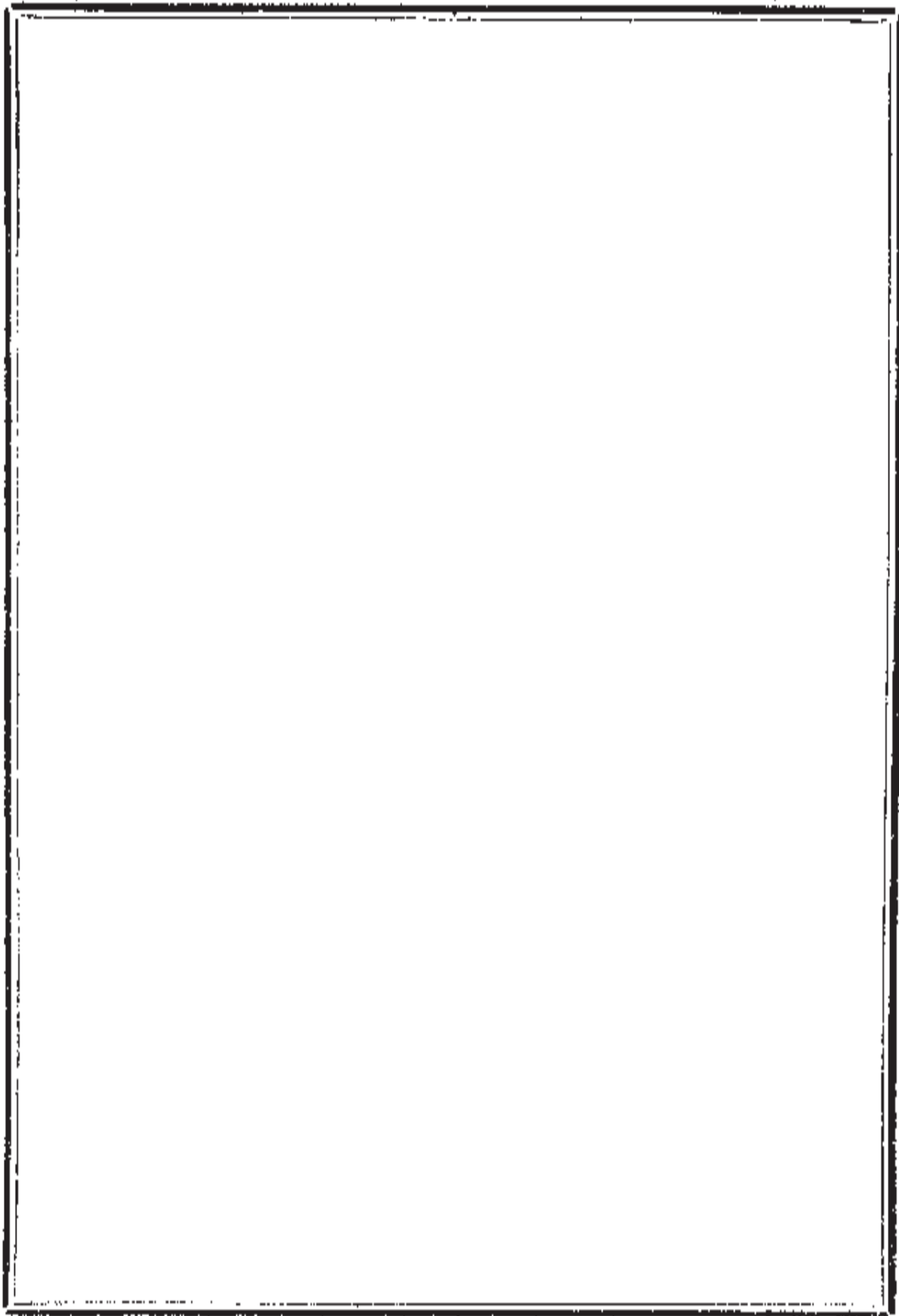
(一) 天津居留民團酒稅條例廢止	三五頁	(二) 天津居留民團未生關係諸規程廢止	八二頁
(二) 天津居留民團未生關係諸條例廢止	〃	〇 文書	七八
〇 規程制定	〃	〇 選舉	八〇
(一) 天津邦人議(仮稱)編纂準備委員會規程	四〇	〇 人事	八一
(二) 天津居留民團入管廳官吏負三刈スル休職給與規程	〃	(一) 居留民團吏員幹部一覽表	八一
(三) 臨時手当支給規程	四三	(二) 居留民團吏員	八三
(四) 天津居留民生計所規程	〃	〇 總務雜記	八三
(五) 天津居留民團電力消費規程	四六	天津特別市區制改正	〃
〇 規程改正	〃	財団法人英立學校移管ノ件	八四
(一) 居留民團吏員休職規程中改正	六一	居留民團事務所疎開	〃
(二) 居留民團旅費規程中改正	六二	第二 經濟課	八五頁
(三) 天津居留民團處務規程中改正	六三	一 配給關係	〃
(四) 天津日本圖書館令則中改正	六四	二 民團食堂事項	九五
(五) 居留民團例規中字句訂正	六五	三 居留民生計所事項	九七
(六) 天津居留民團處務規程中改正	六六	第三 河北出張所	九八
(七) 居留民團傭人規程中改正	七〇	第四 財務部	百一
(八) 居留民團吏員特別手当支給規程改正	七一	計 理 課	〃
(九) 居留民團津貼規程中改正	七二	一 負債ニ關スル事項	〃
(十) 天津居留民團處務規程中改正	七三	二 諸契約ニ關スル事項	百四
(十一) 天津日本圖書館令則中改正	七六	三 寄附採納ノ件	百五
〇 規程廢止	〃	四 土地建物ニ關スル事項	百六
(一) 水災復興資金關係規程並ニ細則廢止	七七	五 團營貸家事項	百七

六 不動産評價委員会	百二頁	五 割当資材許可状況	百三頁
七 不動産得喪事件	百三頁	第五 金融部	
稅務課	百六頁	一 復興資金	
一 稅規則ノ改正		二 業務復興資金	百三四
二 民團條例ノ改正		第六 學務部	百三七
三 民團條例ノ制定		學務課	
四 日本人土地建物課 差標準調査委員会ノ成立	百七頁	一 教育運営ノ概況	
五 居留民團總調查委員会及審査委員会	百九頁	二 學級教並児童生徒数	百四〇
六 居留民團稅收入額調	百二頁	三 卒業生及入學生	百四三
七 工地震害台帳及地籍關係事務	百三頁	四 學校職員表	百四五
會計課		五 青少年團關係事項	百四八
一 會計検査委員		保健課	
二 會計検査	百三三	一 身体検査成績表	百五〇
三 補助及助成金		二 定期口腔検査成績	百五三
四 各種寄附金		天津日本圖書館	百五六
徵收係	百七頁	一 特記事項	
一 居留民團稅及其他公課金徵收狀況		二 巡回文庫	百五七
用度課	百三〇	三 館况	百六〇
一 出入庫並在庫高狀況		四 児童圖書館	百六三
二 空紙袋回收並押下狀況	百三一	天津日本教育博物館	百六四
三 容器押下狀況		一 館况	
四 鐵類並屑紙献納明細表		二 委員会	

三 展覽會	一六五	三 行 事	一八九
四 資料彙集		二 音 樂	一九二
第七翼贊部		○天津帝國軍人接護會	一九四
一 概 況	一六七	○天津帝國傷痕軍人会	一九六
二 軍務局機構		○鍊 成 課	一九七
翼 贊 課	一六八	一 天津興亞壯年團	
○ 庶 務		二 天津興亞鍊成所	二〇〇
一 翼贊會支部	一七一	三 勤勞挺身隊	二〇三
二 日 幸 善 隣	一七二	四 資材回收委員會	二〇五
三 思想文化 生活	一七三	○ 体 力	
四 婦人運動	一七四	○ 天津協勵會	二〇七
五 華北新建設促進	一七五	第八防護部	
○ 區 政	一八三	一 概 況	二二三
一 區長更替任期		二 防護團ニ關スル主タル行事	二二四
二 會 議	一八五	三 隣組防空群	二二七
三 國債消化		四 義勇隊	
四 國民貯蓄	一八六	五 其 他	二二八
五 區補助金		○ 防護團人員表	
六 區役員及有給職員一覽表	一八八	○ 防護團幹部	
七 獻 金		○ 防空資材其他	二三三
八 輸血報國	一八九		
九 華語講習所		第九 工務部	

土木課	一 工事施工	二五五	三埠頭民船隻數	二六八
建築課	一 處理事項	二五〇	四 輸入貨物取扱總噸數	二六八
	二 工事施工	二四六	五 輸出貨物	二六九
	〇 營繕	二四七	六 埠頭收入	二六九
造園課	一 處理事項	二四七	衛生課	二七〇
	二 六里台農場作業概要	二五〇	一 衛生事業向仁會委託經營ニ關スル事項	二七〇
水道課	一 給水工事	二五五	防疫課	二七〇
	二 雜工事及雜件	二五六	一 法定伝染病患者ニ關スル事項	二七〇
	三 上水使用量	二五七	保健課	二七〇
	四 購水料	二五八	一 乳幼児体力検査ニ關スル事項	二七〇
	五 整井工事	二五九	二 才一期種痘ニ關スル事項	二七〇
電氣課	一 主要電路工事	二六一	三 理化学的検査ニ關スル事項	二七〇
	二 送電力量並ニ最大電力	二六三	天津日本療病院	二七〇
	三 電力料改正	二六六	天津日本保養院	二七〇
	四 電力消費規正規程制定	二六七	天津日本婦人病院	二七〇
	五 埠頭課		天津日本實費診療所	二七〇
	六 白河及埠頭狀況		天津日本公立病院	二七〇
	七 埠頭船隻船隻數		天津居留民面財產目錄	二七〇

(四五)







眞 利 一 中 西 幸 保 野 口 義 勇 塩 谷 展 造  
 多 田 照 一 貞 原 收 蔵 菊 地 新 一 土 井 晋

(以上 民選)

梶 山 幹 大

告示才六十一号を以つて六月十四日付居留民団法施行規則才八條及同才二十九條才四項の規定に基き本期補闕選任

小 竹 次 雄

告示才六十二号を以つて六月十四日付昭和十八年大東亜省令才二十五号才二項に基き本期補闕選任

○ 昭和十九年十二月七日付告示才一四五号を以つて居留民団法施行規則才八條による次期居留民會議員に如し

石 田 芳 雄	岡 本 久 雄	勝 田 重 直	益 澤 大 鉉
龜 澤 省 翔	高 原 静 一 郎	梶 山 幹 三 大	水 瀬 池 三 吾
吉 岡 武 亮	小 澤 原 漸 三	武 内 進 三	古 田 治 四 郎
上 野 忠 治 郎	藤 瀬 英 二 郎	栗 本 雄 三	足 立 治 四 郎
藤 野 忠 治 郎	木 下 秀 良	後 藤 祿 郎	峯 岡 信 太 郎
伊 澤 義 治	石 根		
塩 谷 信 治			

(以上 官選)

○ 昭和十九年十二月七日付告示才一四六号を以つて昭和十九年大東亜省令才二十二号才一項才二号による次期民會議員に如し

大 刈 正 雄 小 竹 次 雄 丁 原 收 蔵 鈴木 茂 雄

本年中に於ける議員移動の如し

小島三	(昭和十九年四月二十四日)	辞任
華房美治	(全)	(全)
吉野盛行	(全)	死亡
前島英	(全)	任亡
三島雄	(全)	(全)
吉田武	(全)	(全)
伊東市	(全)	(全)
竹井武	(全)	(全)
山田栄	(全)	(全)
三宮治	(全)	(全)
山田治	(全)	(全)
三直	(全)	任期満了
内直	(全)	(全)
竹内象	(全)	(全)

(二) 居留民会議長並副議長

一 居留民会議長

三角武雄 昭和十七年十二月就任  
 牧尚一 昭和十九年十二月就任(新) 昭和十九年七月辞任

一 居留民会議副議長

山田栄治 昭和十七年十二月就任  
 塩谷信治 昭和十九年十二月就任(新) 昭和十九年十月辞任

(三) 第三十七次居留民会議常会

昭和十九年三月廿八日より全休九日迄二日間、直り公会堂に於て第三十七次居留民会議常会開会議案並に結果を知らせし

議事日程

一	帝國陸海軍三對不心感謝決議ノ件	
二	天津居留民團會計檢査報告	
三	參事會代議決事項報告ノ件	(濟安自來水公司ヨリノ購水料金變更ノ件)
四	全	(不動產得喪ニ關スル件)
五	全	(昭和十八年度特別會計團營貸家經營費收入出追加更正予算案)
六	全	(天津居留民團立中學校商業學校高等女學校授業料徵收條例中改正ノ件)
七	全	(天津居留民團立國民學校授業料徵收條例中改正ノ件)
八	全	(濟安自來水公司新株應募並ニ寄附株採納ニ關スル件)
九	昭和十八年度居留民團事務報告	
十	昭和十七年度天津居留民團歲入出決算承認ノ件	承認
十一	昭和十七年度特別會計教育費	
十二	全	電氣事業費 全
十三	全	水道事業費 全
十四	全	埠頭事業費 全
十五	全	天津日本公立病院經營費 全
十六	全	團營貸家經營費 全
十七	全	退職給與基金 全
十八	全	獎學資金 全
十九	全	復興復興資金 全
二十	全	復興復興資金 全
二十一	全	復興復興資金 全
二十二	全	復興復興資金 全
二十三	全	復興復興資金 全
二十四	全	復興復興資金 全
二十五	全	復興復興資金 全
二十六	天津居留民團特殊營業者稅條例制定ノ件	追加更正予算案

二十七	天津居留民团遊樂飲食稅條例制定ノ件
二十八	天津神社維持費供進條例中改正ノ件
二十九	居留民團長、即後條例中改正ノ件
三十	全計主任條例中改正ノ件
三十一	天津居留民團稅賦課徵收條例中改正ノ件
三十二	全計主任條例中改正ノ件
三十三	天津日本圖書館閱覽料徵收條例中改正ノ件
三十四	療病院諸料金條例中改正ノ件
三十五	公立病院諸料金條例中改正ノ件
三十六	婦人病院諸料金條例中改正ノ件
三十七	賞給診療所條例中改正ノ件
三十八	保養院條例中改正ノ件
三十九	水災復興資金關係條例廢止ノ件
四十	天津居留民團酒稅條例廢止ノ件
四十一	天津華語專門學校補助ノ件
四十二	天津技術聯盟補助ノ件
四十三	帝國在鄉軍人會天津聯合分會補助ノ件
四十四	武德會天津支部補助ノ件
四十五	華北日本教育會天津分會補助ノ件
四十六	社団法人同光會補助ノ件
四十七	大日本體育會華北天津支部補助ノ件
四十八	財団法人華北戒煙療養所補助ノ件
四十九	天津校勵會補助ノ件
五十	大日本天津海洋少年團補助ノ件
五十一	財団法人天津英立學校補助ノ件
五十二	天津港域警防團補助ノ件
五十三	不動產得費ノ件
五十四	山白八良所有三條小建物寄附採納ノ件

可決

五十五	昭和十九年度天津居留民団歳入出税収算案	可決
五十六	特別会計教育費歳入出予算案	可決
五十七	電気事業費	可決
五十八	水道事業費	可決
五十九	埠頭事業費	可決
六十	団營貸家経営費	可決
六十一	天津日本公立病院経営費	可決
六十二	退職給付基金	可決
六十三	奨學資金	可決
六十四	復興資金	可決
六十五	業務復興資金	可決
六十六	埠頭築造費歳入出通知	可決

(四) 第七十次居留民会臨時會

昭和十九年六月十九日午後三時二十五分より公会堂に於て才七十次居留民会臨時會開會議案並に結果尤の如し

議 事 日 程

- 一 會計検査委員補缺選舉
  - 二 參事會代議決事項報告
  - 三 (天津居留民団代徵稅徵收條例)
  - 四 (昭和十九年度特別會計代徵稅歳入出豫算)
  - 五 (不勳産得表ニ關スル件)
  - 六 (濟安自來水公司新株追加應募ノ件)
  - 七 (天津日本療病院諸料金條例中改正ノ件)
  - 八 (天津日本保養院條例中改正ノ件)
  - 八 天津居留民団未生事業同仁會委託ニ關スル件
- 可決

- 之 天津日本公立病院新築費特別会計條例改正ノ件 可決
- 十 天津橋立日本高等女学校設立ノ件
- 十一 電力供給契約更新及購水料金変更並ニ本件附隨事項ニ関シ参考会委任ノ件
- 十二 天津居留民団志生関係諸條例廢止ノ件
- 十三 華北都市交際体育大会補助ノ件
- 十四 財団法人同仁会華北支部天津赤生處補助ノ件
- 十五 不動産得喪ニ関スル件
- 十六 昭和十九年度天津居留民団歳入出追加更正予算案
- 十七 特別会計教育費歳入出追加更正予算案

(五) 第七十一次居留民会臨時会

昭和十九年十二月十六日午後二時四十分より公会堂に於て第七十一次居留民会臨時会開会  
議案並に結果七の如し

議事日程

一 議長選挙

選挙結果七の如し  
四十四票 坂 尚 一 徳 選  
一 票 足 立 直 茂  
一 票 勝 田 直

二 選挙結果七の如し

副議長選挙  
四十三票 坂 尚 一 徳 選  
一 票 梶 山 信 治  
一 票 龜 澤 新 一  
一 票 菊 地 新 一

三 参事会員選挙

選挙の結果次の如し（同点者の順位は議長抽籤を以て定む）

六票	永瀬三吾	当選	六票	木下秀良	当選
五票	石田芳雄	当選	五票	後藤祿郎	当選
五票	上野澤義郎	当選	五票	勝田重直	当選
五票	小竹次雄	当選	五票	中野藤一郎	当選

四 会計検査委員選挙

選挙の結果次の如し

四十三票	中西辛保	当選	四十二票	福井隆一	当選
四十票	野口義勇	当選	四十票	土井晋	当選
四十票	古田治四郎	当選			

野村光徳、鍛冶静一郎、五十嵐重吉（以上各三票）、栗本雄三、梶山幹大、山本利雄（以上各二票）、  
参事会代議決事項報告ノ件  
各一票）

- 五 全 参事会代議決事項報告ノ件
- 六 全 （天津治安自來水公司新株應募額変更ノ件）
- 七 全 （華北都市交響大会補助ノ件）
- 八 全 （華北電業公司ヨリノ購入電力料金更改ノ件）
- 九 全 （電氣使用條例中改正ノ件）
- 十 全 （昭和十九年度特別会計電氣事業費歳入出追加更正予算）
- 十一 全 （天津治安自來水公司ヨリノ購水料金変更ノ件）
- 十二 全 （水道使用條例中改正ノ件）
- 十三 全 （昭和十九年度特別会計水道事業費歳入出追加更正予算）
- 十三 全 （不動産得費ノ件）



- 十四 天津居留民団遊興飲食稅條例中改正ノ件
  - 十五 天津日本團書翰閱覽料徵收條例中改正ノ件
  - 十六 敵産土地建物買收並本件附屬事項ニ關シテ參事會ニ委任ノ件
  - 十七 天津居留民団營河北火葬場新設ノ件
  - 十八 不動産得喪ノ件
  - 十九 帝國在郷軍人会天津聯合分会追加補助ノ件
  - 二十 財団法人華北戒烟療養所追加補助ノ件
  - 二十一 財団法人天津共立學校寄附ノ件
  - 二十二 二葉保育園補助ノ件
  - 二十三 昭和十九年度天津居留民団歳入出追加更正予算案
  - 二十四 特別會計教育費 全
  - 二十五 全 團營貸家經營費 全
  - 二十六 全 復興資金 全
  - 二十七 居留民団長選挙ニ關スル件
- 詮衡委員會附託による詮衡結果次期居留民団長として  
 白井 忠三 (三選) 當選  
 (十月十九日付告示第一五二号を以て次期居留民団長 認可)

## 二、參事會

### (一) 參事會員

昭和十九年中に於ける參事會員左の如し

勝田 直	昭和十八年十二月就任(再)	昭和十九年二月任期满了
上田 茂	(再)	
菊地 新	(再)	
伊藤 武惠	(再)	昭和十九年九月廿八日辭任

可決



報告事項

一、新年度予算編成方針ニ関スル件	才二十二回 (臨)	九月十一日	才二十三回 (定)	十月十三日
二、軍人援護会設立及其ノ後ノ経過報告	才二十四回 (〃)	十月十八日	才二十五回 (〃)	十一月十日
三、才二次奉北新建設促進運動ニ関スル件	才二十六回 (定)	十一月十七日	才二十七回 (〃)	十二月一日
四、興亜一区内奉生費徴収ニ関スル件	才二十八回 (臨)	十二月六日		
五、軍人援護会寄附募集ノ件				
六、天津居留民団会訂検査報告ノ件				
七、昭和十八年事務報告ノ件				
八、昭和十七年度天津居留民団歳入出決算承認ノ件				
九、警戒警察令ニ関スル件				
十、戦病死者報告ノ件				
十一、天津特別市區制改正ノ件				
十二、北支那社慰問団ニ関スル件				
十三、民会議員辞任ノ件				
十四、民会議員吉野盛行氏逝去ノ件				
十五、民団機構改革ニ関スル事項				
十六、民団生業ヲ同仁会ニ移管ニ関スル件				
十七、生計所訂屈ノ件				
十八、奉生事業同仁会移管協議会ハ於北京大使館ニ結果報告				
十九、電力供給契約更新及購水料金変更ニ関スル件				
二十、皇軍慰問団派遣ノ件				
二十一、天津日本公立病院名稱変更ニ関スル件				

- 一、衛生事業同仁会委託契約書調印ノ件 (才十九回)
- 一、衛生事業同仁会委託ノ件 (才二十回)
- 一、生計所開設ニ関スル件 (才二十四回)
- 一、敵産家屋押下ニ関スル件 (才二十五回)
- 一、辞任民会議員氏名報告ノ件 (才二十六回)
- 一、全才ニ生計所設立ニ関スル件 (才二十六回)

協議事項

- 一、天津邦人誌(假稱)編纂準備委員会設置ノ件 (才三回)
- 一、昭和十九年度予算編成ニ関スル件 (才四回)
- 一、河北地區ニ女學校設立ノ件 (才十四回)
- 一、一八二九部隊遊歩地釣場築造其他補修工事ノ件 (才十四回)
- 一、木材購入ニ関スル件 (才十四回)
- 一、電氣水道料金改正ノ件 (才十七回)
- 一、會計検査委員補缺選挙ノ件 (才十七回)
- 一、昭和十九年度上半期賞與支給ニ関スル件 (才十八回)
- 一、北戴河建物貸與ノ件 (才十九回)
- 一、自來水公司新株応募額変更ノ件 (才二十回)
- 一、居留民団事務所疎開ノ件 (才二十一回)
- 一、天津居留民団地区出身戦歿軍人合同民団葬実施ノ件 (才二十四回)
- 一、元海光寺公館ヲ市政府へ貸與ノ件 (才二十五回)
- 一、才ニ生計所移転ノ件 (才二十七回)
- 一、山白八良氏寄附物件変更ニ関スル件 (才二十七回)

諮問事項

- 一、天津邦人誌(假稱)編纂準備委員会規程制定ノ件 (才二十四回)

予備費支出ノ件	「一般會計、特別會計教育費」	(才二四)
天津日本公立病院新築工費	「營養食糧騰貴ニ依ル補助金額改正」ノ件	(三)
山口街一九番地所在建築物拂下ノ件		(四)
天津居留民団庭召並入營者給與規程制定ノ件		(四)
項ノ流用ニ關スル件	「一般會計保養院費中更負宿舍費」ヨリ「廢舎費」ニシテ	(五)
天津居留民団庭召並入營者給與規程制定ノ件		(五)
天津日本療病院諸料金條例中改正ノ件		(五)
天津日本公立病院諸料金條例中改正ノ件		(五)
天津日本婦人病院諸料金條例中改正ノ件		(五)
天津日本實費診療所諸料金條例中改正ノ件		(五)
天津日本保養院諸料金條例中改正ノ件		(五)
天津居留民団遊興飲食稅條例制定ノ件		(五)
特殊營業者稅制定ノ件		(五)
稅賦課徵收條例中改正ノ件		(五)
普通稅々率條例中改正ノ件		(五)
天津日本圖書館閱覽料徵收條例中改正ノ件		(五)
天津居留民団休職規程中改正ノ件		(五)
昭和十九年度天津居留民団歳入出給于算案		(五)
天津居留民団代徵稅徵收條例制定ノ件		(五)
處務規程中改正ノ件		(五)
酒稅條例廢止ノ件		(五)
水災復興資金關係諸條例廢止ノ件		(五)
不動產得長ニ關スル件		(五)
天津萃詔專門學校補助ノ件		(五)
天津技術聯盟補助ノ件		(五)
帝國在郷軍人会天津聯合會補助ノ件		(五)
武德會天津支部補助ノ件		(五)

華北日本教育会天津分会補助ノ件	才十
財団法人同光会補助ノ件	〃
財団法人華北戒烟療養所補助ノ件	〃
天津協励会補助ノ件	〃
大日本天津海軍少年団補助ノ件	〃
財団法人天津共立学校補助ノ件	〃
天津港城警防団補助ノ件	〃
通商民会臨時決定ノ件	〃
居留民団旅費規程中改正ノ件	十一
山白八良所有ニ係ル建物等附添納ノ件	十一
予算流用ノ件	〃
予備費支出ノ件	〃
水災復興資金関係規程並細則廢止ノ件	十二
天津日本図書館々々則中改正ノ件	〃
予備費支出ノ件	〃
民団處務規程中改正ノ件	十三
居留民団備人規程中改正ノ件	十四
居留民団吏員特別手当支給規程改正ノ件	〃
康生事業同仁会移管ニ關スル件	十五
予備費支出ノ件	〃
天津居留民団奉生事業同仁会委託ニ關スル件	十六
天津日本公立病院新築費特別会訂條例中改正ノ件	十七
天津居留民団衛生關係諸條例廢止ノ件	〃
電力供給契約更新及購水料金並本件附隨事項ニ關シ參事会ニ委任ノ件	〃

奉北都市交際體育大會補助ノ件	二十
天津橋立日本高等女學校設立ノ件	二十一
天津居留民団志生關係諸規程廢止ノ件	二十二
天津日本公立病院新築工事契約更新ノ件	二十三
予備費支出ノ件「一般會計」	二十四
天津居留民団生計所規程制定ノ件	二十五
居留民団旅費規程中改正ノ件	二十六
塘沽空爆罹災者弔慰金贈呈ノ件	二十七
予備費支出ノ件「一般會計」	二十八
天津日本幼稚園休園ノ件	二十九
予備費支出ノ件「一般會計並特別會計團當貸家經營費」	三十
天津居留民団處務規程中改正ノ件	三十一
予備費支出ノ件「一般會計」	三十二
同仁會引繼職員特別退職金支給ノ件	三十三
天津居留民団電力現正規程案	三十四
予備費支出ノ件「特別會計教育費、一般會計」	三十五
淡路國民學校防空壕構築費寄附採納ノ件	三十六
新築公立病院ニ關スル件	三十七
天津日本工業學校寄宿舎設置ノ件	三十八
天津在郷軍人会天津聯合分會追加補助ノ件	三十九
財団法人萃北戒烟療養所追加補助ノ件	四十
二葉保育園補助ノ件	四十一
財団法人天津共立學校寄宿舎ノ件	四十二
天津居留民団營河北火葬場新設ノ件	四十三
不動産得喪ノ件(河北火葬場新設敷地賣收ノ件、廠屋土地建物買收ノ件)	四十四
天津日本圖書館閱覽料徵收條例中改正ノ件	四十五
臨時民會招集ノ件	四十六
天津居留民団遊藝飲食稅條例中改正ノ件	四十七

昭和三十九年度天津居留民团歳入出追加更正予算案	（牙二十八回）
特別会計教育費 全	（ ）
团営貸家経営費 全	（ ）
復興資金 全	（ ）
山白八郎氏寄附物件変更ノ件	（ ）
敵産土地建物買収並本件附隨事項ニ関シ参考会ニ委任ノ件	（ ）
委任決議事項	
居留民团例規中字句改訂ノ件	（牙十二回）
華北都市交驛体育大会補助額決定ノ件	（十八回）
華北電業公司ヨリノ購入電力料金更改ノ件	（十九回）
電氣使用條例中改正ノ件	（ ）
昭和三十九年度特別会計電氣事業費歳入出予算案	（二十三回）
天津齊安自來水公司ヨリノ購水料金変更ノ件	（ ）
水道使用條例中改正ノ件	（ ）
昭和三十九年度特別会計水道事業費歳入出追加更正予算案	（ ）
代決事項	
不動産得喪ニ関スル件	（牙二回）
昭和十八年度特別会計团営貸家経営費歳入出追加更正予算案	（ ）
天津居留民团立中学校商業学校高等女学校授業料徴收條例中改正ノ件	（三回）
天津居留民团立國民學校授業料徴收條例中改正ノ件	（ ）
濟安自來水公司新株應募並奇附株株納ニ関スル件	（十二回）
天津居留民团代徴稅徴收條例案	（ ）
昭和十九年度特別会計代徴稅歳入出予算案	（十三回）
不動産得喪ニ関スル件	（ ）



- 一、濟安白來水公司新株追加應募ノ件
- 一、天津日本療病院諸料金條例中改正ノ件
- 一、天津日本保養院條例中改正ノ件
- 一、天津濟安白來水公司新株應募額變更ノ件
- 一、不動産得喪ノ件

(才十三回)  
十六  
二十二  
二十五

秘 密 倉

- 一、居留民団吏員臨時手当支給規程
- 一、居留民団長、助役條例中改正ノ件
- 一、會計主任條例中改正ノ件
- 一、居留民団吏員特別手当支給ニ關スル暫行規定中改正ノ件
- 一、居留民団吏員年功加俸規定中改正ノ件
- 一、三役年俸増額ノ件
- 一、更直諸手当率改正ノ件
- 一、更直臨時賞與支給ノ件
- 一、三役年俸増額ノ件

(才十七回)  
十三  
二十二  
二十三  
二十四

昭和十九年十二月第一回参事会(十九日)

報 告 事 項

- 一、天津日本図書館々則中改正ノ件
- 協 議 事 項
- 一、参事会定例日時決定ノ件

○ 法 規

一 諸規程の制定及改廢

昭和十九年中制定及改廢したる諸條例之の如し

○ 條例制定

(一) 天津居留民団特殊營業者稅條例 (昭和十九年三月廿二日民會決議 同年三月廿二日公布)

第一條 藝妓、舞妓、幫間、酌婦、女給、仲居及女中(特殊營業者ト稱ス以下同シ)ニハ本條

第二條 例ニ依リ特殊營業者稅ヲ課ス但シ一般家庭ニ於ケル女中ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條 特殊營業者稅ノ稅率左ノ如シ  
一 藝妓 一人ニ付 月額四円  
二 幫間、酌婦、女給、仲居 一人ニ付 月額三円  
三 舞妓及女中 一人ニ付 月額二円

第四條 特殊營業者稅ハ月稅トシ毎月一日ヲ賦課期日トス

第五條 特殊營業者病氣其ノ他ノ事由ニ因リ休業シタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ特殊營業者稅ヲ免除ス

一 休業全月ニ亙ルトキハ其ノ月分ノ全額

二 休業半月ニ亙ルトキハ其ノ月分ノ半額

第六條 特殊營業者前項ノ規定ニ依リ特殊營業者稅ノ免除ヲ受ケントスルトキハ其ノ事實ヲ具シ居留民団長ニ申請スベシ

第七條 特殊營業者稅ハ毎月分ヲ其ノ月二十五日迄ニ納付スヘシ但シ廢業シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ納付スヘシ

第八條 特殊營業者ニ雇主、抱主又ハ之ニ類スル者アル場合ハ之等ノ者ヲ以テ徵收義務者トス

第九條 徵收義務者ハ特殊營業者ノ納付スヘキ特殊營業者稅ヲ徵收シ第五條ノ納期日迄ニ納

付書及一人別調書ヲ添へ居留民団ニ納付スヘシ  
前項ノ場合ニ於テハ特殊營業者ハ其ノ税金ヲ徴收義務者ニ拂込ムニ依リテ納税ノ義務ヲ了ス

第八條 徴收義務者前條第一項ノ規定ニ依リ徴收スヘキ特殊營業者税ヲ納期日迄ニ納付セザルトキハ居留民団税徴收ノ例ニ依リ徴收義務者ヨリ之ヲ徴收ス

第九條 徴收義務者其ノ徴收スヘキ特殊營業者税ヲ正当ノ事由ニ因リ徴收スルコト能ハサリシトキハ之ニ相当スル既納ノ金額ヲ還付ス  
徴收義務者前項ノ規定ニ依リ還付ヲ受ケントスルトキハ事實發生ノ日ヨリ十日以内ニ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ居留民団長ニ提出スヘシ

- 一 徴收スルコト能ハサリシ事由
- 二 納付年月日
- 三 既納金額

第十條 特殊營業者トナリタル者ハ直ニ左ノ事項ヲ居留民団長ニ申請スヘシ

- 一 住所、氏名及年齢
  - 二 徴收義務者ノ雇傭並ニ其ノ住所及氏名又ハ名稱
  - 三 特殊營業者ノ種別及名稱
- 前項ノ規定ニ依リ申請シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ居留民団長ニ申告スヘシ

第十一條 特殊營業者前條ニ於テハ其ノ連署ヲ以テ之ヲ為スヘシ  
前項ノ申請ハ徴收義務者アル場合ニ於テハ直ニ其ノ旨ヲ居留民団長ニ申告スヘシ

第十二條 徴收義務者ニ對シテハ税金徴收ノ手数料トシテ其ノ徴收シタル税金額ノ百分ノ二ニ相当スル金額ノ交付金ヲ交付ス

第十三條 前項ノ交付金ヲ受ケントスル者ハ其ノ年四月ヨリ翌年三月迄ニ徴收シタル分ニ付翌年五月末日迄ニ其ノ請求書ヲ居留民団長ニ提出スヘシ  
第十四條 前項ノ規定ニ依ル申請ヲ怠リ又ハ詐リタル者ニ對シテハ二十円ノ過怠金ヲ課ス

附 則

本條例ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
特殊營業者ニシテ居留民団税規則ニ依リ其ノ旨申告シタル者ハ本條例施行ノ日ニ於テ本條例  
第十條第一項ノ規定ニ依リ申告シタルモノト看做ス

(二) 天津居留民団遊興飲食稅條例 (昭和十九年三月三日民會決議)

同 年三月三日公布

第一條 料理店 貸席 旅館 貸座敷其ノ他之等ニ類似スル場所ニ於ケル遊興及飲食ニハ本

條例ニ依リ遊興飲食稅ヲ課ス

第二條 遊興飲食稅ノ稅率左ノ如シ

一 藝妓ノ花代 料金額ノ百分ノ八十

二 酌婦ノ花代 藝妓ニ類スル者ノ花代其ノ他之ニ類スルモノ(其ノ他ノ花代ト稱ス以下  
同シ)

三 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ伴フ遊興飲食ノ料金額但シ藝妓ノ花代及其ノ他ノ花代ヨ  
除ク 料金額ノ百分ノ五十

四 女給其ノ他之ニ類スル者カ客席ニ符シテ接待スルカフエー、バー其ノ他ノ料理店ニ於  
ケル遊興飲食ノ料金額但シ藝妓ノ花代及其ノ他ノ花代ヲ除ク 料金額ノ百分ノ三十

五 前各號以外ノ遊興飲食ノ料金額 料金額ノ百分ノ十

前項ノ遊興飲食ノ料金額ハ花代、場代、飲食料、席料其ノ他名義ノ何タルヲ問ハス前條ニ規

定スル場所ノ經營者カ遊興又ハ飲食ヲ為シタル者ヨリ其ノ遊興又ハ飲食ニ付領收スヘキ金

額ノ合計額ヲ謂フ

第三條 遊興飲食ノ料金額一人一回四円ニ滿タサルトキハ遊興飲食稅ヲ課セス但シ左ニ掲グル

料金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 藝妓ノ花代

二 其ノ他ノ花代

三 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ伴フ遊興飲食ノ料金額

四 女給其ノ他之ニ類スル者ヲ客室ニ待ンテ接待スルカフエー、バー具ノ他ノ料理店ニ於ケル遊興飲食ノ料金

ニ人以上共同シテ遊興又ハ飲食ヲ為シタル場合ニ於テハ其ノ料金ヲ遊興又ハ飲食ヲ為シタル人負ニテ除シテ得タル金額ヲ以テ一人一回ノ料金トス

第四條 遊興飲食税ハ第一條ニ規定スル場所ノ經營者ヨリ之ヲ徴收ス

第五條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者ハ毎月分ノ遊興飲食料金ヲ料金ノ種類別ニ税率ノ區別ニ從ヒ區分シテ記載シタル申告書ヲ翌月十日迄ニ居留民団長ニ提出スヘシ但シ經營ヲ廢止シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ提出スヘシ

申告書ノ提出ナキトキハ申告ヲ不相当ト認メタルトキハ居留民団長ハ其ノ課税標準額ヲ決定ス

第六條 遊興飲食税ハ毎月分ヲ翌月末日迄ニ納付スヘシ但シ經營ヲ廢止シタル場合ニ於テハ直ニ之ヲ納付スヘシ

第七條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者ハ毎月分ノ遊興飲食料金中其ノ月ニ於テ領收セサルモノハ未收料金ト稱ス以下同シニ對スル税金ヲ其ノ料金ヲ領收シタル月ノ翌月末日迄ニ納付スルコトヲ得但シ其ノ經營ヲ廢止シタル場合ニ於テ未タ納付セサル税金アルトキハ直ニ之ヲ納付スヘシ

前項ノ規定ノ適用ヲ受ケントスル者ハ毎月分ノ未收料金ヲ料金ノ種類別ニ税率ノ區別ニ從ヒ區分シテ記載シタル申告書ヲ第五條第一項ノ申告ト同時ニ居留民団長ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者前條々未收料金ヲ領收シタルトキハ其ノ領收シタル料金ヲ料金ノ種類別ニ税率ノ區別ニ從ヒ區分シテ記載シタル申告書ヲ翌月十日迄ニ居留民団長ニ提出スヘシ

第九條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者第七條ノ規定ニ依リ未タ税金ヲ納付セサル未收料金ハ之ヲ領收スルコト能ハサルニ至リタルモノニ付テハ其ノ税金ヲ免除ス

前項ノ規定ニ依リ税金ノ免除ヲ受ケントスル者ハ領收スルコト能ハサル事由ヲ具シテ居留民団長ニ申請スヘシ

第十條 第一條ニ規定スル場所ヲ經營セントスル者ハ其ノ場所毎ニ左ノ事項ヲ記載シタル申告書ヲ居留民団長ニ提出スヘシ

一 經營者ノ住所及氏名又ハ名稱  
 二 經營スル場所ノ種類及名稱並ニ其ノ所在地  
 三 従業員ノ種類及員數  
 四 經營スル場所ノ構造其ノ他設備ノ概要  
 五 開業ノ年月日  
 前項ノ規定ニ依リ申告シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ居留民団長ニ申告スヘシ  
 第十一條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者其ノ經營ヲ一時休止セントスルトキハ其ノ時期ヲ定メ居留民団長ニ申告スヘシ  
 第十二條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者其ノ經營ヲ廢止シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ居留民団長ニ申告スヘシ  
 第十三條 第一條ニ規定スル場所ノ經營ヲ相續シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ居留民団長ニ申告スヘシ  
 第十四條 第一條ニ規定スル場所ノ經營ヲ讓受ケタル者ハ讓渡人ト連署シ直ニ其ノ旨ヲ居留民団長ニ申告スヘシ  
 第十五條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者ハ一回ノ遊興飲食毎ニ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ  
 一 遊興及飲食ノ年月日  
 二 遊興又ハ飲食ヲ為シタル者ノ數  
 三 遊興飲食料金ノ種類及金額  
 四 二人以上共同シテ為シタル遊興又ハ飲食ニ付テハ一人一回ノ遊興飲食料金  
 五 遊興飲食料金ノ領收ノ年月日  
 第十六條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者ト經營上取引關係アル者ハ藝妓、藝妓ニ類スル者若ハ酌婦ノ雇主、抱主若ハ之ニ準スヘキ者又ハ其ノ營業ニ關シ仲介ヲ為ス者ヲ謂フ以下同シ  
 第十七條 藝妓、藝妓ニ類スル者又ハ酌婦ノ名稱  
 第十八條 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ノ金額

第十四條 第一條ニ規定スル場所ノ經營者ト經營上取引關係アル者ハ毎月分ノ藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ藝妓、藝妓ニ類スル者又ハ酌婦ノ出先ノ場所毎ニ區分シテ記載シタル申告書ヲ翌月十日迄ニ居留民團長ニ提出スヘシ

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該当スル者ニ對シテハ五十円ノ過怠金ヲ課ス  
一 第五條第一項ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リ又ハ詐リタル者  
二 第十條第一項ノ規定ニ依ル申告ヲ為サシテ第一條ニ規定スル場所ヲ經營シタル者

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該当スル者ニ對シテハ二十円ノ過怠金ヲ課ス  
一 第十條第二項又ハ第十四條ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リ又ハ詐リタル者  
二 第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ詐リ又ハ帳簿ヲ隠匿シタル者

附則  
本條例ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第一條ノ規定スル場所ノ經營ヲ為ス者ニシテ居留民團稅規則ニ依リ其ノ旨ヲ申告シタルモノハ本條例施行ノ日ニ於テ本條例第十條第一項ノ規定ニ依リ申告シタルモノト看做ス

(三) 天津居留民團代徵稅徵收條例 (昭和十九年四月廿一日代決 全 年四月廿五日公布)

第一條 代徵稅ハ居留民團稅規則ニ依リ本居留民團地區内ニ於テ個人所得稅、法人所得稅(清算所得ニ對スルモノヲ除ク)及營業稅ノ納稅義務ヲ有スル者ヨリ之ヲ徵收ス

第二條 代徵稅ノ賦課率ハ個人所得稅、法人所得稅及營業稅ノ百分ノ十二トス

第三條 代徵稅徵收金ノ收支ハ之ヲ特別會計トス  
本會計ニ於テハ代徵稅徵收及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ代徵稅ノ納入ヲ以テ其ノ歲出トス

第四條 本會計ニ於テ剩餘ヲ生シタルトキハ之ヲ翌年度ニ繰越シ又ハ一般會計ニ繰入ル  
本會計ニ於テ不足ヲ生シタルトキハ一般會計ヨリ之ヲ繰入ル  
本條例ニ規定スルモノノ外代徵稅ノ徵收ニ關シ必要ナル事項ハ居留民團長之ヲ定ム

附 則  
 本條例ハ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 甲種ノ配当利子所得ニ対スル個人所得税納税義務者ニ対スル代徴税ニ付テハ支拂期ノ昭和十九年四月一日以後ニ属スル分ヨリ、法人所得税及法人ノ營業税納税義務者ニ対スル代徴税ニ付テハ昭和十九年四月一日以後終了スル事業年度分ヨリ本條例ヲ適用ス

○ 條例 改正

(一) 天津居留民団立中學校、商業學校、高等女學校授業料徴收條例中改正

昭和十九年三月十五日  
 全 年三月一日施行

- 一、條例名ヲ「天津居留民団立中學校授業料徴收條例」ト改ム
- 二、第一條中「天津居留民団立中學校、商業學校、高等女學校」トアルヲ「天津居留民団立中學校」ト改ム
- 三、第五條ヲ左ノ通り改ム  
 第五條 戦病死者ノ遺家族、傷痍軍人ノ家族及公務ニ依リ従軍中ノ者ノ家族ニ対シテハ授業料ヲ免除ス

(二) 天津居留民団立國民學校授業料徴收條例中改正

昭和十九年三月十五日  
 全 年三月一日施行



一、第四條ヲ左ノ通リ改ム  
 第四條 職病死者ノ遺家族、傷痍軍人ノ家族及公務ニ依リ従軍中ノ者ノ家族ニ対シテハ授  
 養料ヲ免除ス

(三) 居留民団長、助役條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
 全 年三月三十一日公布  
 全 年四月一日施行)

一、第三條中「一萬五千円以上」トアルヲ削除シ「二萬五千円以下」トアルヲ「四萬円以下」ト改ム  
 一、第四條中「七千円以上」トアルヲ削除シ「一萬五千円以下」トアルヲ「二萬五千円以下」ト改ム

(四) 會計主任條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
 全 年三月三十一日公布  
 全 年四月一日施行)

一、第三條中「四千五百円以上」トアルヲ削除シ「一萬円以下」トアルヲ「一萬五千円以下」ト改ム

(五) 天津居留民團稅賦課徵收條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
 全 年三月三十一日公布  
 全 年四月一日施行)

一、第三條第一項中「納稅者一人ニ付年三十錢」トアルヲ「納稅者一人ニ付年五十錢」ト改

- 二、第四條ヲ削除ス
  - 三、第五條中「一日三円」トアルヲ「一日五円」ト改ム
  - 四、第七條中「第六十九條第二項」トアルヲ「第六十九條第一項」ト改ム
  - 五、第八條ヲ左ノ通り改ム
  - 第七條 居留民団税規則第七十條ノ規定ニ依リ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ニ対シテハ五十円ノ過怠金ヲ課ス
    - 一、居留民団税規則第四十條、第六十五條、第六十六條又ハ第八十條ノ規定ニ依ル申告ヲ怠リ又ハ詐リタル者
    - 二、居留民団税規則第七十條オ一号又ハオ三号ニ該当スル者
  - 六、第九條ヲ削除シ現第五條、第六條、第七條ヲ順次繰上ク
  - 七、附則ニ左ノ一項ヲ加フ
- 昭和十九年三月三十一日迄ノ遊興及飲食ニ對スル遊興飲食税並昭和十九年三月分迄ノ特殊營業者税ニ關シテハ仍従前ノ例ニ依ル

(六) 天津居留民団普通税々率條例改正

( 昭和十九年三月民会決議  
 全 年三月三十日公布  
 全 年四月一日施行 )

第一條 個人所得税ノ税率左ノ如シ

所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ逐次ニ各税率ヲ適用ス	勤勞所得
千円以下ノ金額	百分ノ一、二
千円ヲ超ユル金額	百分ノ三
二千円ヲ超ユル金額	百分ノ四

所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ各税率ヲ適用ス		事業所得	
三十万円ヲ超ユル金額	百分ノ七	三十万円	〃
二十万円ヲ超ユル金額	百分ノ九	二十万円	〃
十万円ヲ超ユル金額	百分ノ十	十万円	〃
五万円ヲ超ユル金額	百分ノ十	五万円	〃
三万円ヲ超ユル金額	百分ノ十	三万円	〃
二万円ヲ超ユル金額	百分ノ十	二万円	〃
一萬五千円	百分ノ十	一萬五千円	〃
一萬円	百分ノ十	一萬円	〃
七千円	百分ノ十	七千円	〃
五千円	百分ノ九	五千円	〃
三千円	百分ノ七	三千円	〃
二千円	百分ノ五	二千円	〃
千円以下ノ金額	百分ノ四	千円ヲ超ユル金額	〃
		十萬円	〃
		七萬円	〃
		五萬円	〃
		三萬円	〃
		二萬円	〃
		一萬五千元	〃
		一萬円	〃
		七千円	〃
		五千円	〃
		三千円	〃
		二千円	〃
		千円以下ノ金額	〃
		十萬円	〃
		七萬円	〃
		五萬円	〃
		三萬円	〃
		二萬円	〃
		一萬五千元	〃
		一萬円	〃
		七千円	〃
		五千円	〃
		三千円	〃
		二千円	〃
		千円以下ノ金額	〃

三 不動産所得		三 所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ、遞次ニ各稅率ヲ適用ス	
十五萬圓ヲ超ユル金額	百分ノ二十七	千圓以下ノ金額	百分ノ三
二十萬圓	百分ノ二十九	千圓ヲ超ユル金額	百分ノ五
三十萬圓	百分ノ三十一	二千圓	百分ノ七
		三千圓	百分ノ九
		五千圓	百分ノ十一
		七千圓	百分ノ十三
		一萬圓	百分ノ十五
		一萬五千圓	百分ノ十七
		二萬圓	百分ノ十九
		三萬圓	百分ノ二十一
		五萬圓	百分ノ二十三
		七萬圓	百分ノ二十五
		十萬圓	百分ノ二十七
		十五萬圓	百分ノ二十九
		二十萬圓	百分ノ三十一
		三十萬圓	百分ノ三十三
四 配当利子所得		百分ノ二	
イ 甲種ノ配当利子所得		百分ノ二	
乙 公債ノ利子		百分ノ二	
丙 社債、銀行預金又ハ領事館ノ指定シタル預金ノ利子及合同運用信託ノ利益		百分ノ五	

法人コリ受タル利益若ハ利息ノ配当及剰余金ノ分配 百分ノ六	
所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ返次ニ各税率ヲ適用ス	百分ノ三
千円以下ノ金額	三
千円ヲ超ユル金額	七
二千元	七
三千元	七
五千元	七
七千元	七
一萬元	七
一萬五千元	七
二萬元	七
三萬元	七
五萬元	七
七萬元	七
十萬元	七
十五萬元	七
二十萬元	七
三十萬元	七

勤勞所得中ニ中華民國外ニ於テ勤勞所得ニ對スル個人所得稅ト同種ノ課稅ヲ受クル所得アルトキハ前項第一号ニ依リ算出シタル稅額ニ其ノ所得ノ勤勞所得總額ニ對スル割合ヲ乘シテ算出シタル金額ヲ其ノ稅額ヨリ控除シタル金額ヲ以テ勤勞所得ニ對スル個人所得稅額トス	中華民國外ニ住所ヲ有スル者ニシテ其ノ事業所得中ニ中華民國外ニ於テ事業所得ニ對スル個人所得稅ト同種ノ課稅ヲ受クル所得アルトキハ前項第一号ニ依リ算出シタル稅額ヲ控除シタル金額ヲ以テ事業所得ニ對スル個人所得稅額トス
三十三	三十一
三十一	二十九
二十九	二十七
二十七	二十五
二十五	二十三
二十三	二十一
二十一	十九
十九	十七
十七	十五
十五	十三
十三	十一
十一	九
九	七
七	五
五	三
三	一

(二十九)

前二項ノ規定ノ適用ヲ受ケントスル者ハ居留民團稅規則第四十二條ノ規定ニ依ル申告ト同時ニ其ノ爭突ヲ詳記シ總留民團長ニ申請スヘシ

第三條

一 普通所得

甲 中華民國内ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ所得

乙 中華民國内ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有セサル法人ノ所得

二 清算所得

甲 積立金ヨリ成ル所得

乙 積立金以外ヨリ成ル所得

第三條

一 物品販賣業

卸賣

甲 穀類、麥粉、棉花、白綿糸、白綿布、砂糖及塩ノ販売

乙 甲以外ノ物品ノ販売

小売

甲 穀類、麥粉、砂糖及塩ノ販売

乙 甲以外ノ物品ノ販売

売上金額ノ千分ノ二、八

売上金額ノ千分ノ二、八

二 製造業

甲 麥粉、白綿糸、白綿布及毛織物ノ製造

甲		乙	
業種	請負金額ノ千分ノ二	業種	請負金額ノ千分ノ一
二十六 請負業	七	三 鈺業	一
二十五 貸座敷業	七	四 銀行業	二
二十四 藝妓置屋業	七	五 保險業	四
二十三 席貸業	七	六 無盡業	一
二十二 寫真業	七	七 金銀貸付業	一
二十一 遊覧所業	七	八 物品貸付業	一
二十 遊技場業	七	九 運送業	一
十九 理髮美容業	五	十 運送取扱業	一
十八 湯屋業	五	十一 倉庫業	九
十七 旅館業	六	十二 印刷業	七
十六 料理飲食店業	七	十三 出版業	四
十五 寄席業	五	十四 演劇興行業	三
十四 寄席業	五	十五 寄席業	五
十三 印刷業	三	十六 印刷業	三
十二 出版業	四	十七 印刷業	四
十一 倉庫業	七	十八 印刷業	七
十 運送取扱業	七	十九 印刷業	七
九 運送業	九	二十 印刷業	七
八 物品貸付業	一	二十一 印刷業	七
七 金銀貸付業	一	二十二 印刷業	七
六 無盡業	一	二十三 印刷業	七
五 保險業	一	二十四 印刷業	七
四 銀行業	一	二十五 印刷業	七
三 鈺業	一	二十六 印刷業	七
乙 甲以外ノ物品ノ製造	一	二十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	二十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ二	二	二十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ四	四	三十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	三十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	四十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	五十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	六十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	七十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	八十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十一 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十二 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十三 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十四 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十五 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十六 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十七 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十八 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	九十九 印刷業	七
收入金額ノ千分ノ一	一	一百 印刷業	七

<p>本條例ハ昭和十七年三月一日ヨリ之ヲ施行ス          勤勞所得、事業所得、不動産所得及乙種ノ配当利子所得ニ対スル個人所得税及個人ノ營業税          ニ付テハ昭和十九年分ヨリ法人所得税及法人ノ營業税ニ付テハ昭和十九年四月一日以後終了          スル事業年度分ヨリ本條例ヲ適用ス          昭和十九年三月三十一日迄ノ遊興飲食ニ対スル遊興飲食税並ニ昭和十九年三月分迄ノ特殊營          業者税ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル</p>	<p>附則</p>	<p>一 物品販売業          卸売          甲 千分ノ三三          乙 千分ノ四五</p>	<p>二 製造業          甲 千分ノ二六          乙 千分ノ一三</p>	<p>三十七 甲以外 請負          請負金額ノ千分ノ三          收入金額ノ千分ノ十一          報償金額ノ千分ノ十一</p>	<p>三十八 問屋業          報償金額ノ千分ノ十一</p>	<p>三十九 代理業          報償金額ノ千分ノ十一</p>	<p>四十 仲立業          報償金額ノ千分ノ十一</p>	<p>四十一 周旋業          報償金額ノ千分ノ十一</p>	<p>四十二 信託業          報償金額ノ千分ノ十一</p>	<p>物品販売業又ハ製造業ノ課税標準額中ノ居留民团税規則才七十五條ノ規定ニ依ル売上金          額又ハ收入金額ニ対シテハ前項才一号及才二号ノ税率ニ依ラス左ノ税率ヲ適用ス</p>
---	-----------	--	--	--	--	--	---------------------------------------	--	--	--



(七) 天津日本図書館閲覧料徴收條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
全 年三月三十一日公布  
全 年四月一日施行)

一、第一條第一号有料閲覧券第一項館内閲覧券中「二十圓券四十錢」トアルヲ削除ス  
二、同條同号才二項図書帶出券イ目「イ 一般入五円」トアルヲ「イ、一般入二十円」ト改ム

(八) 天津日本療病院諸料金條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
全 年三月三十一日公布  
全 年四月一日施行)

一、第一條但書中入院料一日「一円」トアルヲ「二円」ニ改ム

(九) 天津日本公立病院諸料金條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
全 年三月三十一日公布  
全 年四月一日施行)

一、第一條中第三号、第十号ヲ左ノ通り改ム

三、藥劑料

内服藥	一劑一日分	八十錢
外用藥	一劑	七十錢
但シ高價藥ノ配劑ヲ要スルトキハ特別ノ料金ヲ徴收ス	一回分	七十錢
助産料		
普通助産料		三十円以上五十円以内

(十) 天津日本婦人病院諸料金條例中改正

(昭和十九年三月民会決議  
全 年三月三十一日公布  
全 年四月一日施行)

<p>一、第一條第一号オ二号及第三号ハ左ノ通り改ム</p>	
<p>一、内服藥</p>	<p>散藥 一日分 四十銭 水藥 一日分 四十銭 頓服藥 一四分 三十銭以上五十銭以内 但シ高價藥ノ配劑ヲ要スルトキハ別ニ実費ヲ徴收ス</p>
<p>二、外用藥</p>	<p>一劑分 三十銭以上五十銭以内</p>
<p>八、注射料</p>	<p>普通注射料 五十銭以上三十円以内 特殊注射料 三十円以上十円以内</p>
<p>(十一) 天津日本実費診療所條例中改正</p>	
<p>(昭和十九年三月民会決議 全全 年三月三十日公布 全 年四月一日施行)</p>	
<p>一、第二條第五号ヲ左ノ通り改ム</p>	
<p>五、行路病者ノ診療(結核及癩ヲ除ク)</p>	<p>六ヶ月間有效 五十銭</p>
<p>二、第三條第一号、オ三号、オ四号、オ五号及第十号ヲ左ノ通り改ム</p>	<p>一、診察料 五十銭 三、内服藥 一日分 四十銭 散藥 一日分 四十銭 水藥 一日分 四十銭 頓服藥 一四分 三十銭以上五十銭以内 四、外用藥 一劑分 三十銭以上五十銭以内 五、注射料 一劑分 三十銭以上五十銭以内</p>
<p>普通注射料 一円以上四円以内</p>	

特殊注射料 四円以上二十円以内  
 十、入所料（賄料共） 一日分 四円

（十二） 天津日本保養院條例中改正

（昭和十九年三月民会決議  
 全 年三月三十一日公布  
 年四月一日施行）

一、第四條第一号ヲ左ノ通り改ム

一、藥劑料

内服藥	一日分	八十錢
外用藥	一回分	七十錢
傾服藥	一回分	七十錢

但シ高價藥ノ配劑ヲ要スルトキハ特別ノ料金を徴收ス

（十三） 天津神社維持費供進條例中改正

（昭和十九年三月民会決議  
 全 年三月三十一日公布  
 年四月一日施行）

一、第一條中「毎年三萬圓」トアルヲ「毎年六萬圓」ト改ム

（十四） 天津日本療病院諸料金條例中改正

（昭和十九年六月九日代決  
 全 年六月十二日公布  
 年六月十五日施行）

一、第一條ヲ左ノ通り改ム

第一條 本院ノ料金を左ノ如ク定ム 但シ居留民團長相当ノ資力アリト認めル者ニ對シテハ入院料一日五円以内及處置料ヲ徴スルコトヲ得

一、入院料 無料

二、處置料 無料  
三、診斷書、檢案書 證明書 一通五円以上

(十五) 天津日本保養院條例中改正

昭和十九年六月九日代決  
全 年六月十三日公布  
全 年六月十五日施行

一、第四條八号入院料ヲ左ノ通り改ム

- 一 等 二十円以内
- 二 等 十三円以内
- 三 等 十円以内

但シ入院料金中ニハ普通藥劑料 食費、室料電燈料ヲ含ム

(十六) 天津日本公立病院新築費特別會計條例中改正

昭和十九年六月十九日決議  
全 年六月二十日公布  
全 年七月一日施行

一、第五條中「天津日本公立病院經營費特別會計」トアルヲ「一般會計」ト改ム

(十七) 電氣使用條例中改正

昭和十九年六月廿八日代決  
全 年六月三十日公布  
全 年七月十五日以降檢査分ヨリ施行

一、第五條ヲ左ノ通り改ム

第七條 電氣使用料金ヲ分子テ左ノ五種トス  
第一種 従量電燈(電燈ト同一計器ニ依リ計量スル他ノ従量制ノモノヲ含ム)





一、水災復興資金貸付條例

(全)

(二) 天津居留民團酒稅條例廢止

(昭和十九年三月民會決議  
全 年三月三十一日公布  
全 年四月一日廢止)

一、天津居留民團酒稅條例 (昭和十八年九月一日公布)  
但シ本條例施行前賦課シ又ハ賦課スヘカリシ酒稅ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

(三) 天津居留民團衛生關係諸條例廢止

(昭和十九年六月民會決議  
全 年六月三十一日公布  
全 年七月一日廢止)

- 一、衛生試驗、検査手数料條例 (昭和十七年三月三十日公布)
- 一、天津日本公立病院經營特別會訂條例 (昭和十四年三月二十日公布)
- 一、天津日本療病院諸料金條例 (昭和八年三月二十七日公布)
- 一、天津日本公立病院諸料金條例 (昭和十七年九月一日公布)
- 一、天津日本婦人病院諸料金條例 (昭和十五年三月三十日公布)
- 一、天津日本實費診療所條例 (昭和十七年三月三十日公布)
- 一、天津日本保養院條例 (昭和十八年三月八日公布)
- 一、遼省自動車使用條例 (昭和十七年三月三十日公布)

○ 規程制定

(一) 天津邦人誌(假稱)編纂準備委員會規程 (昭和十九年一月廿二日制定)

第一條 本会ヲ天津邦人誌(假稱)編纂準備委員會ト稱ス

第二條 本会ハ天津邦人誌(假稱)編纂ニ関スル大綱ヲ審議決定スルヲ以テ目的トス

第三條 本会ノ事務所ヲ天津日本図書館内ニ置ク

第四條 本会ハ會長一名及委員若干名ヲ以テ組織ス

第五條 會長ハ居留民団長ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 委員ハ居留民団中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

第七條 會長並ニ委員ノ任期ハ本会ノ目的達成迄トス

第八條 會長並ニ委員ハ名譽職トス

第九條 會長ハ本会ヲ召集シ會議ヲ総理ス

第十條 會長故障アルトキハ図書館長ノ職務ヲ代理ス

第十一條 本会ハ委員三分ノ一以上出席スルニアラザレハ議決ヲナス事ヲ得ス

第十二條 本会ハ出席委員ノ過半数ニ依リ之ヲ決ス 可否同数ナルトキハ會長ノ決スルトコロニヨル

第十三條 本会ニ書記若干名ヲ置キ居留民団吏員ヲシテ兼掌セシム

第十四條 本会ノ必要ナル經費ハ居留民団ニ於テ之ヲ支辨ス

附 則

本規程ハ昭和十九年一月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 居留民団入営應召吏員ニ対スル休職給與規程 (昭和十九年四月一日制定)

第一條 本居留民団吏員(嘱託及雇員並ニ月俸支給ノ臨時雇員ヲ含ミ以下單ニ吏員ト稱ス)



ニシテ現役ニテ入營、入伍又ハ戰時中ニ際シ陸海軍ニ召集（以下單ニ入營應召ト稱ス）  
 セラレタル者ノ諸給共ハ別ニ定メアルモノノ外本規程ニ依ル  
 第一條 入營又ハ應召吏員ニ對シテハ月額左記ニ依ル額ヨリ軍給共令  
 ニ依リ支給サルヘキ俸給（本俸）ヲ控除セルモノヲ支給ス

備考	有家族者		入營ノ場合 本俸ノ三分ノ一	應召ノ場合 本俸ノ半額
	家族カ現地ニ滞留 ナス場合	家族カ中國外ニ居 住ノ場合		
一、宿舎ヲ支給シ居ル者ニ對シテハ継統支給ス但シ都合ニ依リ移転ヲ命スルコ トアルヘシ 二、入營又ハ應召期間ハ在職年數ニ通算ス 三、入營又ハ應召期間中ニ於テ昇給ハ定期ニ之ヲ行フモ賞與ハ之ヲ支給セス	一、本俸 特別手当 合計額ニ對シテ左ノ率ヲ以テ 支給 （合計額中） 一〇〇円 以内 一〇割 自二〇〇円 至四〇〇円 八割 自四〇〇円 以上 大割 二、家族手当 一名分ヲ控除シタル殘額支給 三、宿舎料 全額支給	一、本俸 全額支給 二、家族手当 一名分ヲ控除シタルモノノ半額支給	入營ノ場合ニ同シ	入營ノ場合ニ同シ
	一、本俸 全額支給 二、家族手当 一名分ヲ控除シタルモノノ半額支給	入營ノ場合ニ同シ	入營ノ場合ニ同シ	入營ノ場合ニ同シ

第三條 應召吏員ニ對シテハ本俸ノニヶ月分ヲ支度料トシテ支給ス  
 第四條 入營又ハ應召吏員ノ家族ニシテ入營又ハ應召ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ現地ヲ引揚ケル  
 者及除隊ノ召集解除ニ依リ再ビ來住セントスルモノハ居留民団旅費規程ニ依リ現住地ヨ  
 リ目的地間ノ旅費(一日支度料又ハ移転料ヲ含ム)ヲ支給ス但シ止ムヲ得サル事情ニ依リ  
 石期間内ニ引揚ケ得サリシ者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス  
 第五條 入營又ハ應召吏員ニシテ入營又ハ應召中下士官又ハ現後志願或ハ之ニ類スル服役志  
 願ヲオシ採用セラレ引続キ軍籍ニ在ルトキハ採用ノ日ヨリ退職シタルモノト看做ス  
 第六條 入營又ハ應召吏員ニシテ戰死又ハ戰病死シタル場合ハ居留民団在職年限ニ拘ラス吏  
 員又ハ產負給共規程ニ依リ支給サルヘキ祭祀料ノ外ニ死亡當時ノ本俸ノ五ヶ月分ヲ祭祀料  
 トシテ贈與ス  
 第七條 日給支給ノ臨時雇員ニシテ入營又ハ應召シタル場合ハ入營又ハ入隊ト同時ニ解職ス  
 但シ慰勞金ヲ左ノ割合ニ依リ支給ス  
 勤務月數ノ計算ハ採用ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終ル  
 三ヶ月以内勤務シタル者 日給 五日分  
 六ヶ月〃〃 十日分  
 九ヶ月〃〃 二十日分  
 一ケ年〃〃 三十日分  
 第八條 本規程ニ依リ給共ナス期間ハ入營又ハ入隊ノ翌月ニ始マリ本居留民団ニ歸任セル前  
 月ヲ以テ終ル  
 第九條 入營又ハ應召吏員ニシテ除隊又ハ召集解除ノ際ハ遲滞ナク帰任スルモノトス但シ已  
 ムヲ得サル事情ニ依リ帰任シ得サル時ハ居留民団長ノ許可ヲ要スルモノトス  
 第十條 給共額ニ變更ヲ生シタル場合ハ其ノ翌月ヨリ新給共額ニ依リ支給ス但シ昇給又ハ規  
 程改正ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス  
 附 則  
 本規程ハ昭和十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 臨時手当支給規程

(昭和十九年三月七日制定)

- 第一條 本居留民團吏員(嘱託、雇員又含ム)ニハ本規程ニヨリ臨時手当ヲ支給ス
- 第二條 臨時手当ハ勤勞日數ニ應ジ日額三円ヲ支給ス
- 第三條 本手当ハ毎月俸給ト共ニ支給ス

附則  
本規程ハ昭和十九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

(四) 天津居留民生計所規程

(昭和十九年七月二十一日制定)

總則

第一條 居留民團ハ天津特別市内ニ若干ヶ所ノ天津居留民生計所(以下單ニ生計所ト稱ス)ヲ設ケ本規程ノ定ムル所ニ從ヒ生活必需品ヲ適正價格ヲ以テ居留民ニ供給セシムルモノトス

第二條 生計所ニ於テ供給セシムヘキ物品ノ種目ハ概ネ左ノ如シ

- 一、生鮮蔬菜類及乾燥野菜類
  - 二、生鮮獸肉、鳥肉、魚肉介類及其等ノ加工品
  - 三、卵類
  - 四、青葉類及其ノ加工品
  - 五、乾物豆類
  - 六、漬物佃煮類
  - 七、清涼飲料水類
- 但シ居留民團長ニ於テ必要ト認ムルトキハ運營委員會ノ議決ヲ經テ其ノ種目ノ増減ヲナスコトヲ得

第三條 生計所ノ出店者ハ各種業者ノ組合ニ於テ組合員ノ共同計算ニヨリ組合自ラ出店スル

但シ居留民団長ニ於テ特ニ必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニヨラサルモノト雖モ出店セシムルコトヲ得  
 第四條 生計所ニ於ケル供給ハ小売トシ一人一日ノ購入量ハ一家族一日ノ使用量ヲ基準トシ其ノ限度以内タル事ヲ原則トス  
 但シ特別ノ事情ニ依リ制限量以上ノ購入ヲサントスルトキハ出店者ニ其ノ旨申出テ同意ヲ得ルヲ要ス  
 第五條 生計所ニテ物品ヲ購入セントスルモノハ天津居留民団発行ノ「生活必需品購入通帳」ヲ携行スヘシ  
 出店者ハ購入者ヲシテ前項ノ通帳ヲ提示セシムルコトアルヘシ  
 第六條 生計所ノ使用料ハ無料トス  
 第七條 生計所内ニ於ケル備付品及水道電氣施設以外ニ販売ニ関シテ要スル消耗品、器具等ハ凡テ出店者ノ負擔トス  
 第八條 出店者ハ其使用ノ場所ヲ權利ノ目的物トシ又ハ之ヲ転貸スルコトヲ得ス  
 第九條 居留民団長ニ於テ必要ト認ムルトキハ出店者ニ対シ使用場所ノ変更又ハ縮少ヲ命スルコトヲ得

運 営 委 員 会

第十條 生計所運営ノ為メ生計所ニ運営委員会ヲ附設ス  
 第十一條 運営委員ハ二十名以内トシ關係官廳吏職員及關係団体、組合役職員、若シクハ生計所ノ運営ニ付キ經驗智識ヲ有スル天津在留邦人中ヨリ在天津総領事ノ承認ヲ經テ居留民団長之ヲ委嘱ス  
 第十二條 委員会ニ正副委員長各一名ヲ置ク  
 第十三條 委員ハ名譽職トス  
 第十四條 運営委員会ノ管掌スヘキ事項概ネ左ノ如シ

- 一、生鮮食糧品ノ需給計画ニ関スル事項
- 二、出店品種目ノ増減ニ関スル事項
- 三、出店者ノ選定及其ノ出店場所ノ決定ニ関スル事項
- 四、生計所内ニ於ケル販賣價格ノ決定ニ関スル事項
- 五、其ノ他生計所ノ運営ニ関スル事項

所内取締

- 第十五條 生計所内ニ入所セルモノハ何人タリトモ又平時タルト非常時タルトヲ向ハス其ノ進退行動ニ付キ居留民団ヨリ派シテ出セルタル吏員ノ指示ニ従フモノトス
- 第十六條 出店者及其ノ從事員ハ胸部見易キ所ニ所定ノ標識ヲ附スヘシ
- 第十七條 出店者ハ其ノ從事員ノ為シタル一切ノ行為ニ付キ其ノ責ニ任スヘシ
- 第十八條 出店者ハ居留民団長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ其ノ使用場所及備付品ニ更改ヲ加フルコトヲ得ス
- 第十九條 出店者ニシテ使用ノ施設及備付品ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ其ノ事田ノ如何ニ不拘居留民団長ノ指示ニ従ヒ之ヲ補修又ハ賠償スヘシ
- 第二十條 出店者ハ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ
  - 一、販賣品ノ價格ハ必ス之ヲ商品ニ表示シ又ハ店頭ニ掲示ナスコト
  - 二、各出店者ハ相互ノ協調ヲ旨トナスコト
  - 三、其ノ他生計所ノ管理ニ関シ居留民団長ノ指示セル事項
- 第二十一條 生計所係ノ居留民団吏員ハ販賣物品ニシテ左ノ各号ノ一ニ該当スルモノト認めタルトキハ其ノ物品ノ販賣ヲ禁止シ又ハ検査ノタメ之ヲ收去シ若クハ破棄スルコトヲ得
  - 一、粗悪、不潔、腐敗、変味其ノ他取生上有害ナリト認めタルトキ
  - 二、販賣價格不当ト認めタルトキ
  - 三、販賣上不正ノ手段アリト認めタルトキ
- 第二十二條 生計所係ノ居留民団吏員ハ業務時間中何時タリトモ出店者ノ販賣ニ関スル帳簿又ハ物件ノ検査ヲ為スコトヲ得
- 第二十三條 出店者左ノ各号ノ一ニ該当スト認めタルトキ居留民団長ハ生計所ノ使用ヲ停止

シテノ爲ヲ所管ノ組合ニ通告スルモノトス  
組合ハ三日以内ニ其ノ後任者ヲ推薦許可ヲ得ヘシ然ラサルトキハ其ノ出店許可ヲ取消ス  
コトアルヘシ

本規程ニ違背シタルトキ

一、生計所ノ秩序ヲ紊シ又ハ其ノ信用ヲ失墜スル行為アリタルトキ

二、正当ノ事由ナクシテ無断休業シタルトキ

三、営業状態生計所經營ノ目的ニ副ハスト認メタルトキ

第十四條 出店者正当ノ理由ニヨリ休業セントスルトキハ休業前々日迄ニ居留民団長ニ届  
出テ豫メ之ヲ店頭ニ掲示スヘシ

第十五條 出店者廢業セントスルトキハ廢業ノ十日以前ニ所管ノ組合ヨリ其ノ旨ヲ居留民  
団長ニ届出ツヘシ

組合ニ届セサル出店者ハ其ノ許可ヲ得タル責任者ヨリ其ノ旨届出ツヘシ

第十六條 生計所ヲ利用セントスルモノ左ノ各号ノ一ニ該当シタルトキハ其ノ購入ヲ拒否  
セラレ又ハ退場ヲ命ゼラルコトアルヘシ

一、他人ノ迷惑ヲ顧ミサルモノ

二、所内ニ於テ不都合ノ行為アリタルモノ

三、生計所係ノ居留民団吏員ノ指示ニ従ハサルモノ

附 則

本規程ハ昭和十九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

（五）天津居留民団電力消費規正規程（昭和十九年十二月六日制定）

第一章 總 則

第一條

民団ハ生産力補充其ノ他戰爭目的達成ノ為消費セラル、電力ノ供給ヲ確保スルニ必

要ナル場合ハ本規定ニ基キ民団供給区域内ノ需用者ノ電力消費ヲ規正シ且之ニ伴フ電氣料金ノ調整ヲ為ス

第二條 電力ノ需用區分ハ別表第一号表ノ通りトス

第三條 電力ノ消費規正ハ前條ノ區分ニ依ル需用種別ニ之ヲ實施ス

第四條 本規正ニ依ル電力供給ノ制限又ハ停止ニ因リ蒙ルコトアルヘキ需用者ノ損害ニ對シテハ民団ハ其ノ賠償ノ責ニ任セズ

第五條 本規程ニ於ケル月トハ電力量ニ関スルモノヲ除キ曆月ヲ以テシ電力量ニ関シテハ前月檢計日ト当月檢計日ノ間トス

第二章 電力消費規正方法

第六條 爭態急ナラサル場合ニ於ケル電力ノ消費規正ハ第一号表ノ區分ニ基キ本章ニ依リ之ヲ實施ス

第七條 第一種第二種及第三種需用電力ノ消費限度ハ別表第二号表ニ依ルモノトシ需用者ハ此ノ限度ニ違反シテ電力ヲ使用スルコトヲ得ズ

第八條 前條ノ消費制限ニ於テ左ニ掲クル需用ハ其ノ属スル需用種別ノ使用禁止時ニ於テ必要最少限度ノ電力消費ヲ為スコトヲ得

- (一) 公用電力
- 1、通信用電力
  - 2、放送用電力
  - 3、上下水道用電力
  - 4、新聞刊行用電力
  - 5、教育並學術研究用電力
  - 6、医療用電力

(二) 保安上必要ト認めラルル、電力  
 1、警察用電力

2 交通信号用電力  
3 消防用電力

第九條 電力消費限度ハ別表第一号表ニ依リ左ノ各号ノ基準電力量ニ付之ヲ適用スルモノトス

一、第一種並第二種需用ノ基準電力量ハ豫メ需用者トノ間ニ協定ス  
二、第三種需用ノ基準電力量ハ昭和十九年一月並二月ノ平均実績トシ当該期間ニ実績ナキモノ並新規又ハ増加受電ヲ開始シ電力使用増加ノ過程ニ在ルモノニ対シテハ民団ニ於テ指定スル電力量  
前項第一号ノ基準電力量ヲ不相当トスル特別ノ事田アルトキハ需用者ノ申出ニ依リ之カ変更ヲナスコトアルヘシ  
第四種需用電力ハ左ニ掲タル限度ヲ超テ消費スルコトヲ得ス

第十條 (一) 電燈用電力(炭燈灯)

イ 住宅用ニ依リテハ契約灯数十灯以下ノ場合ハ一ヶ月ニ付二十五キロワット時以内ノ灯ヲ超過スル場合ハ之ニ超過灯数一灯ニ付二キロワット時ヲ加ヘタルモノ  
ロ 営業用ニ依リテハ契約灯数一灯ニ付一ヶ月四キロワット時

(二) 電熱器、電動機及其他ノ電力装置用電力  
イ 電熱器ニ依リテハ契約容量一キロワットニ付一ヶ月七キロワット時  
ロ 電動機並其ノ他ノ電力装置ニ依リテハ其ノ承ケロ一箇ヲ一灯トシテ本條(一)ノ使用限度ニ加算包含セシム

第十一條 第五種需用電力ハ之カ使用ヲ禁止シ又ハ其ノ消費施設ノ撤去ヲ求めルコトアルヘシ

第十二條 軍又ハ官廳ヨリ緊急生産其ノ他ノ命令ヲ受ケ本章ノ制限ノ緩和又ハ解除ヲ求めントスルトキハ第四号様式ニ依ル申請ヲ具シテ民団ニ申出ツヘシ、コノ場合ニ於テハ其ノ事情ニ依リ一時的ニ制限ノ緩和又ハ解除ヲナスコトアルヘシ

第三章 緊急電力制限方法



第十三條 非常ノ原因ニ依リ急ヲ要スル電力制限ハ第二章ニ定ムルトコロニ依ルノ外本章ノ規定ニ依ル

第十四條 非常時ニ於ケル電力ノ制限ハ第一号表ノ区分ニ基キ第三号表ニ依リ之ヲ為スモノトス

第十五條 前條ノ制限ノ段階ハ之ヲ新間、ラギオ其ノ他ノ方法ニ依リ豫告ス。但シ事態急ナルトキハ豫告セズシテ実施スルコトアルヘシ

第十六條 前條ノ措置ヲ以テ尚供給不可能ノ場合ハ其ノ都度制限方法ヲ定メテ臨機之ヲ実施ス

第四章 新規又ハ増加需用

第十七條 新ニ電力ヲ受電シ又ハ現ニ受電シツ、アル電力ヲ増加シテ之カ消費ヲ為サントスルモノ又ハ將來ノ用ニ供スヘク電氣工作物ヲ施設セントスルモノハ電氣使用條例ニ依ルノ外本章ニ定ムルトコロニ依ルヘシ

第十八條 工場又ハ事業場ニシテ設備容量五〇キロワットヲ超過スルモノハ一般申込手續ニ依ルノ外第五号様式ニ依リ申込ムヘシ

第十九條 工場又ハ事業場ニシテ設備容量五〇キロワット以下ノモノニ對シテハ一般申込手續ニ依ルノ外左ノ事項ヲ記載セル書類ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

一、生産品自其ノ他電力ヲ必要トスル事由

二、消費規正実施上参考トナルヘキ事項

第二十條 電熱並電灯ニ對シテハ條例ニ基ク一般手續ニ依ルノ外第六号様式ニ依リ本規程実施上参考トナルヘキ事項ヲ記載セル書類ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

第二十一條 民団ハ必要ニ應ジ官廳其ノ他ノ證明書ノ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

第二十二條 民団ハ第十八條乃至第二十條ニ依ル需用者ノ申込ヲ第一号表ノ需用裡別ノ孰レカニ區分指定シ之カ供給又ハ供給ノ制限若クハ拒絶ヲ為スノ外使用地ノ変更又ハ使用機器ノ改造若クハ変更ヲ求ムルコトアルヘシ

民団ハ前項ニ依リ甲込者トノ間ニ電力ノ供給ヲ約シテヨリ實際送電ヲ開始スル迄ノ向

於テ民団ノ電力供給状況ニ著シキ変動アリタルトキハ前項ニヨル決定ヲ変更又ハ取

第二十三條 第一種又ハ第二種需用ニ指定シタルモノニ對シテハ申込者ト協議ノ上必要最少

第二十四條 第三種需用ニ指定シタルモノニ對シテハ民団ノ電力需給狀況ニ應シ之カ供給ニ

第一、需用電力ハ凡テ避尖頭所供給トス

但シ需用ノ性質ニ依リ之ニ依リ難キモノニ對シテハ此ノ限ニアラス

第二十五條 第一部門電燈用

一、第一部門電燈用ニ在サテハ家屋ノ新築増築又ハ民団カ特ニ認メタル場合ニ限り

且之カ取附燈數並容量ヲ最少限度ニ止ム

二、第二部門照明用

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

三、第三部門電力特ニ認メタル場合ニ限り且之カ容量ヲ最少限度ニ止ム

二、送電ノ停止

第六章 料金ノ調整

第三十一條 尖頭負荷時其ノ他ノ時間の使用禁止又ハ制限ニ対シテハ料金ノ減免ヲ為サス  
 第三十二條 休電日ノ指定其ノ他ニ依ル送電停止日数カ月累計七日以上ニ及ビタルトキハ送電停止日数ニ付所定ノ基本料金ヲ日割計算ニ依リ減免ス  
 但シ第三十條ニ依ル休電日ハ本條ノ日数ニ計算セサルモノトス

附則  
 本規程ニ依ル電力消費規正ニ関シ需用者トノ間ニ紛争ヲ生シ協議整ハサルトキハ監督官廳ノ裁定ニ一任スルモノトス  
 本規程ハ昭和十九年十二月一日ヨリ実施ス  
 但シ昭和二十年一月檢針分マテハ訓練期間トシテ違反者ニハ警告ヲ共フルニ止ム

別表第一号表

電力消費規正需要区分表

第一種需用  
 一、軍直轄工場又ハ作業場  
 第二種需用  
 左ニ掲クル業種ニ属スル工場、事業場ニレテ監督官廳ノ指定シタルモノ

部	業	種	目	細	目
一、工	(一) 金屬工業	1、製鍊業			
	(二) 軍需品製造業	2、非鐵金屬製鍊業			
		1、兵器及兵器部分品製造業		(イ) 鉄道及軌道用車輛	

<p>四、其ノ他</p>	<p>三、農 業</p>	<p>二、交通通信其ノ他公 共事業</p>	<p>(三) 機械器具工業</p>
<p>(二) 食料品業</p>	<p>(一) 農 業 (一) 土木建築事業</p>	<p>(一) 通信業 (二) 其ノ他公共事業</p>	<p>(四) 化学工業</p>
<p>1、精粉、精米、精麥</p>	<p>1、脱 穀 業 2、灌 溉 業</p>	<p>1、製 藥 業 2、工業品製造業 3、代用液体燃料製造業</p>	<p>2、衣 種 製 造 業 1、車 輛 (含部分品及附屬品) 製 造 業 2、造 船 (含部分品及附屬品) 製 造 業 3、空 屬 工 業 機 械 製 造 業 4、航 空 機 (含部分品及附屬品) 製 造 業 5、ホ ン プ 製 造 業 6、電 線 電 纜 製 造 業</p>
<p>第一種並才ニ種ニ屬スル事 業並電氣事業ニ対スルモ ノニ限ル</p>	<p>(一) 通 信 業 (含放送事業) (二) 水 道 下 水 事 業 (三) 新 聞 通 信 事 業 (四) 医 療 機 關 (五) 教 育 及 研 究 機 關 (六) 火 葬 場</p>	<p>(四) 自 動 車</p>	

第三種需用  
第一種、第二種、第四種及第五種需用ヲ除ク其ノ他ノ需用ニシテ「甲類」並「乙類」ニ  
類別ス  
一、甲類 契約容量カ五〇キロワットヲ超過スルモノ  
二、乙類 契約容量カ五〇キロワット以下ノモノ  
第四種需用

部 門	業 種 種 目	細 目
一、電 燈		家庭用 營業用 街路燈 軍用及官廳用
二、照 明		(イ)(ロ)(ハ)(ニ) (ホ) (ヘ) (ト) (チ) (リ) (ニ) (ホ) (ヘ) (ト) (チ) (リ) ネオンサイン(公識標式用ノモノ) 電飾(屋内照明ノモノ並公共的催物ニ於テ臨時的ニ設スルモノ) 広告燈(看板燈並公共標式交通保安上必要ナル照明ヲ兼ヌルモノ) 屋外用投光器(交通用並作業用及体育訓練ノタメ使用スルモノ) 庭園燈(公園ニ施設スルモノ並外燈ノ用ヲ兼テ保安上必要ナルモノ) 多燈式街路燈(照明用又ハ保安上必要ナルモノ) 暖房用電熱器(医療用ノモノ) 調理用電熱器(既供給ノモノニ限ル) 家庭用電氣冷蔵庫 「註」本種別ノ動力トハ其ノ容量カ七五〇ワット以下ノモノニシテ民庶電氣使用條例ニ依ル動力料金ヲ適用セサルモノ
三、電 熱 並 動 力		

第五種需用

部	門	業種	種目	細目
一、照	明			(イ) ネオンサイン(公共標識用ノモノヲ除ク) (ロ) 電飾(屋内照明用ノモノ並公共的催物ニ於テ臨時的ニ施設スルモノヲ除ク) (ハ) 広告燈(看板燈並公共標識交通保安上必要ナル照明ヲ兼ヌルモノヲ除ク) (ニ) 屋外用投光器(交通用並作業用及体育訓練ノタメ使用スルモノヲ除ク) (ホ) 庭園燈(公園ニ施設スルモノ並外燈ノ用ヲ兼ホ保安上必要ナルモノヲ除ク) (ヘ) 多燈式街路燈(照明用又ハ保安上必要ナルモノヲ除ク) (イ) 電氣風呂 (ロ) 暖房用電熱器(治療用以外ノモノニシテ新設又ハ増設スルモノニ限ル) (ハ) 調理用電熱器(新設又ハ増設スルモノニ限ル) (ニ) 家庭用電氣冷蔵庫 (ホ) 庭園用電氣揚水ポンプ(公園ニ施設スルモノヲ除ク) (ヘ) エレベーター(傷病者運搬用並貨物運搬用ノモノ及地上三階以上ニ亘ルモノヲ除ク)
二、電熱並動力				

別表第二號表

電力消費制限段階表

種別	段階	第一種需用		第二種需用		第三種需用	
		電力量	日時制限	電力量	日時制限	電力量	日時制限
第一種需用	百分率	100	制限なし	100	尖頭負荷時 最小電力	100	尖頭負荷時 使用禁止
第二種需用	百分率	100	自発的尖頭負荷 時最小電力	100	尖頭負荷時使用禁止 隔週一回休電	80	尖頭負荷時使用禁止 毎週一回休電
第三種需用	百分率	100	同	100	同	80	同

註 本表ノ置向トハ日出時ヨリ日没時迄トス

別表第三號表

緊急電力制限段階表

種別	段階	第一種需用		第二種需用		第三種需用	
		電力量	日時制限	電力量	日時制限	電力量	日時制限
第一種需用	百分率	100	制限なし	100	尖頭負荷時 使用禁止	100	尖頭負荷時 使用禁止
第二種需用	百分率	100	自発的尖頭負荷 時最小電力	100	尖頭負荷時使用禁止 隔週一回休電	80	尖頭負荷時使用禁止 毎週一回休電
第三種需用	百分率	100	同	100	同	80	同

備考	第四種需用	同 上	同 上
<p>第一種、第二種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ二割程度トス</p>	<p>第三種、第四種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ三割程度トス</p>	<p>第四種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ三割程度トス</p>	<p>第二種ヨリ翌日大時ノ間ニ於テ一定時間ヲ限リ交互ニ供給ヲ停止ス</p>
<p>第四種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ三割程度トス</p>	<p>第四種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ三割程度トス</p>	<p>第四種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ三割程度トス</p>	<p>第四種需用ノ一回ニ停止スルハ尖頭負荷時ニ於ケル當該需用ノ三割程度トス</p>

(第一号様式)

昭和 年 月 日

天津居留民団

殿

休電日通知ノ件

今般電力需給ノ状況ニ依リ休電日ノ割当ヲ実施スルコトト相成貴方休電日ハ右記ノ通ニ有之候條御諒知相成度此段及御通知候也

記

一休電日 月以降

隔週一回

曜日



(第一號樣式)

昭和 年 月 日

天津居留民団

殿

休電日變更ノ件

今般電力需給ノ状況ニ依リ貴方休電日ヲ左ノ通變更致候條  
御諒知相成度此段及御通知候也

記

一、休電日 月以降 毎週 回 曜日

(第三號樣式)

基準電力協定書

天津居留民団ハ電力消費規正規程ニ基キ電氣需用者何某トノ間ニ其ノ使用スル基準電力量ニ  
關シ協定スルコトト左ノ如シ

協 定 筆 項

第一條 電力消費規程第九條ニ基ク基準電力屋ハ一月ニ付  
 第二條 全規定第七條ニ依ル電力屋使用限度 左ノ通トス  
 第一段 (基準電力屋ノ一〇割) 一ヶ月ニ付 全 全 全  
 第二段 (全) 一〇割) 全 全 全  
 第三段 (全) 九割) 全 全 全  
 第三條 本協定ノ有效期間ハ昭和 年 月 日ヨリ昭和 年 月 日マデトス  
 第四條 前條ノ有效期間中本需用者ノ生産又ハ作業状態ニ著シキ変動アルトキハ本協定ノ電力屋ヲ変更スルコトアルヘシ  
 右協定ノ證トシテ本書式通ヲ作製シ雙方記名調印ノ上各其ノ電通ヲ保持ス

天津居留民団長

(第四號様式)

昭和 年 月 日

天津居留民団御中

左記理由ニヨリ電力制限ノ緩和方御承認相成度此段及御願候也

電力使用場所	
設備容量	キロワット

契約容量	キロワット
基準電力	キロワット時
制限電力	キロワット時
緩和希望電力	キロワット時
緩和又ハ解除 ヲ必要トスル理由	
緩和又ハ解除 ヲ必要トスル期間	自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日

(第五表様式)

昭和 年 月 日	天津居留民団御中
左記理由ニヨリ電力供給相受度此後及御願候也	
電力使用場所	
需用電力種別	常時 臨時 既設 合計
電力装置概要	

生産品目	
電力使用ヲ必要トスル理由	
電力使用開始豫定期日	
規定実施上参考トナルルべき事項	

天津居留民団電力消費規正規程取扱細則

第一條 本細則ニ於テ規程ト稱スルハ天津居留民団電力消費規正規程ヲ謂フ

第二條 規程第二條ノ電力需用區分ハ之ヲ需用者ニ通知ス

第三條 規程第七條ニ依ルオ二種需用並オ三種需用甲類ニ対スル休電日ノ指定並変更ハ規程第一号様式並全オ二号様式ニ依リ之ヲ需用者ニ通知ス

第四條 規程オ九條オ一項オ一号ニ依リオ一種並オ二種需用ノ基準電力容量ヲ協定シタルトキハ規程オ三号様式ニ依リ基準電力容量協定書ヲ作製シ之カ證據トス

第五條 規程オ九條オ一項オ二号後段ノオ三種需用ニ対シ指定スル基準電力容量ハ其ノ契約容量ニキロワット当毎月電力容量ヲ當該地域ニ於ケル同業種ノモノノ契約容量一キロワット當実績電力容量ノ平均値トス

第六條 規程オ九條オ三種需用ノ基本電力容量ハ料金領收書ヲ利用シ之ヲ需用者ニ通知ス

第七條 規程オ十條ニ於テ下宿並集合住宅ハ住宅用トシ、学校、事務所、旅館ハ營業用、住宅用ト營業用トヲ兼ヌルモノハ之ヲ營業用トス

第八條 規程オ十條ノ電力消費限度ハ領收證ヲ利用シ之ヲ需用者ニ通知ス

第九條 規程オ二十四條オ一項オ一号ノ「之ニ依リ難キモノ」トハ左ノ如キモノノ中真ニ晝夜間供給ノ必要アルモノニ限ルモノトス

1. 藥品製造用
2. 電解精鍊並製造用

る、冷凍用

4、酵母備用並酵母用

5、衛生設備用

第十條 規程第二十五條第一項第一部門ノ電灯ハ一室一灯トシ其ノ容量ハ六〇ワット以内ヲ

原則トス

第十一條 需用者所定ノ限度ヲ超過シテ電カヲ使用シタルトキハ警告ヲ發スルモノトス

第十二條 規程第三十條ニ依ル休電日ノ増加指定又ハ送電停止ハ違反回数三回以上ニ及ビタ

ルモノニ適用スルヲ原則トシ民団長ノ裁定ニ依リ之ヲ実施ス

第十三條 規程才二十八條乃至第三十條ノ規定ハ軍並官廳ニ対シテハ之ヲ適用セズ

### ○規程改正

(一) 居留民団吏員休職規程中改正 (昭和十九年三月廿八日改正 全 年四月一日施行)

一、第五條中「但シ戰時若ハ爭變ニ際シ陸海軍ニ召集セラレ軍衛ヨリ給與ヲ受クル場合其ノ給與額本職給與額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ補給スレトアルヲ削除ス

(二) 居留民団旅費規程中改正 (昭和十九年三月二十日改正 全 年四月一日施行)

一、第十六條 左表ヲ左記ノ通り改ム

左 表

階級	支給區分	汽車賃	船賃	船賃	船賃	船賃	船賃	船賃	船賃
第一等	支 給 區 分	汽 車 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃
第一等	支 給 區 分	汽 車 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃
第二等	支 給 區 分	汽 車 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃
第三等	支 給 區 分	汽 車 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃
第四等	支 給 區 分	汽 車 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃	船 賃

註

一、隨行者ノ汽車賃 汽船賃ハ其ノ身分ニ拘ハラズ隨行セララルル者ノ等級ト同額ヲ支給スルコトヲ得

二、二等船賃ヲ支給セシムルモノニシテ二等室ノ設備ナキ場合ハ一等ノ最底賃金ヲ又特等並等ノ二階級ノミントキハ特等賃金ヲ支給ス

三、汽車賃ノ外急行券ヲ要スルトキハ其ノ実費ヲ支給ス

(三) 天津居留民団處務規程中改正 (昭和十九年三月七日改正 同年三月十日施行)

- 一、第一條序列中
- 1、翼贊部ヨリ「組織課」ヲ削除シ全部総務課企劃係ノ次ニ「區政係」ヲ加フ
- 2、翼贊部ノ次ニ「防護部防護課」ヲ加フ

三、第三條事務分掌中

一、総務部庶務課庶務係才十八号「自動車」ニ関スル事項ヲ削除シ以下順次号数ヲ繰上

ク

二、財務部前理課主計係ヨリ才一号「豫算」ノ精成ニ関スル事項ヲ削除シ才二号「豫算」ノ通達経

理ニ関スル事項ヲ才五号補助及寄附ニ関スル事項ニヨリ削除シ、同部会討課司計係へ才

一、才二、才三号トシテ転入セシメ各号数ヲ順次繰上ケ又ハ繰下ク

る、賀賀部総務課企副係ノ才ニ區政係ヲ加ヘ其ノ分掌事項ハ現行ノ通りトシ、全部組織

課ヲ削除ス

四、賀賀部ノ才ニ防護部防護課ヲ加ヘ事務分掌事項ヲ左ノ通りトス

防護部

防護課

一、防空諸対策ニ関スル事項

二、非常変災時ニ於ケル諸対策ニ関スル事項

三、防護団ニ関スル事項

四、義勇隊ニ関スル事項

五、隣組防空班ニ関スル事項

六、自動車ノ使用税制、保存、監督ニ関スル事項

(四) 天津日本図書館々則中改正 (昭和十九年四月廿一日改正)

一、第五條才一号才一項中「二十圓券四十銭」トアルヲ削除ス  
二、第五條才一号才一項中「五円」トアルヲ「二十円」ト改ム

(五) 居留民団例規中字句改訂 (昭和十九年四月廿一日改訂)

(昭和十九年四月廿一日施行)

一、本居留民団例規中「天津興亜第一區」トアルヲ「天津特別市才一區」(舊興亜才三區)ヲ除ク

(六) 天津居留民団處務規程中改正

(昭和十九年五月十九日改正  
全昭十九年五月十五日施行)

一、第一條ヲ左ノ通り改ム  
第一條 天津居留民団ニ凡ソ所屬序列ニヨル部院館所課係ヲ置ク、但シ院館所ノ處務規程ハ別ニ之ヲ定ム

總務課

秋務係

庶務係

人事係

監査係

經濟課

企劃係

配給係

生計係

河北出張所

財務部

計理課

團債係

財產管理係

稅務課

個人事業係

勤勞係

法務係

間稅係

會計課

主計係

會計係

徵收係

用度課

企劃係

購買係

物品係

金融部

學務部

學務課

學事係

學校體育係

職員係

圖書館

教育博物館

翼贊部

庶務課

區政係

軍人接護係

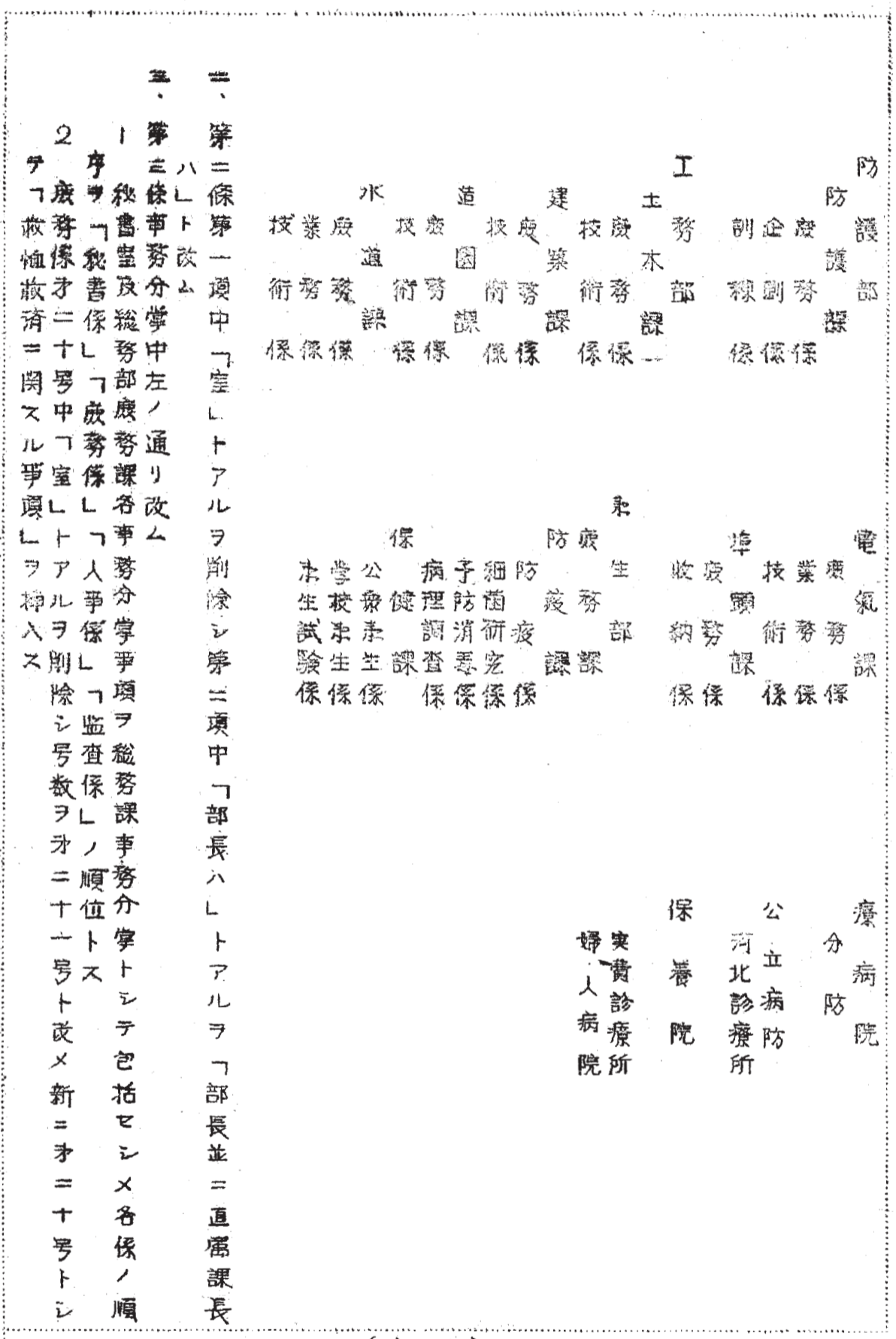
鍊成課

鍊成係

協力係

協勵係





3 文書係及會議係各事務分掌事項ヲ庶務係中ニ包括セシメ号數ヲ順次繰下グ

4 經濟課

企劃係

- 一 生活必需品供給計画ニ関スル事項
- 二 生活必需品價格調査及統計ニ関スル事項
- 三 生活必需品消費量調査ニ関スル事項
- 四 配給統制並統制方策ノ調査ニ関スル事項
- 五 消費經濟ノ改良指導ニ関スル事項
- 六 物價其他一般經濟事情ノ調査ニ関スル事項
- 七 文書ノ收受並發送ニ関スル事項

配給係

- 一 生活必需品ノ配給ニ関スル事項
- 二 生活必需品ノ切符制実施ニ関スル事項
- 三 生活必需品配給機關ノ連絡指導ニ関スル事項
- 四 配給切符ノ回収檢査並整理ニ関スル事項
- 五 生活必需品配給実績調査ニ関スル事項

生計係

- 一 居留民団食堂管理並運営ニ関スル事項
- 二 居留民生計所管理並運営ニ関スル事項
- 三 居留民生計所關係団体ニ関スル事項
- 四 團營貸家ノ管理並使用ニ関スル事項

5 計運課主計係事務分掌事項才一号及才二号ヲ天々才大号才七号トシテ財産管理係中ニ輸入ス

6 稅務課事務分掌ヲ左ノ通り改ム

稅務課

勤勞係

- 一 勤勞所得稅納稅義務者及所得金額ノ調査ニ關スル事項
- 個人係

- 一 個人事業所得稅不動產所得稅及乙種配當利子所得稅納稅義務者及所得金額調査ニ關スル事項
- 個人營業稅納稅義務者及課稅標準額調査ニ關スル事項

法人係

- 一 法人所得稅納稅義務者及所得金額調査ニ關スル事項
- 二 法人營業稅納稅義務者及課稅標準額調査ニ關スル事項
- 三 甲種ノ配當利子所得ニ關スル事項

間稅係

- 一 遊樂飲食稅納稅義務者及課稅標準額調査ニ關スル事項
- 二 特殊營業者及經營者調査ニ關スル事項
- 三 土地稅及家屋稅納稅義務者並課稅標準額調査ニ關スル事項
- 四 土地台帳及家屋台帳ニ關スル事項
- 五 地籍整理ニ關スル事項
- 六 土地建物ノ價格評價ニ關スル事項

共通事項

- 一 申告書及支辨調書ノ受理並精査ニ關スル事項
- 二 居留民團稅ノ減免並異議申立及通脫ノ檢査ニ關スル事項
- 三 居留民團稅其ノ他稅務諸統計ノ蒐集並整理ニ關スル事項
- 四 居留民團稅調査委員會、同審査委員會及日本人士地建物課稅標準額評價委員會ニ

關スル事項

五 税源調査ニ関スル事項  
六 居留民會議員選挙名簿調製ニ対シ資料供給及連絡ニ関スル事項

七 會計課司計係、審査係各事務分掌事項ヲ主計係トシテ包括セシメ左ノ通り改ム

八 同課出納係事務分掌事項中策ニ号トシテ「吏員諸給共支出」統ニ關スル事項トシテ「簿調製ニ関スル事項」第十号トシテ「其他會計ニ關スル事項」ヲ挿入シ各号教ヲ順次繰下ケ係ヲ會計係ニ改ム

九 出納係ノ次ニ「徴收係」ヲ挿入シ現稅務課徴收係事務分掌事項ヲ転入ス  
徴收係事務分掌事項中現ヲ六号ノ次ニ「才七号」トシテ「納稅証明」ニ關スル事項「ヲ挿入シ以下号教ヲ順次繰下ク

十 翼賛部事務分掌ヲ左ノ通り改ム

翼賛課

庶務係

- 一 部ノ文書、人事、予算、經理ニ關スル事項
- 二 興亞運動ノ普及宣伝、情報蒐集並ニ資料調査ニ關スル事項
- 三 文化運動並ニ文化機構ノ整備強化ニ關スル事項
- 四 今下団体ノ統制並ニ連絡指導ニ關スル事項
- 五 日華善隣會ニ關スル事項
- 六 社会教化事業ニ關スル事項
- 七 部内他課係ノ主管ニ屬セサル事項

逓政係

- 一 區政ノ強化、補充、助成、指導ニ関スル事項
- 二 區長常会、區書記長常会等ノ運営ニ関スル事項
- 三 區ノ予算、決算並補助ニ関スル事項
- 四 翼賛國民票ノ整備ニ関スル事項
- 五 諸行事ニ関スル事項
- 六 報國団体ノ実践指導ニ関スル事項
- 七 國民生活ノ經濟、厚生、生産、貯蓄ノ刷新指導ニ関スル事項
- 八 華語講習所運営ニ関スル事項

軍人接護係

- 一 一般軍人扶助及接護ニ関スル事項
- 二 軍人家族教導慰安ニ関スル事項
- 三 傷痍軍人ニ関スル事項
- 四 英靈送迎ニ関スル事項

練成課

練成係

- 一 國民精神ノ昂揚並國民思想ノ統一ニ関スル事項
- 二 錬成ノ企画並施設ニ関スル事項
- 三 壯、青、少年団(隊)ニ関スル事項

体力係

- 一 國民、武道、体育ニ関スル事項
- 二 体力章、武道章檢定ニ関スル事項
- 三 居留民体育行事ニ関スル事項
- 四 各種運動場ノ維持並管理ニ関スル事項

目、工務部土木課設計係及工事係ノ事務分掌事項ヲ技術係トシテ包括シ各号数ヲ順次繰下ク

12、全部建築課設計係、工事並營繕係ノ事務分掌事項ヲ技術係トシテ包括シ各号数ヲ順次繰下ク

13、同部公園係事務分掌ヲ左ノ通り改ム

造園課  
庶務係

- 一 課ノ文書取扱、編纂並ニ保管ニ関スル事項
- 二 工事費ノ予算決算ニ関スル事項
- 三 材料及物品ノ請求、出納、保管ニ関スル事項
- 四 統計及報告ニ関スル事項
- 五 其ノ他課内他係ニ属セサル事項

技術係

- 一 練成体育場、學校、團營住宅、更寮宿舍ノ造園施設管理ニ関スル事項
- 二 特殊造園施設ニ関スル事項
- 三 苗圃ニ関スル事項
- 四 造園計畫設計施工ニ関スル事項
- 五 委嘱造園ニ関スル事項
- 六 農園経営ニ関スル事項

(七) 居留民団傭人規程中改正

昭和十九年五月十九日改正  
全 年四月一日施行

一、第三條中「月俸七十五円以内、日給三円五十銭以内」トアルヲ「月俸百円以内、日給四円以内」ト改ム

二、第三條中「家族持ニアリテ八月額十円、獨身者ニ八月額三円」トアルヲ「家族持ニアリテ八月額二十五円、獨身者ニアリテ八月額十五円」ト改ム

三、第四條ヲ左ノ通り改ム

第四條 傭人滿三ヶ年以上勤続シ居留民団長ニ於テ成績佳良ナリト認ムル者ニ對シテハ  
精勤加給トシテ滿三年ノ者ニ對シテハ月額ニ四円ヲ支給シ以上勤続年數一ヶ年ヲ増ス毎  
ニ三円ヲ加フ  
但シ精勤加給ノ支給ヲ受クル者ニシテ居留民団長成績佳良ナラスト認メタル時ハ其ノ  
支給ヲ停止ス

四、第五條ヲ左ノ通り改ム

第五條 傭人ヨリ引続キ雇員ニ登用セラレタル者ハ雇員ニ登用セラレタル前日ヲ以テ退  
職シタルモノト看做ス

五、附則ニ左ノ一項ヲ加フ

附則 (昭和十九年四月一日改正)  
本規程改正ノ際第五條ニ該當シ現ニ雇員以上ノ資格ヲ有スル者ノ勤続年數ニ付テハ仍從  
前ノ規程ニ依ル

(八) 居留民団吏員特別手当支給規程改正

(昭和十九年五月十九日改正  
全 昭和十九年四月一日施行)

一、第四條中「專任囑託」トアルヲ削除ス

二、第五條ヲ左ノ通り改ム

第五條 傭人(中國人)ニ對シテハ俸給月額中五〇円迄一五割、五一円ヨリ一〇〇円迄  
ノ額ニ對シ一〇割ヲ支給ス

(七) 居留民団旅費規程中改正

昭和十九年七月二十一日改正  
全 昭和十九年七月二十二日施行

一、第十六條表註ニ左ノ一項ヲ加フ  
「四、中國内出張ノ場合ハ右表規定宿泊料ノ五割ヲ加給ス」

(十) 天津居留民団處務規程中改正

昭和十九年九月十一日改正  
年九月十一日施行

一、第一條才一項中「院、館、所」ノ「院」ヲ削除ス

二、全條學務部學務課中「學校体育係」ヲ削除シ左ノ課、係ヲ加フ

保健課

庶務係  
企副係

學校体育係

全條中未生部庶務課以下婦人病院マテヲ削除ス

三、第二條才一項中「部、院、館、所」ノ「院」ヲ削除ス

全條才二項中「並ニ直屬課長」トアルヲ「並ニ直屬課所長」ニ「其ノ部ニ屬スル事務」

トアルヲ「其ノ部課所ニ屬スル事務」ト改ム

全條才三項中「院長(部長待遇)」及「院務」トアルヲ削除ス

全條才四項中「院長(課長待遇)」所長トアルヲ削除ス

全條才五項中「院長」トアルヲ削除ス

全條總務課人事係事務分掌中第六号及才七号ヲ左ノ通り改ム

六、宿舍配當ニ關スル事項

七、宿舍備品ノ配當並ニ保管ニ關スル事項

全條經濟課生計係事務分掌中才四号「團營貸家ノ管理並ニ使用ニ關スル事項」トアルヲ

削除ス

全條財務部計理課財產管理係ニ左ノ事務分掌事項ヲ加フ



- 八、 田舎買家ノ管理並ニ使用ニ関スル事項
- 九、 借上宿舍ニ関スル事項
- 十、 宿舍ノ修繕手續ニ関スル事項
- 十一、 宿舍備品ノ修繕手續ニ関スル事項

四、

第三條中學務部學務課「學校体育係」以下事務分掌事項全文ヲ削除ス  
 全條學務部ニ保健課ヲ加フ、各係事務分掌事項左ノ通り

保健課

庶務係

- 一、 課ノ文書取扱、編纂並ニ保管ニ関スル事項
- 二、 課ノ學校医、學校藥劑師、學校齒科医、學校看護婦ノ人事ニ関スル事項
- 三、 學校衛生予算ニ関スル事項
- 四、 學校衛生視察並ニ連絡ニ関スル事項
- 五、 學校衛生対策協議会ニ関スル事項
- 六、 學校衛生材料ノ整備、保管、監督並ニ配給ニ関スル事項
- 七、 其ノ他課ノ庶務ニ関スル事項

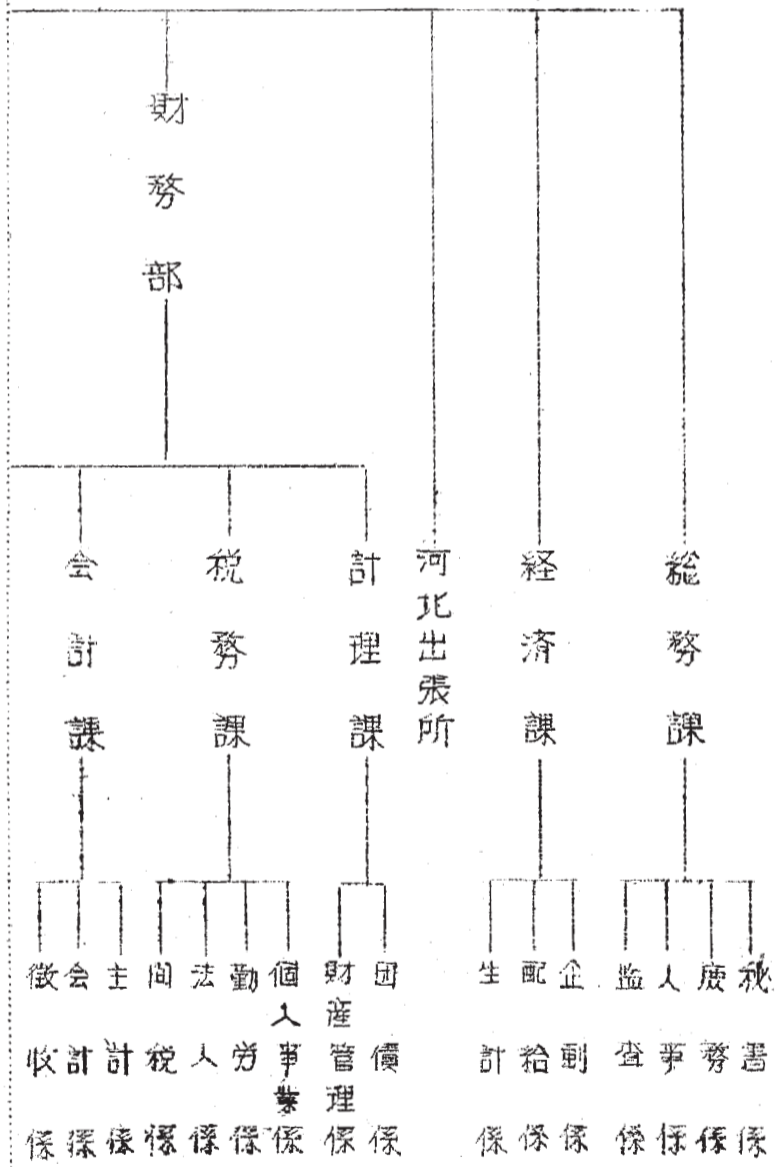
企劃係

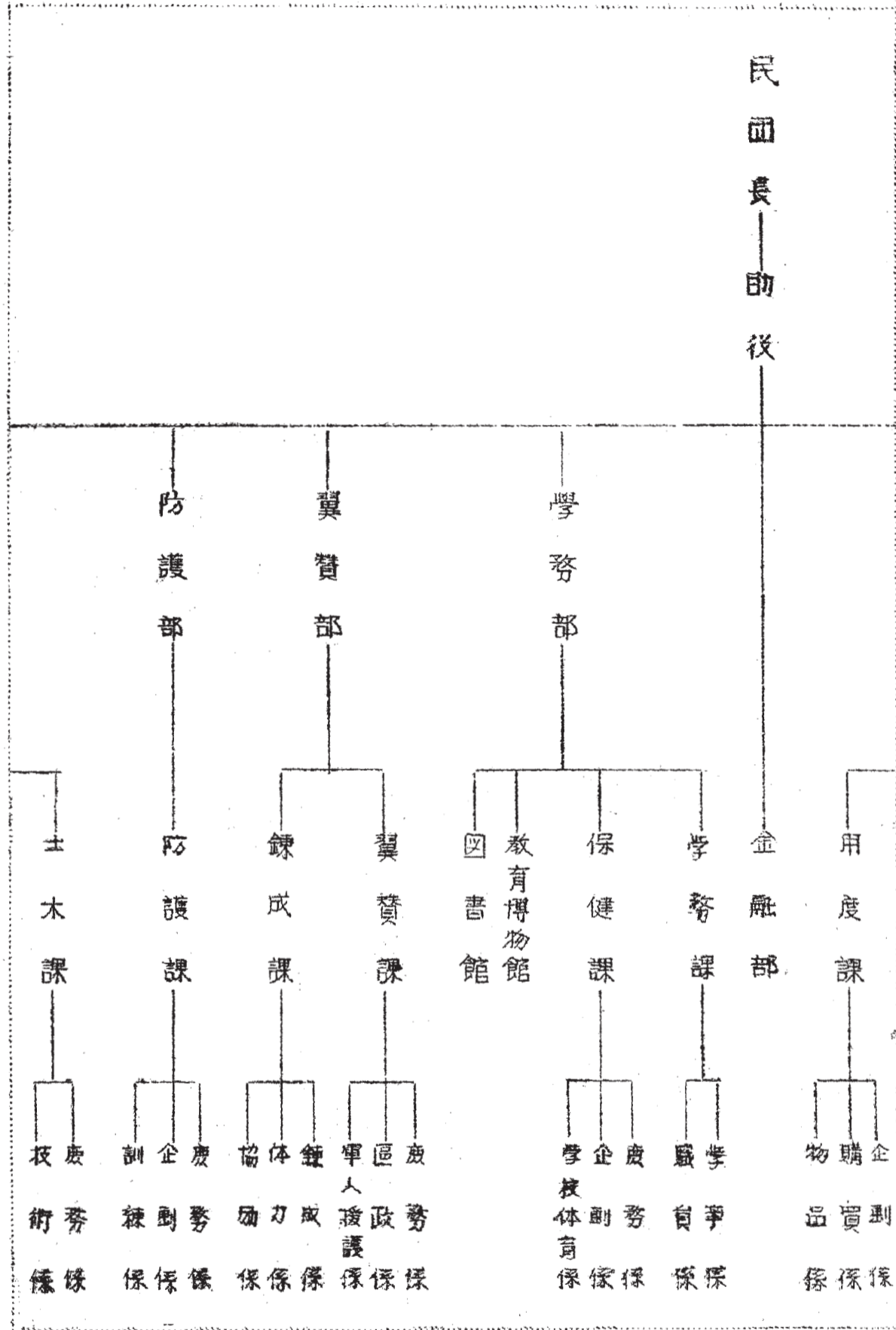
- 一、 學校給食ニ関スル事項
- 二、 看護訓導及學校看護婦ノ指導教育ニ関スル事項
- 三、 臨海學校衛生ニ関スル事項
- 四、 學校伝染病予防ニ関スル事項
- 五、 學校清潔方法ニ関スル事項
- 六、 學校身体検査ニ関スル事項
- 七、 學校青少年体力検査ニ関スル事項
- 八、 學校体力章検定ニ関スル事項
- 九、 其ノ他學校衛生上ノ諸統計ニ関スル事項

- 學校体育係
- 一、青少年団ニ関スル事項
  - 二、學校体育設備並ニ施設ニ関スル事項
  - 三、教職員体育講習会ニ関スル事項
  - 四、教職員ノ体育ニ関スル事項
  - 五、學校体育諸統計ニ関スル事項

天津居留民団機構

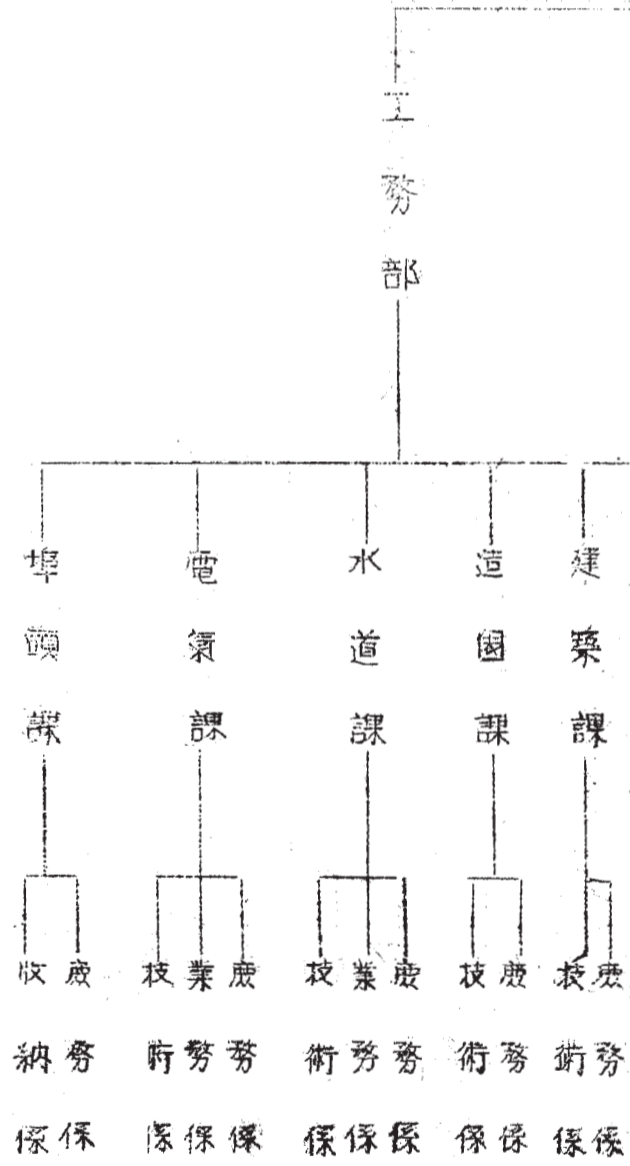
(昭和十九年九月十二日現在)





(七十五)

會計主任



(十一) 天津日本図書館々則中改正

(昭和十九年十二月十九日改正  
全三十年一月一日施行)

一、第五條第一号有料閲覧券第一項館内閲覧券中「一回券五銭」トアルヲ「一回券拾銭」ト改ム

二、同條同号才二項圖書帶出券(イ)目中「二十円」トアルヲ「五十円」ト改メ(ロ)目中「三円」トアルヲ「十円」ト改ム

○ 規程廢止

(一) 水災復興資金關係規程並ニ細則廢止 (昭和十九年四月廿一日決議  
全 昭和十九年四月廿一日廢止)

一、水災復興資金特別令計施行規程 (昭和十五年二月二日制定)  
一、水災復興資金貸付條例施行細則 (昭和十四年十月十八日制定)

(三) は○文書の後に記す

○ 居留民團關係館令及告示

- 一、中華民國ニ於ケル日本臣民ニ對スル中華民國稅法ニ關スル告示
- 一、在留帝國臣民及帝國法人調査ニ關スル告示
- 一、在留邦人調査ニ關シ安瀾ノ告示
- 一、個人所得稅非課稅所得指定告示
- 一、勞務等臨時調整規則制定告示
- 一、中華民國租稅代徵規則ニ於テヨル民團稅民會課金指定告示
- 一、個人所得稅ニ關スル告示
- 一、在外指定學校職員給與臨時手当ノ支給額ニ關スル告示
- 一、日本人土地建物課稅標準調査委員會設置ノ告示
- 一、天津防空地区内ニ於ケル燈火準備管制ニ關スル告示
- 一、不動産所有權ニ關スル告示
- 一、代徵稅納入期限及納入場所ニ關スル告示
- 一、中華民國ニ於ケル日本臣民ニ對スル課稅修正ニ關スル告示
- 一、居留民團會議員補選任ノ告示
- 一、民會議員補選任ノ告示

- 一、全計検査委員補選選舉認可告示
- 二、法人所得計算ニ関スル告示
- 三、居留民団許認可ノ任期等ニ関スル特例ノ告示
- 四、敵國ノ所有財産清算ニ関スル告示
- 五、民団法施行規則才八条民団會議員選任告示
- 六、大東亜省令才二十二号才一項才ニ号民団會議員選任告示

○ 文 書

一、文書取扱件数

昭和十九年中に於ける文書取扱件数及種別左記の如し

(一) 文書收受及発送件数

種別	收 受	親展文書	発 送
件 数	二、三、〇、〇	一、八	一、六、七、六

(二) 郵便物発送件数

種別	用封	普通	快信	平快	書留	快信書留	ハガキ	小包配達料	計
件 数	三、一、七、〇	一、四、七、八	一、六	四	一、八、五	一、五	六	三、三、四、五	

(三) 有價證券取扱件数

昭和十九年中に於て文書附帯として取扱ひたる有價證券取扱件数左記の如し

(四)	圖書收受件数	件数	金額
	收受有價証券	五 四	一、二、九、八、三、三、九
(五)	公広告取扱件数	件数	
	種別	件数	但し日刊を含まず
	雑誌刊行物	三〇〇	
	公告	八〇	
	廣告	一	
	計	八〇一	
(六)	文書編纂保存事務		
	昭和十九年十二月末日現在迄に引継を受けたる文書の頁数左記の如し		
	種別	現在数	部課留置数
	件数	七、七、二、七	一、八、二、九
			廃棄数
			〇
			但し証憑書類を含まず
(七)	決裁文書取扱件数	件数	
	件数	二、二、四、五	
(八)	浄書件数	件数	
	件数	三、四、四、八	
(九)	製本件数	件数	

(七十九)

種別	條數	複製本	ラウス製本	計	裁斷
	四一八	三五四	四〇	八一三	七一

○ 規程 廃止 (三)

(一) 天津居留民団衛生関係諸規程廃止 (昭和十九年六月三十日決議 全 年七月一日廢止)

- 一、天津日本療病院規程 (昭和八年三月二十九日制定)
- 一、不健康業務手当給與規程 (昭和十八年八月二十七日制定)
- 一、ペスト病豫防救治ニ従事スル吏員臨時手当給與ノ件 (明治四十四年二月二十二日制定)
- 一、ペスト病感染死亡吏員及臨時傭員手当ノ件 (明治四十四年三月三日制定)
- 一、伝染病豫防救治手当給與給程 (昭和十八年八月二十七日制定)

○ 選 挙

七月廿七日大東亜省令ヲ二十二号を以て「居留民會議員ノ任期延長」等ニ関する左の如き  
 通達あり同通達に基き昭和十九年十月一日を以て調製すべき天津居留民會議員選挙人名簿は  
 本年も之を調製せず

大東亜省令 才二十二号  
 昭和十九年七月廿七日

大東亜大臣 重光 葵



居留民公議員ノ任期ニ關シテハ当分ノ内左ニ掲クルトコロニ依ル  
 一、現任議員ニシテ選挙ニ依ルモノ、任期ハ之ヲ延長ス  
 二、居留民団法施行規則才二十九條ノ補缺選挙ハ之ヲ行ハス  
 領事ノ選任ニ依リ其補缺ヲ補充スヘシ  
 有項ノ規程ニ依リ選任セラレタル議員ハ居留民団法施行規則才二十九條ノ規程ノ適用  
 ニ付テハ之ヲ選挙ニ依ル議員ト看做ス  
 三、選挙ノ人名簿ハ之ヲ調製スルコトヲ要セス  
 附則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(十二月末現在納税者概數(有権者)に就ては稅務課報告参照)

○ 人 事

(一) 居留民団吏員幹部一覽表

本年末に於ける長、副長、副長、會計主任及幹部級氏名花の如し

居留民団長	白井 三	助後 上	原 珍
會計主任	馬渡 三	財務課長	島 一
警務部長	堀 謙	翼贊部長	村 利
防務部長	住 田 新	工務部長	川 端
總務課長	鹿 田 新	經濟課長	桑 原
計理課長	藤 月 義	稅務課長	遠 藤
會計課長	小島射務部長兼	用度課長	市 橋
手取部長	瀧澤 逸	學務課長	中 野
			義 男
			茂 胤
			雄 吉
			郎 二

博物館長 堀誠学務部長兼務  
 翼賞課長 吉村嘉直  
 土木課長 増淵豊治  
 造園課長 池田忠男  
 電氣課長 花村時雄  
 河北出張所長 半田実  
 代理長

圖書館長 堀誠学務部長兼務  
 煉成課長 中村翼賞部長兼務  
 建築課長 大野虎太郎  
 水道課長 熊田健次郎  
 埠頭課長 平木太市

(二) 唐留民団吏員

本年中に於ける吏員の採用及退職数並に本年未現在数左の如し

○ 採用 (資格変動に依る増員を含む)

主事	六	技師	四	主事補	一一	技師補	三
書記	三八	技手	七	書記補	二八	技手補	一六
雇員	九二	嘱託	三三	休職	三五		

計 二六三 (実採用数一五一)

○ 退職 (資格変動による減員を含む)

主事	大	主事補	一〇	技師補	四	書記	三八
技手	七	書記補	四一	技手補	一〇	雇員	三八
嘱託	六	休職	四				

計 二一四 (実退職数一〇二)

(唐生関係職員ハ唐生事業経営を財団法人同仁会に委託せるに伴ひ六月三十日全員退職)

寸)

○ 現在 員 数 (民団長、助役、会計主任を除く)

主 事	一 四	技 師	一 七	主 事 補	一 一	技 師 補	一 四
書 記	一 六 三	技 手	一 二 七	書 記 補	二 八	技 手 補	一 三
權 員	一 一 〇	嘱 託	三 五	休 職	三 八		

計 三 三 五

### ○ 総 務 雜 記

#### (一) 天津特別市區制改正

天津特別市が日本租界を始め各國租界の還附を受けてから、其の地區名は暫行的に舊日本租界を興亞才一區、舊英國租界を興亞才二區、旧佛團租界を興亞才三區と命名せられて居つたが、昭和十九年四月一日より從來の十二區かたの八區に包含せられ此れに依り名実共に統一せる區制が布かれる事となつた。

第一區 興亞才一、才三區及八里台道路と興亞才二、才三區の境界線を延長した線との二辺に囲まる三角地帯を含むものである。

第二區 旧日本租界及旧管外地、旧佛租界及老西開は一律に將來「天津特別市才一區」と稱する譯である。

第三區 特二區、特三區及金鐘河以南、京山線西側及特二區に北接する第五區の一部を含む地區。

第四區 金銅橋を最南基点とし、北運河を西境界とし、金鐘河を南境界とする旧才五、八區の一部を含む本市北部地區。

第五區 金鐘橋以南京山線以東の旧才七、才五區の一部を含む本市東部地區。

第五區 特三區及旧才七區の京山線以西、白河以東地區を含む本市東南部

第六區 新才一區に隣接する八里台道路以東の地區で旧興亞才二、特一の兩區及旧才二才大

第七區 龍湯橋、西營門を結ぶ直線道路以南に新才一、西部に位し旧才一、

第八區 金湯橋を最東端端とし北運河以西、新才七區に北隣する本市西北地區で旧才三區

を中心に旧才一、才二、才八、才九區の一部を含む地區

旧伊太利租界はパトリオ政權の反逆以來、一時中國に於て接收し特管區として特殊行政を布

ひて居たが昭和十九年八月十七日天津市政府大礼堂で租界返還議定書調印式が挙行され改め

て才二區に編入された。尚旧英、魯租界内街路の番号呼稱は兩租界内に同番号ありて種々不便を感ずるので昭和十九

年六月一日改正更に今年十一月八日現在の如く改正された。但し旧日本租界街名は租界返還

の際に於ける中國側言明通り従前の儘である。

(二) 財団法人共立學校移管の件

従来天津共立學校に對しては居留民団より年々經費補助をなし居りたるも同校の經營一切

が昭和二十年より上海財団法人東亞同文會に移管せらるゝ事となりたるにより昭和十九年

度に於ては年度当初補助金一萬八千円、十二月校舍増築費補助として九千五百八拾円を寄附

し之を以つて本年度限り補助を打ち切ることゝなつた。

(三) 居留民団事務所疎開

時局下居留民団事務所一部の早急疎開を要するに至りたるは八月十日才二十一

回臨時奉事會に於て此の議を决し、遇々天津日本幼稚園を休園する事となりたるは依

り全國建物を利用する事となり、八月二十日防護、土木、建築、調理の四課の疎開を

完了せり、爾後同所を天津居留民団分廳舎と稱す。

## 第二 經濟課

### 一、配給關係

#### (一) 食糧米配給(定時)

- (イ) 五月より従来実施中の混合米、現地米、南方米の三本建配給制を廃止せられ混合米一本建となる。
- (ロ) 七月より従来の大入(甲、乙)老人、小人、幼児の四段制撤廃となり、大人(七才以上)一升、小人(七才未満)六升の二段制とより次の割合で配給実施せらる。
 

混合米	大人月一人当	九升	小人月一人当	五升
麵粉	〃	一升	〃	〇・五升
雜穀	〃	一升	〃	〇・五升
- (ハ) 七月一日 生活必需品購入通帳を発行、尚重点配給制実施により一、二、三類に区分発行す  
七月より類別制撤廃となり新しく開發生必關係と一般生必關係の二種に區分せらる。
- (ニ) 十月一日 食料米配給價格の変更  
米、麵粉、雜穀共一升ニ付一月九十圓
- (ホ) 十一月一日 食料米配給價格の変更  
米、麵粉、雜穀共一升ニ付一月五十圓
- (ヘ) 十二月より各飲食店に対する配給量を改定実施す

#### (二) 米穀配給統制状況

(八十五)

月 别	購買通帳発行数	購買通帳発行数
一 月	二、六〇五	一六、七五二
二 月	二、三三七	一七、〇一一
三 月	二、三九五	一六、二三三
四 月	二、三一一	一六、五七三
五 月	二、三三五	一六、四二五
六 月	二、四七一	一六、四四八
七 月		
八 月		
九 月		
十 月		
十 一 月		
十 二 月		

(二) 味噌醬油配給

(1) 七月より生火通帳による定時配給実施

味噌 一人二付 百五十文 價格 百文二付 二十八文  
 醬油 五合 一升二付 一兩四十文

(2) 十二月配給(第五回)より價格改正

味噌 百文二付 五十文 醬油 一升二付 二円

(三) 砂糖配給(定時)

(1) 七月より十月迄重点配給制実施

一類ニ橋スルモノ 一人二付 百二十文

二類 ” ” ” ” ” ” 百文

三類 ” ” ” ” ” ” 八十文

(2) 一月より五月迄家庭用砂糖購買台帳による配給

一人百文 價格百文二付 四十五支  
 二月(三日-九日)市販砂糖販売價格 二十支一包 一円八十五支 ガラ白糖 一円六十支  
 六月より生火通帳により配給 一人百文 百文三付 七十五支  
 九月より 一円五十支

(ハ) 十二月分と共に正月用一人当百文の増配あり

十二月(二十一日-二十六日)非常用水糖 一人当 二十支配給

價格 百文三付 一円五十支

十二月(二十四日-三十日)市販砂糖販売

一人当 半市斤 白糖半市斤二付 二十五円

(四) 石鹼 (定府) 配給実績

四月二十五日-五月六日 登録制 三号洗濯一個 三十三支

八月五日-十日 生火通帳 一号 一円三十支

九月十八日-三十日 牛印洗濯一個 三円三十五支

十月一日ヨリ出産見用化粧洗濯石鹼 價格一個二付 一円二支

十一月一日-十五日 生火通帳 牛印洗濯一個 三円三十五支

十二月十五日-二十五日 星龍印一個 二円七十五支

特殊機構 洗濯機 一個 一円

(五) 乳幼児用粉乳

(1) 五月十五日-三十一日 内地製調整粉乳配給 但半月分

價格 一封度 三円七十支 (砂糖加入量 一五%以下)

三円三十三支 (二五%以下)

(ロ) 六月七日—十二日 六月分配給(七月分以降略)

六月十三日 現地産粉乳斡旋、即ち内地製粉乳配給票使用者に対し別に購入票交付  
上罐に付 二十二円三十支

(六) 纖維製品配給

(イ) 五月より新切符による定量制配給を実施  
配給数量は点数制として昭和二十年六月迄の分一人当(男、女、小人の區別なく)総点数  
四十五点とす  
但品目別に点数を規定し自由選擇とす

(ロ) 火災其他による罹災者用 蒲団綿

火災に逢ひ蒲団を焼失せる同一戸籍内の家族二名以上の邦人家庭に対し一人当 三貫五百匁を  
一回限り配給、但家族二名以上と雖十才以下の者に対しては一人に付二貫匁とす

(ハ) 妊産婦用蒲団綿

妊娠八ヶ月以上の妊産婦に対し産見蒲団用として

初産見ノ場合 一貫五百匁  
再産見ノ場合 一貫匁

但し昭和十九年八月一日以降妊娠八ヶ月に達せる者にも適用す

(ニ) 八月臨時購入券により浴衣地を一世帯に付一反宛配給  
数量不足の為區割当とす、一反の切符点数十、一反三十四円

(ホ) 妊産婦用として妊娠五ヶ月目に妊産婦用綿製品購入券(一枚四十五点)を交付せり



(七) 燐寸定時配給 (才三四より生必通帳による)

才一圓 三月一日—三十一日	功符制	一人当九個 (一、二、三月分)	一個 五錢
才二圓 五月三日—十五日	登錄制	一人当六個 (四、五月分)	"
才三圓 八月二十六日—九月九日		一人当一類 十五個 (六、七、八月分)	" 十錢
		二類 九個 (〃)	" 十錢
		三類 九個 (〃)	" 三十錢
才四圓 十月二十日—三十一日		一人当 一類 五個 (九月分)	"
		二類 三個 (〃)	價格同前
		三類 三個 (〃)	"
才五圓 十二月二十五日—一月十日		一人当 六個 (十一月分)	一個 三十錢

(八) 塵紙定時配給

才一圓 八月十六日—三十一日	一人当 三百枚 (四、五、六月分)
東花紙 一号品	百枚 四十八錢
塵紙 二号品	百枚 四十三錢
三号品	百枚 三十六錢
才二圓 十二月二十五日—一月十日	一人 二百枚 (七、八月分)
塵紙	百枚二付 二百三十錢

(九) 清酒定時配給 (空瓶引替)

才一圓 七月二十九日—八月七日	一類 一人 一升	一升三付 八円九十錢
	二類 一人 一升	五合
	三類 一人 一升	

第一回	十月七日—十日	一人二付 一升	一升二付 十一円五十銭
第二回	十月二十六日—三十日	特配 天津神社秋祭に際し一隣保班	二升 一升三付 三十円
第三回	十一月二十九日—三十一日	一人二付 三升	一升二付 十一円五十銭
他ノ一升二付 三十円			
十二月二十九日—三十一日 區長、隣保班長特配一本宛 一升 三十円			
第四回	十二月二十九日—三十一日	正月用特配	

七世帯を含む區割当とす

(十) 麥酒定時配給 (空研引替)

対照—二十五歳以上の男子 実績左の如し

第一回	七月十五日—十四日	才一類 一人当 二本	一本三付 二円二十六銭
		才二、三類	一本
第二回	十月九日—十五日	一人当 一本	一本二付 二円二十七銭
第三回	十二月十二日—十六日		
第四回	十二月二十九日—三十一日		六円

(十一) 青果物配給 (切符制)

実績左の如し

第一回	六月七日—九日 (妊産婦用林檎)	一人三百枚以内	百枚 一円〇五銭
第二回	六月二十日—二十五日 (病人用林檎)	二百枚以内	〃
第三回	七月十六日—二十日 (一般向林檎)	五百枚以内	〃
第四回	七月七日—十日 (一般向林檎)	二百枚以内	三円

第五回 十一月十三日	（産婦、病人用）	一人	三百匁	二百匁	三匁
第六回 十一月二十三日	（一般用）	一人	百匁	〃	〃
第七回 十一月三十日	〃	〃	〃	〃	〃
第八回 十二月十一日	〃	〃	〃	〃	〃
第九回 十二月二十五日	（正月用）	一人	二百匁	〃	三匁四十錢

(十二) 煙草配給（定時）  
 七月より切符制配給とし、開發生必組合関係及重点配給を受くる者を除く一般邦人を対象とす  
 毎月の配給数量一人三〇〇本とし、臨時市販煙草を補充的に販売せらる

(十三) 菓子配給（定時）  
 実績左の如し

第一回 二月二十一日	三月十日	登録制配給
大人（十九才以上）	生菓子 一〇個入一包	一包二付 二匁四十錢
	飴 手 百匁入一袋	〃 二匁四十八錢
	羊羹 五十匁一本	二本二付 一匁三十五錢
中人（十五才以上）	生菓子 一〇個入一包	同價
	飴 玉 百匁入一袋	
	アンパン 三〇匁三個一包	
	焼菓子 八十二匁入一包	同價
	アンパン 三〇匁三個入一包	
小人（十五才未満）	焼菓子 八十二匁入一包	同價

		ギラメルニ移入ニ箱	六十六銭
幼児(五才未満)		焼菓子 八十二枚入一包	三 円
		ビスケット 百枚入一包	四 円三十三銭
第一回	六月十六日—十九日	切符制一人一枚一点	
餡玉	(五〇枚一円三十四銭一点)	グリコ (二個一円三十二銭一点)	
焼菓子	(四〇枚一円四十三銭一点)	ビスケット (四〇枚一円七十三銭一点)	
羊羹	(五〇枚一本一円三十五銭一点)		
第三回	六月二十八日—七月十二日	切符制一人一枚四角	
焼菓子	(百枚入三円五十九銭二点)	餡玉 (百枚入二円四十八銭二点)	
羊羹	(五〇枚一本一円三十五銭二点)	ビスケット (百枚入四円三十三銭二点)	
キヤラメル	(二〇枚入二個 六十六銭一点)		
第四回	七月二十八日—八月五日	切符制	
配給品種、点数、價格		第三回通り	
第五回	九月四日—三十日	切符制	
羊羹	大人五〇枚三本	小人同シ	一本=付 一円八十五銭
餡玉	二百枚	百枚=付	二円四十八銭
焼菓子	八〇枚	八〇枚=付	二円八十七銭
ビスケット	ナシ	百枚 百枚=付	四円三十二銭
第六回	十一月八日—三十日	切符制	
餡玉	大人 百三十枚	小人同シ	百三十枚=付 三円四十銭
羊羹	二本	〃	二本=付 三円七十銭
焼菓子	八十枚	〃 ナシ	八十枚=付 四円三十銭

<p>第七回 十二月二十一日—三十日</p>		<p>ビスケット 大人 ナシ 小人 百三十五枚</p>	<p>百三十五枚三付 八円五十銭</p>
<p>二歳迄 ビスケット 二百枚</p>		<p>切符制 飴玉又ハ焼菓子 三十枚</p>	
<p>羊 羨 一本</p>		<p>アンコ 五十枚</p>	
<p>四歳迄 ビスケット 二百枚</p>		<p>外同ジ</p>	
<p>十四歳迄 ビスケット 百枚</p>		<p>アンコ 五十枚</p>	
<p>十五歳以上 羊羨 一本</p>		<p>アンコ 五十枚</p>	
<p>價格 ビスケット 百枚 八円七十銭</p>		<p>羊羨 一本 四円</p>	
<p>アンコ 五十枚 二円</p>		<p>焼菓子 三十枚 一円八十銭</p>	
<p>飴玉 三十枚 一円</p>			
<p>(十) 其他臨時配給 (配給協議会設置以後の分)</p>			
七月	<p>サイダー 一人三付二本 澤庵漬及塩昆布 隣保班単位 シロップ (特配) 區長、副長、班長 一人一本 防空用運動靴 (隣組防空群員) 一人一足 罐詰 (鮭、蜜柑、青豆) 一二類 会社団体 一人四個 蚊取線香 一世帯 一箱 フクラシ粉 一世帯ニ付一個 (四令一ポンド入)</p>		
八月	<p>椎茸 一袋 サイダー オ一二類 一人三本 三類 一人二本 緑茶 (煎茶特上外三種) 一人ニ付一品 半斤 鶏卵 登錄制 十五才以上 一人三個</p>		
九月			

十五才未満 一人六個 妊産婦 六個増	救虫粉 (三種) オ一類 一世帯二付三個、二三類 二個	福神漬 一世帯二付 二百匁以内	杏子漬 百匁以内	防空用遮光紙及電燈カバー 購入券一枚二付五個	非常用背負袋 一世帯二付一個	食用油 一人当(七才以上) 半市斤(一市斤二十円)	サイター 一人二付一本	紅白祝饅頭 (天津神社秋祭) 一人一個	鉄 庖丁、斧 一世帯 一品一個	木製桿秤 區事務所設付	自載車用リヤカー	三輪車用タイヤ及チューブ 區割当	非常用乾パン 一人二食分(百匁)	味ノ素 區割当	主ノ露	齒磨粉 七才以上一人一品一個	齒ブラシ オ一、オニ類 会社団体 七才以下モノ一人一本	飴玉 (特配) 區長、副長、班長 一人百匁	長切昆布 區割当	非常用家庭常備薬 (四種) 區割当	医療用酒精 病人並妊婦用
十月																					
十一月																					

二、民団食堂事項

(一) 食堂經營狀況

(1) 民団食堂 自一月至十二月 檢査計算表

縫 針	區割当
食用油	一人三百瓦
蒙疆馬鈴薯販売	一人五百瓦
貯蔵用野菜	
十二月	
一世帯ニ付 馬鈴薯 白菜、丸大根 各一貫瓦	
里 芋、甘藍、人参、干蓼 各 五百瓦	
鶏卵 自肅販売 一人三個限	
ローソク 一世帯ニ付二本	
神佛用ローソク	十本
曆	二冊
正月用塩干魚	一人分 干鰯(十二瓦) 干鰯(八瓦) 煎子(十瓦)
	干海苔(二十瓦)
国旗	區割当 一世帯一枚
冷凍魚 (エビ、タヒ、サバ、サワラ、甲イカ)	
一世帯エビ三尾外四品目ノ内何レカ一尾又ハ三尾	
緑茶 (四種)	區割当
蒲鉾	區割当 一世帯一本

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
任入材料費	四九六、〇八〇・五二	賞上総金額	五八七、三五八・七五
給料	三八、〇六一・〇〇	十二月末在庫品	三六一、四四四・〇〇
萃人食費	二七、七六五・九〇		
消耗雜費	四五、七二五・五四		
器具償却費	四、二五〇・〇〇		
利益	一一、六二〇・二〇		
合計	六二二、五〇三・一五	合計	六二二、五〇三・一五

(口) 定食者延人員 拾六万五千五百貳拾六人  
 (ハ) 嗜好食者延人員 拾壹万六千六百四拾八人

(三) 事務處理事項

- (イ) 民団食堂 定食價格改正ニ關スル件 (三月一日ヨリ)
- (ロ) 一般會計子備費支出ニ關スル件
- (ハ) 民団食堂定食回數券印刷代徵收ニ關スル件 (七月一日ヨリ)
- (ニ) 民団食堂 嗜好品價格改正ニ關スル件 (九月一日ヨリ)
- (ホ) 其他照會雜件 一二〇件



三、居留民生計所事項

(一) 第一生計所の開設

第一區宮前元大羅天趾建物を利用し六月二十七日諸般の準備完了と共に七月一日より開所す  
販売部門及出店者次の如し

鮮魚部 一般鮮魚及冷凍魚、塩干魚介類

(鮮魚荷受統制組合)

蔬菜部 野菜類、トマト等

(米穀統制会農産幹旋所)

青果部 内鮮輸入果物及現地産物

(生必組合青果部共同營業所)

食肉部 牛肉、豚肉、羊肉等

(日華聯合牛業協会)

食料雜貨部 漬物、佃煮、鶏卵、清涼飲料、乾物、うどん等

其他

(食料品小売高統制組合)

(二) 販売方法並価格

販売対象は一般邦人に限り華人使用人の代理買出の際は生必品購入通帳を提示せしむ  
数量に制限ある物資は限度を定め公平を期す、又輪番制・登録通帳制を実施のこと、す  
販売時間は暫定的に午前九時より午後五時迄とせり  
天津居留民生計所規定を設け、総則、運営委員会、所内取締に関する諸條項を定む  
定休日は毎月十五日、三十日の二日間とす

(三) 第二生計所の設置

第六區南經八路二七号元軍管理家屋を借用し、七月二十日諸般の準備を完了し八月  
一日より開所せり

販売部門、販売方法、時間其他第一生計所に同じ

(四) 八月以降販売実績の如し

月	第一生計所 販売高	購買人負	第二生計所
八月	三八四、三九二、八二 <sup>円</sup> 支	八三、四〇六名	一四三、八二八、七五 <sup>円</sup> 支
九月	三四八、一九〇、七二 <sup>支</sup>	六〇、〇四三名	三四、五〇九名
十月	四二一、一一六、七二 <sup>支</sup>	五四、五三三名	一五八、〇二七、五三 <sup>支</sup>
十一月	三一〇、六七三、二四 <sup>支</sup>	三三、六〇〇名	二六、六七八名
十二月	三七一、六一八、八七 <sup>支</sup>	三三、九〇一名	一六、五七三、七五 <sup>支</sup>
			六八、七四六、〇五 <sup>支</sup>
			九、一六三名

### 第三 河北出張所

#### 一、概況

昭和十七年四月以來滿二年八月に亘り当仮事務所は華北運輸株式会社北站臨時水運事務所内に設置ありしも本年十二月七日現在出張所大経路ニニ八番地に移転し十二月八日より従來通り事務を開始せり

従來河北地區は旧日本租界に比し区ゆる施設に於て遜色ありしも本年に至り民団当局の支援と地元民の協力により漸次改善設備せられ在任邦人の厚生教育、衛生等各部門に亘り区ゆる設備を整備

するに至り

又區の整備拡充等に就ても完全に確立され従つて其の運営も亦極めて整然として統一せらるゝに至り  
大いに見るべきものあり

本年に於ける一般事務に就ては其の範圍は益々拡大せられ尙新廬舎移転と同時に今後頗る繁雜  
多忙を極むるものと予想せらる

其主なる事務は生活必需品配給事務にして其の他民団と各方面の連絡並に地元居留民の厚生  
教育、未生翼賛、防護、日華善隣等の部門に就ても鋭意努力しつゝあり尙今後も相当活動の

範圍を有し着々是れが改善施設に対して努力の必要を認めらる、是等の一層強化促進相互連  
絡の爲め河北地區正副區長常会並に日華善隣常会、日華懇談会等別項の如く実施す

河北地區在住邦人十二月末調査によれば世帯数〇〇〇〇戸、人口〇〇〇〇〇名昨年比し大体戸  
数に於て〇〇〇戸、人口に於て〇〇〇〇名の減少を見るに至れりも戰時態勢<sub>下</sub>在住邦人との連絡  
接觸事項に就ては寧ろ益々増加の一途を辿りつゝあり、

### 二、會議

(一) 河北地區正副區長常会 一回(二月廿二日) 二回(五月廿八日) 三回(七月十九日)

(二) 河北國防會館建設敷地問題ニ付常任委員会開催 (七月五日)

(三) 日華善隣常会開催 (五月一日)

(四) 日華懇談会 日華防空訓練懇談会開催(七月十五日)

### 三、事務處理事項

(一) 主なる折衝事項を挙ぐれば左の如し

(イ) 民団河北出張所予定地買収

本件に關しては前年来引続き買収に努力し討理課、平川部隊等へ配慮を煩はし種々折衝の

結果五月に立り買収決定し十二月之れに修理を加へ既に七月中には河北防護団本部を設置し十二月七日民団河北出張所事務所を移転せり

(四) 國防会館敷地借用契約の件

本年二月新民会に対し地元民立退め件に付種々依頼折衝せるも借地者十五名の内主なる一名の反対により解決に至らず其の後華側才五分局其の他の斡旋もあり五月借地代表深世亭、孫連中、郭景維三名を民団へ招致し折衝せるに期間立退料其の他状件付にて移転承諾の意を表し六月一日附を以て民団長と天津海關長との間に是れが借地契約を締結するに至りたるも且の後立退先及立退料其の他の折衝上進歩を見ず本年中立退を見るに至らざるを遺憾とす

(五) 河北上水道管水配給施設に関する件

河北才二區區長より民団補助請願河北才一三區上水買水配給施設の件に關し十月天津清安自來水公司へ工事許可申請依頼中にして其の後四本常務處長を再三訪問依頼しあるも設計立案並に現在等々上水配給組合等の關係上相当許可延引するに至り尚配水使用人等の生活状況其の他調査の必要ありとし本年中許可を得るに至らざりしも引続き交渉許可を得る見込みなり

(六) バス運行に付交渉の件

近來バス運行不円滑にして通學生、通勤者の労苦不便見るに忍びず再三天津交通股份公司に蒲生運輸課長を訪問運行上遺憾なきを要談依頼す

(七) 處理事項

(イ) 河北出張所にて物資配給購買通帳其の他取扱連絡したるもの花記の通り

購買通帳下附類	件名	件数
變更	願	二一四
出	産	一六一
出	産	二八三

## 第四 財務部

### 計理課

華交配給票再新	一五三五	臨時米配給額	五三
衣料切符交附願	二九七	菓子券下附願	四三三
粉乳申請願	七二	本廳ヨリ連絡移牒文書類	七四七
麥酒申請願	三二	文書受信	二二三
煙草券申請願	五七	文書発信	五
指定蒲団綿購入券申請	一五三		
指定綿製品購入券申請	三〇一		
アルコール購入券交付願	二四〇		
不廢宛連絡移牒文書類	三四二	計	七、六一九
備考 前年に比し件数に於て二千二百五十三件の増なり			

### 一、國債に関する事項

(一) 天津老西崗土地買収資金 (昭和九年九月三日認可)

借入先	南滿洲鐵道株式会社
借入額	二八〇,〇〇〇元 (年利五分)
本年償還額	元金二八〇,〇〇〇円
利息	八,〇〇〇円

未償還殘額

元金 一四〇〇〇〇〇

(一) 天津日本專管居留地内不動産購入資金 (大正十三年三月三日認可)

借入先 東亞興業株式会社

借入額 上海銀六三五、二〇〇兩 (年利五分五厘) 但シ昭和五年十月契約更新額

本年償還額 元金 ナシ 利息 三、八四六兩一六錢

未償還殘額 上海銀 三一〇、〇〇〇兩 (換算額 四三三、五六六、四三錢)

(二) 天津日本專管居留地内埠頭築造資金 (大正十四年四月二十二日認可)

借入先 外務省

借入額 五〇〇、〇〇〇兩 (年利三分)

本年償還額 元金 二〇、〇〇〇兩 (第五回償還)

未償還殘額 四五〇、六〇四、一八錢

(三) 復興資金 (昭和七年九月十日認可)

借入先 日本政府

借入額 銀塊 三六〇〇〇兩 (換算額 六三、八〇〇兩)

本年償還額 元金 六四九、九三、二七錢 利息 一五、五九七、七四錢

未償還殘額 銀塊 二五、三三三、二四兩 (換算額 四五四、九三、一八九錢)

(四) 第一回教育団債 (昭和十四年八月十六日認可)

借入先 債券発行(一般引受)

(百=)

借入額 三、〇〇〇、〇〇〇円（年利六分）  
 本年償還額 元金 一三五、八〇〇円 利息 一七〇、三〇六、七七銭  
 未償還残額 二、七三六、一〇〇円

(六) 北支那開發會社教育團債（昭和十四年七月三十一日認可）

借入先 北支那開發株式會社  
 借入額 四五、〇〇〇円（年利五分）  
 本年償還額 元金 ナシ 利息 二二五〇円  
 未償還残額 四五、〇〇〇円

(七) 業務復興資金（昭和十五年一月二十五日認可）

借入先 東洋拓殖株式會社  
 借入額 二、〇〇〇、〇〇〇円（年利五分一厘）  
 本年償還額 元金 八六一、五六、八一銭 利息 四三、七四四、九七銭  
 未償還残額 一、五九〇、一一七、三〇銭

(八) 天津日本公立病院新築資金（昭和十五年十月十六日認可）

借入先 債券發行（一般引受）  
 借入額 三、〇〇〇、〇〇〇円（年利五分五厘）  
 本年償還額 元金 ナシ 利息 一〇九、三八六、六八銭  
 未償還残額 二、〇〇〇、〇〇〇円

(九) 教育資金（昭和十七年三月貸下）

借入先	北支那開發株式会社
借入額	二、〇〇〇、〇〇〇円 (年利三分八厘)
本年償還額	元金ナシ
未償還残額	二、〇〇〇、〇〇〇円
	利息 七六、〇〇〇円

二、諸契約に關する事項

(一) 新規契約

- 一、土地貸下並建物耕下ニ關スル覚書 (合作社)
- 一、土地使用ニ關スル覚書 (米穀統制会)
- 一、河北海關土地借用契約 (天津海關)
- 一、元海光寺公館建物貸與契約 (市政府)
- 一、河南防護團本部建物借用契約 (武内功)
- 一、第三生計所建物借用契約 (軍)
- 一、六月契約締結十二月軍ヨリ總領事館へ移管
- 一、河北軍管理建物借用契約 (軍)
- 一、六月契約締結十二月一時返還

(二) 工事請負附託ニ關スル契約

六九件

(三) 火災保險契約

物件所在及物件名	保險金額
既存建物設備々品共	三三、三九八、〇〇〇円

契約期間  
自昭和十九年四月一日  
至、二十年三月末日

摘要



河北宙線路三経路、角	三三六、〇〇〇、〇〇〇	自昭和十九年十月一日	既契約ニ二万円ヲ含ム
宮島街第一生計所	三六八、〇〇〇、〇〇〇	至、二十年三月末日	
第六區海寧路 才二生計所備品共	一五二、〇〇〇、〇〇〇	全	
西宮島街新公立病院	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	全	
春日國民学校	一、〇九〇、〇〇〇、〇〇〇	自昭和十九年十二月十六日	
	四五、三四四、〇〇〇、〇〇〇	至、二十年三月末日	
計		全	

三、寄附採納の件

山白八良氏より其所有に係る北洋飯店を「天津帝國軍人援護会」經費支辨ニ充ツル目的のもとに寄附願出あり三月廿八日才三十七次居留民会通帯会に於て之が採納を議決せり

建物ノ所在地 天津特別市第一區松島街五番地  
 建物ノ種類及建坪 煉瓦造瓦葺三階建住宅及附屬家

建坪	貳百八拾四坪四九貳	壹棟
貳階坪	貳百七拾五坪参五参	
参階坪	九拾坪参八八	
全	四階建住宅	壹棟
建坪	拾壹坪五五八	
貳階坪	全	
参階坪	全	
四階坪	五坪二六五	
合計	種数	貳棟

此 延坪数 六百八拾七坪九七二  
 評價額 一〇三、一九五八円 (昭和十九年四月十五日  
 不動産評價委員会ニヨリ決定)

現 状 北洋飯店なる名儀の下に華人旅館業を経営中にして寄贈者山白八良氏との間に立退に關し  
 係争中なり

置 現居住者に対し吉岡司法代辦事務所を通じて明け渡し交渉中

四、土地建物に關する事項  
 (一) 貸付及借受土地の状況

區 分	筆数	面 積	賃付料(月額)	備 考
旧官有地持下地	有料 一五二	二四三、四一五、一七	一五、二二五、八〇	
全	無料 四	一、九八一、七七三	—	在御軍人会、部隊、同光会へ
低賃買収土地	有料 一三七	一、九、九九四、八六六	八、二九六、九八	
旧管外土地	〃 九七	九、三三五、九三二	三、二六七、八一	西浪連街、西官島街、伏見街
全	無料 五	四〇三、四七〇	—	東京建物会社へ
萬德荘土地	有料 一	一、〇九八、〇〇〇	三、三九四	金牛斎野館吉次へ
新規買収土地	〃 五	七、六五三、五二	三七、四〇六	花園、福島街
全	〃 一	一、五四五、六七九	一、五四五、七	新興路西南埋立地
全	〃 一	一、八三三、〇〇〇	一、〇〇〇	元慶記土地 新興路南元五甲公司土地

區	(口) 借 受	筆數	面積	備 考
全	新現買收土地 有料	一	三七五.五六七	三島街太田署後場敷地
全	臨時貸下土地 有料	四	一四九.〇〇〇	河北月緯路五経路角
全	無料	三	三三七.九七四	南口・明石・松島街
全	有料	一	一三.七三九	南口胡同東三區ノ
全	有料	一	一四六.六五四	新興路南理立地旧庭球場
全	無料	一	三三.一五.八九五	貸付料八全收穫物ノ三割
全	無料	一	三.五六.四四五	旧管外地
全	有料	一	三.九〇.八三〇	清潔隊傭人宿舍敷地市政府ノ
全	有料	一	五.〇三.五〇〇	元慶記土地(水田)
全	有料	一	一四.六三.四三六	佟家棧 特別病棟隣接地
全	有料	二	五.一〇.八二八	河北月緯路五経路角
全	有料	五	三.四九.六八一	宿務路五経路角
全	有料	一	二〇.五.三三五	宮島街三九.九 部隊ノ
全	有料	一	六五.五.四七三	三益國民学校敷地二部 部隊ノ
全	有料	六	三三.九.四九五	南口・福島街 米穀統制会ノ
全	有料	二	二.一.二二六	山台街河北省合作社聯合会ノ
全	特殊契約ニ依ルモノ無料	一	二.二.七九.四四〇	公園台綜合運動場敷地 部隊ヨリ
全	特殊契約ニ依ルモノ無料	一	一.一〇.四.〇〇〇	南宮内外火葬場隣接地
全	特殊契約ニ依ルモノ無料	三	三.六八.一八.三三三	中学校附属地

(一) 貸付及借受建物の状況			
(イ) 貸付			
全	無料	二	福島街五六 住吉七ノ内 部隊ヨリ
全	"	約 九一五,〇〇〇	宮島女学校運動場 王漢臣ヨリ
全	"	一五八四,〇〇〇 家屋 五,〇〇〇	海光寺 旧火葬場 部隊ヨリ
(ロ) 借受			
全	特殊契約ニ依ルモノ 無料	二,七八〇,七三八	四南岡大学 部隊ヨリ
全	有料	一一九	職員宿舎 那茂行
全	有料	二六〇,〇〇	河北黃糧路 馬公祠
全	無料	一八〇〇,〇〇〇 家屋 一四七〇,〇〇〇 土地	福安病院 部隊ヨリ
全	有料	二崗	明石街 三義煤廠
全	有料	"	" 七松本吉藏
全	無料	"	" 八東本願寺河北別院
全	無料	"	河北月緯路三五相原商店
臨時貸下	"	一棟	元大羅天 中村岩次郎
全	"	八三一,〇〇〇	元海光寺公館 天津特別市
全	"	一	日本俱樂部
特殊契約ニ依ルモノ 有料	"	三三四,五六二	消防隊 総領事館

項目	件数	金額	備考
(三) 土地家屋貸付に関する契約更新及其他			
(イ) 満期ニ依ル契約更新	九四件		官有地橋下地
(ロ) 新期貸下土地	四件		借買収地
(ハ) 名義変更	一八件		旧管外地
(ニ) 貸下地内家屋新增築同意	二〇件		旧管外地
(ホ) 貸下地面積訂正	二件		旧租界内
(ヘ) 土地臨時貸下	二八件		旧租界内 其他
(ト) 貸下地分割	三件		旧租界内
(ク) 土地使用料調定	三一件		其他
(ケ) 土地使用料減額	六件		其他
特殊契約ニ依ルモノ	無料		宮島女学校 総領事館ヨリ
有料			宮島女学校長宿舍 部隊ヨリ
無料			元張学良別荘
			日本橋畔元哨舎
家屋土地	一四、八二五	一九四〇〇	
土地	二四、九八六	一五〇、〇〇〇	
合計	一五、〇〇〇		

五、团管、贷家事項

(一) 贷家明細

(自昭和十九年一月一日 至全 年十月三十一日)

(ア)	家屋臨時貸下(团管貸家以外)	三件	旧租界内
(イ)	家屋使用料調定	三件	
(ロ)	土地使用料調定額	三、三三、六七、六、九〇	
(ハ)	家屋使用料調定額	二、八、七、五、〇、〇〇	

地区別	種別	戸数	間取	其他	貸料額
住吉街	厩号(独立住宅、厩房設備付)	三	一階、應接室、食堂、日光室、配膳室、地下室		二、八、二、〇〇
全	厩号(兼合住付)	二〇	一階、應接室、食堂、配膳室、使用人部屋		一、七、八、〇〇
全	厩号(兼合住付)	二四	十畳、八畳、日光室、使用人部屋		八、二、〇〇
全	厩号(兼合住付)	三五	六畳、中二階、四畳、洗面所付		三、一、〇〇
西宮島街	厩号(兼合住付)	六	八畳(床付)、八畳、應接室、使用人部屋		七、八、〇〇
全	厩号(兼合住付)	一	十畳、八畳、應接室、日光室		七、三、〇〇
西伏見街	厩号(兼合住付)	一	八畳(床付)、八畳、應接室、使用人部屋		七、八、〇〇
伏見街	厩号(兼合住付)	二	八畳、六畳、板間(三畳)		一、三、七、〇〇
全	厩号(兼合住付)	一	六畳、二間		九、五、〇〇
濱路街	店 輔	七	煉瓦造、二階建		一、〇、〇〇
一五、四	臨時貸下	二	煉瓦造、三階建、一棟		四、二、五〇〇

(百、十)

町名	臨時貸下	棟数	備考
明石街		三	煉瓦造二階建
二一五		一九	平屋建支那家屋
松島街		一〇	全
蓬萊街		七	全
浪速街		一三	全
西洲泉澤里	一号(集合住宅)	三	十畳・十畳・應接間・風呂共同
全	二号	三	七畳二間・炊事場・風呂場共同
全	三号	三	全
西洲順興里	一三三三号	一八	七畳八畳・炊事場・風呂場共同三階炊事場ナシ
河北町徳里		一三	煉瓦造子家建(支那家屋改造)
鐘山里		一二	全

(二) 事務處理事項

- 一、暖房料金徴収ニ関スル件(民団吏員及学校職員)
- 二、暖房ニ關スル件通知(使用者)
- 三、団營貸家居住應召者家族内地引揚ニ關スル件
- 四、使用上ニ關スル件(使用者)
- 五、十九年度特別會計団營貸家經營費歳入出予算案
- 六、華人居住者立退キニ關スル件依頼(特別市警察局)
- 七、敵産家屋管理並ニ家債取立保管ニ關スル件
- 八、住吉街独身住宅水道料徴収ニ關スル件
- 九、敵産家屋管理ニ關スル件通知(居住者)
- 又、西洲順興里泉澤里宿舍ヲ団營貸家トシテ取扱ニ關スル件

ル、団營貸家經營費予備費支出ニ關スル件

ヲ、住吉街団營貸家貸賃料改正認可申請ニ關スル件

ワ、二十年度団營貸家經營費予算案

カ、煖房実施並ニ料金値上ニ關スル件

ク、照会事項其他雜件

ク、契約更新

シ、名義変更

ソ、住宅返還取扱

ツ、住宅使用承認（買収家屋其ノ他ヲ含ム）

四七件  
二六件  
四七件

六、不動産評價委員会

昭和十九年度不動産評價委員会ノ通り

赤山令朝治（委員長） 牧 尚一（副委員長）

大内 昇

小澤

昇

鍛冶静一郎

副田重次郎

山田崇治（補欠加藤昇子）

本年の開会教七回にして議案花の如し

一月十九日（十八年度才七回）

一、河北大経路一〇五号 土地建物評價ノ件

二、春日街三八番地 土地建物評價ノ件

二月 九日（十八年度第八回）

一、春日國民学校新築敷地評價ノ件（才四回）

二、天津縣第四回大梨園土地評價ノ件



名	種別	所在地	面積	売買価格	相手方	備考
七、不動産得喪の件						
(一) 買収及譲受関係						
三月十四日 (十八年度第九回)						
一 河北大経路所在土地家屋評價ノ件 (才二回)						
二 華街平安大街所在土地家屋評價ノ件						
三 天津市内敵産土地評價ノ件						
四 特等十二區所在						
四月十七日 (才一回)						
一 十九年度委員委嘱、委員長副委員長互選ノ件						
二 山白八良寺附建物評價ノ件						
三 佟家樓土地評價ノ件 (未買収地)						
八月十八日 (才二回)						
一 敵産耕下土地建物評價ノ件						
二 大岡堤附近土地評價ノ件						
十月三日 (才三回)						
一 新火葬場予定地評價ノ件						
二 摩大區生計所附近土地建物評價ノ件						
十二月十八日 (才四回)						
一 委員補欠委嘱ノ件						
二 春日校敷地内倉庫買収評價ノ件						
田舎貸家	土地	所在地	面積	売買価格	相手方	備考
		一六五五八三	二六二六	大石	何景泉	

(二) 民團施工關係

名稱	種別	所在地	面積	施工價格	備考
全	建物	“	二二九、七四三	二五六、八八三	全人
河北出張所	土地	河北大馬路 三三三、三三八	一、〇九一、〇四六	一一一、五〇〇	沈子英
合	建物	“	三三五、八一七	七三、〇〇〇	全人
特別病棟	土地	佟家樓	一、八三〇、〇〇〇	三五八、〇〇〇	江哲記
第一生計所	建物	官島街三	二、九四六	八、八三九、八〇〇	長谷部義乾
門前事務所	“	“	“	“	無償讓受
北洋飯店	“	松島街五	二、六八七、九七二	一、〇三三、九五六	山白八良
名	種別	所在地	面積	施工價格	備考
綜合運動場	土地	六里台	“	三八七、七三〇	理立整理
旧管外地	“	西伏見街	“	一〇、二六九、三〇〇	“
療病院分院	建物	南開大街	“	一、一七六、九八〇	内部改造工事
看護婦宿舍	“	漢路街	“	五〇、七四二、五二〇	“
團營貸家	“	河北辰緯路 一里	“	一三三、〇〇〇	“
中學校工作室	“	八里台	“	一四、六〇二、八〇〇	“
學校職員宿舍	“	西康連街	長サ一七八、〇〇〇	二七、六五三、〇〇〇	煉瓦塀築造工事
春日國民學校	“	三丁目	“	七、〇〇〇、〇〇〇	内部改造工事
教員宿舍	“	河北月緯路	“	二、三二〇、七八五	“
官島高等女學校	“	大區馬廠道 三四路三一	“	一、六六〇、〇〇〇	模樣替工事
團營貸家	“	漢路街五	“	“	“
三益國民學校	“	河北新大路	延 一一三、三三〇	一九六、五七三	才三期増築工事
中學校	“	八里台	四、五五九、〇〇〇	一、八五四、三九七	校舍及ボイラー室新工事

(三) 減喪關係

名 稱	種 別	所 在 地	面 積	台 帳 登 録 價 格	備 考
芙蓉國民學校	建物	八里台	延 二、三〇〇	二五、九〇七、三〇〇	校具庫新設及追加工事
綜合運動場	"	八里台	延 三〇、〇〇〇	五三、〇〇八、〇〇〇	造園課倉庫新築工事
吉野國民學校	"	小劉莊	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	倉庫新築工事
第一生計所	"	宮島街二一		一、九八三、一六二〇	内部改造工事
臨海學校	"	山海間	延 一〇、〇〇〇	六八、〇〇〇、〇〇〇	一部改造築工事
春日國民學校	"	河北月線路	〇、〇〇〇、七〇〇	九八、六八八、八三〇	才一期新築工事
用度及防護課	"	福島街一八	五八、〇〇〇	六五、四三〇、一〇〇	新築工事
芙蓉幼稚園	"	秋山街二六	延 二、六〇〇	六〇、〇〇〇、〇〇〇	煉瓦塀築造工事
中 學 校	"	八里台	延 二、五〇〇	七六、〇〇〇、〇〇〇	"
河北蔭德里	建物	蔭 德 里	延 三三、六九五〇	五二、六〇〇、〇〇〇	春日國民學校敷地内不用家屋 小寺福吉外四人へ拂下 春日國民學校敷地内不用家屋ヲ取掛ト其ノ材 料ヲ蔭德里貸家改造用ニ充當
芙蓉幼稚園	"	橋 街 二 延	六八、二二三	三二、六四一、五〇〇	芙蓉幼稚園運動場拡張ノ為メ 取掛ト拂下
埠頭倉庫	"	山口街一九	二一、六三七二	一一、九〇〇、四六〇	合作社へ拂下
元大羅天	"	宮島街二一	四九、六三〇五	二四、八二〇、二五〇	取毀ノ上建築土木工事ニ使用
中學校構内 賣收家屋	"	八里台	一、二四、七三〇	九三、三八五〇	中學校煉瓦塀築造工事ニ使用

## 税務課

### 一、税規則の改正

昭和十七年一月廿四日外務省令を以て制定せられた居留民団税規則は課税権移譲に伴ふ措置として昭和十八年八月五日及昭和十九年一月十二日の二面に亘り改正せられ現在本民団に於て実施せる税種は左の如くである。

#### 一、普通税

- 個人所得税
- 法人所得税
- 個人営業税
- 法人営業税

#### 二、特別税

- 遊興飲食税
- 特殊営業者税
- 観覧税
- 土地税
- 家屋税
- 不動産取得税

### 三、民団條例の改正

税規則改正に伴ひ「天津居留民団賦課徴收條例」及「天津居留民団普通税々率條例」が改正せられ十九年四月一日より実施せらるゝ事となつた。特に税率條例に於ては課税権移譲の結果中斷側の課税実施に依る在留邦人の負担過重を緩和する為め個人所得税々率の引下を行ひ、反面法人所得税におつては個人所得との均衡上税率の引上げが行はれた。

### 三、民団條例の制定

(1) 遊興飲食税及特殊営業税が普通税より特別税に編入替へとなつた結果「天津居留民団遊

「興飲食税條例」及「天津居留民団特殊營業者條例」を制定し十九年四月一日より実施する事となつた。

(四) 代徴税の創設

中國側機關の在留邦人に対する課税種目たる所得税營業税に付ては居留民団側に於て代徴する取定めが成立し之に基き昭和十九年二月一日大東亜省令中華民國租稅代徴規則が制定せられたるに伴ひ昭和十九年五月一日「天津居留民団代徴税徵收條例」を制定、同日より実施するに至つた。

然して本代徴税に關する收支は之を特別會計として經理し之が支出は年額を二分し前半年分を九月三十日迄に後半年分を翌年三月三十日迄に監督官の指定したる中國側機關の委託銀行に拂込取定めなるも中國側より申出なき爲め納付保留中なり。

四、日本人土地建物課税標準調査委員會の成立

中國側徵稅機關の在留邦人所有の土地建物に對する課税に關する措置として昭和十九年四月十日館令を以て「日本人土地建物課税標準調査委員會規則」が制定せられ之が委員として八月二十八日総領事より左の如く選任せられたり。

- |     |        |       |
|-----|--------|-------|
| 會長  | 赤山今朝治  | 福井隆一  |
| 副會長 | 加藤昇平   | 藤野忠二郎 |
|     | 長谷川義三郎 | 兼治壽一郎 |
|     | 富成一二   | 勝田重直  |
|     | 小澤一昇   | 高橋悌之助 |
|     | 大内專    | 山田栄治  |
|     | 副田重次郎  | 牧尚一   |
|     | 栗本雄三   |       |

以上十五名

日本土地建物課税標準調査委員会規則に関する告示全文の通り

第一條 天津居留民団内ニ日本人土地建物課税標準調査委員会（以下委員会ト稱ス）ヲ置ク

第二條 委員会ハ中國側徵稅機關ノ諮問ニ應シ日本入關係土地建物課税標準ニ関シ調査審議スルヲ以テ目的トス

第三條 委員会ハ調査委員ヲ以テ之ヲ組織ス

委員会ニ会長及副会長ヲ置ク

第四條 調査委員ノ定數ハ左ノ通トス但シ特別ノ事情アリト認ムルトキハ領事官ハ五人ヲ限り増減スルコトヲ得

一 工地建物ノ納稅義務者 十人

二 土地建物ニ関シ特別ノ知識ヲ有スル者 五人

第五條 委員会ハ前條各号ノ資格ヲ有スル者ヨリ居留民団長ノ具狀ニ依リ領事官之ヲ選任ス

會長及副會長ハ調査委員中ヨリ居留民団長ノ具狀ニ依リ領事官之ヲ選任ス

第六條 調査委員ハ名譽職トス

調査委員ノ任期ハ選任セラレタル日ノ属スル月ヨリ二年トス

但シ調査委員ニ缺員ヲ生シタル為其ノ補充トシテ選任セラレタル調査委員ノ任期ハ前任者ノ残存期間トス

第七條 委員会ハ会長之ヲ召集ス

第八條 会長ハ委員会ヲ統理ス

副会長ハ会長ノ事務ヲ補佐シ會長事務故アルトキハ之ヲ代理ス

第九條 調査委員ハ自己及自己ト同一戸籍内ニ在ル者ノ課税標準ニ関スル議事ニ関スルコトヲ得ス法人ノ關係者中ヨリ選任セラレタル調査委員ノ其ノ法人ノ課税標準ニ関スル議事ニ付亦

同シ

等十條 居留民団長及吏員ハ委員会ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第十一條 委員会ハ評價委員定数ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第十二條 議事ハ出席調査委員ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第十三條 委員会ハ調査ニ關シ必要アルトキハ土地建物ノ納稅義務者又ハ其ノ關係者ニ對シ質

問ヲ為シ若ハ調査上必要ナル書類ノ提出ヲ求めルコトヲ得

第十四條 委員会ノ調査セル課稅標準ハ之ヲ會長ヨリ居留民団長ニ提出シ居留民団長ヨリ

中國側徵稅機關ニ通報スルモノトス

附 則  
第十四條 本規則ハ昭和十九年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

五、居留民団稅調查委員會及審査委員會

(一) 稅調查委員會

昭和十九年度稅調查委員會委員七の如し

會長 牧 尚一 副會長 児玉直治

委員

- |         |       |        |        |
|---------|-------|--------|--------|
| 石田 芳雄   | 加藤 昇平 | 野口 義勇  | 前野 貞俊  |
| ○五十嵐 重吉 | 金沢 大鉉 | 野呂 彦太郎 | 赤山 今朝治 |
| 原田 嘉造   | 勝田 重直 | 熊谷 浩一  | 芦沢 義郎  |
| 富成 一二   | 河内 寛次 | 山尾 市二郎 | ○杉野 忠三 |
| 岡田 政次郎  | 竹内 象藏 | 山下 保胤  | △西野 利雄 |
| 大岡 壽    | 野田 大造 | 前原 勇   | △芦沢 三夫 |

(二) 税審査委員会

昭和十九年度税審査委員七の如し

会長。三宮 謙  $\Delta$  前 島 英

副会長。後藤 祿郎  $\Delta$  坂 根 準三

委員

原 田 萬造  $\Delta$  赤山 今朝治  $\Delta$  伊 東 武 喜

鶴 飼 新一郎  $\Delta$  栗 本 雄 三  $\Delta$  大 庭 巖

(○印中途退任、△印中途解任)

(三) 委員会

昭和十九年度中に於ける税調査委員会處理事項七の如し

才一回 三月十七日 法人所得並營業税課税標準額ニ關スル調査答申

才二回 五月十一日 勤勞所得金額ニ關スル調査答申

才三回 五月十二日 同

才四回 五月十三日 同

才五回 五月十七日 同

才六回 六月二十八日 土地税並家屋税課税標準額ニ關スル調査答申

才七回 六月二十九日 個人事業所得及營業税課税標準額ニ關スル調査答申

才八回 七月十六日 不動産所得並乙種配当利子所得ニ關スル調査答申

才九回 七月十六日 法人所得及營業税課税標準額ニ關スル調査答申

才十回 七月十六日 法人並個人所得及法人並個人營業税課税標準額ニ關スル調査答申



六居留民団稅收入額調

區分	豫算額	十二月末現在額	本年見込額	納稅者數
第一 普通稅	一四、九三五〇〇〇	一五、九六四〇〇〇	一五、九七六〇〇〇	一六、五〇〇
一 個人所得稅	六、六〇五〇〇〇	七、七三六〇〇〇	七、五五六〇〇〇	一六、五〇〇
二 勤勞所得稅	二、一〇〇〇〇〇	二、六一六〇〇〇	二、四〇〇〇〇〇	二、二七〇
三 事業所得稅	三、九〇〇〇〇〇	四、四三四〇〇〇	四、四〇〇〇〇〇	二、二七〇
四 不動産所得稅	一、八〇〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇〇	五、八六〇
五 配当利子所得稅	四、一〇〇〇〇〇	五、二〇〇〇〇〇	六、〇〇〇〇〇	七
六 法人所得稅	六、一三〇〇〇〇	五、九七二〇〇〇	六、一八〇〇〇〇	七
七 普通所得稅	六、一〇〇〇〇〇	五、九七二〇〇〇	六、一三〇〇〇〇	五、五五
八 清算所得稅	三〇〇〇〇〇	五、九七二〇〇〇	六、一三〇〇〇〇	二
三 營業稅	二、二〇〇〇〇〇	二、三五六〇〇〇	二、三三〇〇〇〇	一九三
一 個人營業稅	九〇〇〇〇〇	一、〇四〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇〇	一、九三
二 法人營業稅	一、三〇〇〇〇〇	一、二一六〇〇〇	一、二三〇〇〇〇	五、五五
第三 特別稅	六、三五〇〇〇〇	九、三七四〇〇〇	一、四、四五七〇〇〇	一、七五
一 遊樂飲食稅	五、九〇〇〇〇〇	八、八七六〇〇〇	一、四、九四〇〇〇〇	一、七五
二 特殊營業者稅	九〇〇〇〇〇	二、三〇〇〇〇〇	四、二〇〇〇〇〇	月平均 九、二六
三 土地稅	一、〇〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇〇	三、三八
四 家屋稅	三、三五〇〇〇〇	二、四五〇〇〇〇	二、四五〇〇〇〇	五、七四
五 不動産取得稅	二、五〇〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇〇	七〇

(百二十一)

合	計	二二八五〇〇〇	二五三三八〇〇〇	三一四三〇〇〇
---	---	---------	----------	---------

(千円未満切捨)

七 土地家屋台帳及地籍図関係事務方	種 類	件 数	種 類	件 数
土地家屋所有権移転	土地合併	五〇	土地合併	
土地家屋所有権保存	家屋合併	二二	家屋合併	
土地家屋表示変更	家屋新築	二七	家屋新築	一一
土地台帳謄本下附	増築	五七	増築	
家屋	取毀	二四	取毀	
土地図謄本下附	土地家屋台帳整理証明	一七	土地家屋台帳整理証明	一四九
家屋図	不動産取得税調定	六〇	不動産取得税調定	八八
土地分割	附 屬	三五	附 屬	九
家屋分割	備考 土地及家屋分割小分割後ノ筆数ヲ示ス			

### 會計課

#### 一 會計検査員

昭和十九年中に於ける會計検査員左の如し

見玉直治 昭和十八年十二月就任 昭和十九年十二月任期満了

芦沢義郎

中西幸保

鍛冶静一郎

岡部幸嗣

中西幸保 昭和十九年十二月就任

福井隆一

古田治四郎

野口義勇

土井晋

三、會計検査

昭和十九年中に於ける会計検査は左記日時に行われ、違法違算の出納なき事を確認せられたり

二月	二十一日	二十二日	二十四日
六月	八日	九日	十二日
十月	十二日	十三日	十四日
			十六日

三、補助金及助成金

ア 教育費國庫補助金  
昭和十八年度及十九年度教育費國庫補助金として交付せられたる金額をの如し

種 別	補助命令額	受領済額
國民學校	二五〇,〇〇〇円	二五〇,〇〇〇円
中等學校	二四〇,〇〇〇円	二四〇,〇〇〇円
青年學校	二五,〇〇〇円	二五,〇〇〇円
計	二九九,〇〇〇円	二九九,〇〇〇円

(一) 朝鮮總督府補助金

昭和十八年度在住半島人子弟初等準備學校(幼稚園)補助金及在住半島人医療補助金として交付せられたる金額左の如し

種 別	補助命令額	受領済額
在住半島人初等準備學校補助金	一〇〇,〇〇〇円	同 上
在住半島人医療補助金	一〇四,〇〇〇円	同 上
計	二〇四,〇〇〇円	同 上

(二) 居留民団事業費國庫補助金

昭和十八年度半島人加盟民団の事業費國庫補助金として交付せられたる金額左の如し

種 別	補助命令額	受領済額
民団事業費	八,〇〇〇円	八,〇〇〇円

四、各種寄附金

昭和十九年中に於ける各種寄附金並納状況左の如し

收 入 部

科目	前年度受入高	本年度受入高	本年度支出高	残高	受入支出摘要
芙蓉國民学校	六七九〇八		一九〇〇〇	六七九〇八	
淡路	一九一〇一		一三三〇〇	一〇一〇一	額核硝子入水形更一〇ヶ購入代
三笠	一五六五〇		一三三〇〇	二四二五〇	ラジオ受信機一台購入代
中 学 校	一三五〇〇		一三五〇〇	一三五〇〇	
商業学校	一〇二一〇		三一九五〇	七〇一五三	滑空機一〇号機二号機修繕費
松島女学校	一〇〇〇七			一〇〇〇七	
日本青年学校	六五六三			六五六三	
日本幼稚園	七二六〇		七二六〇	〇	花瓶五ヶ購入代
圖書館	二一			二一	
公園費	五九八〇			五九八〇	
松平記念	五四五〇			五四五〇	
教育基金	三二二四〇			三二二四〇	
慈善事業	二九三三			二九三三	
合計	二七九,七九七	二七九,七九七	一,一〇〇,〇〇〇	二七九,七九七	

前年ヨリ繰越高  
 本年度受入高  
 本年度支出高  
 現在有高

五拾貳万四千參百四拾五円七拾參銭也  
 一七千七百四拾五万八千四百零壹円也  
 合計 一七千七百九拾八万貳千七百四拾六円七拾參銭也

支 出 ヲ 部  
 一七千七百九拾万參千七百七拾參円零四銭也  
 合計 一七千七百九拾万參千七百七拾參円零四銭也

差引 七萬八千九百七拾參円六拾七銭也

學童保健	六一四八五			六一四八五		
體育部	一〇九〇五			一〇九〇五		
運動會	二一六五三			二一六五三		
防 waters	三〇五四三			三〇五四三		
防護團	三、三一六五〇	五〇〇〇		三、三六六五〇		
皇軍慰問費	一、三六九六一			一、三六九六一		
傷病兵慰問費	一、四三一四六	三〇〇〇		一、七三一四六		
學生事業費	三、〇〇〇〇〇			三、〇〇〇〇〇		
交通事故防止資金	三五〇〇〇			三五〇〇〇		
慰問児童遊園地	一、三〇〇〇			一、三〇〇〇		
教育博物館	四、一六〇〇			四、一六〇〇		
興亞奉公會	五、〇〇〇〇			五、〇〇〇〇		
天津青少年團	一、〇〇〇〇			一、〇〇〇〇		
日本騎士資料	一、八六五			一、八六五		
優良児童表彰費	五七二四四			五七二四四		
飛行機献金	五、二八五三五			五、二八五三五		
戰爭資金	二〇一四〇〇			二〇一四〇〇		
華北興亞獎券會	一、〇〇〇〇			一、〇〇〇〇		
天津支店	一、〇〇〇〇			一、〇〇〇〇		
女學校宿舍	一、〇〇〇〇			一、〇〇〇〇		
建設費	一、〇〇〇〇			一、〇〇〇〇		
河北防護團	一、〇〇〇〇			一、〇〇〇〇		
計	五三、四三、四七三			五三、四三、四七三		
		一一、三八、一〇〇		一一、三八、一〇〇		
			一、七九、〇〇〇	一、七九、〇〇〇		
					一、四三、一四六	
					三、〇〇〇〇	
					三、三六、六五〇	
					一、三六、九六一	
					三、〇〇〇〇	
					三、〇〇〇〇	
					一、三〇〇〇	
					一、二六、〇〇〇	
					五、〇〇〇〇	
					一、〇〇〇〇	
					一、八六五	
					三、九〇、二四	
					四六、八一〇、四五	
					一、五八、二八一〇	
					一、〇〇〇〇	
					一、〇〇〇〇	
					四、〇三、七三	
					七、八九、七三六、九	
石油ランプ外九件物品購入代						
英和辞典十九冊外購入代						
海軍戦術村一三枚 陸軍 七六枚 戦争資金八枚替						
横山正臣氏 敬幸七殿忌明けニツキ寄附						
軍属大野義幹氏寄附						
天津甲一八九部隊傷病兵慰問						
寫真代一ツ購入代						

○ 徴 收

一 居留民団税及其他公課金徴收状況

昭和十九年十二月末現在に於ける居留民団税及其他公課金の徴收状況は左の如し

(一) 昭和十九年度居留民団歳入徴收現況表(昭和十九年十二月末現在)

款別	科	目	豫 算 額	調 定 済 額	收 入 済 額	未 收 入 額	調定済入率
第一款	善 通 税		七四、五五〇、〇〇〇	一四、二一三、五九八	一一、三五五、五九〇	二八、五八〇、九一八	七九、八
	(特別税)代徴税			八〇、六二九、五四四	五九、七七八、三二五	二〇、八四〇、七一九	七四、一
	個人所得税		三、四二五、〇〇〇	五、九七四、一一〇	四、六八六、九一六	一、三〇七、一九四	七八、一
	(特別税)代徴税			六、五三三、九七四	五、〇五六、七四二	一、四八七、二三〇	七七、三
	2. 法人所得税		二、七三〇、〇〇〇	五、九七三、一四二	四、九一七、一三〇	一、〇五六、〇一三	八二、三
	(特別税)代徴税			二、八七八、五〇四	五、五二八、五〇四	二、三三三、五五〇	一九、二
	3. 営 業 税		一、三〇〇、〇〇〇	二、四六四、四六七	一、七五一、六六〇	四九四、七四六	七七、九
	(特別税)代徴税			一、三三三、五〇九	八、六五八、三二九	三、六九一、九七〇	七〇、一
第二款	特 別 税		五、六三〇、〇〇〇	九、二七八、九一八	八、五五五、五〇三	七三三、四一五	九二、二
	1. 遊樂飲食税		五、一八〇、〇〇〇	八、八七六、三五八	八、一六四、二七一	七一二、〇九八	九一、九
	2. 特殊営業者税		九〇〇、〇〇〇	二、三九二、七〇〇	二、三三三、四〇〇	六八七、〇〇〇	九七、一
	3. 土 地 税		一、〇〇〇、〇〇〇	八、八一四、八七二	六、六三三、九八七	二、一八〇、八八五	九七、四
	4. 家 屋 税		三、三五〇、〇〇〇	一、八三三、四六四	一、七九一、八二八	三、六三六、〇〇八	九八、〇
	5. 不動産取得税		二、五〇〇、〇〇〇	一、三七〇、五二六	一、二一、八〇七	五、二四四、八八五	九五、八
第三款	財 産 收 入		一、〇〇〇、〇〇〇	一、六五七、七五九	一、六五七、七五九	〇	一〇〇、〇
第四款	使、用 料		三、五七二、六〇〇	二、八五四、四九六	二、七八〇、七八六	七、三二六、三四	九七、四

(百二十七)

第五款 衛生部收入	四八〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四〇〇〇	一〇〇〇
第六款 療病院收入	二一九〇〇〇	二三、九〇〇	二三、九〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
第七款 保養院收入	四六六〇〇〇	四八、一五六	四八、一五六	一〇〇〇	一〇〇〇
第八款 実費診療所收入	二九三九六〇〇	一五、四五二	一五、四五二	一〇〇〇	一〇〇〇
第九款 婦人病院收入	一一六〇〇〇〇	一三、八〇二	一三、八〇二	一〇〇〇	一〇〇〇
第十款 雑收入	七三、三〇〇	三六、五九八	三六、五九八	一〇〇〇	一〇〇〇
第十一款 繰入金	三、〇〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
一帳合計	一五、七二六、一三六	二四、九一三、一一七	二四、九一三、一一七	三五八八、八一三	八五五
(特別会計) 代徴税計		八〇六、一九五	八〇六、一九五	二〇八、四〇七	七四一

(二) 昭和十九年度電氣料徴収状況表 (昭和十九年十二月末現在)

款別	科目	豫算額	調定済額	収入済額	未収入額	徴収率
第一款	電氣使用料	四、五七二、八〇〇	五、一六〇、三六四	四、三九三、七四四	七六七、六一〇	八五、一
第二款	電氣設備徴収金	一、四五〇、〇〇〇	三三、三五七	三三、三五七		一〇〇、〇
第三款	前年度繰越金	二、一〇〇、〇〇〇	一、七〇二	一、一〇二	五〇〇	七〇、六
第四款	雑收入	四七九、三五〇	五、一九四	四、四二六	七六八	八五、二
計						

(参考)

台才五款 衛生部收入は自昭和十九年四月三ヶ月調定のものなり、以後同仁会に移る  
 至才九款 雑收入の内、昭和十九年観覧稅收入二八四、四六二、九二を含まむものなり  
 第十款 雑收入の内、昭和十九年観覧稅收入二八四、四六二、九二を含まむものなり



(三) 昭和十九年度水道料徴収状況表 (昭和十九年十二月末現在)

款別	件数	滞納額	件数	徴収額	件数	取消及欠損額	件数	現在未納額	徴収率
第一款 水道使用料	四四三	二七、六五五、三六	三三三	三、八六三、四三	四八二	七、六六一、六五	三、七七一	一、六一三、〇一八	八九、〇
第二款 給水工事金	一八四	一、八四、四〇〇、〇〇	一三五	一、八〇、七八〇、〇〇	六三	八、九一〇、〇〇	六八一	六、二二五、三三	九八、九
第三款 雑収入	一〇	一〇、〇〇〇、〇〇	一	五、九三七、九六	三八	三、三四六、五八	二二七	一、二九〇、五二五	
第四款 雑収入	七五	七五〇、〇〇	四	二、〇七九、六〇	四	二、八八〇、〇〇	二	二、〇二二、三三	
計	一、三三二	一、三三二、〇〇〇、〇〇	一、一三三	一、一三三、〇〇〇、〇〇	一、一三三	一、一三三、〇〇〇、〇〇	一、一三三	一、一三三、〇〇〇、〇〇	

(備考) 右表中調定額に対する収入額の比率が悪きものあるは調定後納期の到来せざるものあるためなり

(四) 昭和十九年度居留民団税及其他公課金滞納整理現況表 (昭和十九年十二月末現在)

科目	件数	滞納額	件数	徴収額	件数	取消及欠損額	件数	現在未納額
勤労所得税	四四三	二七、六五五、三六	三三三	三、八六三、四三	四八二	七、六六一、六五	三、七七一	一、六一三、〇一八
事業所得税	七七九	八八、二一四、八〇	三五	一、八〇、七八〇、〇〇	六三	八、九一〇、〇〇	六八一	六、二二五、三三
営業税	二八三	三、〇七九、七九	一八	五、九三七、九六	三八	三、三四六、五八	二二七	一、二九〇、五二五
土地税	四	三、八八〇、〇〇	四	二、〇七九、六〇	四	二、八八〇、〇〇	二	二、〇二二、三三
家産税	六	四、二六二、〇〇	四	二、〇七九、六〇	四	二、八八〇、〇〇	二	二、〇二二、三三
不動産所得税	三六	一、九六一、四六六	四	二、〇七九、六〇	四	二、八八〇、〇〇	二	二、〇二二、三三
之種配当利子税	一五	一、五八二、〇〇	一	一、九五六、一〇四	一	一、九五六、一〇四	一	一、九五六、一〇四
遊興飲食税	一	一、九五六、一〇四	一	一、九五六、一〇四	一	一、九五六、一〇四	一	一、九五六、一〇四

用度課

一、出入庫並在在庫高状況

(イ) 出入庫明細表

昭和十八年十二月末  
在 庫 高  
一、四三八、七四〇、七九七

昭和十九年一月至二月  
入 庫 高  
七、九四、三〇三、三三五

出 同  
一、二六六、〇九三、五九〇

在 同  
九、六六、九四九、五四二

酒 税	二	二四〇〇	四	四八三二	三三三	三、六八三、七九	四三四	二四〇〇
課金使用料	六六一	八、六六〇、三三八	四	四八三二	八三四	三、六八三、七九	四三四	二四〇〇
計	六三七七	一八六、四三三、〇五	三九四	五九、五五八、七五	八三四	二、七五五、八八	五〇五九	一〇三、一〇八、四二

(ロ) 在庫高明細表

品 名  
鍍 鋳 各種  
木材並板類  
煖房用品  
アスファルト  
並 雜 品  
黒瓦 断管  
杉丸太外再用品

数 量  
檜床板外十六点  
放熱器選水弁外六三点  
アスファルト外二四点  
1.2ヨリ6 各種  
杉丸太外八八点

金 額  
二三四、六七二、六九〇  
一九四、九七六、二一〇  
五五、〇〇七、七三〇  
二八一、五七九、二一〇  
一四九、八三六、三二〇

備 考

第四種 絶緣電線  
外電氣用品  
コイル夕外四二点  
計

同外 九五〇  
四三、九一四、〇八二  
九六六、九四九、五四二

三 空紙袋回收並拵下状況

容器名	區別	枚数	金額	備考
空紙袋	伏金ニヨル	五、八三〇	八七四、五〇	一枚丁五支ノ割合
	現物回收	一三、二〇〇	五、六二六、三五	現物處分済
計		一九、〇三〇	六、五〇〇、七五	上記ハ雜收入トシテ一般會計ニ繰入

三 容器拵下状況

容器名	数量	金額	備考
空罐	三七個	七八円二〇	揮発油購入先へ売却

三 鉄類並屑紙献細明細表

献納年月日	區別	数量	献納先	備考
十九年二月廿九日	屑紙	一、三五二斤	軍隊	天津資材回收委員会經由
全 六月十日	古自転車	二台		
全 六月十五日	鉄類			

五、割当資材許可状況

昭和十九年度に於ける第一分科に属する金屬及製品、機械類の割当状況は重点産業部門の緊要性益々緊迫の度を加へたるため割当皆無の現状にして其の他の割当資材許可状況を

- イ 木材 一件
- ロ 紙類 三件
- ハ 石油類 三件
- ニ 其の他不定期分、ゴム製品、綿布、薬品外十七件

第五 金融部

一、復興資金

(一) 支那在留邦人事業復興資金貸付命令書変更の件

(イ) 昭和十九年三月二日附を以て左記の通り貸付命令書一部変更ありたり

第八條を左の通り改む

本貸付金の貸付期限ヲ昭和二十五年年度末トシ昭和十八年度首現在償還未到來元金ハ無利子トシ均等ヲ以テ昭和十八年度以降八箇年賦ニ依リ償還スヘシ

(二) 復興資金貸付審査委員会

(イ) 委員に關する件左の如し

任期満了（昭和十九年一月三十日）  
 赤山今朝治（委員長） 岡本久雄（副委員長）  
 長谷川義三郎 児玉直治 武内進三 牧尚一 坂更一名  
 選任（昭和十九年一月三十日）  
 赤山今朝治 岡本久雄 長谷川義三郎 児玉直治  
 武内進三 牧尚一

(三) 貸付運用状況  
 本期間の貸付運用状況左の如し

区分	一月一日現在額		本期間貸付額		本期間回収額		十二月末日現在額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
證書貸付	三四	二七八、八八一、六八			三三	三二、五〇三、三六	一一	二四六、三七八、四二
手形貸付	五	一五、〇〇〇、〇〇			五	一五、〇〇〇、〇〇	五	二四六、三七八、四二
計	三九	二九三、八八一、六八			三八	四七、五〇三、三六	一六	二四六、三七八、四二

昭和七年十二月本資金貸出開始以来の貸付運用状況左の如し

区分	貸付額		回収額		月賦償還済額		残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
證書貸付	五八八	一七五、六〇〇、〇〇	五七五	一三九、四〇〇、〇〇	一一	一一、五八二、一五八	一一	二四六、三七八、四二
手形貸付	三二〇	六四八、三〇〇、〇〇	三二〇	六四八、三〇〇、〇〇				二四六、三七八、四二
計	七九八	二四〇、四、八〇〇、〇〇	七九五	二〇四、二、六〇〇、〇〇	一一	一一、五八二、一五八	一一	二四六、三七八、四二

(四) 利子収入状況

本期間に於ける利子収入は貸付金利子九千六百五十四円三十九銭、遅延利子二千九百四十八円九十八銭、預金利子六千九百三十七円八十六銭、計一萬八千九百三十四円三十三銭、前年に比し五千六百五十銭の収入減なり

(五) 借入金並支拂利子

本期間に於て政府に償還したる借入金は六万四千九百九十四円三十七銭にして、残額は三十八万八千五百二十二円三十三銭なり、支拂利子は昭和十八年度以降免除になりたり

三 業務復興資金

(一) 業務復興資金貸付審査委員

(1) 委員に關する件左の如し

任期満了 (昭和十九年三月二十五日)

赤山今朝治 (委員長) 山田栄治 (副委員長)

上田 茂 岡 本久雄 鍛冶静一郎

甲野亮太 小林陽之助 前原 勇

選 任 (昭和十九年三月二十六日)

赤山今朝治 上田 茂 岡 本久雄 鍛冶静一郎

菊地新一 甲野亮太 小林陽之助 前原 勇

山田栄治 中島栄一郎

菊地新一  
田中 義雄  
(昭和十九年三月十日辞任)

正副委員長決定 (昭和十九年三月二十六日)  
 委員長 赤山今朝治 副委員長 山田崇治

(ロ) 本委員会の開会は四回にして其の開会月日左の如し

- 第三十八回 (三月十五日)
- 第三十九回 (三月十五日)
- 第四十回 (五月二十九日)
- 第四十一回 (六月十七日)

(三) 貸付運用状況

本期間の貸付運用状況左の如し

区分	一月一日現在額		本期間貸付額		本期間回収額		十二月末日現在額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
証券貸付(信用)	七八	二四九、六四三、九	三	一一五、〇〇〇、〇	二一六、九八一、三	五四	一四七、六八三、一	
キ形貸付(担保)	二	一、四七、七六九、八〇	三	四一〇、〇〇〇、〇	六一、六一六、一八	一六	九四六、一五三、六二	
キ形貸付(担保)	一	二〇、〇〇〇、〇〇	九	一三〇、〇〇〇、〇〇	一四〇、〇〇〇、〇〇	一	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	
計	一〇〇	一、四一七、四三四、〇九	一五	六四五、〇〇〇、〇〇	九六八、五九七、三一	七二	一、〇九三、八三六、七八	
昭和十五年六月貸出開始以来の貸付運用状況左の如し								
区分	貸付額		回収額		月賦償還済額		残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
証券貸付(信用)	一〇〇	一、〇五七、七〇〇、〇〇	七三	七七三、三〇〇、〇〇	一三六、八一六、八四	二七	一四七、六八三、一六	
キ形貸付(担保)	三九	三、五五七、〇〇〇、〇〇	三三	一、〇八七、〇〇〇、〇〇	五三三、八四六、三八	一六	九四六、一五三、六二	
キ形貸付(担保)	一三	二、九〇〇、〇〇〇、〇〇	一三	二、九〇〇、〇〇〇、〇〇	一	一	一	
計	一五二	三、九〇〇、四七〇、〇〇	一一九	二、一五〇、二〇〇、〇〇	六六〇、六六三、二二	四三	一、〇九三、八三六、七八	

(三) 利子収入状況

本期間に於ける利子収入は貸付金利子八萬四千二十四円三十九銭 遅延利子一千八百九十七円六十銭 預金利子六千六百七十五円三十九銭 計九万二千五百九十七円三十八銭にして前年に比し五千五百一十一円五十五銭の収入減なり

(四) 借入金並借入金利子

本期間に於て東洋拓殖株式会社に償還したる借入金は八万六千五百五十四円二銭にして残額は百五十九万百十七円三十銭なり 同社に支拂たる利子は八万五千四百八十九円を十四銭なり



## 第六 學務部

### 學務課

#### 一 教育趣向の概況

##### (一) 學校異動

1. 天津日本幼稚園休園す

時局の進展は天津日本幼稚園の休園を余儀なくし、昭和十九年八月十六日より展期休園となる

2. 天津春日日本國民學校新校舍に移転す

昭和十九年十一月二十八日第三區月緯路九に新校舍竣工し、全月二十三日黃緯路三号の旧校舍より移転す

3. 天津橋立日本高等女學校設立さる

河津地区に於ける邦人の激増と通學の不便とに鑑み、昭和十九年四月二十日、天津橋立日本高等女學校設立の認可を得、九月十五日第三區月緯路九の舊校舍に移転し、九月三十日在外指定となり、十一月二十四日第三區黃緯路三一号の現校舍に移転す

4. 天津日本商業學校廢校に決す

昨年度政府より示され、教育非常措置一閱スル件、に就ては、爾來民國としては慎重

なる熟議が行はれ、遂に新築學校建設の事になり、一月二十七日附議則改正の申請となり、六月三日附議あり、茲に先導、近衛らに附議、十二年の曆又昭和二十年三月三十一日限り終止符を打たれる事となつた。

5. 天津日本航空協會設立

時局の要請に依り、豫て設立計画中の天津日本航空協會は、九月十日淡陽講堂に總會式を挙げ、協會長に任井忠三氏を理事長に、大柴榮氏就任し、茲にめぐましく新發足をしたのである。滑空訓練に無線訓練に或は又発動機の整備工作に之が進展の曉は正に到目して見るべきものがある。

(二)

一般事項

- 一月十日 天津日本青年學校特修科入學式舉行
- 三空青年十一日・大和青年十二日 學校職員生徒児童血液型検査施行
- 一月十五日 學務課元所護課跡入移設す
- 二月一日 居留民団立中等學校國民學校幼稚園昭和十九年度新入生徒児童受付開始
- 二月七日 天津日本中學校教員檢査開始
- 二月二二日 海外同胞中興會募集生徒児童級方入選有賞狀授與式舉行
- 二月二十八日 マントウ氏反應検査施行 (三月十五日迄)
- 三月六日 天津松島日本高等女學校卒業式舉行
- 三月七日 臨時教育研究會開催 (各校)
- 三月十一日 ○○部隊長講話會開催 (各校)
- 三月十四日 天津日本中學校、天津日本工業學校入學考査実施
- 三月十六日 天津日本幼稚園修了式舉行
- 三月十七日 天津松島宮島日本高等女學校入學考査実施
- 三月十八日 天津松島宮島日本高等女學校入學考査実施
- 三月二十日

- 三月十八日 天津英學幼稚園修了式舉行
- 三月十九日 天津日本三益大和日青青年學校卒業式舉行
- 三月二十日 天津法政大和日青國民學校修了式舉行
- 三月二十四日 天津三益春日日本國民學校修了式舉行
- 三月二十五日 天津吳善吉野日本國民學校修了式舉行
- 四月三日 鐵道職員體育大會開催
- 四月九日 中野第一隊を聘し現地農耕講習會開催 於松島高女
- 四月十六日 各學校校長甲第一八二〇部隊見學
- 四月二十三日 學校職員甲第一八二〇部隊見學
- 五月十六日 女子學校職員救急法講習會開催
- 五月十七日 昭和十九年度教育總會開催 於商業校
- 五月二十日 コレクレー防指種施行 (十五日迄)
- 五月二十五日 學校修練研究會開催 於松島高女
- 六月十三日 マントワ氏及藤檢査旅行 (六月末日迄)
- 六月十七日 元天津日中學校 旗々亦中野對志靈祭執行
- 九月十八日 學校防空研究會開催 於大和校
- 十月二日 岡部平太氏講演會開催 於松島高女
- 十月四日 青少年體力檢査施行 (二十四日迄)
- 十月十八日 種痘実施 二十八日迄
- 十月二十日 海軍士官陸軍連綿部長の贈詞講演會並歌詠會開催 於商業校
- 十月七日 天津日中學校檢査團施行 (天津八日) (日青九日) (大青十日)
- 十月十五日 賢川豐彦氏講演會開催 於會議室

二、學級數及兒童生徒數 (昭和十一年十二月末日現在)

(一) 国民學校

計	大和	吉野	春日	三笠	淡路	芙蓉	校名	級	種
25	3	2	3	4	7	6	級學	初	一
549	80	40	47	93	163	126	男	初	一
486	58	33	51	85	118	141	女	初	一
1036	138	73	98	178	281	268	計	初	一
24	3	2	2	5	7	5	級學	初	二
503	68	52	35	100	144	104	男	初	二
544	58	41	39	109	155	142	女	初	二
1047	126	93	74	209	299	246	計	初	二
22	3	2	2	4	6	5	級學	初	三
446	57	44	48	67	130	100	男	初	三
485	59	47	42	85	130	122	女	初	三
931	116	91	90	152	260	222	計	初	三
19	3	2	2	3	5	4	級學	初	四
425	55	27	39	88	117	99	男	初	四
399	53	35	38	64	104	105	女	初	四
824	108	62	77	152	221	204	計	初	四
18	2	2	2	3	5	4	級學	初	五
384	39	40	37	72	100	96	男	初	五
411	49	53	35	68	125	101	女	初	五
795	88	73	72	141	225	197	計	初	五
19	2	2	2	3	5	5	級學	初	六
386	57	32	36	55	103	105	男	初	六
393	47	27	28	60	115	116	女	初	六
779	104	57	64	115	218	221	計	初	六
3	2	-	-	1	-	-	級學	高	一
63	46	-	-	17	-	-	男	高	一
29	13	-	-	16	-	-	女	高	一
92	59	-	-	33	-	-	計	高	一
2	1	-	-	1	-	-	級學	高	二
26	15	-	-	11	-	-	男	高	二
11	7	-	-	4	-	-	女	高	二
37	22	-	-	15	-	-	計	高	二
132	19	12	13	24	35	29	級學	計	
2,782	417	233	242	503	757	630	男	計	
2,759	344	216	233	491	747	728	女	計	
5,541	761	449	475	994	1,504	1,358	計		

(百四十)

(備考) 専攻科ハ松島日本高等女學校ニ併置シヤリ

計	橋 女	宮 女	松 女	工 業	商 業	中 學	校 名	年
18	2	3	3	6	-	4	4級學	一 年
410	-	-	-	222	-	188	男	
331	78	102	151	-	-	-	女	
741	78	102	151	222	-	188	計	二 年
18	2	3	3	5	-	5	5級學	
382	-	-	-	200	-	182	男	
281	54	89	138	-	-	-	女	三 年
663	54	89	138	200	-	182	計	
13	2	3	2	-	-	6	6級學	
192	-	-	-	-	-	192	男	
236	47	84	105	-	-	-	女	
428	47	84	105	-	-	192	計	五 年
13	-	4	3	-	3	3	3級學	
231	-	-	-	-	121	110	男	
261	-	124	137	-	-	-	女	專 攻 科 一 年
492	-	124	137	-	121	110	計	
6	-	-	1	-	3	2	2級學	
157	-	-	-	-	83	74	男	
18	-	-	18	-	-	-	女	
175	-	-	18	-	83	74	計	專 攻 科 三 年
1	-	-	1	-	-	-	1級學	
-	-	-	-	-	-	-	男	
21	-	-	21	-	-	-	女	計
21	-	-	21	-	-	-	計	
69	6	13	13	11	6	20	20級學	
1,372	-	-	-	422	204	746	男	計
1,148	779	399	570	-	-	-	女	
2,520	779	399	570	422	204	746	計	

(二) 中等學校

(三) 青年學校

計	大青	三笠	日青	校名	級	學	普
3	1	-	2	級	學	普	
16	3	4	9	男	女	計	
25	-	-	25	級	學	普	
41	3	4	34	男	女	計	
2	1	-	1	級	學	普	
7	4	-	3	男	女	計	
16	-	-	16	級	學	普	
23	4	-	19	男	女	計	
4	2	1	1	級	學	本	
51	17	14	20	男	女	計	
24	24	-	-	級	學	本	
75	41	14	20	男	女	計	
3	1	1	1	級	學	本	
64	29	11	24	男	女	計	
64	29	11	24	級	學	本	
3	1	1	1	級	學	本	
80	29	23	28	男	女	計	
80	29	23	28	級	學	本	
3	1	1	1	級	學	本	
66	25	13	6	男	女	計	
66	25	13	28	級	學	本	
3	1	1	1	級	學	本	
58	12	9	37	男	女	計	
58	12	9	37	級	學	本	
3	2	-	1	級	學	研	
42	39	-	3	男	女	計	
42	39	-	3	級	學	研	
9	2	1	6	級	學	特	
118	43	8	67	男	女	計	
118	43	8	67	級	學	特	
3	2	1	-	級	學	專	
19	19	-	-	男	女	計	
8	-	8	-	級	學	專	
27	19	8	-	男	女	計	
36	14	7	15	級	學	計	
479	181	82	216	男	女	計	
115	63	8	44	級	學	計	
594	244	90	260	男	女	計	

(四) 幼稚園

計	女	男	區分
			分
			日
			本
87	37	50	茨
			三
			笠
13	9	4	春
			日
54	27	27	吉
			野
49	21	28	大
			和
203	94	109	計

(自四十一)

三、卒業生及入學生

(一) 國民學校

校名	修了了生	昭和十八年度	入學生	昭和十九年度
芙蓉	263		303	
淡路	246		331	
三笠	156		259	
校名	修了了生	昭和十八年度	入學生	昭和十九年度
春日	82		123	
吉野	68		84	
大和	134		236	

(二) 中等學校

校名	修了了生	昭和十八年度	入學生	昭和十九年度
中學	71		203	
商業	89		—	
工業	—		223	
校名	修了了生	昭和十八年度	入學生	昭和十九年度
松女	212		198	
宮女	—		159	
橋女	—		—	

(三) 青年學校

三笠	日本	校名
39	84	昭和十八年度卒業生
47	183	昭和十九年度入學生
大和	校名	
	57	昭和十八年度卒業生
	103	昭和十九年度入學生

(四) 幼稚園

三笠	芙蓉	日本	園名
17	100	324	昭和十八年度了生
—	98	323	昭和十九年度入園生
大和	吉野	春日	園名
56	48	20	昭和十八年度了生
60	58	14	昭和十九年度入園生



四、學校職員表

(一) 國民學校

校名	校長	訓導	導師	助教	(華) 託	(時) 託	計
笑落	一	四三	四三	四	〇	〇	四八
淡路	一	四八	四八	二	一	〇	五二
三笠	一	三五	三五	五	〇	二	四三
春日	一	二一	二一	〇	〇	二	二四
吉野	一	二〇	二〇	一	〇	一	二三
大和	一	二九	二九	〇	〇	〇	三〇
計	六	一九六	一九六	一二	一	五	二二〇

(百四十五)

(二) 中等學校

計	橋 女	官 女	松 女	工 業	商 業	中 學	校 名	校 長	專 任 兼 任	教 諭	助 教 諭	書 記	日 語 人 員	華 語 人 員	日 語 人 員	華 語 人 員	計
六	一	一	一	一	二	一											
一一一	一〇	三三	一九	一〇	一三	三六											
三	一	〇	二	〇	〇	〇											
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇											
六	一	一	一	二	一	〇											
二七	二	一	五	八	四	七											
五	〇	一	〇	二	二	〇											
七	〇	〇	〇	四	一	二											
二	二	〇	〇	〇	〇	〇											
一六七	一七	二七	二八	二七	二二	四六											

(百四十六)

		(三) 青年學校					(四) 幼稚園					(五) 合計			
合計	區分校長	計	大和	吉野	香日	芙蓉	園名	計	大和	三本	日水	校長	教員	合計	區分校長
一九	二三八	三	一	一	一	一	長	三	一	一	一	一	一	三	二三八
三	助教諭	四	一	一	一	一	保	七	四	三	〇	一	一	三	助教諭
一	訓導							〇	〇	〇	〇			一	訓導
一九六	助教							一	〇	〇	一			一九六	助教
一二	保母	六	〇	一	〇	五	母	〇	〇	〇	〇			一二	保母
六	代母	四					代	三	一	一	一			六	代母
四	書記							五	二	二	一			四	書記
六	日人	四	三	〇	一	一	母	一	三	四	四			六	日人
三〇	華語人							一	二	二	一			三〇	華語人
一一	日人							一	四	四	五			一一	日人
二〇	時人							二	〇	〇	二			二〇	時人
九	時人							四	一	一	二			九	時人
四四五	計	一四	三	二	二	七	計	四	二	一	一			四四五	計

(百四十七)

五、青少年團關係事項

實施事項

- 一月九日 海洋少年團開團分列式を商業學校々庭に於て舉行す
- 三月六日 青少年團研究調査の爲め單位團指導者十三名瀋州国外各地へ派遣
- 三月廿二日 海河工程局汽船「清凌」渡凌の二隻に便乗し塘沽方面に於て海洋少年團海上訓練を實施す
- 四月一日 青少年團組織の一部を左の通り改正す  
 戰時精神教育部、戰時体錬部、戰時時技訓練部、戰時科學教育  
 部、戰時女子教育部、戰時勤勞増産部、戰時生活部
- 四月廿三日 海洋少年團入退團式を松島高女講堂に於て舉行す
- 四月廿五日 冀北會指導の下に教職員に對する馬場訓練を六日間亘り實施
- 四月廿七日 大日本青少年團制定の團員徽章を全會員に佩用せしめ統制を強化す
- 五月八日 華北重々より講師の派遣を受け通信訓練指導者講習會を工業學校に於て開催す
- 五月廿二日 青少年志氣昂揚大會を商業學校々庭に於て開催引續き分列式を舉行す
- 五月廿七日 海軍記念日祝典又北支派遣團の激唱大會に参加す
- 全 日 海洋少年團學藝大會を公會堂に於て開催す

六月九日

第四回華北都市交際體育大会市政府主催の下に第二運動場にて開催され、中學松島官島芙蓉淡路の各校参加す

七月十八日

青島方面特別根據地隊司令部援助の下に青島〇〇海軍部隊に入隊海洋少年團軍事訓練を実施す

九月廿日

航空日に當り滑空機演練及模型航空機総翔大会を綜合運動場にて開催す

九月廿四日

海洋少年團劇「我等ハ志軍少年兵」を公会堂にて公開す

十月四日

市政府教育局主催の仲秋節聯歡中、日學生學芸大会淡路国民學校講堂に於て開催され、華學淡路官島の各校参加す

十月十五日

華第一八六部隊に於て通信指導者入隊教育を十一月二日迄実施す

十一月十五日

日華學生交際學芸大会、公会堂に於て開催、松島官島芙蓉淡路之に参加す

十一月廿日

日華同盟條約締結大東亞共同宣言發布一週紀念慶祝旗行進に中學工業松島官島参加す

其、他

一、學徒勤勞勸員、二、學校放送を毎月三學生映画を隨時実施す

### 保健課

七月一日より學務部に保健課新設せらるも事務は當分の間學務課に於て執行せられたり

身体検査成績左の如し

一、身体検査成績表

(具ノ一)

年 齡	身 長		胸 圍		坐 高		脚 長		重 量		体 重	
	平均	男 女	平均	男 女	平均	男 女	平均	男 女	平均	男 女	平均	男 女
七 歲	一〇九・〇	一〇七・九	五三・二	五三・二	六三・四	六三・四	五三・八	五三・八	一七・六	一七・六	一七・六	一七・六
八 歲	一一四・二	一一三・九	五五・〇	五五・〇	六四・六	六四・三	五五・〇	五五・〇	一九・〇	一九・四	一九・〇	一九・四
九 歲	一二九・一	一二八・九	五六・八	五六・八	六六・八	六六・七	五六・八	五六・八	二二・四	二二・四	二二・四	二二・四
一〇 歲	一三五・六	一三四・八	五八・七	五八・七	六八・九	六八・九	五八・七	五八・七	二四・〇	二四・〇	二四・〇	二四・〇
一 一 歲	一三八・二	一三八・一	六〇・六	六〇・六	七〇・八	七〇・八	六〇・六	六〇・六	二六・一	二六・一	二六・一	二六・一
一 二 歲	一四三・七	一四三・五	六二・二	六二・二	七二・五	七二・五	六二・二	六二・二	二九・九	二九・九	二九・九	二九・九
一 三 歲	一五三・七	一五三・八	六六・二	六六・二	七三・九	七三・九	六六・二	六六・二	三三・一	三三・一	三三・一	三三・一
一 四 歲	一六三・九	一六三・六	六八・三	六八・三	七五・四	七五・四	六八・三	六八・三	三六・一	三六・一	三六・一	三六・一
一 五 歲	一七四・七	一七四・三	六九・七	六九・七	七七・三	七七・三	六九・七	六九・七	三九・〇	三九・〇	三九・〇	三九・〇
一 六 歲	一八四・四	一八四・四	七二・一	七二・一	七九・五	七九・五	七二・一	七二・一	四三・三	四三・三	四三・三	四三・三

(百五十)

其二

種別	全國		天津		全國天津	
	男	女	男	女	男	女
瘡	其、他、皮膚病	一五〇	〇五三	一九三	〇二〇	
皮膚	傳染性皮膚病	二七〇	〇三三	一四四	〇二二	
喉	腺樣增殖症	〇五五	〇八三	〇五一	〇一五	
咽	扁桃腺肥大	二二三	二五八	二六五	五三五	
又	蓄膿症	〇二〇	〇三〇	〇一六	〇四五	
鼻	鼻	三〇九	二六〇	〇四〇	一六一	
疾	其、他	二九五	〇九七	二五五	〇六三	
耳	中耳炎	一三〇	〇七三	〇七七	〇六三	
聽力障礙	その他	一六三	〇四五	一六九	〇七四	
疾	其、他	一	五三四	一	七四五	
眼	トヲホム	八九八	一二四	一〇二五	一七七	
常	乱視	〇三六	〇四五	〇五八	〇五五	
異常	近視	二八四	八三六	九五五	六三五	
屈	遠視	〇三一	一	〇四〇	〇二二	
弱	視	〇八五	二三八	一三三	二三六	
脚	異常ナル者	五二二	一七五	三五八	一九九	
症	カリエス	〇三三	〇〇四	〇三三	〇〇五	
背	異常ナル者	四八八	二六六	五四九	四四五	
管	要注意者	五三三	四〇二	五二七	三九七	

(一十五頁)

(二十五)

對ナル％トス  
 (註) 齲齒欄中、括弧内数字ハ乳齒、齲齒ニ

種別	男		女	
	全國	天津	全國	天津
營養者	17.5	17.3	17.3	17.4
頸腺腫瘍	1	1	1	1
四肢運動障害	0.28	0.3	0.35	0.22
骨關節異常	0.5	0.6	0.39	0.1
精神障害	0.7	1	0.5	0.22
言語障害	0.35	0.6	0.7	0.2
脫腸	0.3	0.6	0.8	1
神經衰弱	0.1	1	0.1	0.5
脚氣	0.1	1	0.1	0.5
血	0.37	0.6	0.24	0.38
心臟疾患	0.3	0.5	0.39	0.58
肋膜炎	0.2	0.3	0.2	0.3
腺病	0.2	0.3	0.2	0.3
結核性疾患	0.6	0.3	0.6	0.53
其他齒疾	3.7	0.3	2.4	3.8
齲齒者	6.3 (0.9)	3.8 (0.9)	4.1 (0.9)	3.9 (0.9)

(前表ニ續ク)



三定期口腔検査成績

區分	検査人員	齲齒アル者	齲齒ナキ人員	要治療者数	既治療者数	要治療者数	既治療者数
中學校	七四四	二三二	五一一	二三二	五〇〇	五	—
工業學校	四二二	二四九	一七四	一八三	一四二	—	—
松島女學校	四六〇	二〇八	二五二	二〇三	四六三	—	—
宮島女學校	五二八	二八五	二三三	一七四	四四一	一三	一八
日本青年學校	一一八	七五	四三	七一	四三	—	—
芙蓉國民學校	一四五九	一三八〇	一七九	九〇五	一五	三五四	—
淡路國民學校	一六二五	七二八	八九七	一九四	一九二	六三	八〇
三笠國民學校	一〇八四	五八六	四九八	三〇	一四一	四二	—
吉野國民學校	四四五	二八八	一五二	七〇	五九	一〇一	—
春日國民學校	五六六	三二七	二四九	二七	八	—	—
大和國民學校	八七六	六四六	二三〇	二二五	一一三	二四三	二五二
日本幼稚園	二四一	一六一	八〇	—	—	—	—
計	八五五九	五〇五五	三五〇四	二三一五	二二二七	八二三	三五〇

(百五十三)

(三) 驅虫劑服用結果成績左の如し

學校別	服用人員	蛔虫排發匹數
總計	二〇七〇	二四〇一
幼稚園	七二	八六
國民學校	一〇五三	九八九
青年學校	九四	二〇
中等學校	八七一	三〇六

(四) 預防接種に關する狀況左の如し

學校別	種痘完了數	コレラ預防注射數
總計	七八八〇	九二六五
幼稚園	一四一	三二六
國民學校	五三二〇	六一七三
青年學校	一四一	二九七
中等學校	二二七八	二四六九

(五) 血液型検査狀況左の如し

學校別	性別		検査人員	内			譯
	女	男		A	B	AB	
總計	九三九一	四四七四	三、五五九	二、一四六	九七六	二、七一〇	
幼稚園	四九一七	四四七四	一、七七八	九七四	五二九	一、二五三	
國民學校	三、一三七	三、四三七	一、一七三	七六〇	三、八三	一、〇一二	
青年學校	六八	六八	二七	一七	四	二〇	
中等學校	一、三五一	九三二	五、一七	三〇二	一、二五	四〇七	

(六) 歯科治療成績の如し

計	大和	三笠	淡路	芙蓉	學校別	
					旧患	新患
四七	五	七	一五	二〇	四五七	計
二四三	三三二	二二一	四三五	四七七	完	治療
二四八	三二六	二三八	四五〇	四五八	了	後遺
一三七	二九九	一九六	四二一	一九	日	治療
一〇七	二七	三二	九	二七六八	数	治療
八五六	一九六四	一四六三	二七六八	二二三五	充	治療
七三三	一三〇	一三六	二三四	二二五	鑲	治療
四三七	七五	九五	二四二	八五	抜	治療
三四三	八七	九八	七三	四五	歯	内
一四〇	二九二	二一九	四四九	四三三	其	計
三					他	譯
					計	

## 圖書館

### 一、特記事項

#### (一) 軍管理圖書整理

「天津俱樂部」所屬圖書約九、〇〇〇冊の調査を完了し三月末「檢閱整理報告(其三)」天津防衛司令部宛提出せり。之を以て本委員会に委嘱せらるる軍管理圖書即ち旧英國工部局圖書館藏書、天津俱樂部圖書室藏書、東方圖書館所屬圖書並に敵性發着所存圖書に關し、天津防衛司令部の指示に基く第一級の概括的調査を終了せり。

#### (二) 圖書館閱覽料改正の件

昭和十九年四月一日より圖書帶費保證金(一般人)が從來五圓なりしを新拾圓に値上をなし尚回数券の發行を中止せり。

#### (三) 展覽會開催

昭和十九年十月六日より三日間、圖書館階上閱覽室に於て「萬葉集關係

図書館展覧会」を開催し本館所蔵の萬葉集関係圖書約三百冊、他に寫眞図録数頁を展覧せり。參觀者合計一般六十五名、生徒四三〇名

④ 講話 開催

昭和十九年十月二十日、二十一日の二日間來津中の土屋文明氏を聘し図書館址讀書会の主催にて「萬葉集講話」を開催せり

二 巡回文庫

昭和十九年十二月末に於ける文庫停留所及閲覧利用状況左の如し

文庫停留所名	巡回回数	巡回冊数	閲覧冊数 及人員	停留所 所属人員	備考
東 亜 海 運	六	三二七	二九七	三四	
華北交易統制 總會天津支部	六	三二一	四九〇	九〇	
北支石油協 會天津支部	六	三二六	三〇三	三八	
華北運輸天 津站荷扱事務所	五	二五五	四一三	六〇	四月ヨリ新加入

(前葉を續く)

文庫停留所名	迴附回数	迴附冊数	閱覽冊数 及人員	停留所 所属人員	備考
双喜紡織	一三	六三四	一二二九	一二六	二文庫
日本棉花	六	三二二	五六七	六二	
福昌公司	六	三一五	三八九	四五	
華北電業	六	三一三	五二四	九五	
正華洋行	六	三一五	三〇八	二三	
天津船船	五	二五五	五九七	八〇	四月ヨリ新加入
華北電業 用度事務所	四	二〇八	四三五	七七	五月ヨリ新加入
三菱商事	三	一五〇	三三四	一四三	七月ヨリ新加入
華北電業用 度中央倉庫	一	五〇	七一	二九	十一月ヨリ新加入

(百五十八)

(前葉ニ續ク)

天津市 語專科學校	一	五〇	六〇	三〇	十一月ヨリ新加入
平川部隊	六	三四二	六五五		
河北第一區	六	三二六	五六三	九〇	
春日國民學校	一	五七八	九九九	五七二	十二月休附
三笠國民學校	一	六二八	一一七九	五二三	
吉野國民學校	一〇	五二六	一〇一三	五〇八	四月十一月休附
計	一一八	六三三二	一〇、四二六	二、六二五	

山海關臨海學校夏季巡回女康昭和十九年度は中止せり  
塘沽居留民団に宛て昭和十九年七月一日、二百十冊を發送、目下巡回團  
覽中なり

(百五十九)

三館 况

(一) 藏書冊數並金額

(本館)

昭和十八年十二月末 六八、三三八冊 一九八、四七三圓〇九錢  
 昭和十九年十二月末 七五、〇四五冊 二四四、五四〇圓二一錢  
 差引増加 六、七〇七冊 四五、七九七圓一二錢

(巡回文庫)

昭和十八年十二月末 五、二一三冊 九、六六五圓三〇錢  
 昭和十九年十二月末 六、二二〇冊 一三、三七一圓七四錢  
 差引増加 一、〇〇七冊 三、七〇六圓四四錢

合計 昭和十九年十二月末 八一、二六五冊 三五七、九一一圓九五錢

(二) 部門別藏書數

(本館)

總記	五、一三七冊	精神	三、九五五冊	歴史	七、〇〇五冊
社会	八、〇五〇冊	自然	二、七九一冊	工藝	二、七一一冊
産業	一、九五九冊	美術	二、六二六冊	語學	一、三四一冊
文學	九、五六〇冊	支那	二、五八五冊	滿洲	九、七五冊
児童	三、〇八二冊			合計	七五、〇四五冊

(巡回文庫)

總記	一一三冊	精神	二二一冊	歴史	七六七冊
----	------	----	------	----	------



社会 六一八册 自然 一五九册 工学 七五册  
 産業 五〇册 美術 一九五册 語學 一五册  
 文學 三四〇一册 児童 一六〇六册 合計 六、三三〇册

(三) 備付新刊及雜誌數

新聞 購入四四種 寄贈 八種 計 五二種  
 雜誌 購入四八種 寄贈 一〇種 計 五八種

(四) 閱覽人員數

年次	開館日數	閱覽人員	前年比	一日平均	前年比
昭和十八年	三三三日	八三一五〇人		二五〇人	
昭和十九年	三四三日	七二五三〇人	減一〇、六二〇人	二二一人	減 三九人

(五) 閱覽圖書數

年次	開館日數	閱覽圖書數	前年比	一日平均	前年比
昭和十八年	三三三日	一〇四、九四五册		三一五册	
昭和十九年	三四三日	八八、五六七册	減一六、三七八册	二五八册	減 五七册

(六) 館内閱覽券賣上高館外帶券手数料巡回文庫閱覽料

一回券 五九三円七五銭

帶券手数料 二八四円六〇銭

巡回文庫閱覽料 二四回券 八二円四〇銭  
巡回文庫閱覽料 一四六〇円〇〇銭

合計 三四二〇円七五銭

(七) 借覽券保持者数

優待券 二九人

合計 一六八八人

館外帶券 七八九人

學生券 八七〇人

(四) 児童図書館々況

(一) 藏書冊数

昭和十八年十二月末 二五一九冊

昭和十九年十二月末 三八二冊

増加冊数 五六三冊

(二) 備付新聞及雜誌数

新聞 一種 雜誌 一一種

合計 一三種

(三) 閱覽人員數

年次	南館日數	北館人員	前年比	日平均	前年比
昭和十八年	三三二日	一〇六八八人		三二人	
昭和十九年	三三四日	九七九三人	減 八九六人	二九人	減 三人

(四) 學年別閱覽人員數

三年生	三三二〇人	四年生	一九二三人	五年生	二八四五人
六年生	三九五〇人	中學生	八五五人	合計	九七九三人

### 博物館

#### 一 館況

開館日数 延三三五日 入場者總数 一〇七〇五人  
 (内) 釋 日本生徒 二〇、五四〇人 中国生徒 二九人 会社員 六八名  
 軍 人 五二人 教 員 二人 婦 人 五人  
 中国人 九人  
 一日平均入場者数 三〇人強

#### 二 委員会

- (一) 昭和十八年度第三回學藝委員会・三月四日於日本俱樂部出席者一九名
- (二) 天津臨時科學教育委員会・三月七日於英帝國國民學校 松田 廣買出席  
 協議事項中館に關係あるもの 天体氣象講習二回又此件 植物採集  
 会中蒙草採集ノ件 學校職員工場見學ノ件
- (三) 昭和十九年度第一回學藝委員会・七月十三日於民団會議室出席者三  
 二名 協議事項 一般事務報告 會場用動植物採集依頼ノ件
- (四) 博物館及家事科學委員會・八月三日於本館事務室出席者十名  
 協議事項 鐵廚食展ニ關スル件
- (五) 同上 九月三十日於本館事務室出席者七名 協議事項同上

三、展覽會

(戰時食糧展覽會) 期間自十月十四日至十六日 於日本公會堂 後接製菓會  
會天津支部 入場者總數 一九一七名 食野草展示數 五〇種  
製菓展示數 一二種 試食品 二〇種

(同慶三開スル座談會) 十月十四日 於民團會議室 出席者 二〇名

四、資料蒐集

福島街中国人經營料理店部一知ノ竈神祭 天石宮祭 峯山廟又祭  
王廟祭 東洋製紙工場 端午節風俗 北京及萬善山方面食野草  
蒐集 天津市美術館及廣智館(主トシテ孔子ニ関スル資料) 電々  
主催電氣展 滿洲資源館 立川主事ニ依頼セル標本中獨一五二枚  
製産物一五〇種 鐘物三〇種蒐集済ノ通知アリ 海軍協会 平尾  
誠一氏ニ艦船模型製作方ヲ依頼ス

五、受贈資料

中国看板一三桌 中国印刷軸物一二六桌 日本商業學校ヨリ受贈

### 六、業 務

白河ノ地圖及瀋陽展示  
展示壁面用額ノ改装修理  
図書館主催 万葉集展ノ展示装置  
本館展示資料カード整理完了  
天津市美術展作品搬入先所トシテ館事務所ヲ使用セシム  
贈葉標本中棚ヲ設計シ購入現在標本整理中

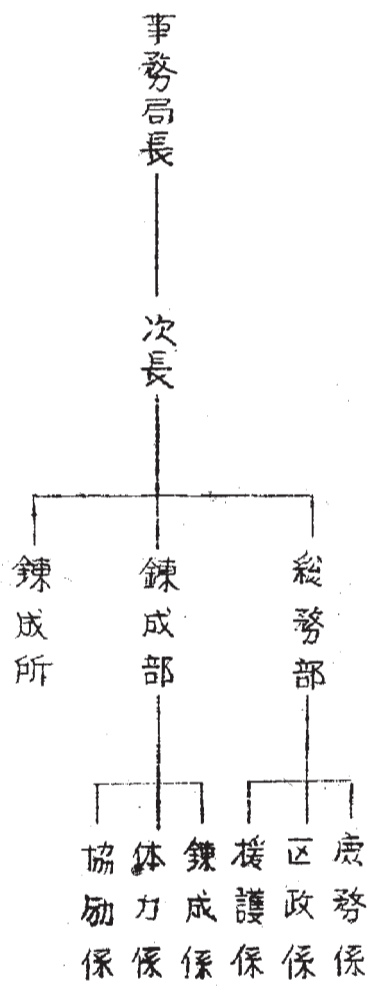
## 第七 翼賛部

概況

一、華北興亜翼賛会と表裏一体の關係に於て緊迫せる時局に即應すべく戦争思想の確立、勤勞勤貢日華一体化等を主目標として興亜運動の展開を図ると共に大東亞戦争勃発前後より提唱実施される実績運動「飛行機献納」「資材回收」「輸血」の三運動に更に「貯蓄増強」「國債消化」の二者を加へて五大報國運動として活潑なる活動を行ひたり又、銃後奉公の至誠を實體し二月天津帝國軍人援護会、八月天津翼賛勤勞挺身隊、十月天津帝國傷痍軍人会等を創設する外四月華北國防婦人会天津支部を併合し婦人運動を一元化すると共に婦人を通しての善隣工作を推進せり

### 二、事務局機構の改革

五月事務局機構を左の如く改革せり



(百六十七)

翼贊課

○庶務

一 翼贊會支部

(一) 全体委員會

第一回 三月十日 於民團會議室

イ 五大報國運動ニ關スル件

ロ 決戦増産協力會議開催ノ件

ハ 才三次華北新建設促進運動ノ件

第二回 七月二十四日 於公會堂

イ 旅行機獻納運動ニ關スル件

(二) 全体常任委員會

第一回 二月十日 於民團會議室

イ 才二次華北新建設促進運動ニ關スル件

ロ 日華善隣宣伝方法ニ關スル件

第二回 六月十七日

イ 北京ニ於ケル事務局長會議ニ提出スヘキ議案ヲ協議セリ

第三回 七月五日

イ 生活必需品重點配給ニ關スル件

ロ 青年建設會議及事務局長會議經過報告



第四回 七月十五日 於民団會議室

イ 飛行機献納運動ニ関スル件

第五回 八月十六日

イ 勤勞挺身隊結成及出勤ノ件

ロ 鍊成所閉鎖ノ件

(三) 分科会

(1) 第一分科会

第一回 一月十八日 於民団會議室

イ 献毛 献屑(紙屑)運動ニ関スル件

ロ 勤勞奉仕ニ関スル件

第二回 三月七日 於警務局長室

イ 才二次華北新建設促進運動ノ件

ロ 苧麻栽培徹底化

(2) 家庭農園奨励

ロ 地方支部決戦増産協力会議開催ノ件

ハ 應召軍人家族引揚輸送及送金ノ件

第三回 三月三十一日

イ 婦人戦争生活講座開催ニ関スル件

ロ 苧麻栽培督察ニ関スル件

第四回 四月二十六日

イ 不健全娯楽排撃ノ件

- 第五回 五月九日 於事務局長室  
イ 防空服裝徹底ノ件
- 第六回 六月七日  
イ 青年建設會議開催ノ件
- 第七回 七月二十日  
イ 飛行機献納運動ニ関スル件
- 第八回 九月二十一日 於民団會議室  
イ 機関誌発行ノ件  
ロ 居留民団錬成会開催ノ件
- 第九回 十一月四日 於事務局長室  
イ 大詔奉戴三周年紀念行事実施ノ件  
ロ 年末年始自肅自戒強調ノ件
- (ロ) 第三分科会
- 第一回 一月十七日 於事務局長室  
イ 日華風俗習慣編纂交換ノ件
- 第二回 二月十五日  
イ 日華善隣常会ニ関スル件
- 第三回 四月十三日  
イ 才二次日華善隣旬尚実施ニ関スル件
- 第四回 八月九日 於民団會議室  
イ 日華善隣会運営ニ関スル件

第五回 十月二十八日

於事務局長室

イ 日華同盟條約締結大東亞共同宣言發布一周年紀念行事ノ件

(ハ) 第三分科会

第一回 一月八日

イ 耐寒心身鍛鍊期間実施ノ件

第二回 六月七日

イ 青年建設会議開催ノ件

第三回 五月三十一日

イ 機関誌発行ノ件

ロ 居留民録成大会開催ノ件

於民団会議室

二 日華善隣

(一) 才二次日華善隣旬間実施

趣旨 才二日華北新建設促進の一環として華北に於ける凡ゆる施策の根基たる日華善隣思想を昇揚普及し、特に増産増送の重責を負荷せられたる日華産業戦士の總力を結集せしむる為を記の通り今期運動を展開実施せり

期間 自四月三十一日 至四月三十日

目標の重点

イ 日華同盟條約並大東亞共同宣言ノ眞義徹底

ロ 善隣工作機構ノ確立

ハ 善隣思想ノ普及徹底

二 反善隣工作ノ擊滅

亦已設工作ノ拡大強化

へ宣傳伝

前問中ノ實施事項

(イ) 日華ラジ不講漫

イ 日本側 二十一日 漫題「中國ノ民族性」 オ一講 佐野 恭 氏

ロ 中國側 二十一日 漫題「尋揚民衆善隣的義識」 新民會宣傳處長 朱適生 氏

(ロ) 日華婦女善隣会理事會 二十四日

日華双方の會長及理事出席し會の改組並に規約制定の件に付き協議せり

(ハ) 日華青年懇話會 二十五日 於中原公司五階

日華双方の青年関係者約二十名出席し左の事項に付き互に意見を開陳、善隣の本義を体し一時的の運動行事に終りざる様不斷の實踐申合をなせり

一 大東亞共同宣言ト東亞ノ建設

ロ 日華同盟條約ノ眞義

ハ 如何ニ善隣工作ヲ推進スレバヨイカ

(ニ) 日華善隣會地域分会結成

本前問實施に先立ち十八日 日華善隣會理事會を開催し、善隣常會の下部組織として上意下達、下情上通の機關たるの機能を充分に發揮すると共に善隣の濃度を一層密ならしめんことを期し

て本創会中に左記の通り地域分会の結成を完了せり

才一分会 旧興亜二區及才三區 四月二十八日 結成

才二分会 河東地區 四月二十九日

才三分会 河西地區 四月三十日

才四分会 河南地區 四月二十九日

才五分会 河北地區 五月一日

会費は各分会共日華双方二十名内外とし分会運営に關しては本常会規約に準ず

(木) 大東亞共同宣言並に日華同盟條約の意義闡明演説並に質疑會

二十六日 於民田會議室 (思想文化ノ欄参照)

(ニ) 日華善隣日本語講演會 自二十一日 至三十日

中日學院に於ては右期間中適時生徒の日本語講演會を実施、大東亞聖戰の意義並に日華兩國の提携親善に關し烈々の所信を陳述、大東亞共同宣言確立の一大目標に邁進せんことを期せり

## (一) 日華善隣會

(イ) 概況

本年四月実施せられたる才二次日華善隣旬間を機に善隣會の下部組織として才一(中央地區) 才二(河東地區) 才三(河西地區) 才四(河南地區) 才五(河北地區)の五ヶ地域分会を支々結成し専ら下情の疏通に重点を指向する外、職域分会をも結成せしむるに努め、以て國民運動たる善隣工作の徹底を企圖せり

(四) 運 営

本年中の常会をの如し

改組才四回 一月五日 公会堂

新年奉祝懇談茶話会

改組才五回 三月二十七日

日華兩國々旗掲揚日改正ノ件

防空日服装徹底ノ件

日華善隣会決定事項実践促進ノ件

改組才六回 十月七日

地域分会育成改善ノ件

改組才七回 十一月六日

日華同盟條約締結大東亜共同宣言發布一周年記念祝賀会

当日祝賀会終了後午後二時より善隣会々員一五〇名及日華中等学校生徒約二〇〇名を以て民団前より天津特別市政府前迄慶祝市中行進を実施セリ

日華善隣会理事會

才一回 二月十六日

才二回 四月十八日

才三回 八月二十三日

才四回 十月三十日

才五回 十二月三十日

(三) 日華婦女善隣会

一 概況

設立 昭和十八年十二月十二日

2. 目的 日華兩國の婦女相協力して興亜運動 推進すると共に各々その婦徳を

研磨顕揚し親睦融合を図るを目的とす

3. 役員 日華各会長一名 副会長二名 顧問 若干名

理事若干名 部長 若干名 副部長若干名 班長若干名(現在なし)を

置く

4. 會 員 天津特別市内地域職域及其他の各団体員中より当該団体長の推

薦により会長之を指名し十二月現在の会員数日本側六五名 中國側六六名なり

### 二、機構強化

オニ次日華善隣同好を核として従來の機構を改革強化し三部制に改組、オ一部は一般婦人

オニ部は女子青年、オニ部は學校教職員を以て編成し強力なる運動を展開しあり、

### 三、運営

設立後日尚濠きにも拘らず其の活動は著しきものあり殊に機構改革後の運営は各部の特殊性を生かし、それに即應する工作即ちオ一部は主として家庭關係方面、オニ部は職域關係方面、オニ部は學校關係方面に力を注ぎ、菟麻栽培、家庭農園の徹底化、廢品古物の利用更生展覽會、家庭手工藝品交換教授、中國側貧民救済義捐金募集並に學童を通過しての善隣即ち日華學生親善學術交誼會格又兩國の風俗習慣研究等があり

### (一) 會議

1. 理事會 (開催回数五回)

會運籌ノ件 新年互礼會開催ノ件、雜祭行事紹介(日本側)、會ノ改組並ニ規約

制定ノ件 廢物更生品展覽會開催ノ件、結成一周年紀念行事ノ件

2. 全体常會 (開催回数二回)

菟麻栽培ニ關スル件、家庭農園開設ノ件、展覽會開催ノ件

3. 部 常 會

- 才一部 (開催回数 五回)
- 部の運営 中國靴造花絞染等ノ交換講習ノ件
- 才二部 (開催回数 六回)
- 部の運営 七夕祭(日本側) 中秋節(中國側)ノ行事紹介ニ関スル件
- 才三部 (開催回数 五回)
- 部の運営 日華學生親善美術交驛大会、日華双方學校相互見學ニ関スル件

(二) 行 事 及 其 他

- 1. 中國會民救済義捐金
  - 自二月一日至三月十五日ニ於テ募集セル義捐金額 二六、八七八円二二支
  - 右は新民会へ委託貧民へ喜捨セリ
- 2. 苧 麻 栽培
  - 中國側 四月二日 播種 李家花園
  - 日本側 四月五日 〃 八里台
  - 献納セル苧麻 (十二月八日) 〇〇 支
- 3. 日華學生親善交驛大会並ニ成績品展示会 十月十五日 淡路國民學校講堂
- 4. 中國側學校見學 十月二十九日
- 5. 耀 華 中 學、市立女子才一中學校
  - 更生品審査会 十一月二十日
  - 特選一、優賞二、良賞三、佳作五、総領事賞二
- 6. 更生品展覽會 十月二十二日—二十四日



出品点数 日本側 三五四点 中国側 三二〇点

又更生品入選者賞品授與式 十一月二十三日 於會議室

結成一周年記念懇談会 十二月十二日

昭和二十年に於ける運営計劃を議せり

(三) 中国事情懇話会

中国事情に關する権威者を以て組織し、懇談、座談等を開催して知識、情報の交換並に  
対策等を研究する外、毎週金曜日にラヂオにより「中国事情講座」も放送、居留民の  
啓蒙に當りたり

思想文化生活

(一) 思想文化

1、大東亜共同宣言懇談会 四月二十六日 會議室

鼎談者 総領事 太田知庸 居留民團長 白井忠三

壯年團副團長 栗原一男 事務局長 堀越喜博

終了後質疑応答をなす

2、古典文学講座 六月二十七八、九日 芙蓉國民学校

講師 北京大學教授 佐藤幹二

内容 古事記、万葉集解説

3、思想戦講習会 九月四日―九日 武徳殿

4日 華北建設上ニ於ケル中心思想 太田知庸

中国知識層ノ思想動向 広田弘雄

5日 戦場心理ト戦勝ノ要素 田中部長

宣伝戰ヨリ見タル日華ノ民族性

中原孝治

六日 延安政權ノ概要(一)

若山中尉

大東亞戰爭ト思想戰

黒田幸一

七日 華北ニ於ケル映重戰

齊藤弥仁

(非公開映重観覧)

八日 最近ニ於ケル治安状勢(二)

若山中尉

天津周辺ノ農村工作

平田小六

九日 太平洋戰ト敵ノ魂膽

田尻大佐

敵政治工作トソノ対策

笠原隊長

ニラゲオ放送「隣組便り」(毎月最終日曜)

各区ヨリノ質疑事項に回答し、各隣保班の動向を一般に周知せしめると共に、決戦下居住  
邦人の思想を指導啓発し、卑近な事例に徹して眞に聖道宣布の挺身者たらしむべく  
実施し居小リ

本國民映重研究会設立

趣旨 國民映重並に文化映重の調査研究観覧をなし映重による思想鍊成科學知  
識の涵養を図る

設立 五月三十一日 対象 學生並一般

事業 一般 「爆風と弾片」「一番美しく」「比島沖海戰」

學生 「加藤隼戰鬪隊」「菊地千本槍」「徳學堂文化映重」「南海の花  
束」其他一般部に同じ

へ、隣組雜誌配給

娯樂並に婦人雜誌の入荷減を緩和し、戦時文化の昇揚普及を図るため、八月号より左記雜誌の隣組配給を実施せり

婦人雜誌「主婦の友」「婦人娯樂部」  
娯樂雜誌「講談娯樂部」「富士」「日の出」  
ト出版

本年中の主なる出版物左の如し

天津翼賛叢書 十一号	八絃一字の精神	一五〇部	
全	十三号	婦人戦争生活講座(思想篇)	一五〇部
全	十三号	〃	(生活篇) 一五〇部

### チ文化団体

支部今下各文化団体とは本年度に於て最も緊密なる提携を結ぶを得たり之を要機として娯樂益々現地文化の確立昇揚に邁進せんとす  
本支部後援による本年中の事業左の如し

### ○天津文化報國會

部活動を大別すれば次の如し

- 藝能文化面(絵画展、演劇公開、ラヂオ劇、皇軍将士慰問)
  - 思想文化面(創作、天津地區民俗調査、大東亜共同宣言浸透、出版)
  - 生活文化面(廢品衣更庄、死蔵品活用、其他)(野菜、肉類、卵等生活必需品物資給源の拡大確保に就き実践推進を促進せしむ)
  - 婦人文化面(天敵婦人生活講座開講)
- 主なる行事次の如し

イ 日本精神書画展 三月十三、十四日 公会堂

天津地區在住所持者による海舟、鉄舟、南洲、應挙、博文希典等門外不出の出陳点数六十  
点、書画による戦意の昂揚を期す

ロ ラヂオ文化講座 三月二十一日より毎週水曜日

講師 堀越喜博、栗原一男、阿鳥羽信、手塚武 其他にして決戦文化の昂揚に資  
したり

ハ 海軍基地へ匪家派遣 四月末一週間

海軍記念日の意義を昂揚強調するため、海軍展を開催するに先立ち、海軍協会支部の肝  
煎りにて青島威海衛へ美術部員大名を派遣す。一行は海軍生活をなし、鋭意創作に当  
りたり

ニ 北支派遣軍の歌々唱指導音楽会 五月十四日 淡路國民学校

ホ 上田、桑原、中野書道展 五月十六、十七、十八日 公会堂

ヘ 河南作戦寫真展 五月中旬一週間 藝術会館

ト 海軍展 五月廿六、廿七、廿八日 大丸中街分店

チ 日本交響楽団結成 六月廿三日

リ ラヂオ決戦婦人生活講座 六月一―八月 毎週木曜

ヌ 軍献納展 九月二十四―二十六日 公会堂

在津里家の協力により四十六点の作品を得、陳列公開の後陸軍病院へ献納す

ル 故柴田可壽馬遺作展 九月十三日―十八日 大丸中街分店

ヲ 天津市展 十一月十日―十六日 公会堂

日華相互の東洋画、油絵、彫塑、工藝の四種目を集め、特選の外、総領事賞、滿洲國総  
領事賞、民団長賞、市長賞、文報会長賞等あり、毎年一回秋季開催し、会基礎の強化

を俣り主催者を中國側に移管するやう指向しあり

(二) 生活

明朗耐乏の生活こそ、必勝の原動力である。是等の力を推進し、同時に戦時生活を阻む原因を究明是正すべく次の如き事業を行ひたり

イ 協議会

行列買解消懇談会 一月十三、十八日 特別室

代用燃料案募集 二月

戦時食座談会 十月十四日 会議室

勤労者配給時間協議会 十二月五日 局長室

ロ 展覧会

戦時食展覧会 十月十四、十六日 公会堂

主なる内容 野生食物の厂史 野生食物の栄養価 野生食物の調理法、中國人の  
日常食 食べられる昆虫 野生植物の实物見本、調理法圖解 喰べられる野  
草の活花、試食品

四、婦人運動

(一) 華北國防婦人会天津支部

概況 四月軍の手許を離れ大使館の監督下に入り、翼賛会支部全下団体として翼賛運動に全面的に協力することとなりたり

斯くて支部は、一、翼賛運動への全面的協力 二、劃一的強制的に陥らぬこと 三、婦人の立場からの戦力増強 四、婦人の特性に基づく運動であること等を再確認の上、新なる活動に入りたり

十二月末現在会員数約一万五千名 役員 支部長 貝原ゆきを 副支部長 足立マエ、中川道子

古田遊嘉、岡本綾野（兼監事）理事長 堀越喜博、常務理事 吉村嘉直  
活動状況 主なる事項左の如し

おばさんの家奉仕、勤勞奉仕、作業、日華婦女善隣節約献金、赤ちやく貯金、軍病院慰問、發行、杖「國婦孺」献納、会員血液型検査、衣服更生研究、苧麻手入、戦時食調理講習、家庭科学研究会

(二) 婦人常会

隣保班を中心とする婦人常会は十七年五月組織に着手以來總數三百余に達し、配給貯蓄、勤勞奉仕等に努力を続けつゝ、あるが更に精神的向上を図るため、國防婦人会支部と協力、各種衣食住の講習会等を行はたり

(三) 婦人戦争生活講座 四月中日曜日 会議室

一日 中國共產黨運動と日本婦

戦時下の育兒

七日 厂史ヲ作ル女性

十五日 戦時家庭生活ノ経済

配給と婦人ノ心構へ

廿二日 空襲上心理作用

戦争上音楽

廿八日 戦争下中國婦人ノ思想

軍人援護会ノ趣旨ノ実情

蒙 原 一 男

藤 芳 丈 夫

加 藤 秀 三

杉 野 三 三

桑 原 治 雄

川 添 勝 太 郎

武 田 龍 三 郎

久 米 秀 雄

中 村 利 三 郎

五 華北新建設促進

(一) 中國参戦「防空日」制定

一月より毎月九日の中國參戰記念日を「防空日」と制定、日華協力して防空訓練、資材の整備、防空服裝の徹底を期することとなり、これにより従来日本側の行ひ來りたる八日、十八日、廿八日の三ヶ氣最揚日の「防空日」を充実強化することとなりたり

(二) オニ次華北新建設促進旬間  
三月一日より五月三十日までの三ヶ月間、各隣組、壮年団、日華善鄰会及其他各団体に於て空閑地を利用しての蕨麻栽培家庭農園設置に力め、増産以て大いに新建設に資せり

### ○ 區政

一 區後負の任期を一定す  
區長以上の區後負は任期を二年とする。各區長以下の就任期日が區々である不便があつたので先づ區長に一月下旬に辞表を提出を求め新に二月一日附にて委嘱した。今後は退職者ある場合其後任者の任期は前任者の残任期とし一齊に二月一日を新任期とした。従て副區長以下の區後負の任期も二月十五日を新任期とする事に一定した。

### 二 會 議

#### (一) 區長常會

- 才一 區 一月十日 區後負任期滿了ノ件
- 才二 區 二月一日 耐寒、心身鍛鍊期間実施ノ件
- 才三 區 二月一日 軍人接護ニ關スル件
- 才四 區 二月一日 紙屑毛齒收ニ關スル件

才三回	二月十四日	卒北在留邦人実態調査申告書ニ関スル件 自家農園設置ニ関スル件
才四回	二月十九日	卒北在留邦人調査申告書ニ関スル加藤商務官ヨリ説明及之ニ対スル 質疑度答アリ
才五回	二月二十日	防諜ニ関スル件
才六回	三月一日	軍人援護ニ関スル件
才七回	四月一日	飛行杆一割献金続行ノ件 菟麻栽培査察ニ関スル件 防空施設徹底ノ件
才八回	四月十九日	戦病死者取扱ニ関スル件 防護團及義勇隊ニ関スル件
才九回	五月二十四日	夏期防空服裝徹底ノ件
才十回	六月一日	國債、附發社債消化促進ノ件
才十一回	六月二日	領事館ヨリ示達事項（徵用ニ関スル件）
才十二回	六月二十六日	國民登録票作成ニ関スル件
才十三回	七月三十日	才七回輸血報國運動ニ関スル件 防空ニ関スル諸注意
才十四回	八月二十日	勤勞挺身隊運用ニ関スル細部説明並ニ経過報告
才十五回	九月十一日	挺身隊運営一部改善ニ関スル件
才十六回	十月二日	軍人援護強化運動実施ノ件
才十七回	十一月一日	菟麻子回収ノ件 ネズミ捕獲ノ件 挺身隊出動ノ件



才十八回 十二月一日

在郷軍人死角者絶滅ノ件

國債及南支社債消化並貯蓄増強ノ件  
ラ子才支信札献納促進ノ件

(二) 書記長常会

- 才一回 八月五日 勤労挺身隊ニ關スル件
- 才二回 八月十四日 全 出動ニ關スル件
- 才三回 九月二十日 挺身隊運営ノ一部改善ノ件
- 才四回 十月十六日 工業勤労挺身隊ヲ地區勤労挺身隊ヨリ除外ニ關スル件
- 才五回 十一月七日 勤労挺身隊ニ關スル件
- 才六回 十二月六日 在郷軍人死角者絶滅ニ關スル件

三、國債消化

本年中購入実績左の如し

二月分	三一五、八一五円	四月分	四一三、四一六円
六月分	四八七、九〇二円	八月分	五七九、三三八円
計		一、七九六、三七一円	

四、國民貯蓄

昭和十七年十二月各區隣保班毎、國民貯蓄組合を設定、爾來自発的貯蓄の促進、促進に力めたる結果、昨年度は組合結成数は一、〇二七にして漸次増加し本年十二月末現在の組合数一、一五となり、全隣保班の組合結成を完了、貯蓄増強の完壁を期せり

十二月末貯蓄総額 二、五一五、七六六円五五支

手區補助金

才一圓 五月二十八日  
 才二圓 七月二十五日  
 才三圓 十二月十五日

計

一五七,〇〇〇円  
 一四三,〇〇〇円  
 一八〇,〇〇〇円  
 四八〇,〇〇〇円

各區役員及有給職員一覽表

(昭和十九年十二月三十一日現在)

區名	區長	副區長	衛生委員	警備委員	會計委員	庶務委員	隣保班長	職員	計
第一區	三	一	一	一	一	一	三	二	四三
第二區	二	一	一	一	一	一	四	一	五四
第三區	一	一	二	六	四	九	八	三	一三五
第四區	三	一	一	二	一	一	八	三	九五
第五區	二	一	二	一	一	一	六	二	七六
第六區	一	一	二	一	一	一	四	三	五七
第七區	三	一	二	四	三	四	七	三	九〇
第八區	二	一	一	一	一	一	三	三	四九
第九區	一	一	五	一	一	三	四	三	四七
第十區	三	一	一	一	一	一	五	三	八五
第十一區	二	一	一	一	一	一	七	二	五五
第十二區	一	一	二	三	一	一	三	二	三九
計	一	一	二	三	一	一	二七	二	四一

(百八十六)

七 飛行代献金

飛行代献金は当支部の実績運動の一として重点を指向せるところなるも、特に本年七月サイパン島全負戦死の悲報発表を機として展開せる献納強化運動に於ては、全居住知人の悲傷痛恨の激憤を反映し実施期間七月二十五日より八月十五日に至る短時日中に献納枚数三六三枚に達せり。以て在津知人の旺盛なる敵愾心を知るに足る。

計	河南	河北	河東
二二	一	一	一
一〇二	四	五	六
三七	二	五	六
三八		九	四
三四	五	三	三
四五	八	三	七
一一二六	三五	三七	一一一
六四	三	三	五
一四八	五八	四九	一五七

(百八十七)

一 (一) 戰爭資金

受付件数	受付金額	十六年度	十七年度	十八年度	十九年度	累計
一、三三六	五〇二八九一三六	一、五九八、六五三	七、一〇一、七六七、六三	三五、九五三、四九一、七四	四五、一五五、三一六、〇四	四三、八九

受付件数	受付金額	十六年度	十七年度	十八年度	十九年度	累計
四三	七、五九四、八一	八、六一七、七六	二八、三八一、〇一	一三、八二四、〇〇	六〇、四〇七、八八	三一八

(三) 傷病兵慰問金

受付件数	受付金額	十七年度	十八年度	十九年度	累計
六	七、〇四六	一、三六一、〇〇	上	一、四三一、四六	一、九

尚本十九年十二月八日琴行せる献納枚名式に於ける総枚数は四三五枚に達し前年同日の献納枚数七三枚に比し驚異的激增を示せり

八、輸血報國

(一) 血液検査

申込者 九二一名 受検者 七八〇名 合格者 七一三名

(二) 実績 自一月 至十二月 昭和十六年以降 累計

申込者	九二一名	五、八一〇名
受検者	七八〇名	四、五四六名
合格者	七一三名	三、八四四名
献血延入員	一、〇〇二名	五、一〇七名
献血量	九、七六八互	三、九四、三五三互

本 華語講習所

華語講習所の成績左の如し (十二月末現在)

級別	昭和十七年度修了者	昭和十八年度修了者	昭和十九年度修了者	合計
初級	二三七名	一一七名	六七名	四二一名
中級	二二名	五一名	一六名	八九名
上級	—	二三名	八名	三一一名

十、行事

一月

新年奉祝式 (一日)

二月

翼賛会本部羽場実践部長外二氏を囲む懇談会

- 三月
- (一) 事務局關係懇談会 (二十五日) 於公會堂
  - (二) 職域關係 (二十六日) 於會議室
  - 陸軍記念日奉祝行事 (自八日—至十日)
  - 時局講演会 (二十七日) 於公會堂
  - 講師 北支軍報道部長竹田中佐 本部羽場実践部長
  - 演題 世界戦局ノ現段階 勝利ノ道
- 四月
- 防空映更会 (六、七日) 於大和劇場
  - 軍官民合同招魂祭執行 (三十五日) 於商業學校々庭
  - 关長節奉祝行事 (二十九日) 於公會堂
  - 思想録成講演会 (三十日) 於公會堂
  - 青年総躍起辨論大会終了後本部派遣講師印度支那經濟研究所長  
大岩誠氏の講演会を開催す
- 五月
- 海軍豫科練習生其他入隊者奉告祭並ニ壮行会 (七日) 於商業學校々庭
  - 海軍記念旬間行事 (三十一日—三十日)
  - ラヂオ放送講演 (二十五日)
  - 海軍記念日 (二十七日)
  - アツツ島舟備部隊勇士ニ対スル感謝黙禱 (二十九日)
  - 東郷元帥「薨去ノ日」感謝黙禱 (三十日)
- 六月

七月 河南作戰大捷奉告並出征勇士ノ武運長久祈願祭 (一) 於天津神社

必勝祈願祭 (二十四日) 於公會堂  
全體後員會 (〃) 於公會堂

必勝祈願祭終了後引続き飛行機献納運動に關し全體後員會に附議す  
飛行機献納運動實施

宣傳期間 二十一日—二十四日  
實施期間 二十五日—八月十五日

献納機敬 二六二機  
天津襲撃記念日 (二十九日)

八月 献納飛行機献納式 (十八日) 於公會堂  
才六回輸血報國運動檢血實施 (十七日—二十七日)

九月 航空週間行事 (十四日—二十日)  
学徒航空隊入隊者武運長久祈願祭並家族慰安會 (十八日)

十月 軍人接護強化週間實施 (三日—八日)  
戰歿軍人居留民團合同葬執行(神式) (二十日) 於公會堂

軍官民合同招魂祭 (十六日) 於商業學校々庭  
海軍入隊者奉告祭並壯行會 (二十九日)

奉告祭 於天津神社  
壯行會 於民團広場

奉告祭 於天津神社  
壯行會 於民團広場

十一月

独逸科学映画観賞会 (十八、十九日)

十二月

大東亜戦争才三周年記念行事 (六日—十日)

大東亜戦争海軍美術展覧会 ( ) 於公会堂

英靈感謝慰霊祭 (七日) 於觀音寺

戦捷祈願祭 (八日) 於天津神社

大詔捧読式 ( ) 於公会堂

敵納飛行機命名式 ( ) 於天津漢路日本國民學校講堂

陸海軍大臣代理臨時の下に敵納飛行機三三六機の命名式を挙行す  
現地軍に対する極兵金贈呈(各區隣組に於て取纏めたるを一括敵納)

中國参戦記念日 (九日)

士氣昂揚管絃祭演奏並に演藝大会(十日)

哭川豊彦時局講演会 (三十五日) 於公会堂

十一、音 祭

概況

天津に於ける当支部今下音楽団体関係活躍状況の如し

(一) 天津日本吹奏楽聯盟

指導 武田港三郎 昭和十七年十二月結成 加盟団体七、毎週二回練習

(二) 天津混聲合唱団

指導 草野 剛 昭和十七年六月結成 团员二十五名



(三) 天津厚生音楽団

指導 芥川 毅一 昭和十八年二月結成 団員十八名

(四) 天津日本交響楽団

指導 武田 滝三郎 昭和十八年九月練習開始 団員二十三名

十九年一月—十二月練習回数 七十五回

(五) 青少年団吹奏打楽器指導

指導 毎週三回 本年は主として日本中学、商業、官島高女に於て実施せり

(六) 演義出勤

本年中に於ける演義三十一回 出勤人員 八二八名

右の他 翼賛勤労長身隊歌現地歌唱指導、地域青年隊歌唱指導等音楽人の活躍を見るべきものあり

(百九十三)

### ○天津帝國軍人援護会

一 設立、昭和十九年三月三日

二 目的、本会は昭和十三年十月三日、内閣総理大臣に賜りたる軍人援護に關する勅語の聖旨を奉戴し、戦病歿軍人の遺族、傷痍軍人及其の家族、遺族並に現役應召軍人、軍の微用者及其の家族に對する各種援護事業を行ひ、銃後々援の実を挙げ、軍人及軍微用者をして後顧の憂なかりしむることを目的とす

三 役員

正会ニ会長一名、副会長二名、顧問若干名、理事長一名、理事若干名（内若干名ヲ常任トス）

地區委員若干名

会長ハ在天津日本總領事トシ、其ノ他ノ役員ハ會長之ヲ委嘱ス、役員ハ名譽職トス

四 事業

前條ノ目的を達成する為ニ行ハル事業を行フ

- （一）一般軍人援護ニ關スル事項
- （二）遺族ノ援護ニ關スル事項
- （三）傷痍軍人ノ保護ニ關スル事項
- （四）歸郷軍人ノ援護ニ關スル事項
- （五）銃後援護思想ノ普及ニ關スル事項
- （六）軍人援護事業ノ助成ニ關スル事項
- （七）其他本会ノ目的達成ニ必要ナル事項

五、経費

本会の経費は寄附金及天津居留民団補助金を以て之に充つ

六、概況

本会は本年二月三日設立其の援護強化を図り各地区單位に援護下部機関として二十二區の地区相談所を設置し本会の目的たる生活、医療、助産及生業の扶助をなすと共に遺家族の慰問並に家族の団体引揚等を実施するに本事業遂行の完璧を期せり  
その主なる處理事項左の如し

- イ 戦病歿者問 　　　　　　ロ 公式遺家族問 　　　　　　ハ 身上相談處理
- ニ 就職斡旋 　　　　　　　　ホ 生活扶助 　　　　　　　　ヘ 医療扶助
- ト 葬儀費扶助 　　　　　　　　チ 助産費扶助 　　　　　　　　リ 遺召者遺留荷物ノ輸送
- 又 家族団体引揚

七、行事

(一) 學安觀劇招待会 六月二日 天津劇場

(二) 軍人援護強化週會

趣旨 軍人援護精神を昂揚強化を図り併せて國民の戦意士氣を振起せしめ以て戦力増強に寄與し前線將兵をして後顧の憂なかりしめ畏き聖慮に應へ奉る

期 間 十月三日—八日  
実施事項

- イ 勅語奉読式 (三日)
- ロ 感謝祈念 (三日の正午を期して一斉に各自所在の場所にて祈念す)
- ハ 出征軍人並に戦歿及軍人遺家族慰問
- ニ 四日、五日の兩日に渉り地區隣保班に於て訪問し慰藉激励を為せり
- ラジオ講演放送 (六日)

- ホ 各職域団体に於ける軍人援護の趣旨徹底
- ハ 遺家族招待慰安会 (六日) 於浪花館
- ト 傷疾軍人会発会式 (八日) 於公会堂
- チ 本期間を通じ援護美談の表彰発表を為せり
- (三) 慰安觀劇招待会 十二月十六日 於浪花館
- (四) 慰安 十二月二十五日、二十六日 於公会堂

### ○天津帝國傷疾軍人会

一、設立 十月八日

### 二、目的

本会は傷疾軍人の訓練を遵奉し自主的更生を図りと共に會員相互の修養親睦を教うるを以て目的とす

### 三、事業

- 一 本会は前條の目的を達成する為たの事業を行ふ
- 二 相互鍊成ニ關スル事項
- 三 親睦組合福祉増進ニ關スル事項
- 四 医療保護並ニ職業保護ニ關スル事項
- 五 保健並ニ体力増進ニ關スル事項
- 六 本会ノ目的達成ニ必要ナル事項

### 四、會章

本会の会費を分ちてたの二種とす

一 正会費、軍人傷痍記章ヲ有スル者及公務ニ因ル傷痍疾病ノタメ兵役免除トナリタル者

二 名譽会費、本会ニ助刀ヲ共ハ若ハ功勞アル者ニシテ会長ノ推薦シタル者

五 後 會 規程九の通

会長一名、副会長一名、顧問若干名、理事長一名、理事若干名、(内若干名ヲ常任トス)

会長ハ在天津日本総領事トシ其ノ他ノ後會ハ会長之レヲ委嘱ス、後會ハ名譽職トス

後會ノ任期ハニケ年トス、但シ重任ヲ妨ケス

六 経 費

本会ノ経費ハ天津帝國軍人援護会補助金及寄附金を以て之に充つ

七 運 営 状 況

十月八日発會後専ら會費ノ実態調査に着手之れが準備と共に目的達成の爲め早急に事業の實踐に移らんことを期しあり

## 鍊 成 課

○ 鍊 成

一 天津興業社年報

回則ノ改正、團長、副團長ノ更迭、或は團員自体ノ移動等相当ノ曲折ありたるも次才に同志的

結合を強化しその活動も漸く本格的なる健全性を加えつ、あり

(一) 會 議

イ 総務會

才一團 一月七日 華北建設講座ニ関スル件

剛寒心身鍛錬ニ関スル件

予算概成ニ関スル件

才二回 一月十七日 強歩行軍錬成ニ関スル件

日華青年懇談会ニ関スル件

才三回 五月十四日 壯年團強化ニ関スル件

錬成方針ニ関スル件

才四回 七月七日 親切運動ノ件

清掃運動ノ件

才五回 七月二十五日 前島團長辞任ニ依ル新團長詮衡ノ件

才六回 八月三日 ニ宮新團長就任ノ件

才七回 十月二十六日 総務会月例会開催ノ件

地區連絡会議設置ノ件

才八回 十一月七日 ニ宮團長辞任ニヨル新團長詮衡及副團長補充詮衡ノ件

才九回 十一月八日 栗原新團長就任及夏目、小林両副團長就任ノ件

才十回 十二月十五日 栗原團長辞任ノ件

團章制定ニ関スル件

日華青年同盟結成ニ関スル件

錬成所設置ニ関スル件

年末年始警戒協力ニ関スル件

後任團長詮衡ノ件

日華青年同盟結成ニ関スル件

錬成所設置ニ関スル件

才十一回 十二月二十日

口、壯年団分團長會議

才一回 一月十一日 耐寒心身鍛鍊期間ニ関スル件

華北建設講座ニ関スル件

才二回 二月五日 團運営ニ関スル件

才三回 三月六日 壯年團農場開設ノ件

苧麻栽培蘇新運動ニ関スル件

邦人家居疎菜農園設置ノ件

才四回 三月二十三日 鍊成農場開設ニ関スル件

才五回 五月二十四日 今日迄ノ鍊成体験ニヨル所感並ニ意見交換

才六回 六月十日 壯年團強化ニ関スル件

才七回 六月十二日 華北青年建設會議提出議案審議ノ件

才八回 六月三十日 壯年團幹部修養會

宇前八時三十分鍊成所に於て北京大学教授佐藤幹二先生、海軍武官田尻大佐、北京

鍊成所所長小玉共一樹下の講演あり、終了後團運営に關し協議をなせり

才九回 八月四日 團運営ニ関スル件

才十回 八月十六日 勤勞挺身隊ニ関スル件

才十一回 九月十四日 元、東才一區分團長宮崎新次郎氏葬儀ニ関スル件

才十二回 十一月四日 總務會月例会開催ノ件

地區連絡會議設置ノ件

華北青年指導者懇談會天津代表派遣ノ件

才十三回 十二月二十二日 華北青年指導協力ニ関スル件

日華青年同盟結成ノ件

鍊成所設置ノ件

八、壯年団全体常会

七月三十一日公会堂に於て前島前理事長、三宮新理事長の款送迎会を開催せり

二、青年連給會議

才一回 四月二十一日 日華青年懇談会出席者詮衡決定ノ件

才二回 四月二十七日 青年辯論大会開催ノ件

才三回 七月十八日 大東亞戦ニ関スル童大発表宣伝方法ニ関スル件

才四回 七月二十日 青年総躍起大会開催ノ件

軍用共献納運動ノ件

才五回 九月二十九日 聖戰貫徹総躍起大会開催ノ件

才六回 十月四日 青年総躍起大会開催に關する宣言決議案の審議及竹田報道部長、羽場実践部長を迎へたる懇談会の質問要領の協議をなせり

才七回 十月二十七日 日華青年運動展開ノ件

大東亞戦争三周年紀念行事実施ノ件

才八回 十二月六日 日華青年同盟結成ニ関スル件

才九回 十二月七日

本、青年隊連絡會議

才一回 一月十九日 強歩行軍練成会ノ件

送致優勝試道大会ノ件

才二回 六月五日 華北青年建設會議代表詮衡ノ件

才三回 六月十三日 提出議案審議ノ件

才四回 六月十五日 天津代表決定



地區代表 壯年團河東二區分團員

佐山博

職域代表

華北電々青年隊員

須田幸次郎

東亜新報社員

福田常雄

才五回 六月十七日 華北青年建設會議天津代表打合会

才六回 六月十九日 才二回打合会

才七回 七月十六日 大東亞戰二開又ル重六發表宣言方法ニ關スル件

才八回 十月三十日 北京ニ於テ編催ノ華北青年壯年指導者懇談会出席者決定ノ件

才九回 十一月二日 華北青年指導者懇談会天津代表表遺ニ關スル打合会

才十回 十一月四日

提出議案審議ノ件

(四) 行事

1. 時局講演会 文藝作家大宅壯一氏 一月二十四日 公会堂

2. 座談会 「海外同胞子弟教育問題」 奈良是閣下 二月二十二日 會議室

3. 馬車訓練 三月十四日 至三月十八日

華北会ニ於テ実施す

4. 日華青年壯年懇談会 四月二十五日 中原公司

大東亞共同宣言ト大東亞ノ建設ニ就テ

日華同盟條約ノ精神ニ就テ

今後ノ善隣工作ヲ如何ニ推進スルキカ

本青年壯年懇談会思想鍊成大会 四月三十日 公会堂

八座談会 藤沢親雄先生 五月二十六日 會議室

卜青年壯年總發起大会 七月二十二日 商業學校々庭

夕 懇 談 会 北支方面軍政道部長 竹田中佐、羽場実践部長を  
期 催 せ り 十月五日 合 議 室  
リ 青 壯 年 総 奮 起 大 会 十月五日 公 会 堂

### 三、天津興亜錬成所

天津興亜錬成所は一昨年十月、從來在津大商工団体によりて經營され來りし商人錬成所（オ大區徳催林）を支部に於て借り受け翼賛運動の中核体たる青壯年の錬成機関をらしむべく、本年二月より鋭意建設準備に着手、三月二十七日より開所、農耕錬成を通じて自給体制の確立を期し、壯年団員及青年學校生徒の錬成を実施せり

#### 天津興亜錬成所錬成要綱

（一）天津興亜錬成所の錬成綱領左の如し

- 一、鞏固ノ大精神ヲ体認シ東亜新秩序建設ノ戦士タル氣節ヲ錬成ス
  - 二、堅確ナル興亜ノ理念ニ徹シ高潔ナル徳操ヲ涵養セシム
  - 三、華北建設ニ必要ナル職能ヲ体得セシム
  - 四、強健ナル身体、旺盛ナル創成力、鞏固ナル意志ヲ鍛錬ス
- （二）錬成所の錬成は訓育を以て根本と為す
- （三）訓育の要は有ゆる教育と生活部面を通じ常住坐臥の向常に錬成綱領の主旨を徹底せしむるに在り
- （四）學科は華北の建設に必要な識能の培養を以て主眼とし東亜新秩序の理念、討共方略、華北に於ける諸般の建設現況、支那事情支那語等を課す
- （五）術科は体力氣力実践力の養成を主眼とし武道体操教練及各種作業を実施するものとす

(六) 錬成に任ずるものは卒先所生の儀表となり、和表校刀熱誠所生の薰陶に当り以て錬成者の徹底を期するものとす

特に訓育の担当者日常に所生と接觸を密にし日常の起居動作を通して其の個性を洋にし適切なる指導を為すを要す

一、錬成実施事項をの如し

(イ) 壮年団錬成

錬成期間 自三月二十七日—至八月末日

錬成延入員 一三五〇名

(ロ) 青年学校生徒錬成

錬成期間 自三月二十七日—至八月末日

錬成延入員 二〇〇名

二、錬成所閉鎖

軍方面よりの交渉により八月十五日限り同所を閉鎖せり

三、錬成所の将来

錬成母綱に示す如く又邦人青壯年の修養道場として設置の必要性に鑑み目下八里台方面に建設予定地物色中なり

三、勤勞挺身隊

急迫せる現下の戦局に於て戦力の飛躍的増強を圖り勤勞奉公の精神を凝集し八月一日天津全市二十二區は一斉に勤勞挺身隊を編成し、爾來軍及官施策の重要増産増送

部面に全能力を發揮邁進しあり

(一) 組織

↑ 組織系統左の如し



□ 隊員編成

↑ 一般挺身隊

男 二十一才以上 (警察官、軍属及通学生徒児童ヲ除ク)

女 十七才以上 (軍属及通学生徒児童ヲ除ク)

○ 女子勤労挺身隊

十七才以上 二十五才迄ノ未婚者

(二) 出勤状況

総計 三五三一五名

内 譯

イ 隣組 二〇、九〇四名 (男一六、五四〇名 女四、三六名)

ロ 職域 四、四二一名 (工業挺身隊一、五一五名 華交同三、九〇六名)

電々同 三五名 教員同 一二七名 女子特別同 二三四三名

#### 四、資材回收委員会

本年度は土建組合並に木材統制組合の協力及び壮年団員の奉仕により大規模にして徹底的金屬資材の回收を行ふ外廢紙屑綿屑生糸、空瓶等回收物資の範圍を拡大し実績大いに見るべきものありたり

#### 回收実績

- イ 鋳
- ロ 銅
- ハ 苧麻

### ○体力

#### 一、概況

在天津居留皇民として「常在戰場」の心身を鍛磨せしむべく各種行軍を実施し、冀北会を介下に收め強きなる推進をなせり

#### 二、事業方針

- (一) 國民皆武健民強兵対策実施の徹底を期する為壯丁者に対する各種鍊成講習会並実践組織指導力増強に資する居留知人体育指導者検定会及講習会を開催し之を普及を計る
- (二) 特に本年は大東亞戦争の將來と國家の運命を双肩に荷ふ青少年に對し之が鍊成の實を學ぶべく男女体力章検定会(民間主催三回)中學校三回 商業三回 青年學校、松島、宮島、橋立女學校各一回 天津鐵路局(三回)を開催し、水泳場、滑冰場の開設、戰技訓練の普及徹底を

期する等不屈の闘魂と鍊軀の鍊磨育成に資す

(三) 「晋く絶えず正しく」の標語の下に士氣の振作と活力の培養を期する為健民月間を行ひ其の間三回  
の強調週間を加へ各組織を通じ多岐邦人の体育鍊成の認識を早む

(四) 明治大帝の御聖徳を賛仰し米英火滅の決意を昂揚せしむべく明治神宮奉納天津地区体育祭  
を実施す

(五) 日華善隣友邦互助の見地より華北都市交驩体育大会に協力す

三、行 事

一月

耐寒鍛鍊早曉及晝間体操 十五日—三十一日

体育文化事業協力 十五日—十八日

体操指導者講習会 十九日—五月

耐寒心身鍛鍊強歩行軍 二十三日

体育映画会 二十三日—二十五日

二月

河北ヲ三区隣組及防空群体操指導者養成講習会 二十八日—三月五日

四月

天長節奉祝相撲鍊成大会（部隊對抗団体對抗） 二十九日

相撲京津對抗鍊成大会

五月

春期健民鍊成早曉体操会 一日—三十一日

區對抗伝競走鍊成大会 五日

居留皇民体育指導者講習会	八日—十二日
才一画健民体操強調週間	八日—十四日
居留皇民体育指導者檢定会	十二日
中級	男四名 女三名
初級	男十一名 女八名
京津対抗排球錬成大会北京派遣	十四日
北寧球場	二十一日
卓球団体錬成大会	三十一日
才二画健民体操強調週間	二十二日—二十八日
陸上戰技走記録会	二十六日
居留民錬成強歩大会	二十八日
陸上戰技投跳記録会	三十日
六月	
水泳場開場	六日
華北都市交驛体育大会選手派遣	九日—十一日
戰式庭球商社団体対抗錬成大会	十八日
昭和十九年度壯丁水泳訓練(才一期)	二十日—二十五日
月	
美鍊対抗戰式庭球錬成大会	二日
昭和十九年度壯丁水泳訓練(才二期)	十五日—十九日
昭和十八年度体力章(基礎)授賞式	十五日
耐熱錬成大会(十五料)	十六日
一般男子卓球錬成大会	十六日

明治神宮奉納夏季大会天津豫選会 三十日

八月

昭和十九年度壯丁水泳訓練(才三期) 十四日—十六日

樞軸國交驪游泳大会 二十三日

九月

昭和十九年度壯丁馬術訓練(才一期) 十日—十四日

(才二期) 十六日—二十日

居留民体育指導者講習会 十八日—二十一日

十月

秋季健民鍊成早渡体操 一日—三十日

一日—七日 才一回強調運動

十五日—二十日 才二期

昭和十九年度壯丁馬術訓練(才三期) 二日—六日

体力章基礎檢定会 八日

居留民体育指導者講習会 十六日—十八日

檢定会 十八日

明治神宮奉納天津地區体育祭 二十二日

体力章檢定基礎檢定会 二十九日

十一月

体力章特殊檢定会(行軍) 五日

居留民体育指導者講習会 十六日、十八日

檢定会 十八日



## ○天津協働會

### 一 國語全解運動

管内各區に國語講習會を附催し國語の習得を兼ね皇國臣民としての鍊成並に禮儀作法衛生等の指導をなせり

本年中に於ける講習状況左の如し

- イ 講習所 七ヶ所
- ロ 修了生徒 三八二名
- ハ 講師(専任) 三名

### 二 天津協働壯丁訓練隊の訓練

華國の精神を基調とし隊員をして皇國臣民としての資質を鍊成するを目的とし昭和十七年十月八日之を結成昭和十八年十月三十一日迄一ヶ年間隊員四十八名才一團の訓練を修了才二團は昭和十九年度徴兵適齡者四十三名を召集昭和十八年十二月より昭和十九年十月迄滿一ヶ年間軍事豫備訓練を施したり

### 貯蓄奨勵

勤儉貯蓄の精神を涵養し併せて貯蓄報國、國債消化並に協働の協力せしめる為め昭和十七年六月より會員全体に亘り協働貯蓄(毎月一口一円以上)を奨勵したる處現在人員二、三五名  
全額 三九、六八一、四九一 銭に達したり

### 四 職業輔導

(一) 協賛生産組合 (繩三産)

イ 設立年月日 昭和十七年五月十九日

ロ 組合員数 四二名

ハ 出資金 三萬円

ニ 機械 電力製種機 五〇台 足踏製種機 五〇台

ホ 昨年々中に於ける作業状況

綿製造 四二〇〇貫

同産上高 三五〇、〇〇〇円

(二) 協働興業組合 (小売商指導)

結成年月日 昭和十八年十一月六日

小売高

海産物・食料・雜貨小売 利益 月二〇〇〇円程度

煙草小売 一、〇〇〇円

雜營業 (染物下駄仕上等) 自営 二五名

(三) 銅收買

当箇の指示に基き組合内に銅收買部を設け收買人十五名を指定華北各地に於て收買に從事せしめたる處 月収〇〇〇〇以上的好成绩を收めてあり

(四) 今後に於ける拡充計画

組合制を株式制に変更、二百萬円入資金を以て組合員を増員拡張せしめ銅收買以外に雜穀物・油等の收買をなすしめ鹽鹼品收買に積極的に協力せんとす

五 協賛常会並ニ座談会開催

毎日七日に協働会後、員会を開催し、前月分の事業報告並其の月下における実施予定事項を協議決定す。尚生活改善並に時局認識の徹底を期すべく、各區を單位に年三回の座談会及四回の講演会を開催せり。

#### 六、飛行機献納

翼賛運動に呼應し、在留半島人側に献翼資金を募集したる處、七月二十日より八月十五日止、僅が三週間の内に献納人員七十一名、金額二十万円に達したるを以て、八月三十日翼賛會天津支部を通じ陸海軍に各一機づつ、献納せり。

#### 七、学徒出陣

朝鮮の学徒にも兵役特別志願制度公布せらるる、や当天津に於ても学徒の名の入營者を出せり。右の外輸血報國、資材回收、軍手援護志願兵の後援、青年指導無職者に対する授産指導等、凡ゆる翼賛運動に就ては、当局の方針に従ひ、民團に協力せり。

(6) 河東地区は地域の廣大にして防護団の既備は甚だ疎薄の概算に相当の困難を呈し以下令般義勇隊防護団の合併に依り陣容を強大にする新編成を爲すに當り十二月十九日河東防護団を分割し河東第一防護団(元第一分団)及第二分団(元第二分団)の二分団を期す

(7) 昭和十九年八月五日(丁巳)に於て天津防衛司令部官臨場の下に天津日本防護団重組を挙行す  
日既及場所

- |           |      |           |
|-----------|------|-----------|
| 1 聯合防護団本部 | 八月五日 | 天津居留民団防護課 |
| 2 河北防護団   | 八月五日 | 三益國民學校大庭  |
| 3 河南防護団   | 八月五日 | 第二中學校大庭   |
| 4 河東防護団   | 八月六日 | 七 経 路     |
| 5 河西防護団   | 八月六日 | 耀華學校大庭    |
| 6 興亜一區防護団 | 八月六日 | 松島女學校大庭   |
- 査閱官臨場の下 圖書 器具点檢 演習 分列後査閱官の講評あり了了す

二 防護団に關する主たる行事

- (1) 防空偽裝迷彩之關スル講演會 (一月六日)  
秋山街協働會 講師 滿洲國防衛司令部臨駐 幡垣清男氏
- (2) 特設防護団設置許可申請ニ對スル聯合打合せ (一月十三日)
- (3) 港城警防団講習會 (一月二十一日、一月二十三日)

第八 防護部

一 概 況

- (1) 精勢益々緊迫し天津空襲必至之云々され防空業務の遂行の最大高度化を要すべき現状に鑑み三月十日迄末翼部所屬たりし防護課を防護部の独立部となし防空百級業務遂行の円滑と万全を期すこととなりたり
- (2) 總司令部隷下に併せ時局に對處すべく各課隊用の必要に伴ひ八月八日天津街九ノニ天津日本幼稚園に事務所を移転せり
- (3) 隊より防空機關の整備強化を遂次実施せる處なるが更に特技隊 義勇隊 自衛會等あり各々其の立場 於ての命令系統に依り活動する事と相成るは命令系統複雑にして緊急の場合混雜を豫想さるに鑑み六月十三日第一着手として特技隊を防護團に編入し其の特技とする機能を一本の命令系統に依り最高度に發揮せしむる事とせり
- (4) 義勇隊と防護團の防衛機關としての機能運営上之が表裏一体化を図り以て天津防衛の万全を期すべく十二月十九日防護團と義勇隊は合併し防護團として陣容機能共に強化せる新編成を完了す
- (5) 隣保組防空隊の活動最も必要と考慮さるべし今日其の掌握機關たる区長の防護隊として活動するは構直に通せらるゝの言ひ難きを以て十二月十九日防護團義勇隊の合併せられたるを機とし区長は其の職域に於て隣保組防空隊の完全なる掌握に依り隣保組の防衛に挺身不全を期す事となれり

(二百十三)

- (14) 升生偽禁煙取締聯合會 (四月十九日)
- (15) 警備時對策委員會 (四月二十日)
- (16) 防務團長會議 (四月二十二日)
- (17) 防務團長會議 (五月十五日)
- (18) 防務團長會議 (五月十八日)
- (19) 防務團長會議 (五月十八日)
- (20) 防務團長會議 (七月五日)
- (21) 非常時對策委員會 (八月六日)
- (22) 防務講習會 (九月十六日)
- (23) 防務講習會 (九月十六日)
- (24) 防務講習會 (九月十六日)
- (25) 防務講習會 (九月十六日)
- (26) 防務講習會 (九月十六日)
- (27) 防務講習會 (九月十六日)
- (28) 防務講習會 (九月十六日)
- (29) 防務講習會 (九月十六日)
- (30) 防務講習會 (九月十六日)
- (31) 防務講習會 (九月十六日)
- (32) 防務講習會 (九月十六日)
- (33) 防務講習會 (九月十六日)
- (34) 防務講習會 (九月十六日)
- (35) 防務講習會 (九月十六日)
- (36) 防務講習會 (九月十六日)
- (37) 防務講習會 (九月十六日)
- (38) 防務講習會 (九月十六日)
- (39) 防務講習會 (九月十六日)
- (40) 防務講習會 (九月十六日)
- (41) 防務講習會 (九月十六日)
- (42) 防務講習會 (九月十六日)
- (43) 防務講習會 (九月十六日)
- (44) 防務講習會 (九月十六日)
- (45) 防務講習會 (九月十六日)
- (46) 防務講習會 (九月十六日)
- (47) 防務講習會 (九月十六日)
- (48) 防務講習會 (九月十六日)
- (49) 防務講習會 (九月十六日)
- (50) 防務講習會 (九月十六日)
- (51) 防務講習會 (九月十六日)
- (52) 防務講習會 (九月十六日)
- (53) 防務講習會 (九月十六日)
- (54) 防務講習會 (九月十六日)
- (55) 防務講習會 (九月十六日)
- (56) 防務講習會 (九月十六日)
- (57) 防務講習會 (九月十六日)
- (58) 防務講習會 (九月十六日)
- (59) 防務講習會 (九月十六日)
- (60) 防務講習會 (九月十六日)
- (61) 防務講習會 (九月十六日)
- (62) 防務講習會 (九月十六日)
- (63) 防務講習會 (九月十六日)
- (64) 防務講習會 (九月十六日)
- (65) 防務講習會 (九月十六日)
- (66) 防務講習會 (九月十六日)
- (67) 防務講習會 (九月十六日)
- (68) 防務講習會 (九月十六日)
- (69) 防務講習會 (九月十六日)
- (70) 防務講習會 (九月十六日)
- (71) 防務講習會 (九月十六日)
- (72) 防務講習會 (九月十六日)
- (73) 防務講習會 (九月十六日)
- (74) 防務講習會 (九月十六日)
- (75) 防務講習會 (九月十六日)
- (76) 防務講習會 (九月十六日)
- (77) 防務講習會 (九月十六日)
- (78) 防務講習會 (九月十六日)
- (79) 防務講習會 (九月十六日)
- (80) 防務講習會 (九月十六日)
- (81) 防務講習會 (九月十六日)
- (82) 防務講習會 (九月十六日)
- (83) 防務講習會 (九月十六日)
- (84) 防務講習會 (九月十六日)
- (85) 防務講習會 (九月十六日)
- (86) 防務講習會 (九月十六日)
- (87) 防務講習會 (九月十六日)
- (88) 防務講習會 (九月十六日)
- (89) 防務講習會 (九月十六日)
- (90) 防務講習會 (九月十六日)
- (91) 防務講習會 (九月十六日)
- (92) 防務講習會 (九月十六日)
- (93) 防務講習會 (九月十六日)
- (94) 防務講習會 (九月十六日)
- (95) 防務講習會 (九月十六日)
- (96) 防務講習會 (九月十六日)
- (97) 防務講習會 (九月十六日)
- (98) 防務講習會 (九月十六日)
- (99) 防務講習會 (九月十六日)
- (100) 防務講習會 (九月十六日)

(一四六)

- (4) 特設防護團長會議 (二月二十九日)
  - (5) 防空対策強化旬間実施打合せ開催 (二月十二日)
  - (6) 防護團長會議 (二月十五日)
  - (7) 防空対策強化旬間実施 (二月十八日—二月二十七日)
  - 各特設防護團 隣保組防空詳、指導巡視
  - (8) 防空諸施設調査並対策指導巡視 (三月二日—三月六日)
  - (9) 防護團長會議 (三月七日)
  - (10) 防護團長並義勇隊長聯合會議 (三月十五日)
  - (11) 特設防護團長會議 (三月二十二日)
  - (12) 非常時対策委員会 (三月二十三日)
  - (13) 特設防護團講習会 (三月二十七日—四月十日) 奨励会
- 講師並編目
- 川添 防護課長 灯火管制、待避誘導、一般消防學、模下層、種彙、効果
  - 吉野 警部 警備二就
  - 今田 理事 在野論、防毒班、任務及活動、防毒面及防毒服着
  - 小坂 博士 用法、防毒綜合訓練
  - 關 部 長 刺傷處置法、止血法、三角巾使用法、人口呼吸法
  - 八木 防護課長 腕固り、保護法
  - 河邊 防護課長 腕固り、保護法
  - 防護團長會議 (四月十七日) 團員整備、件他六件

(昭和十九年)

五其の他

- (1) 偽装ニ関スル寫真展示会 (二月二十七日)
- (2) 松島高女生一名勤勞奉仕トシテ出勤 (二月四日)

日本防護団顧問並幹部名簿 (昭一五・一・二・一九編成)

聯合防護団

團長 (白井忠三) 副團長 上原珍二 上田 茂 顧問 五名  
 部長 九名 副部長 十二名

中突防護団

團長 大内 昇 副團長 根本 鍊次 原田 万造 顧問 十二名  
 部長 七名 副部長 四名 分團長 三名 副分團長 十三名

河東第一防護団

團長 井上 壽之助 副團長 坂部 稔義 平田 庸雄 飯田 丈夫 井上 鐘三  
 顧問 四名 部長 八名 副部長 二名 分團長 二名

河東第二防護団

團長 池上 桂造 副團長 松本 勝太郎 渡邊 久太郎 小川 英夫  
 顧問 七名 部長 八名 副部長 十三名 分團長 二名

河西防護団

團長 上森 助三 副團長 井川 辰雄 數崎 嘉郎 龍田 道徳  
 顧問 四名 部長 七名 副部長 二名 分團長 二名  
 副分團長 四名



(10) 防護團長会議 (十二月二十一日)

編成ニ関シ正長義勇隊長ヲ参考セシメ義勇隊ヨリ人選合同編成ニ関スル件  
他六件

(11) 河東第一防護團結成式舉行 (十二月二十八日)

三階級防空群ニ関スル主たる行事

(1) 隣組防空群若地区ニ於テ指導員 (四月八日) 四月十八日

(2) 隣組機回聯合灯火管制指導員 (四月十二日)

(3) 隣組防空群施設巡視指導員 (五月九日) 五月十三日

(4) 台右付避難訓練及非常家検査員若地区ニ施行 (五月二十五日)

(5) 隣組防空群指導員 (六月十三日) 六月十七日

(6) 隣組防空群灯火管制指導員 (十月十二日) 十月二十五日

(7) 本年ニ於テハ指導員訓練防空群七回舉行

四 義勇隊

(1) 義勇隊特別審議會 (一月二十五日)

(2) 義勇隊長會議 (二月十四日)

(3) 防空対策強化旬回実施ニ対スル若地区義勇隊訓練 (二月二十八日)

(4) 義勇隊幹部教育 (四月二日)

(5) 義勇隊幹部訓練 (六月二十三日) 六月三十日

(6) 義勇隊訓練実施 (七月二日) 七月十三日

(7) 津浦セキ路局ニ対處シ十二月十九日ヲ以テ天津日本防護團ニ合休ス

所 名		所 長 名		所 員 總 數	
同仁会天津日本公...	小坂 隆一	五	七		
博爱 医 院	石原 経徳	六	七		
同仁会天津日本婦人病院	荒木 一郎	二	六		
同仁会天津診療所	前田 謙二	二	〇		
天津鐵路医 院	中山 通治	五	九		
東 亞 医 院	上山 武男	三	四		
計		一	八	三	
(一) 聯合防護團附移動救護班					
班 別		班 長 名		班 員 數	
第一班	木下 秀吉	三	三		
第二班	堀谷 信治	三	三		
計		六	六		
(二) 特設救護班					
班 長 名		班 員 數		計	
堀口 綱二	一	〇	〇	一	〇
計				一	〇
(三) 各地區救護所					
(一) 聯合防護團附移動救護班					
(二) 特設救護班					
(三) 各地區救護所					

(一〇二)

防護團名	数量	備	考
中央防護團	—		
河南防護團	—		
河北防護團	—		
河東第一防護團	—		
河西防護團	—		

①註 河西防護團付特一防護團（日一分團）河西防護團（日三三分團）に全額編成せらる

②附記 現在更に防護團用特設防護團用として購入方交渉中なり 数量未定  
 ③非常復旧用預子は日下計劃中

特一防護團

團長 河村壽重 副團長 西村秀雄 西本秀造 顧問 二名

部長 八名 副部長 八名 分團長 二名 副分團長 四名

河南防護團

團長 武内 功 副團長 齋 秀俊 清野 謙 梶原政市 井上三郎

部長 七名 副部長 六名 分團長 二名 副分團長 十一名

河北防護團

團長 熊谷重遠 副團長 河村重董 上原勝次 小谷芳之助

顧問 九名 部長 八名 副部長 六名 分團長 三名

副分團長 九名

①註 河西防護團付特一防護團（日一分團）河西防護團（日三三分團）に全額編成せらる

近斯倫卿置置明細書

備 考

六居留民团税收入額調

區 分	豫 算 額	十二月末現在	本年見込額	納稅者數
第一 普通 稅	一四、九三五〇〇〇	一五、九六四〇〇〇	一五、九七六〇〇〇	一六、五〇〇
第二 個人所得 稅	六、六〇五〇〇〇	七、七三六〇〇〇	七、五六六〇〇〇	二、二七〇
第三 勤勞所得 稅	二、一〇〇〇〇〇	二、六一六〇〇〇	二、四〇〇〇〇〇	一、六五〇
第四 事業所得 稅	三、九〇〇〇〇〇	四、四三四〇〇〇	四、四〇〇〇〇〇	二、二七〇
第五 不動産所得 稅	一、八〇〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇〇	五、八六〇
第六 甲配当利子所得 稅	四、一〇〇〇〇〇	五、三〇〇〇〇〇	六、〇〇〇〇〇〇	二、二七〇
第七 乙配当利子所得 稅	一、五〇〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇〇	七
第八 法人所得 稅	六、一三〇〇〇〇	五、九七二〇〇〇	六、一八〇〇〇〇	五、五五
第九 普通所得 稅	六、一〇〇〇〇〇	五、九七二〇〇〇	六、一三〇〇〇〇	五、五五
第十 清算所得 稅	三、〇〇〇〇〇〇	三、〇〇〇〇〇〇	三、〇〇〇〇〇〇	二
第十一 營業 稅	二、三〇〇〇〇〇	二、三五六〇〇〇	二、三三〇〇〇〇	二
第十二 個人營業 稅	九、〇〇〇〇〇〇	一、〇四〇〇〇〇	一、〇〇〇〇〇〇	一、九三二
第十三 法人營業 稅	一、三〇〇〇〇〇	一、二一六〇〇〇	一、二三〇〇〇〇	五、五五
第十四 特別 稅	六、三五〇〇〇〇	九、三七四〇〇〇	一五、四五七〇〇〇	一、七五
第十五 遊樂飲食 稅	五、九〇〇〇〇〇	八、八七六〇〇〇	一四、九四〇〇〇〇	一、七五
第十六 特殊營業者 稅	九〇〇〇〇〇	二、三〇〇〇〇〇	四、二〇〇〇〇〇	月平均 九、二六
第十七 土地 稅	一、〇〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇〇	九〇〇〇〇〇	三、三八
第十八 家屋 稅	三、三五〇〇〇〇	二、四五〇〇〇〇	二、四五〇〇〇〇	五、七四
第十九 不動産取得 稅	二、五〇〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇〇	七〇

(百二十一)

所長	本部並第一分團	第二分團	第三分團	計
興亜防護團	本部並第一分團 中和醫院 順天醫院 日本醫院	第二分團 興亜醫院 天津醫院 樂仁醫院	第三分團 井上醫院 東華醫院	本部並第一分團 所員 五 第二分團 所員 一〇 第三分團 所員 六 計 二一
豐島 豐	本部並第一分團 保養院 華北自動車医院	第二分團 回春醫院 平和醫院		本部並第一分團 所員 七 第二分團 所員 二 計 九
河南防護團	本部並第一分團 醫院	第二分團 醫院名		本部並第一分團 所員 八 第二分團 所員 四 計 一二
所長 川口義友	本部並第一分團 醫院	第二分團 醫院名		本部並第一分團 所員 四 第二分團 所員 一 計 五
河北防護團	本部並第一分團 堀田醫院	第二分團 堀田醫院	第三分團 公立病院河北分院 武者至院	本部並第一分團 所員 一 第二分團 所員 一 第三分團 所員 五 計 七
所長 山下 進	本部並第一分團 醫院	第二分團 所員		本部並第一分團 所員 一 第二分團 所員 一 計 二
河東第一防護團	本部並第一分團 醫院	第二分團 所員		本部並第一分團 所員 三 第二分團 所員 一 計 四
所長 大関 伴三	本部並第一分團 共生醫院	第二分團 苗登嶺嶺醫院		本部並第一分團 所員 三 第二分團 所員 六 計 九

(二百二十一)

品名	形状	数量	非常用医療器具保管明細書 (医団防護部倉庫)			
			品名	形状	数量	数量
注射器		500	ピンセット		22	
全		200	ゴム止血管	10	29	
全		100	ゴム止血管	2尺	20	
全		50	ゴム止血管	2尺	40	
ネラトン		五六七号	着弾消毒器		20	
計			計		92	
河東第二防護団	總計	2	本部並第一分団	第二分団	10	
所長 藤島 弘道	醫院	3	共生醫院	醫院名	1	
	醫院名	3	厚仁醫院	所員	1	
	所員	3	學中公司醫院	所員	1	
計		3	計		6	
河西防護団	總計	3	本部並第一分団	第二分団	6	
所長 木下重太郎	醫院	3	本院並第一分団	第三分団	3	
	醫院名	3	共濟醫院	醫院名	3	
	所員	3	公大六廠醫院	所員	3	
	所員	3	新興醫院	所員	3	
	所員	3	同仁會分院	所員	3	
	所員	3	同仁會診療班	所員	3	
	所員	3	同仁會診療班	所員	3	
計		3	計		9	
總計		6	總計		19	

(= 6 = 1 = )

品名		形状		数量		品名		形状		数量	
ロシカリン注射液	2x10A	10	10	10	10	ルジール注射液	10x10A	1	1	1	1
ロシカリン注射液	2x10A	10	10	10	10	グレラン注射液	10x10A	1	1	1	1
ロシカリン注射液	20x30A	10	10	10	10	ピタカン注射液	10x10A	1	1	1	1
ロシカリン注射液	20x30A	10	10	10	10	リマオン注射液	20x50A	1	1	1	1
ネオカンベロール注射液	2x10A	10	10	10	10	ヤルプロ注射液	20x50A	1	1	1	1
ネオカンベロール注射液	2x10A	10	10	10	10	トロンリン注射液	2x50A	1	1	1	1
バシカイン注射液	2x10A	10	10	10	10	千才硫酸曹達	50x30A	1	1	1	1
バシカイン注射液	2x10A	10	10	10	10	千才硫酸曹達	50x30A	1	1	1	1
安那加注射液	2x10A	10	10	10	10	無水炭酸曹達	50x30A	1	1	1	1
安那加注射液	2x10A	10	10	10	10	重鉛華粉	50x30A	1	1	1	1
チキタミン注射液	2x10A	10	10	10	10	重鉛華粉	50x30A	1	1	1	1
チキタミン注射液	2x10A	10	10	10	10	硼酸	50x30A	1	1	1	1

非常用薬品保管明細書

(民団防護部倉庫)

消息子	1	洗眼瓶	1
丹刃	1	縫針	1
尖刃	1	縫針	1
ブルベニ錠子	1	縫針	1
持針器	1	縫針	1

(=百=十)

研酸軟膏	50錠入	二〇六	コメニン錠	20錠入	二〇
晒粉		一五	サキシフル錠		〇
全		三一	ハロミン末		三九
單軟膏		一四	リマオン末		一
溶度加里		三	クロラミン末		四
重曹		二	ギブス		一
オキシドール		一六九	全	100錠入	二
ハリバ軟膏		五〇〇	メズリン	100錠入	三
アズニール注射液	100錠入	七五	全	100錠入	二
全	20錠入	一〇〇	アクリノール末	20錠入	五
アルコール		五〇〇	トロンボケン	20錠入	二
オレフ油		四八三	全	20錠入	四
過マンガン酸加里		二四〇	モルタイン	1x10A	〇
クロラミン錠		一七	第一糖液	2x5A	〇
ハロミン錠		二九	ボスマミン	25錠入	〇
リマオン錠	100錠入	二〇	炭酸マグネシヤ		〇
全	50錠入	一五	グレラン錠	20錠入	一
コメニン錠	100錠入	五〇			〇

但し注射液及薬瓶に多少の破損品あり

(二百七十四)



第九 工務部  
土木課

一 工事施工

管外地埋立工事

工事方法 直營

工事施工 二月十日着手

工事費 壹万九千四百参拾四円五拾銭也

工事概要 管外地産枿捨場不潔箇所整地のため埠頭用地の一部を切取り運搬被覆す

埋立面積 一、二一〇〇立方米

2 西伏見街一部埋立工事

工事方法 市政府警察局に依託施工

工事施工 四月二十二日着手 九月二十二日竣功

工事費 参万円也

工事概要 埋立面積 八、六四〇平方米 埋立量 五、八四〇立方米

西伏見街沼澤池の一部、工業学校敷地として編入したる結果同附近の埋立急を要する状態となりたるに付、市政府警察局に交渉補助額参万円を以て依託炉及にて水面上約一米迄の埋立をなす

3 西伏見街一部埋立工事

工事方法 請負附託 請負人 郡益太郎

工事施工 十一月五日着手 十二月二十日竣功

工事費 式拾壹万九千式百四拾円也

工事概要 埋立面積 四、四二一平方米 埋立量 三、〇八八〇立方米

本工事は市政府警察局に依託埋立をなしたる上部を約五〇釐良土にて埋立被覆す

4

天津日本商業学校及庭排水並に表面修理工事  
工事方法 直營  
工事施工 三月十五日着手 四月十五日竣工  
工事費 壹万参千参百拾参円也  
排水盲暗渠工延長 三一〇・〇米  
表面修理工面積 三六四〇・〇平方米

5

春日国民学校々庭一部整地工事  
工事方法 請負附託 請負人 岩谷惣一  
工事施工 九月二十日着手 十月二十六日竣工  
工事費 五万壹千壹百貳拾参円也  
工事概要 整地面積 六一一・一〇平方米

6

团営河北火葬場連絡道路築造工事  
工事方法 請負附託 請負人 周鎮華  
工事施工 十一月二十日着手 十二月二十五日竣工  
工事費 九万九千六百参拾円也  
工事概要 延長 六〇・〇米 幅員 六・〇米 盛土立積 一、九三五・〇立方米

7

申一、二九部隊遊歩池勤場築造其の他補修工事  
工事方法 直營及一部分割請負附託  
工事施工 五月二十八日着手 七月三十一日竣工  
工事費 参万壹千六百貳拾七円也  
内譯 直營 壹万七千参百貳拾七円也  
請負 壹万四千参百円也

工事概要

傷病兵慰安設備として甲一八二九部隊遊歩池内に釣場十六箇所築造其の他  
大南堂及橋梁の塗替をなす

8 青少年修繕道場整地工事

工事方法

工事施工

工事概要

請負附託 請負人 一郡益太郎

五月十一日着手 六月十二日竣功

拾七万円也

綜合運動場内一部を青少年修繕道場として一時使用するため本整地をなす

整地面積 一七九、九五〇平方メートル

切取土量 四三、七九〇立方メートル

9 綜合運動場内戦技場築造工事

(1) 直営工事

工事施工

工事概要

五月一日着手 十月二十七日竣功

大万参千六百参拾円五拾八錢也

總面積 五、二二一、〇〇〇平方メートル

第一戦技場 二、七三九、八四平方メートル

第二戦技場 二、四八二、一六平方メートル

第一戦技場 四百米走路整地面積

五、六一三、九一平方メートル

フィールドトラック整地面積

九、七一六、〇四平方メートル

フィールドトラック付延長

四〇〇、〇〇〇米

境界帯石拵付延長

四〇〇、〇〇〇米

通路舗装面積

七九三、三六平方メートル

第二戦技場

場内整地面積

三、四六二、五〇平方メートル

排水管敷設延長

一、〇〇〇、〇〇〇米

通路舗装面積

一、五九四、三八平方メートル

請負員附託工事

請負人 一郡益太郎

工事施工 七月二十日着手 九月十七日竣工  
 工事費 五万四千円也  
 工事概要 第二戦技場々内切取土量八、五八五、〇立方米を以て外周築堤を施行す  
 延長八七七六米 第一戦技場 三、八九〇〇米  
 第二戦技場 四、八八七六米

10.

綜合運動場内戦技場正面観覧席築造工事  
 工事方法 直営  
 工事施工 八月三十日着手 十月七日竣工  
 工事費 八万六千七百四拾参円六拾九銭也  
 工事概要 第一戦技場正面中央賓席 延長二〇〇米、面積五〇〇平方米、收容人員八〇〇人  
 第二戦技場正面中央賓席 延長九一〇米、面積二五〇〇平方米、收容人員八〇〇人  
 通路鋪装面積八九〇〇平方米

11

綜合運動場雑工事  
 工事方法 直営  
 工事施工 自一月一日 至十二月三十一日迄  
 工事費 四万参千七百七拾壹円参拾六銭也  
 工事概要 内譯 自一月一日至三月三十一日 七千七百五拾壹円参銭也  
 自四月一日至十二月三十一日 参万六千貳拾円参拾銭也  
 輾圧機修理、碎石製作及運動場保管材料、石炭、北戴河砂、碎石を衛津河沿邊場より戦技場段へ運搬整理、西宮島街材料倉庫より綜合運動場へ運搬土縁石運搬、南園橋補修、庭球場前より造園課大里台事務所に至る四米道路土砂切取、青少年修練道場低地に運搬埋立整地並に池周圍流失破損の補修其の他一般雑工事

(=百=十八)

12 防空待避壕築造工事

イ直営工事

工事施工

工事費

工事概要

五月十八日着手

九月十三日竣功

壹万八千参百参円也

民団廳舎及職員宿舍用として築造す

木造有蓋十八箇所、鉄筋混擬土管造二箇所、計二十箇所、收容人員四百八十八人

口請負附託工事

請負人杉本計介

八月二十日着手

八月三十日竣功

拾万七千弐百円也

木造有蓋側壁煉瓦積、本廳舎用二箇所、分廳舎用三箇所、児童遊園地内二箇所、計七箇所、收容人員三六〇人

13 淡路国民学校防空壕築造工事

工事方法

直営

工事概要

工事費

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

工事概要

### 建築課

#### 一 處理事項

建築許可申請二圖入ル件

二〇件

#### 二 工事施工

##### 一般會計ノ部

#### 1 學校防空設備新設工事

施工者 杉本工程所

工事期間 昭和十九年三月五日着工 今年三月三十一日竣功

工事概要 構造煉瓦造監視所十二個、水槽三十八箇所

工事費 三万八百四拾円也

#### 2 天津日本保養院改築工事

位置 福安大街

施工者 田島組 田島清一

工事期間 昭和十八年十一月二十六日着工 今年四月三十日竣功

工事概要 便所増改築、洗面所、消毒室、浴室其ノ他改造

工事費 七万四百八拾式円也

#### 3 淡路街民团宿舍修繕工事

位置 淡路街十六ノ四

施工者 中外工務所 松田実

工事期間 昭和十九年四月二十五日着工 今年五月二十五日竣工

工事概要 炊事場煉瓦壁体修理

工事費 二万九千五百円也

4

團營食堂改造築工事  
 位 置 芙蓉街三〇番地  
 施工者 朝日組 三谷為吉  
 工事期間 昭和十九年六月三日着工今年七月三日竣工  
 工事概要 構造煉瓦造一階建一棟  
 工事費 請負附託金 五万四千九百五拾円也  
 團給額 二拾七円二拾六錢也  
 計 五万四千九百九拾七円二拾六錢也

5

防護課並二用度課倉庫新築工事  
 位 置 福島街十八番地  
 施工者 松永組 松永多  
 工事期間 昭和十九年五月十五日着工今年六月二十四日竣工  
 工事概要 構造煉瓦造平房一棟 一九二平方米  
 工事費 請負附託金 六万五千二百拾三円拾錢也  
 雜費 二百拾七円也  
 計 六万五千四百三拾円拾錢也

6

第六區生計所模樣替工事  
 位 置 第六區馬廠道  
 施工者 三友組 吉原恆雄  
 工事期間 昭和十九年六月七日着工今年七月二十一日竣工  
 工事概要 構造煉瓦造一階建一棟、坪數四一坪六  
 工事費 請負附託金 三万九千四拾二円也  
 團給額 二千三百八拾四円二拾八錢也  
 計 四万一千八百四拾四円二拾錢也

7 宮島街市場改造工事

8. 同仁会衛生處模樣替工事  
 位 置 第一區宮島街  
 施 工 者 中外工務所 松田 実  
 工 事 期 間 昭和十九年五月十日着工 同年七月二十九日竣工  
 工 事 概 要 構造煉瓦造一階建一棟、坪數二七一坪六〇  
 工 事 費 請負附託金 拾八万四千一百四拾一元三拾九錢也  
 計 團 給 額 九千七百七十九圓一拾一元  
 拾九万八千二百拾六圓二十錢也

9. 公立病院河北分院増築工事  
 位 置 河北省緯路  
 施 工 者 東北工程所 木村 周市  
 工 事 期 間 昭和十九年七月二十八日着工 同年九月二十七日竣工  
 工 事 概 要 構造煉瓦造二階建二棟 四五八坪三一七  
 工 事 費 三拾三万六千四百圓也

10. 明石街児童園圖書館模樣替工事  
 位 置 明石街二三番地  
 施 工 者 東北工程所 木村 周市  
 工 事 期 間 昭和十九年八月二十五日着工 同年十月十日竣工  
 工 事 費 請負附託金 二万圓也  
 計 團 給 額 九千六百五拾圓也  
 二万九千六百五拾圓也



11. 官島衛生計所野菜賣場改造工事

位置 官島街  
 施工者 直管工事  
 工事期間 昭和十九年十月二十五日着工、同年十一月十四日竣工  
 工事概要 構造煉瓦造一階建一棟  
 工事費 一万五千六百九拾円也

12. 河北防護団並ニ河北出張所補修工事

位置 河北  
 施工者 東北工程所 木村周市  
 工事期間 昭和十九年十一月十日着工、同年十二月二十日竣工  
 工事費 請負附託金 三万六千三百円也  
 田給額 八百九拾四円三拾四錢也  
 計 三万七千一百九拾四円三拾四錢也

特別會計教育費ノ部

13. 天津日本中學校工作室改造工事

位置 八里台  
 施工者 岩谷工務所 岩谷惣市  
 工事期間 昭和十九年三月一日着工、同年三月三十一日竣工  
 工事費 請負附託金 一万二千円也  
 田給額 二千六百二十円八十錢也

計 一万四千六百三十四元八角也

14 西濱通新職員宿舍煉瓦塲工事

施工者 岩谷工務所 岩谷惣一

工事期間 昭和十九年三月一日至同年三月三十一日竣工

工事概要 構造煉瓦塲總延長一七八米

工事費 二万七千六百五拾三元也

15 官島街女學校改造増築工事

位置 第六區三十四号路三十一号

施工者 岩谷工務所 岩谷惣一

工事期間 昭和十九年三月二十二日着工 同年五月三十日竣工

工事概要 構造煉瓦造増築平房改造二階各一棟

工事費 請負附託金 二拾二万三千円也

計 給 額 九千七拾八円五拾六錢也

計 給 額 二拾三万二千七拾八円五拾六錢也

16 三笠國民學校第二期増築工事

施工者 岩谷工務所 岩谷惣一

工事期間 昭和十九年三月十六日着工 同年六月二十日竣工

工事概要 煉瓦造平房連坪敷一二三坪三〇

工事費 請負附託金 拾八万六千円也

計 給 額 一万五百七拾二元四拾六錢也

計 拾九万六千五百七拾二円四拾六錢也

17 吉野国民學校倉庫新築工事

位 置 第六區海大道  
施 工 者 山中組 松田久雄  
工事期間 昭和十九年五月二十九日着工 同年六月二十四日竣工  
工事概要 構造煉瓦造平家建一棟 一〇坪  
工事費 二万四五百円也

18 芙蓉国民學校倉庫新設工事

施 工 者 中外工務所 松田実  
工事期間 昭和十九年四月二十七日着工 同年六月五日竣工  
工事概要 構造煉瓦造一階建一棟 一五坪  
工事費 一万八千円也

19 天津日本中學校銃器庫移設工事

位 置 八里台  
施 工 者 山中組 松田久雄  
工事期間 昭和十九年六月二十九日着工 同年七月二日竣工  
工事費 請負附託金 三万一千四百八拾六円也  
計 團 給 額 三百四拾円也  
三万一千八百三拾六円也

20 山海關臨海學校一部增築並二改造工事

位 置 山海關  
 施工者 金本組  
 工事期間 昭和十九年六月三十日着工 今年七月十日竣工  
 工事概要 煉瓦造一棟一〇坪 外屋根雨漏修繕工事  
 工事費 六万八千円也

21 天津日本中學校煉瓦場增設工事

位 置 八里台  
 施工者 德盛建築工友  
 工事期間 昭和十九年十月六日着工 今年十一月十日竣工  
 工事概要 構造煉瓦場三二五米  
 工事費 七万六千円也

22 淡路國民學校非常階段新設工事

位 置 淡路街四番地  
 施工者 三友組 吉田春一  
 工事期間 昭和十九年十二月一日着工 今年十二月二十五日竣工  
 工事概要 構造木造階段  
 工事費 諸員附託金 六万九千五百円也  
 田給額 二千三百六拾円七拾四錢也  
 計 七万一千八百六拾円七拾四錢也

23. 天津日本中学校旧校舍燬房煙突新設工事

位 置 八里台

施工者 德盛建築工廠

工事期間 昭和十九年十二月一日着工、同年十二月三十日竣工

工事概要 構造燬瓦並煙突二十六個

工事費 四万九千四百三拾円也

24. 芙蓉国民学校便所改設工事

施工者 天津建築衛生工事所 岡崎 保

工事期間 昭和十九年七月十日着工、同年八月十日竣工

工事費 請負附託金 一万七千四百五拾円也

固 給 額 五百三拾四円也

計 一万七千九百八拾四円也

25. 芙蓉国民学校燬房配管改修工事

施工者 北機工業株式会社

工事期間 昭和十九年八月十四日着工、同年九月十四日竣工

工事費 請負附託金 一万九千六百円也

固 給 額 九千八百六拾三円拾錢也

計 二万九千四百六拾三円拾錢也

26. 王盤国民学校棟瓦塙並門新設工事

施工者 松永組 松永勇八

工事期間 昭和十九年七月二十二日着工 今年九月二十二日竣工  
工事費 四万四千四百円也

27 橋立女学校門前新設工事

施工者 山中組 松田久雄  
工事期間 昭和十九年八月二日着工 今年九月十一日竣工  
工事費 請員附託金 四万九百二十拾二円也  
 団 給 額 三百六拾二円七拾錢也  
計 四万一千二百八拾四円七拾錢也

28 天津日本工業学校倉庫増築工事

施工者 岩谷工務所 岩谷惣一

工事期間 昭和十九年九月十五日着工 昭和二十年三月三十日竣工予定  
工事概要 構造煉瓦造 屋根瓦葺 平家三棟

工事実施面積

第一棟教室 七二九平方米  
第二棟教室 七二九平方米  
 延 三〇八米  
計 一四五八平方米

工事費

設計料 三万四千五百拾三円也  
請員附託金 九拾四万八千六百八拾円也  
 団 給 額 五万一千九百九拾三円九拾錢也  
 雜 費 二万一千三百拾円也  
計 一百五万六千四百九拾六円九拾錢也

本工事現在施工中にして煉瓦増築工事の竣工也

19

春日國民學校新築第一期工事

施工者

岩谷工務所 岩谷惣一

工事期間

昭和十九年四月十七日着工 同年九月三十日竣工

工事概要

土環子造平家一棟 一三四七九平方米

工事費

請負附託金 八拾六万八千六百四拾五円也

團給

額

拾一万七千二百五拾六円八拾三錢也

計

九拾八万六千六百八拾九円八拾三錢也

30

春日國民學校新築第二期工事

施工者

岩谷工務所 岩谷惣一

工事期間

昭和十九年七月拾日着工 同年十一月十八日竣工

工事概要

構造壁体土環子一部煉瓦造屋根青灰塗平家建一棟 二四、二六坪

工事費

請負附託金 四拾四万九千八百二円也

團給

額

三万三千八百五拾八円七拾錢也

雜費

額

二千五拾四円也

計

四拾八万五千七百拾五円五拾錢也

### 特別會計團營業家ノ部

31

河北樹徳里第二回改造工事

位置

第三區辰緯路

施工者

日滿土木株式會社天津出張所

工事期間

昭和十九年三月八日着工 同年三月三十一日竣工

工事概要 構造煉瓦造平家建 一九坪六七  
工事費 一万三千三百円也

32. 淡路街五番地民団貸家模様替工事

位 置 淡路街五番地  
施工者 中外工務所 松田 察  
工事期間 昭和十九年二月二十八日着工 今年四月二十日竣工  
工事概要 階下床板張替工事押入新設工事  
工事費 一万六千六百円也

33. 浪速街三ノ大貸家改造工事

位 置 浪速街三ノ大  
施工者 東北工程所 木村周市  
工事期間 昭和十九年四月十五日 今年六月三日竣工  
工事費 二万三千四百円也

本工事付在末板張室の間に仕切を煉瓦とし日本間に模様替

34. 老西開泉澤里職員宿舎改造工事

位 置 老西開  
施工者 東北工程所 木村周市  
工事期間 昭和十九年六月二十九日着工 今年八月十日竣工  
工事概要 煉瓦造三階建 五〇五坪三〇  
工事費 九万五千円也



35

住吉街田營貸家暖房用唧筒掘付排水管取替工事

施工者 直營工事

工事期間 昭和十九年十月六日着工 同年十一月二十八日竣工

工事費 三万四千七百九拾三円也

36

河北樹德里並三鐘山里雨漏修繕工事

施工者 山崎工務所

工事期間 昭和十九年九月六日着工 同年九月三十日竣工

工事費 二万五千五百六拾円也

37

住吉街貸住宅暖房汽罐補修工事

施工者 北機工業株式会社 木村次郎

工事期間 昭和十九年十月五日着工 同年十月五日竣工

工事費 請負附託金 一万八千二百七拾円也

因給額 七百二拾五円也

計 一万八千九百九拾五円也

特別會計 天津日本公立病院新築ノ部

38

天津日本公立病院本館新築工事

位 置 天津第一區西宮島街二ノ三

施工者 竹中工務店天津支店 吉田元助

39

工事期間  
工事概要

昭和十七年四月十七日着工  
構造 鉄筋混泥土造四階建一部中央五階建・延坪三・二・三坪  
地階一・二・八坪 一階四九五坪 二階四七五坪 三階四七五坪 四階四七五坪  
五階七五坪

工事費

請負附託金 八拾九万三千二百八十一錢也  
図給額概算 六拾九万七千五百九拾五円五拾錢也  
設計料 四万円也  
雜費 五千 百大拾五円六拾七錢也  
精算概算額 五万五千八拾八円三拾八錢也  
合計 一百三拾七万八千円八拾錢也

天津日本公立病院新築第二期工事

位 置 天津第一區西宮島街二・三

施工者 竹中工務店天津支店 吉田元助

工事期間 昭和十七年十二月十九日着工昭和十九年十二月二十九日竣工

工事概要 構造 鉄筋混泥土造四階建一部五階建

病棟 鉄筋混泥土造二階建二棟

附屬家康丸造平家建 二棟

煙 一基

請負附託金 一百大拾六万一千三百七拾一円七拾五錢也

図給額概算 二百四拾二万六千五百五拾六円六拾四錢也

設計料 四万円也

(二百四十二)

雜費 一万四千円也  
 精算ニ依リ減額 五拾二万三千三百四拾円二拾八錢也  
 因給品返納額 二拾万四千五百七拾五円也  
 合計 三百六拾二万二千六百八拾八拾八錢也

40 天津日本公立病院新築改修工事

位 置 天津第一區西宮島街三三

施工者 竹中工務店天津支店 吉田元助  
 工事期間 昭和十九年八月二日着工 全年十一月二十九日竣工  
 工事費 請負附託金 二百五拾八万二千六拾二円九拾五錢也  
 因給額核算 拾五万二千五百四拾八円四錢也  
 因給品返納額 二拾万八千三拾九円四錢也  
 雜費 六万五千七百三拾八円拾五錢也  
 合計 二百五拾九万二千三拾二円拾錢也

41 天津日本公立病院新築改修工事第一第二附屬家動力設備工事

位 置 天津第一區宮島街三三

施工者 竹中工務店天津支店 吉田元助  
 工事期間 昭和十九年九月二十六日着工 全年十一月二十九日竣工  
 工事概要 電線配線並ニ器具取付  
 工事費 二万五千七百六拾一円也

42 天津日本公立病院新築改修金据付工事

施工者

工事期間  
工事費

竹中工務店天津支店 吉田元助  
昭和十九年十月十六日着工今年十一月二十九日竣工  
請負附託金 一萬七千三百五拾六円也  
計 團 給 額 二百三十円也  
一萬七千五百八拾六円也

43

天津日本公立病院新築工事給水槽工事  
施工者 竹中工務店天津支店 吉田元助

工事期間  
工事費

昭和十九年九月六日着工今年十一月二十九日竣工  
請負附託金 三萬九百五拾九円也  
計 團 給 額 八千九百四拾円也  
三萬九千八百九拾九円也

一般會計臨時部雜工事ノ部

公立病院爆風除新設工事  
療病院分院煉瓦塙補修工事  
療病院汚水腐敗槽新設工事  
保養院々々長室手洗器新設其、他工事  
天津興亞鍊成所置敷其、他工事  
旭街野戰郵便局跡改造工事  
松島女學校々々庭非常出入口新設工事  
河北公立分院暖房室モルタル防水工事

九千九百円也  
三千七百円也  
一萬一千一百拾円也  
二千四百八拾二円也  
五千七百六拾三円也  
七千九百円也  
一千五百円也  
四千九百三拾一円也

山中組  
德盛建築工廠  
中外工務所  
田島組  
三友組  
松永組  
松永組  
夕夕不爾護火防水社

河北公立分院暖房増設工事

五千六百九円也

北機工業株式会社

特別会計臨時部雜工事ノ部

春日國民學校煉瓦塙補修工事

二千六拾五円也

德盛建築工廠

天津中學校舊校舍便所改造工事

七千九百拾円也

松永組

天津中學校實驗室流シ取付工事

八千四百二拾円也

北機工業株式会社

松島女學校暖房設備修繕工事

五千五百九拾五円也

天津暖房衛生工務所

宮島女學校暖房汽罐及配管改修工事

七千七百七拾一円也

天津暖房衛生工務所

芙蓉幼稚園煉瓦塙築造工事

六千円也

德盛建築工廠

芙蓉國民學校々具庫追加増築工事

七千九百七円也

中外工務所

三笠國民學校農具庫改修工事

六千九百八拾四円也

松永組

吉野國民學校宿直室改造工事

一千六百七拾七円也

直管工事

吉野國民學校使丁室雨漏修繕工事

一千九百九拾七円也

德盛建築工廠

中學校農園灌水用唧筒新設工事

五千三百七拾二円也

隆興洋行

中學校講堂出入口増設工事

三千八百円也

山中組

天津日本工業學校便所新設工事

二千四百四拾円也

中外工務所

天津日本工業學校々舎雨漏補修工事

七千円也

夕夕イ耐酸火防水社

大和青年學校廊下扉新設工事

五千四拾円也

山中組

橋立女學校番人室模様替工事

五千円也

東北工程所

特別會計 團營貸家ノ部

河北月緯路住宅改造工事	七千円也	中外工務所
河北辰緯路樹德里貸家改造工事	二千三百六拾九円也	日滿土木株式會社
住吉街貸家暖房真空唧筒撤去及給水唧筒 組立取付配管改修工事	二千八百円也	天津暖房衛生工務所

○ 營 繕

日本青年學校湯沸釜新設工事	一千三百九拾一円也	中外工務所
療病院本院各所間仕切工事	二千四百九円五拾錢也	岩谷工務所
公會堂舞台床板張替工事	八千円也	山中組
武備館屋上漏水補修工事	一千二百拾五円也	德盛工廠
事務所地下室防水工事	七千五百円也	夕ヶ子耐酸火防水社
事務所トンプラ洗場新設工事	三千五百円也	東北工程所
民團會議室漏水補修工事	一千五百拾四円也	華興有鋼鐵廠
旧工務部棚新設工事	二千九百四拾円也	山中組
民團宿直室改造工事	六千三百圓也	山中組
武備館一部壁補修工事	一千四百圓也	德盛工廠
民團水泳場防寒設備工事	四千圓也	志信捆舖
埠頭倉庫一部壁補修工事	一千二百六拾四円也	德盛工廠
團營貸住家煙道補修工事	二千一百円也	德盛工廠

住吉街煖房空揚水ポンプ補修工事	一千二百八拾円也	石川製作所
団營貸住宅煙道補修工事	一千二百二拾九円也	徳盛工廠
貸住宅西宮島街一ノ一壁補修工事	一千三百五拾円也	新記建築工廠
住吉街汽罐破損箇所補修工事	一千三百円也	天利成工務所
住吉街貸住宅風呂場鉄管取替工事	一千七百八拾円也	天利成工務所
貸住宅頓興里一部畳表替工事	一千三百三拾二円八拾錢也	天津畳葺組組合
住吉街貸住宅浴場漏水補修工事	一千九百拾六円四拾錢也	夕クイ耐酸火防水社
中學校庭球場補修工事	一千二百円也	俊記工廠
中學校旧校舍一部壁補修工事	一千六拾円也	徳盛工廠
中學校煖房汽罐凍結補修工事	一千三百七拾五円也	北機工業株式会社
中學校煖房水送管凍結補修工事	一千二百七拾四円也	天利成工務所
中學校寄宿舎大便所凍結補修工事	五千六百六拾五円也	天利成工務所
中學校寄宿舎風呂場防水補修工事	三千三百八円也	夕クイ耐酸火防水社
中學校寄宿舎暖房送風機補修工事	二千四百五拾六円也	北機工業株式会社
中學校寄宿舎汽罐内給水管凍結補修工事	二千一百円也	北機工業株式会社
宮島女學校庭球場補修工事	一千五百円也	俊記工廠
宮島女學校庭球場補修工事	一千六拾円也	俊記工廠
宮島女學校洗面器取替其他工事	二千八百円也	天津煖房工務所
宮島女學校洗面器二〇組購入	六千円也	新京建材社
宮島女學校煖房凍結補修工事	二千七拾円也	天利成工務所
芙蓉国民學校庭球場補修工事	一千六拾円也	俊記工廠

芙蓉国民學校汽罐破損補修工事

全 右

淡路国民學校扉金車止取付工事

三笠国民學校庭球場補修工事

三笠国民學校排水管補修工事

三笠国民學校小便所排水管補修工事

春日国民學校便所煉瓦壁補修工事

吉野国民學校庭球場補修工事

大和国民學校洗面所排水管補修工事

大和国民學校暖房管補修工事

臨海學校名所補修工事

埠頭倉庫排水管取替工事

其の他一千円未満の雜修繕工事

一千八百五拾円也

一千二百五拾円也

一千三百五拾大円也

一千六拾円也

三千四百六拾五円也

二千四拾円也

一千四百九拾円也

一千四百五拾円也

一千六拾円也

一千三百円也

一千五百九拾二円也

一千三百二拾五円也

三千五百円也

二千三百円也

三一二〇件

天利成工務所

德盛工廠

德盛工廠

俊記工廠

聯興德五金工所

天利成工務所

北松工業株式會社

德盛工廠

俊記工廠

德盛工廠

天利成工務所

天利成工務所

金本組

天利成工務所

以上



# 造園課

## 二 處理事項

### (4) 溫室

溫室植物灌水、除草、施肥、藥劑撒布等、越冬植物屋外搬出、越冬葡萄搬出し、雨に緊縛、樹木類整枝、剪定、溫室及屋外廣場清掃、図書館前池泉防寒の爲の排水

### (5) 大里台苗圃

冷室植物越冬、菊手入れ管理、菊親株及菊鉢植手入れ、灌水、施肥、藥劑撒布、摘芯、朝顔播種、草花苗移植培養、既植樹木の灌水手入れ、藥劑撒布、菊挿芽、並芽分け、菊朝顔に乾燥肥料及液肥料施肥、藥劑撒布、除草、菊の摘芽及支柱立て、菊鉢配列整理、菊補土灌水、摘蕾、菊花区因廣場へ運搬、朝顔製環、菊花越冬床作り、灌水用溜池越冬の爲の排水、耐寒性植物冷室へ持込み、菊花越冬作業、圃場整理、鉢類整理、菊支柱片整理、フレーム内、越冬菊整理手入れ、冷室植物手入れ、樹木整枝、剪定

### (6) 綜合運動場

既植樹木の剪定、整枝、藥劑撒布

### (7) 日本保養院

既植樹木の移植、運搬(大里台苗圃へ)

### (8) 職員宿舎

砂場及遊園地の清掃、既植樹木病虫害駆除のため、藥劑撒布

### (9) 恩賜遊園地

植込芝生内清掃手入れ、其他一般管理、池泉防寒施設取除、植込樹木施肥、剪定、整枝

(十) 官島遊園地

植込芝生内清掃手入 其他一般管理 花壇芝生施肥灌水 葉刺掃布  
管外遊園地

(九) 植込芝生内清掃手入 其他一般管理 植栽樹木灌水  
シユズ運河堤防

(八) 植込内芝生清掃手入 其他一般管理  
街路樹

(七) 支柱一部修理 植栽樹木一部手入  
八里台苗圃(新設火葬場裏)

疏植樹木の剪定 整枝 枯木の整理

三 六里台農場作業概要

六里台綜合運動場埋立地の一部及之に隣接せる水田並に荒蕪地に於て蔬菜農園経営を開始す 其の面積二万五千二百九十坪にして地勢に應じ之を數個の菜園に区劃す

(一) 開墾及土地整理

第一菜園 面積九〇〇坪

現場詰所前ニ反歩の土地にして殘末草花類を栽培したる区域なり 土質良好土壤肥次に於て栽培に適す

第二三四菜園

本菜園は六里台苗圃とも稱し現在に於ては樹木苗圃として使用しつゝありて今秋第三四菜園區域の樹木は綜合運動場内の各廻に配植し第四菜園區域の一部を養豚場

とし残余の第三、四の空地は全部蔬菜園として利用の予定なり  
第五菜園 面積三五〇〇坪 依託栽培せしめたり

従来蓮根作付しありたる所にして畑地に適せず依て従来の通り蓮田として中国人に  
依託栽培せしめたり

第六菜園 面積一七二〇坪

五月五日より耕地整理に着手 本月十四日完了す 芦根掘取、土塊破砕等耕整の  
結果、本月二十一日より播種したれども湿度強く畑地として適当ならず

第七及第八菜園 面積三六七〇坪

三月十一日着工、灌排水路農道施設等四月十六日完了したるが濕地にして直に耕作  
を行ひ難く専ら排水に努力し五月二日に至り漸く播種するに至りたるも湿度及  
塩分多量にして菜園に適せず

第九及第十菜園 面積七五〇〇坪

荒蕪地にして芦草密生す之を刈 整理地する為四月二十六日より五月末日までを費  
したり、然るに湿度塩分極度に強くして折角播種したる大豆、粟等三寸にして枯  
死し成育するに至らず依て畑地とするを断念し蓮田となすを有利と認め隣接  
三千二百坪の溜池と共に中国人に依託作付せしむることとす

第十一菜園 面積三六〇〇坪

現在荒蕪地にして昭和二十年年度に於て開墾の予定なり

第十二乃至第十五菜園 面積八〇〇〇坪

本地域は昭和十八年夏季運動場の一部として高さ一米余埋立てたるところにして  
三月十八日より整地に着手四月十七日に終り直に灌水を行ひたるころ土地に空隙多  
くして灌水行き渡らず且つ名所に陥穽を生じて畑地となすを得ざるを以て一時之を

(二) 播種及收穫  
 放置するの止むなきに至れり  
 主として蔬菜類を得人が為場所依り二回或は三回播種し育生に努めたるも第一菜園を除く外は一般に畑地に適せず苦心努力の大なりしに不拘收穫少量なりしは遺憾なり尚本年配給を受けたる除虫薬品は品質不良にして害虫駆除の効果至つて微弱なりしも亦其の一因を為す

播種及收穫一覽表

場所	種類	播種面積	播種日	採取日	採取数量	摘	要
第一菜園	茄子	三〇	六月二十六日	自十一月二十日	三合	採種用	
	蕃茄	三〇	五月二十八日	自十一月二十日	二勺	全	
	葱	一一〇	八月二十三日	自九月二十三日	〇	第七菜園浸水ノ夕メ第一菜園ニ 転栽越年	
	天津白菜	一一〇	八月三十一日	自九月十四日	二〇〇貫		
	紅乳大根	九〇	八月二十五日	自九月十六日	八三		
	小松菜	九〇	九月二日	自九月十四日	五四		
	菠薐草	三〇	八月二十五日	自九月十四日	一八		越年セシメ四月採取予定
	花心白菜	九〇	八月三十一日	自九月十四日	一六四		
	宮重大根	六〇	九月二日	自九月二十日	三五		
	春菊	三〇	九月二日	自九月二十五日	四五		
	甲打葉大根	九〇	九月二日	自九月十九日	六〇		
	小白菜	九〇	八月十日	自九月十一日	四七		
第六菜園	南瓜	六九〇	五月二十一日	自九月十一日	〇		夏季降雨ノ夕メ枯死ス

第六菜園										第七菜園										第八菜園									
西瓜	白瓜	小白菜	葱	茄子	蕃薯	菜豆	秋茄子	赤茄子	赤根	西瓜	白瓜	小白菜	葱	茄子	蕃薯	菜豆	秋茄子	赤茄子	赤根	西瓜	白瓜	小白菜	葱	茄子	蕃薯	菜豆	秋茄子	赤茄子	赤根
六三〇	五四〇	三〇〇	四五〇	六〇〇	九〇〇	三〇〇	六〇〇	三〇〇	六〇〇	六三〇	五四〇	三〇〇	四五〇	六〇〇	九〇〇	三〇〇	六〇〇	三〇〇	六〇〇	六三〇	五四〇	三〇〇	四五〇	六〇〇	九〇〇	三〇〇	六〇〇	三〇〇	六〇〇
五月二十八日	五月二十九日	五月二日	五月十八日	五月十九日	五月二十日	五月二十一日	五月二十二日	五月二十三日	五月二十四日	五月二十八日	五月二十九日	五月二日	五月十八日	五月十九日	五月二十日	五月二十一日	五月二十二日	五月二十三日	五月二十四日	五月二十八日	五月二十九日	五月二日	五月十八日	五月十九日	五月二十日	五月二十一日	五月二十二日	五月二十三日	五月二十四日
自五月二十八日	自五月二十九日	自五月二日	自五月十八日	自五月十九日	自五月二十日	自五月二十一日	自五月二十二日	自五月二十三日	自五月二十四日	自五月二十八日	自五月二十九日	自五月二日	自五月十八日	自五月十九日	自五月二十日	自五月二十一日	自五月二十二日	自五月二十三日	自五月二十四日	自五月二十八日	自五月二十九日	自五月二日	自五月十八日	自五月十九日	自五月二十日	自五月二十一日	自五月二十二日	自五月二十三日	自五月二十四日
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
夏季降雨、多、枯死	上	上	上	上	上	上	上	上	上	夏季降雨、多、枯死	上	上	上	上	上	上	上	上	上	夏季降雨、多、枯死	上	上	上	上	上	上	上	上	上

第八菜園	菠薐草	一五〇	坪	八月二十六日		〇	莖葉後浸水ノタメ枯死
人參	三〇〇	〇	八月二十五日		〇	上	
第十二菜園	天津白菜	三〇〇	〇	八月二十九日	九月二十五日	三〇〇	
	小松菜	三〇〇	〇	九月二日	十月四日	〇	天津ノタメ枯死
	花心白菜	三〇〇	〇	八月三十一日		〇	
	宮重大根	三〇〇	〇	八月二十九日		〇	
	練馬大根	三〇〇	〇	八月二十九日		〇	
	春菊	一五〇	〇	九月三日		〇	
	菠薐草	三〇〇	〇	九月五日		〇	
	赤日大根	六〇〇	〇	自九月二十日 至九月二十七日		〇	莖葉セシメ四月採取予定 日前葉收穫ノ下ニテリニモ時耕才 ノシハ皆生育セズ
計		三、三三三				三、三三三	

(三) 蓮根

第五菜園より納入せしめたる蓮根は三、五〇〇公斤にして十月十日より十二月十日の間に取り收納す

(四) 出荷及賣上金

五月二十八日に第一回出荷を行ひ十二月十日を最終とし其の間五十数日主として民団食糧及吏員を對象として配給す。この賣上金六千七百九拾四円五拾七銭なり。

# 水道課

一給水工事

給水工事總件数八三件、此の總延長二、三九五・五米にして内譯左の如し

(1) 新設工事

所要	鑄鉄管	内径	一〇〇米	三〇米
全	全	〃	七五	九〇
全	全	〃	一〇〇	六三〇
全	全	〃	二五	六〇五
全	全	〃	二〇	七三
全	全	〃	一三	三七・四
全	全	〃	二五	三九・五
全	全	〃	七五	五〇
全	全	〃	六五	一九・五
全	全	〃	五〇	六六〇
全	全	〃	四〇	二二一〇
全	全	〃	三五	四四九〇
全	全	〃	二〇	三五二・五
全	全	〃	一三	三六一・五
計	計			一、六九四・二

(二百五十五)

二 雜工事及雜件		四 增設、改造、位置變更及修繕工事	
(1) 雜工事	計	所要	內徑
1 配水管漏水修理	三件	鉛管	二〇〇米
2 消火栓撤去工事	一件	鉛管	一〇〇米
3 消火栓錶蓋取替工事	二件	黑瓦斯管	一〇〇米
4 給水管漏水修理	二〇四	鉛管	一三二〇
5 給水栓漏水修理	七八二	鉛管	一〇〇米
6 止水栓漏水修理	二八	鉛管	一〇〇米
7 給水管束結修理	一五六	鉛管	一〇〇米
8 其他雜工事	一五四	鉛管	一〇〇米
		計	
	三件		一〇〇米
	一		一〇〇米
	二		一〇〇米
	二〇四		一三二〇
	七八二		一〇〇米
	二八		一〇〇米
	一五六		一〇〇米
	一五四		一〇〇米
		計	
			七〇一

(二五十六)



月別	第一種	第二種	第三種	第四種	共用栓	無料	計
一月	三八,五八四.〇〇	三七,三二〇.〇〇	四,九七五.〇〇		一三,三七〇.〇〇		四七,四〇九.三〇
二月	三六,二七八.〇〇	四〇,八三三.〇〇	五,三四大.〇〇	二,一〇〇.〇〇	一〇,五六一.〇〇		四三,八三三.〇〇
三月	三六,三九三.七〇	四八,〇三八.〇〇	五,一六五.〇〇	三,三〇〇.〇〇	一一,〇八六.〇〇		四六,三九六.〇〇
四月	三六,三六一.八〇	三七,七四五.〇〇	五,〇六五.〇〇		一四,三五四.〇〇		四四,三四三.八〇
五月	三五,六九七.〇〇	三三,九五二.〇〇	五,二三八.五〇		一八,一一八.〇〇	三〇〇,〇〇〇.〇〇	四四,七〇一.八〇
六月	三八,八六三.〇〇	三五,一八一.〇〇	五,九九九.五〇		一七,七七一.〇〇	五〇,〇〇〇.〇〇	四八,六〇八.三〇
七月	四一,七九四.〇〇	三六,四一〇.〇〇	七,九七九.〇〇		一八,七七一.〇〇	六〇,〇〇〇.〇〇	五三,五六一.五〇
計							

- (四) 雑件 計 一、三三〇件
- 1 量水器 新設 四二件
  - 2 量水器 取替 四〇件
  - 3 量水器 試験完全 四七二件
  - 4 量水器 不完全修理 五六二件
  - 5 上水使用者転居開栓 六四件
  - 6 上水使用者転居閉栓 六四件
  - 7 上水使用者名義変更 五八二件
  - 8 停水処分 三件
  - 9 其の他雑件 〇一件
- 計 一九三〇件

八月	四七〇、四、五〇〇	三八八、〇、八〇〇	八、七九六、五〇〇	一四八、七、四〇〇	五、〇、〇〇〇	五七、五、八〇、五〇〇
九月	四五一、〇、九、五〇〇	三、三七六、六〇〇	八、〇三六、〇〇〇	一四三、六、三〇〇		五六、六、六五、七三〇
十月	四〇、五、九、五〇〇	三、七二八、八〇〇	四、七〇三、〇〇〇	一三、四、四、六〇〇		四九、一、三、八、三六〇
十一月	四〇、三、三、九〇〇	三、一五、四〇〇	四、六三九、〇〇〇	一、一、八、九、四〇〇		四八、一、三、七、三、四〇〇
十二月	三六、一、三、七〇〇	三、九三九、二〇〇	四、五八三、〇〇〇	一、四、一、八、〇〇〇	一〇、〇、〇〇〇	四三、八、九、四、三〇〇
計	四七〇、六、三、八、〇〇〇	四、二七四、四、一〇〇	八〇、五〇〇、〇〇〇	三三、〇、八、〇〇〇	六、一、〇、〇〇〇	五八、六、二、六〇、一、八〇〇

四 購水料

昭和拾年九月第四回目給水契約は購水單価壹千ガロンに付四拾錢也(売価八拾五錢)契約期間拾ヶ年なりしも爾來物価昂騰甚しく依つて昭和拾七年九月に購水單価壹千ガロンに付六拾五錢(売価壹千八拾五錢)に改めしが物価付益一、一、段納に騰貴し昭和拾九年一月に壹千貳拾錢(売価壹千八拾五錢)に二月分以降は壹千貳拾五錢(売価壹千九拾錢)に改訂し現在に至る

月別購水量及購水料左の如し

月別	購水量	購水料
一月	四〇、七、九、〇〇〇ガロン	四八、八、六、三、八〇
二月	三九、四、七、〇〇〇	四九、三、四、〇、〇〇
三月	四〇、三、〇、〇〇〇	五〇、三、七、五、〇〇
四月	四一、九、三、〇〇〇	五二、四、〇、三、七五
五月	五二、五、一、六、〇〇〇	六五、六、四、五、〇〇
六月	五四、七、二、九、〇〇〇	六八、四、一、一、二五
七月	五五、八、七、三、〇〇〇	六九、八、四、一、二五

五 鑿井工事

興亜地区並に河東、河内、河南及河北地区に防空用井戸三七箇所を鑿井せし  
内訳左の如し

地区名	鑿井箇所	井戸形状	深さ	水深
興亜	三島街四 煙草会社前	内径一五米 円形 深さ積	五・七米	三・四米
	福島街一三 東棉洋行内		四・七	二・五
	茨路街一八 療病院前		五・八	三・二
	住吉街一三 民間住宅内		五・七	三・二
	茨路街一三 幼稚園内		五・六	二・六
	明石街一八 キリスト教会内		四・九	三・一
	松島街一八 民間所有地内		四・三	二・四
	花園街一八 領事館裏		五・二	三・五
	松島街一三 軍人会館内		五・四	三・八
	宮島街一三 東揚洋行前		六・〇	四・四

月	鑿井箇所	深さ	水深
八月	六〇、九三、一〇〇〇、ガロン	七六、一六三、七五	
九月	五五、九一、五〇〇〇	一一四、六二五、七五	
十月	五五、三三、五〇〇〇	一一三、四六九、五五	
十一月	四九、八七、三〇〇〇	一〇二、二三九、六五	
十二月	四九、九三、九〇〇〇	一〇二、三三四、九五	
計	五九七、五四一、〇〇〇	九一三、七五二、七〇	

河東	寺中街	福昌公司内	一四九〇	六	角形木組	四・二米	二・五米
〃	西馬路	ハイライ公園内	五・五〇	〃	〃	五・五〇	二・五〇
〃	義錢文昇	元印太利領事館内	五・六〇	〃	〃	五・六〇	三・二〇
〃	頂家胡同	〃	四・五〇	〃	〃	四・五〇	三・一〇
〃	三經路	二緯路角	五・一〇	〃	〃	五・一〇	二・〇〇
〃	七經路	七緯路角	四・三〇	〃	〃	四・三〇	二・七〇
〃	八緯路	東和里	三・九〇	〃	〃	三・九〇	二・三〇
〃	八緯路	忠厚里	四・八〇	〃	〃	四・八〇	二・五〇
〃	七緯路	華北運輸社宅裏	五・〇〇	〃	〃	五・〇〇	二・三〇
〃	一號路口	松本洋行内	四・六〇	〃	〃	四・六〇	二・九〇
〃	小孫在大馬路	望月商店前	四・四〇	〃	〃	四・四〇	二・一〇
〃	旧興亞三區	增幸洋行内	四・五〇	〃	〃	四・五〇	二・一〇
〃	旧興亞三區	四四號	五・五〇	〃	〃	五・五〇	三・三〇
〃	旧興亞二區	三十四號	四・八〇	〃	〃	四・八〇	二・四〇
〃	旧興亞二區	三十四號	四・六〇	〃	〃	四・六〇	三・五〇
〃	旧第十一區	十一號	五・〇〇	〃	〃	五・〇〇	三・八〇
〃	旧第十一區	中街	五・二〇	〃	〃	五・二〇	三・六〇
〃	旧第十一區	官舍内	四・八〇	〃	〃	四・八〇	二・二〇
〃	東馬路	二道街角	五・五〇	〃	〃	五・五〇	四・三〇
〃	福安大街	保養院内	四・七〇	〃	〃	四・七〇	二・七〇
〃	首善大街	漢路街鉄门外	四・五〇	〃	〃	四・五〇	二・六〇
〃	南開学堂大街	ホル毛洋酒会社前	三・四〇	〃	〃	三・四〇	二・三〇

# 電氣課

## ○ 受電所

河北	地緯路、三經路角	內徑一五米	円形棟瓦積	三・八米	二・八米
△	甘肅路、二經路角			三・八米	三・〇米
△	日緯路、四經路角			三・四米	二・三米
△	大經路、律緯路角			三・九米	二・六米
△	大經路、呂緯路角			四・二米	二・六米
△	呂緯路、東二經路角			四・五米	三・七米

### 一、主要電路工事

#### (1) 變電所機器新增設並撤去

工事の種類	工事金額	工事期間	工事日数	設備場所	備考
低圧避雷器新設	二八〇〇〇	自三月二十九日 至三月三十一日	二日	紫街變電所外五所	變壓器高低壓混觸子防用
電磁開閉器撤去	四〇〇〇〇	自四月十日 至四月十二日	五日	松島街變電所外三所	街路灯配電區域更改、多
細隙型開閉器並斷路器新設	一〇三三六	自五月十二日 至五月十六日	十三日	海光寺變電所	製氷會社高壓送電、多
高圧避雷器新設	三六五八三	七月十六日	一日	新興路變電所	架空線引込
△	一八六六〇	七月三十日	一日	興津街變電所	△
油入開閉器並附屬機器增設	四七、五〇	自八月十六日 至八月三十一日	三日	新興路變電所	饋電線用
變壓器並附屬機器新設	四二九七四	自九月二十六日 至十月四日	八日	西宮町新公立病院	三相二〇kVA百及附屬機器

工事ノ種別	工事金額	工事期間	工事日数	設備場所	備考
(2) 変圧器並附屬機器新設	二四六〇八	自十月十九日 至十月三十日	五日	大里台野崎工廠	三相一五〇KVA一台
架空電線路増設並移設	四二六七四	自三月十八日 至三月十九日	一日	綜合運動場	三線式直長三六米並 線路位置變更三長三七米
架空電線路増設	六九四〇八	自三月十九日 至三月十九日	五日	海光寺農場	三線式直長三〇米並長
架空電線路並柱上変圧器設備	三六五五五	自四月三日 至四月十二日	七日	八里台日民團農場	三線式直長三〇米並長 三線式一〇〇KVA變壓器一台 三線式一〇〇KVA變壓器一台 但本設備八十三日自撤去又
柱上変圧器新設	一一二八六	四月十九日	一日	海光寺農場	三相四〇〇KVA變壓器一台
合	一三二八一	五月十七日	一日		
架空電線路増設	三三六六七	自九月十八日 至十月十四日	九日	宮島街公立病院	三線式直長九〇米並長
変圧器並附屬設備撤去	三四三八九	自十月十四日 至十月十四日	二日	合	三相三〇〇KVA變壓器二台 三相一〇〇KVA變壓器一台 KVA三台二取替
変圧器取替	八九九九	十一月三日	一日	南堂門外空軍工廠	KVA三台二取替
電線路増設	三九一四四	自十一月二十日 至十一月三十日	四日	大里台米大工廠	變壓器柱設置並三線式 直長十米増設
(3) 低圧架空電線路新増設並二改修撤去	二二〇五八	自一月十九日 至五月二十二日	二三日	明石街外十四ヶ所	根張及支線取替
木柱建替並補修	八三四五〇	自五月二十二日 至五月三十一日	七日	宮島街外十五ヶ所	損傷甚シキタメ
街路燈操作電線路張替	九八〇〇	自六月十九日 至七月四日	十三日	義徳街外十五ヶ所	根元補強
鉄柱補強	三三七五〇	自七月十二日 至七月十九日	大日	宮島街義徳街角	破損取替
鉄柱建替	五五三八〇	自九月十八日 至十月四日	九日	西宮島街	三線式直長一〇〇米深銅線 二〇平方尺
電線路増設	三三〇九八	自十月九日 至十月十二日	三日	吾妻街通	道路改築タメ
鉄柱移設	一一三六六	自十月十三日 至十月十三日	一日	大里台	
電線路撤去	九五五五	自十二月十五日 至十二月十六日	二日	西代見街	三線式直長四五米並長

(二百六十二)

		(4) 受電所工事	
		佛蘭西發電所電力の受電容量を増加すため住宅配電線路上直接連絡し断路器一組及附属設備をなしたり	
		工事期間	自八月二十五日 至八月三十一日
		工事金額	五百貳拾九円参拾八錢也
		(5) 変圧器改造	
		使用電圧ニ二〇〇ボルト單相七・五キロボルトアンペア変圧器四台口を使用電圧五、〇〇〇ボルトニ替替せり	
		工事期間	自一月十七日 至六月十七日
		工事金額	九千四拾大円参拾九錢也
		(6) 需用家電氣工事	
		工事期間	自一月 至一月
		件数	三二八件
		徴收金額	壹万七千七百貳拾貳円九拾参錢也
		(7) 街路灯補修	
		期間	自一月 至一月
		補修件数	九七〇件
		徴收金額	壹万壹千参百八拾大円六拾五錢也
		(8) 一般引込線新設並ニ改修撤去	
		工事期間	自一月 至一月
		新設件数	五二件
		改修件数	八六五件
		撤去件数	九八件
		工事概算額	壹千六百拾八円参拾五錢也
			四千八百拾貳円九拾参錢也
			壹千九百四拾大円八錢也
		三 送電々力量並ニ最大電力	
種別	十九年	十八年	十七年
送電々力量	一六三三・六三一 KWH	一八九四・六六〇 KWH	一七三三・八〇八 KWH
最大電力	四一八〇 KW	四七〇〇 KW	四七五〇 KW

販売電力量

自昭和十九年一月  
至今

月別	電灯	街灯	電熱	動力	計
一月	六三三・七一五	三三・六二二	五八二・五二六	一八五・〇一四	一四三四・八七七
二月	六〇七・三五二	二七・六九四	五七四・〇九六	一七三・一九七	一三八二・三三九
三月	五三六・〇九〇	二二・一四二	五七九・二六一	一七八・七三三	一三二六・三五六
四月	四五八・〇一八	六・二五五	五四七・三三八	二〇六・一一二	一三二七・七七三
五月	三八九・〇三六	五・四七七	四六八・三六二	二三四・三九六	一〇八七・二七一
六月	三三一・〇八九	五・二二五	四〇一・八八一	一八三・一〇八	九一〇・二九三
七月	二七一・四四〇	四・九七〇	三八〇・三八八	一八七・七六三	八四四・四六一
八月	三一一・一〇三	五・一四五	四六一・七六二	三七九・三三四	一一五七・三三四
九月	二九〇・七一一	五・四五〇	四〇九・三五四	二四一・七六〇	九四七・二七六
十月	三一九・九五二	六・四一五	四〇三・六一〇	二一七・九九九	九四四・九七五
十一月	三九六・二六一	六・六三四	四七一・八七二	二二二・三三四	一〇八七・一〇一
十二月	四三三・六三八	六・五二八	五〇四・五五九	一六二・六四三	一〇九七・三五七
計	四九五・四〇五	一三五・五三七	五七八四・九五九	二五五一・三七二	一三四二七・二七三

販売料金

自昭和十九年一月  
至今

月別	電灯料	街灯料	電熱料	動力料	計器	合計
一月	二八〇・七三三	三三・二一四	一五四・九一六	二六・二八五	六五・一七	四七〇・五三九
二月	二六五・一〇六	二〇・六六二	一五二・八八九	二五・一五七	六七・四六〇	四五四・三四九
三月	二三〇・四五四	一七・一八六	一五二・四九一	二五・九三五	六九・五五六	四二七・四九一

(二百六十四)



一 電灯需要家数  
 一 待灯需要家数  
 一 電熱需要家数  
 一 動力需要家数  
 一 電灯取付灯数  
 一 電動機契約容量  
 一 電熱器契約容量

六九一五戸  
 二二八戸  
 四〇九八戸  
 二四一戸  
 一一四八二戸  
 九八三四四灯  
 四五五六馬力  
 八三四三キロ

昭和十九年十二月末現在

四月	二〇三、八〇四	一、二五九	一四、二七一	二八、七三五	六、三一九	三、八一六
五月	一六八、二六二	九、九九三	一三、〇一五	三〇、七五七	六、五四八	三、六七一
六月	一三六、二〇九	九、三三七	一〇、一六六	二六、八三五	六、五九五	二、七三一
七月	一一三、二六九	九、〇六四	九、四九五	二七、一九三	六、九五五	二、四三二
八月	二八、五八八	二、三九九	四、四九九	八、八九七	七、〇三二	七、八九七
九月	二六、四七三	二、三七一	三、五四六	六、二九六	六、九二六	六、九二六
十月	二九、〇五五	二、五一一	三、四九九	六、四五四	六、九〇九	七、〇九三
十一月	三六、三九三	三、三三九	四、一五八	六、六七〇	六、九七〇	八、四九七
十二月	三八、〇〇〇	三、三三一	四、四七三	五、三三八	六、八九二	八、九七四
計	二、九九〇、八〇九	二、二九四	二、八八九	五、六四三	八、一三六	六、五〇四

(二百六十五)

三 電力料金改正

(1) 購入電力料金は七月一日より次の通り改正されたり

電力容量料金一キロワットは時ニ付

改正前

改正後

基本料金 契約容量一キロワットニ付一月

九錢五厘

四錢

(2) 販売電力料金は七月十五日以降檢針命より次の通り改正されたり

電力容量料金

標準使用量一キロワットは時ニ付  
超過使用量一キロワットは時ニ付

改正前

改正後

基本料金

一灯一月ニ付

十

六錢

電熱料金

標準使用量一キロワットは時ニ付  
超過使用量一キロワットは時ニ付

改正前

改正後

電力容量料金

契約容量一キロワットは時ニ付

拾

七錢

基本料金

契約容量一キロワットは時ニ付

拾

六錢

動力料金

改正前ニ於テハ 電力容量料金一キロワットは時ニ付

拾

改正後ニ於テハ 契約容量ニ依リ次ニ種ニ區別セリ

拾

電力容量料金一キロワットは時ニ付  
基本料金八角ニ付

六

四錢

用



四 輸入貨物取扱總噸數 (自一月一日至十二月末日)

三 天津居留民団埠頭民船繋船隻數

本年中居留民団埠頭に繋留せる民船隻數次の如し

種別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
大型	三	一	一四	二二	二二	六	一一	一四	二〇	六	二六	五	一五〇
中型		一				二	七	六	四	二	三	一	二七
小型										一			一
細板													
計	三	二	一四	二二	二二	八	一八	二〇	二四	九	二九	六	一七八

五 輸出貨物取扱總噸數 (自一月一日至十二月末日)

月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
噸數			14,500	18,100	14,500	18,500	19,000	20,500	24,000	9,000	29,000	6,000	178,000

六、埠頭收入 (自四月一日至十二月末日)

月	使用料	置場料	繫船料	埠頭倉庫賃賃料	埠頭倉庫用地墻多河岸使用料	渡用船場料	合計
四月	一八七三二八	五九六九八七	六〇九八	三七〇八五五	三、三〇三六〇	八〇〇〇	一四、九五〇六八
五月	一七三三三九	一六八八三三	一五六三三	三八一三九五	二八〇八〇	八〇〇〇	二一、九三八大一
六月	三三三二五〇	二六四三三五	一四四六〇	二八五三六四	四三三三七	八〇〇〇	三三、三六三八〇
七月	一六九八五八	六三三三三〇	一四九七一	四、九六二六	一五九七三	一六〇〇〇	一四、二二六八七
八月	一三三三三七	二七四三二二	三四〇〇	三五六三九	九四五五	一六〇〇〇	三三、四六三〇七
九月	七四九六一	二二二一四	四四〇〇	五三三五五七	三三五一〇	一六〇〇〇	八、八〇五四二
十月	一四四一六	四九一六〇	六四二一	四四二五三九	三〇三三〇二	一六〇〇〇	七、三一九三小
十一月	一三九三三五	三三三三三	六三二八	三三九五五八	六五九九〇	一六〇〇〇	一八、七三八一二
十二月	七〇一〇九	四七一一三	三三三〇	四七〇〇一八	二二六七〇	一六〇〇〇	一〇、五一一三〇
計	一三九〇三三三	一〇一五八二九	七四〇二一	三六〇八六〇二	九八〇九五一	一三〇〇〇〇	一六三、三二八二五

(二百六十九)

○衛生部  
庶務課

衛生事業ノ同仁會委託經營ニ關スル事項  
 昭和十八年三月治外法權ノ撤廢ニ伴ヒ課稅權ノ中國側委讓其他ノ事由ニ依リ將來居留民團衛生事業ハ國家的使命ヲ有シ且對支文化ニ貢獻シ來レル同仁會ヲシテ委託經營セシムルヲ有利トスル政府メ方針ニ依リ大東亞大臣ノ指令ニ基キ六月二十八日同仁會ト左ノ契約ヲ締結シ人負、動產、不動產一切ヲ七月一日ヲ以テ同仁會ニ移管引継ヲ行ヒタリ

衛生事業委託契約書

契約書

天津居留民團長（以下甲ト稱ス）ト財団法人同仁會（以下乙ト稱ス）トノ間ニ衛生事業經營ノ委託ニ關シ契約スルコト左ノ如シ

- 第一條 甲ハ乙ニ對シ左ノ事業ノ經營ヲ委託スルモノトス
  - 一、病院（天津日本公立病院）
  - 二、保健及防疫ニ關スル事業（天津日本療病院、天津日本保養院、天津日本實費診療所、天津日本婦人病院ヲ含ム）
- 第二條 乙ハ第一條記載ノ事業關係ノ職責ハ乙ニ於テ之ヲ引継キ之ニ對スル待遇ハ低下セシメサルモノトス
- 第三條 甲ハ乙ニ對シ別紙財産目錄記載ノ動產及不動產ノ管理ヲ委託シ且前條記載ノ事業ノ用ニ供スル目的ヲ以テ現ニ所有シ居ル藥品其ノ他ノ消耗品ヲ引継クモノトス
- 第四條 乙ハ第一條記載事業ニ關シ甲ノ經營中ニ發生シタル債權債務ハ甲ニ於テ一切之ヲ整理シ何等乙ニ關係ナキモノトス

第五條 本契約ニ基ク委託經營ハ昭和十九年七月一日ヨリ開始スルモノトシ爾後乙ハ  
 第一條記載ノ事業ヲ自己ノ計算ニ於テ之ヲ經營管理ス但シ甲ニ於テ必要ト認メタ  
 ル場合又ハ監督官廳ノ指示アリタル場合甲ハ乙ニ對シ補助金ヲ交附スルモノトス  
 第六條 委託ヲ受ケタル物件ノ管理ニ付テハ甲ト協議ノ上之ヲ決定シ事業ノ運営ニ付  
 テハ甲ハ乙ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得ルモノトス  
 第七條 本契約ノ履行ニ關シ必要アル場合ハ更ニ細目ノ取極メヲナスコトヲ得  
 後日ノ議トシテ本書ニ通テ作成シ甲乙各一通ヲ保持スルモノトス  
 昭和十九年六月二十八日

天津居留民團長 白井忠三  
 財団法人同仁會華北支部長 越川彰

細目協定

昭和十九年六月二十八日天津居留民團（以下甲ト稱ス）ト財団法人同仁會（以下乙ト  
 稱ス）トノ間ニ締結シタル衛生事業經營委託契約（以下契約ト稱ス）オ七條ニ基キ協  
 定スルコト左ノ如シ  
 第一條 契約オ一條記載事業中諸病院ハ同仁會ノ名ヲ冠シ其ノ名稱内容共ニ其ノ儘變  
 更セサルモノトス 若シ其ノ變更ノ必要アル場合ハ甲乙協議ノ上之ヲナスモノト  
 ス  
 但シ天津日本實業診療所ハ之ヲ廢止シ健康相談所ヲ新設スルモノトス

第二條 契約第一條記載事業中天津日本公立病院会計カ歳計剰余ヲ生シタル場合ハ之ヲ未生處ノ経費支辨ニ充当スルモノトス

第三條 契約書才四條ニ記載セル甲ノ有スル債権ノ整理ハ契約締結ノ日ヨリニケ月間ハ之ノ職員ヲシテ之ニ当ラシムヘキモノトス

第四條 乙ニ引継カレタル職員ノ宿舍料ハ左ノ區分ニヨリ處理スルモノトス

一 甲カ民間ヨリ借上ケタルモノハ其ノ儘乙ニ引継クコト

二 甲ノ所有スル民団管貸家ハ民団管貸家規定ノ貸賃料ヲ乙ニ於テ負擔スルコト

三 甲ノ所有スル民団吏員宿舍ハ居住スル職員ノ民団在職当時ノ身分ニ應シタル民

団規定ノ宿舍料ヲ乙ニ於テ負擔スルコト

第五條 民団ヨリ支給サレタル家具什器ハ其ノ儘無償ニテ引継キ使用セシムルコト

但シ事後要スル補修費ハ乙ニ於テ負擔スルコト

以上協定ノ證トシテ本書二通ヲ作製シ甲乙各一通ヲ保持スルモノトス

昭和十九年六月二十八日

天津居留民団 長 白井忠三

財団法人同仁会華北支部長 越川 彰



防疫課

一 法定伝染病患者に關する事項  
 本期間に於ける伝染病発生状況を如し

病名	月							計	死
	一	二	三	四	五	六	計		
コレラ									
赤痢	一	二			三	三六	四二	四	
腸チフス	八	八	四	三	九	三	三五	五	
パラチフス	四	四	二		三	三	一六		
発疹チフス	一三	二九	二九	四六	三四	一九	一七〇	二二	
瘰癧				一			一		
猩紅熱	三	四	三	二	三	三	一八	一	
チフテリア	六	四	一	三	二	二	一八	二	
流行性脳脊髄膜炎	一		三	一	三		八	一	
計	三六	五一	四二	五六	五七	六六	三〇八	三五	

(二百七十三)

三、病理試験に関する事項  
病原菌検査及病理試験件数左表の如し

検査種別	件数	検査種別	件数
尿中ノ病原菌検査	八六三	マニリマ原虫検査	七
尿中ノ	三一九	尿中ノ寄生虫検査	七〇
血液臍汁培養	八四八	ウチノエラシムス検査	三〇〇
咽頭粘液中ノ病原菌検査	五七	ウチノエラシムス及腫	三三八
脊髄液中ノ	一三二	梅毒血清反応	二〇〇五
喀痰中ノ	五六一	血球凝集	一五
検尿(臨床的検査)	五七一	尿ノ細菌学的検査	一一
合計			六一一七

保健課

一、乳幼児体力検査に関する事項  
國民体力法に準ずる乳幼児体力検査は四月二十日迄実施五月三日迄以て終了した

が其の検査成績の如し

一 表

該当乳 幼児数	受検乳 幼児数	受検率	要 注 意 乳 幼 児 数	合 計
一、三四七	九八一	七八六七 二七七	一八〇四 二八八	二、五三六 四六五
		実数受検率 二対スル百分率	二、五三六 二八八	受検率 二対スル百分率
				四七、四〇

二 表

區 分 数	母乳 栄養	混 合 栄 養	人工 栄 養	總 計
實 数	六二三	二八五	七三	九八一
總 数 分 率	六三、五一	二九、〇五	七、四四	

二 第一期種痘に関する事項

三月十六日より三月二十三日までの間に於ける第一期種痘施行の状況を如し

三 理化学的検査に關する事項

検査種別	件数	検査種別	件数
食品分析	六九	氷試験	一〇
藥品分析及鑑定	六三	石ケン分析	三
酒精飲料	七七	牛乳試験	十一
化学用硝子分析	一三	クリーム試験	三
水質試験	五六	バター試験	三
清涼飲料	七三		
合計	三八一		

種痘場所	接種人数	區	域
公立病院河北診療所	一四七	河北一、二、三區	
日本公會堂	一五三	東一、二、三、中一、二、三、河東一、二、河南北一、二	
同仁會診療班	八	河西三區	
開采鋳務局社員俱樂部	六四	河西一、二區	
領警隊大分署	九八	河東二、四區	
天津協勵會	一一一	西一、二、三、四區	
合計	五八一		

(三〇七十六)

天津日本療病院

一 概況

本期間は特に発疹チフス患者多発し患者の隔離及消毒に苦慮し大月以後逐次遊減せり  
 其の他の患者に就きては麻記すべき事項なし

二 收容患者統計左の如し

(一) 法定伝染病月別入院新患調査表

病名	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	計	備考
赤痢						一	一	二	病名決定 ロシ患者 ノミノ調 査トス
パラチフス		三	一	一		三	三	一	
腸チフス		七	四	四	三	七	五	三〇	
痘瘡					一			一	
発疹チフス		三	一〇	四	三八	一八	一一	一〇五	
猩紅熱		三	三	三	一	二	三	一六	
デフテリヤ		六	四	一		一	二	一五	
流腫		一		二		三		六	
計		二三	二二	三五	四五	三五	三六	一九六	

(二百七十七)

(備考) (一) 本表は疑似症患者を含まず

(二) 法定伝染病患者治療成績表

病名	区別		種別		治療		備考
	区別	種別	治療	備考	治療	備考	
赤痢	一六	二二	一三	一	二	六	病名決定患者の調査 日入
腸チフス	一六	三〇	四六	一	三六	六	
パラチフス	五	一一	一六	一	一一	四	
痘瘡							
発疹チフス	一	一〇五	一〇六	一	八四	四	
猩紅熱	二	一六	一八	一	一八	三	
チフテリア	三	一五	一八	一	一	二	
流脳	十	六	七		四	二	
計	二八	一九六	二二四	一七〇	二七	二七	

(三) 收容患者治療日数調査表 (念疑症を含む)

天澤日本保養院

概況

保養院の使命は日を逐つて居留民に認識せられ入院患者は漸次増進し其の治病成績

病名	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	計
赤痢						四四	一八二	二二六
腸チフス		四七七	二八六	一五二	一一九	二〇七	二〇七	一、四五〇
パラチフス		一三七	五四	五五	二一	四五	一一九	四三一
瘧瘧					一一	三一	一一	五六
発疹チフス		七一	三〇五	三八八	一〇五四	八一六	四三三	三、〇六七
猩紅熱		九八	一〇八	一一一	四四	七四	一一六	五五一
チフリア		一一五	八一	二九	一七	三	六〇	三〇五
流注		五七	三三	三七	六九	四九	八〇	三一五
計		九五五	八六六	七七二	一、三二七	一、二七一	一、二一〇	六、四〇一
一日平均		三〇.八	二九.九	二四.九	四四.二	四一.〇	四〇.三	三五.二

(二百七十九)

も良好なり

三 患者統計を次の如し

結核患者治療成績表

月別	入院新患者	治療	死亡	事故	延患者数	平均者一日	収入金
一月	大	一	一	二	五一五	一六六	五、三四〇五〇
二月	一三	一	一	六	六九三	二三九	七、三一一九五
三月	一二	二	三	二	七七九	二五一	一、〇三六九〇
四月	一〇	四	一	一	五〇〇	三〇〇	一、三、二六九二〇
五月	一六	四	三	三	一一九八	三八六	一六、七四四九〇
六月	八	七	〇	一	一、二〇〇	四〇〇	一八、一四二一〇
計	大五	一七	九	一五	五、二八五	二九〇	七、一、八四五五五

天津日本婦人病院

一 入院患者の状況延数



三、通院患者の状況

(一) 善婦検診並治療成績表  
 外来患者数 三、八四七名  
 日々平均人数 一、五七六名

総	受検者	健康者	新患者	旧患者	治療
日	日	日	日	日	日
鮮	鮮	鮮	鮮	鮮	鮮
一〇、八三四	七、六七三	七、三四九	林疾一八三 淋疾一〇六 下疳二四	淋疾二七 淋疾二	九四
二、五〇三	一、八九五	一、八六一	淋疾一〇三 下疳二		一六

區分	一月	二月	三月	四月	五月	六月	計
淋疾	五六七	六三五	二九五	二一四	五五一	四七五	二、七二七
軟性下疳	一三二	二二六	八五	四八	四八	二〇二	七四一
硬性下疳	八六	二六	二九	二二			一六三
皮膚梅毒	九七	五九	五七	三五	一七	四一	三〇六
才四性病	二六	二七	一八	二二			九三
剝脱		八	一一		五		二四
其他	五	四八	四九	一五	一四	七八	八二
計	九一三	一、〇一九	四九五	三五六	六三五	七一八	四、一三六

(二、百八十一)

天津日本実費診療所

一 入所並外來患者の状況左の如し

月 別	入所延患者数	外 來 延 患 者 数	施 療 数
一 月	一七四	一五六七	二一
二 月	一三六	一八五二	二四
三 月	二七三	三〇九三	三〇
四 月	一七九	二五六四	一三
五 月	一四	一五九六	一
六 月	三九	一〇一九	一
計	七一五	九六六一	八七

天津日本公立病院

一 本期間に於ける患者の状況左の如し

(一) 入院患者 延患者数

月 别	本 院		平 均 一 日 延 者 数
	本 院	計	
一 月	二,三〇〇	二,六〇一	八三.七
二 月	二,三九四	二,六三四	九〇.八
三 月	二,四七七	二,八三〇	九一.二
四 月	二,三八九	二,七八七	九二.九
五 月	二,二六七	二,七一七	八七.七
六 月	二,一七八	二,六四九	八八.〇
計	一三,九九五	一六,二一一	八九.一

(二百八十三)

(三) 外來患者延患者數

月別	本		院計	一日平均患者數	河北診療所		計	一日平均患者數
	邦人	華人			邦人	華人		
一月	八四六九	二,一〇六	一〇,五七五	三四七五	一,三六四	二四一	一六〇五	五二七
二月	九,三三六	三,三七九	一三,六一五	四三五〇	一,七一	二五四	一,九六五	七〇二
三月	十二,〇六八	五,〇八二	一七,一五〇	五五三二	一,九七六	三五四	二,三三〇	七五一
四月	一,六二二	五,四一一	一七,〇三三	五六六七	一,九一九	三一八	二,二三七	七四五
五月	一六,〇〇三	六,八四三	二二,八四六	七三六九	二,〇八六	二一五	二,三〇一	七四一
六月	一五,三〇四	六,四〇八	二一,七一二	七三三七	二,一三四	二二三	二,三四七	八七二
計	七二,七九二	二九,二二九	一〇,一九二	五六〇〇	一,二一七〇	一,六一五	一五,七八五	七〇二

(五百八十四)

天津居留民團財產目錄

(昭和十九年十二月末現在)



### 天津居留民團財產目錄

(昭和十九年十二月三十一日現在)  
帳簿價格ニヨル

#### 資產之部

一、土地	五一、八七三坪七四一	一、二四〇、八五四円二九銭
二、建物	延 四、六九九坪五七五	一、五九七、三〇〇三円二七銭
三、上水道及在庫品		四、六二、五八四円三三銭
四、備品及在庫品		二、六九八、二八八円四九銭
五、交電及電氣供給設備及在庫品		一、二二六、六九五円五八銭
六、圖書館及巡回文庫圖書		二、五七、九一一円九五銭
七、復興資金(貸付債權)		二、四六、三七八円四二銭
八、業務復興資金(貸付債權)		一、九三、八三六円七八銭
九、有價證券、銀行預金及現金		一、一〇、〇〇〇円〇〇銭
一〇、株券(天津濟安自來水公司)		五、〇〇〇円〇〇銭
八、銀行預金		九、九一三、〇九六円八八銭
二、現金		五、〇〇〇円〇〇銭
合計		四四、〇八九、一四八円八九銭

#### 負債之部

一、不動産購入資金(東亞興業)	上海銀肆、〇〇〇圓換算	四三三、五六六円四三銭
二、復興資金(日本政府)	銀塊二、五九三、〇〇圓交	四五四、九三一円八九銭

(三百八十五)

三、老西開土地買收資金（滿缺）	一四〇、〇〇〇	圓
四、埠頭築造資金（外務省）	四五〇、〇〇〇	圓
五、業務復興資金（東拓）	一五九〇、一七〇	圓
六、埠一回教育團債（債券發行）	三、七三六、一〇〇	圓
七、北支開辦會社教育團債	四、五〇〇、〇〇〇	圓
八、天津日本公立病院新築團債（債券發行）	一、九六六、〇〇〇	圓
九、昭和十六年度教育資金（北支開辦會社）	三、〇〇〇、〇〇〇	圓
一〇、保證金及保管金	五、八〇〇、〇〇〇	圓
一一、埠頭未拂金	三、三三三、三三三	圓
合計	一〇、四〇〇、〇〇〇	圓
差引合計	三、三六八、八八八	圓

一、土地明細書

元日本租界内之部

種別	地番	面積	帳簿價格	摘要
甲官有持下地				
一、民團戶合會堂圖書館	福一八	三四八二一、三八四	三一五二、二〇六五	
二、公園事務所敷地		三五五六九、一三三	二、八四、五五三、〇〇四	
三、協勵會敷地（芙蓉幼稚園）	秋一六	二五七、一三六	一、四一四、二四八	
三、芙蓉國民學校敷地	外五	二九八九七、九四四	一、七三六、八九四、一	共三、八、伏、三、橘、二、九、二、一、九、二、一



四、青年学校敷地	美宮二二六	九八七、七八七	五九、二六七、三二
五、婦人病院敷地	秋一	一九五、八一四	一〇、七六九、七七
六、在郷軍人会館敷地	花一一	五九四、七一三	三八、六五六、三五
七、在郷軍人会館天津 聯合会合会敷地	松一三	六四四、一七四	三八、六五〇、四四
八、陸軍官舎敷地	花一六	四五九、二二五	三三、一四五、七五
九、基督教会敷地	明二八	三六九、一六九	二〇、三〇四、三〇
一〇、同光会敷地	宮一四	二四九、三四二	一一、四六七、一〇
一一、旭街、芙蓉街、橋立街 変電所敷地	旭三〇、内三〇、一 橋七、美三、内	一三、九九九	六九九、九五
一二、回管食堂、貸家敷地	美三〇、内三〇、一	二六、七〇一	一四、三九三、五五
一三、一般貸下地	旭三八、外二五、一筆 二四、二四、五、七	一四、五三、三八一、二九	

旭三八、四〇、四三、四四、四六、四八	福八、一〇、一一、一四	栄三四、大、八、一〇、一一、一四、一六	八、二〇、二五、二七、二九、三一	花一ヨリ一〇マテ、一一、一三、一四、一五、 一七、一九、二一	宮一〇、一一、一六	浪一、三、五、六、八、一〇、一一、一四	松八、一〇、一二、一四、一五、一七、一九、 二一、二三	美一六、一八、二〇、二二、二四、二六、 二八、三〇	秋四一、一、一三、一四、一五
--------------------	-------------	---------------------	------------------	-----------------------------------	-----------	---------------------	--------------------------------	------------------------------	----------------

(二百八十七)

- 乙 低資買收土地
- 一 商業學校敷地
- 二 淡路國民學校敷地
- 三 松島女子學校敷地
- 四 日本幼稚園敷地  
(現分庁舎)
- 五 水泳場敷地
- 六 療病院敷地
- 七 受愛所敷地
- 八 第一才二分局敷地
- 九 武德殿敷地
- 〇 陸軍倉宅敷地
- 一 陸軍倉庫敷地
- 二 陸軍用地
- 三 稻荷神社境内  
農道敷地
- 四 団營貸家敷地
- 五 職賣宿舍敷地

三島ノ一	四三、三九〇、九七一	一、六一七、六三七、八一
住三ノ内、三ノ内	四、〇一八、八七八	一、六〇、七五五、一二
淡四、四ノ一	一、九三八、九二五	八七、二五一、六三
淡二ノ一、二ノ四、三ノ六	二、五四八、七七九	一〇、一九五一、一六
淡九ノ二	一、三三〇、八九三	五九、四四〇、一八
住三ノ内、三ノ内	一、一三三、三九四	四五、二九五、七六
淡二ノ八	一、八〇四、一四六	七三、一六五、八四
淡九ノ三	七三三、八五六	二八、九五四、二四
住三ノ内	九〇〇、五七五	八八、八四、二二
官明三ノ内	二七、六七三	三六、〇三三、〇〇
官明三ノ九	六〇〇、〇〇〇	一、八六一、九四
伏二九	一、七〇八、四四一	一八、〇〇〇、〇〇
伏二九	三、四九七七	六八、三三七、六四
住一ノ一	三、五二二、一〇二	八七、四、四二
淡七ノ五	三、四四四、六一二	一〇〇、八四四、〇八
外一筆		八九、五一三、〇四

小松一ノ四、二六  
卷一七  
福三、四、七、九、二、三、三、五  
一七  
蓬七、一六、一八、二九、三三、三三

六七坪五九七八才二分局敷地  
ヨリ新ニ編入

六七坪五九七八日本幼稚園  
敷地へ編入

住一ノ一、二ノ五、三ノ一、六ノ一、一八  
一ノ九、一、三〇、三ノ内  
淡二ノ五、官三ノ九、二ノ四、伏一ノ八  
三、七、二、二、七、一、三

一六元 給水脚所敷地	福五四ノ内	二九、四二八	一、一七七一	一 般貸下地ヨリ分離
一七 淡路街 田舎貸家敷地	淡五ノ一	二〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	明三ノ内 須五 淡五ノ一 五ノ二〇、七ノ一七、四 九ノ一 一ノ一〇 三島三ノ一 三ノ六 住ア三ノ一 一ノ一、一ノ三、一ノ四 一ノ二 一ノ三、一ノ五、一ノ七、一ノ九 宮三ノ五、三ノ七、一ノ七、四、二九ノ一 三ノ九、八、三九、一〇、一、九、一、三、 三九、五、三九、二、六、三、一、三、一、五 伏一ノ八、一ノ七、一ノ九、三、七、一、三、 本ノ一〇、三、七、一、三、七、一、五、 桃一ノ一、一、三、一、一、一、一、五 福五四ノ内
一八一 般貸下地	明三ノ内 外一三大筆	一九九、九四、八六六	七、一八三、〇八四	三五坪三八四八荷置場へ編入 山一〇、一、一、一、四、一、四、一、五、一、六 一八、一、九、一、〇、三、一、三、三、四、三、五 二六、三、九、
丙 埠頭用地	山四	九六三三、三八〇	一、三四八、八九一、三三	福一三、橋一、大和、三、松一 南六、三、二、三、四、一、五、五、一、六、一、九 一、一、三、一、五、一、七、一、九、三、五、 三、七、一、九、一、三、九、二、三、九、三、
一 事務所及倉庫	山四	八四、五、七、六、三	八〇、五、七、六、三	
三 倉庫用地	山一〇、外三九筆	三八、六、三、一、五	三八、一、八、一、七、四、六	

(二百八十九)

三、埠頭荷置場

山三〇外六筆

五〇一、一三〇

八八六、四九七、七五七

三五坪三八四八倉庫地ヨリ新ニ移入  
山三〇外六筆  
四ノ一橋三ノ一

丁、其他元日本租界  
内土地

一四、七三九、一六一

一九四〇、〇六〇、九六

一、陸軍墓地

福田ノ内

一〇〇、七二四

三、〇三二、四三

二、陸軍舍宅敷地

福田ノ内

六二四、九五四

一八、七四八、六一

三、本願寺敷地

〃

六八五、七五二

二〇、五七三、五六

四、日本人墓地

〃

六七九、三七〇

二〇、三七八、一〇

五、花園街空地

花三〇、三三三、四、内

八一九、〇三一

七三、七一、一八九

六、巡捕宿舍敷地

花三〇、三三三、四、内

四六、八二七

四、二一四、四三

七、児童遊園地

明三四

八〇四、三一一

八〇、四〇〇、〇〇

八、橋立街傭人宿舍敷地

明一五

五〇、五〇〇

五、三七二、〇〇

九、慶埃集捨所及傭人宿舍敷地

山一四、三

一四八、八五三

一五、四八五、二〇

一〇、職員宿舍敷地

三島四、二、四

五八〇、五一五

四三、〇一八、一五

一一、住吉街遊歩地

住八ノ外九筆

二四、三九、三九一

三三、〇〇〇、〇〇

一二、貸家建築地

松一八、外六筆

二、三四〇、二九八

四九三、二二一、三九

一三、児童図書館敷地

明三三

二七〇、〇一四

七、一八五、三五〇

一四、公設市場予定地

明一、外六筆

一七五八、五八九

三、八八六、六八、一一

一五、元海光寺公館及  
才一生計所敷地

明二〇

二、三六三、七七六

五九一、八七九、五一

元大羅天敷地ヨリ  
才一生計所へ

住八ノ外八筆、九ノ外九筆、  
一〇ノ外十筆、一一ノ外十一筆、  
一二ノ外十二筆、一三ノ外十三筆、  
一四ノ外十四筆、一五ノ外十五筆、  
一六ノ外十六筆、一七ノ外十七筆、  
一八ノ外十八筆、一九ノ外十九筆、  
二〇ノ外二十筆、二一ノ外二十一筆、  
二二ノ外二十二筆、二三ノ外二十三筆、  
二四ノ外二十四筆、二五ノ外二十五筆、  
二六ノ外二十六筆、二七ノ外二十七筆、  
二八ノ外二十八筆、二九ノ外二十九筆、  
三〇ノ外三十筆、三一ノ外三十一筆、  
三二ノ外三十二筆、三三ノ外三十三筆、  
三四ノ外三十四筆、三五ノ外三十五筆、  
三六ノ外三十六筆、三七ノ外三十七筆、  
三八ノ外三十八筆、三九ノ外三十九筆、  
四〇ノ外四十筆、四一ノ外四十一筆、  
四二ノ外四十二筆、四三ノ外四十三筆、  
四四ノ外四十四筆、四五ノ外四十五筆、  
四六ノ外四十六筆、四七ノ外四十七筆、  
四八ノ外四十八筆、四九ノ外四十九筆、  
五〇ノ外五十筆、五一ノ外五十一筆、  
五二ノ外五十二筆、五三ノ外五十三筆、  
五四ノ外五十四筆、五五ノ外五十五筆、  
五六ノ外五十六筆、五七ノ外五十七筆、  
五八ノ外五十八筆、五九ノ外五十九筆、  
六〇ノ外六十筆、六一ノ外六十一筆、  
六二ノ外六十二筆、六三ノ外六十三筆、  
六四ノ外六十四筆、六五ノ外六十五筆、  
六六ノ外六十六筆、六七ノ外六十七筆、  
六八ノ外六十八筆、六九ノ外六十九筆、  
七〇ノ外七十筆、七一ノ外七十一筆、  
七二ノ外七十二筆、七三ノ外七十三筆、  
七四ノ外七十四筆、七五ノ外七十五筆、  
七六ノ外七十六筆、七七ノ外七十七筆、  
七八ノ外七十八筆、七九ノ外七十九筆、  
八〇ノ外八十筆、八一ノ外八十一筆、  
八二ノ外八十二筆、八三ノ外八十三筆、  
八四ノ外八十四筆、八五ノ外八十五筆、  
八六ノ外八十六筆、八七ノ外八十七筆、  
八八ノ外八十八筆、八九ノ外八十九筆、  
九〇ノ外九十筆、九一ノ外九十一筆、  
九二ノ外九十二筆、九三ノ外九十三筆、  
九四ノ外九十四筆、九五ノ外九十五筆、  
九六ノ外九十六筆、九七ノ外九十七筆、  
九八ノ外九十八筆、九九ノ外九十九筆、  
一〇〇ノ外一〇〇筆

一六 陣口街臨時貸下地	陣二丁目	二〇八、六九〇	一九八、五七七
一七 一般貸下地	福三丁目六 橋一	七六五、二五三	五〇〇、五〇〇
一八 美善幼稚園運動場	福三丁目六 橋一	五三三、三三三	一四、七〇八、五〇〇
計		二〇一、五七四、七九六	七〇、五七七、〇七五
元日本租界外之部			
(買收価格及埋立費)			
○ 海光寺外			
一 療病院分院敷地	華徳園大街七三三 萬徳荘一号	一、七三〇、四八一 一、〇九七、五四九	一八、三三六、〇〇〇 七、〇〇〇、〇〇〇 九、三三六、〇〇〇
二 金牛斎土地			
○ 樋子河新興路間		四六四、二一、九四一	七五二、一〇、九七八
一 正業学校敷地	西宮三丁目	一、七〇七、五五九	一九〇、〇二八、一六六
二 公立病院敷地	西宮三丁目	四、七四〇、〇〇〇	七五、六四五、四三三
三 倉庫敷地	西宮三丁目 西宮一丁目	九三〇、四六九	一四、八四九、三一一
四 清潔隊事務所敷地	西伏一丁目	六三〇、〇〇〇	一〇〇、五六三、八
五 備入宿舍敷地	〃	三九〇、八三〇	六三、三三三、七四
六 職前宿舍敷地	〃	五三四、八〇七	八、三七五、三七
七 教員舎	西浪三丁目	九六九、七一八	一五、四七五、六八
八 回營貸家敷地	西宮三丁目 西伏一丁目	一、八三六、八五三	三九、三一四、二五
未整理地ノ埋立ヒ二〇、三六九円 三〇表增加ス			
四三三坪六九五未貸付地ヨリ編入、 本及用度課倉庫敷地 監視宿舍敷地ヲ含ム			
二五〇坪二七五八一般貸付地ノ編入 未整理地区ヨリ三六八坪八〇七編入			

(二百九十一)

<p>○ 新興路外</p> <p>一 庭球場跡(元避病院予定地) 旧廢院土地</p> <p>二 假設道路敷地</p> <p>三 水田</p>	<p>一四、七六二、三二三</p> <p>一四、七六二、三二三</p> <p>一四、七六二、三二三</p>	<p>一、一四、三二五、〇〇〇</p> <p>二、四、四一八、〇〇〇</p> <p>三、四、六〇八、〇〇〇</p> <p>四、三、二八九、〇〇〇</p>	<p>內三、〇八坪三九八臨時貸下</p> <p>埋立ニヨル増加價格六八七、〇七三円</p>
<p>○ 二八里台附近</p> <p>一 綜合運動場敷地</p> <p>二 青少年團訓練場敷地</p> <p>三 中學校附屬家敷地</p> <p>四 火葬場連絡道路敷地</p>	<p>五五筆</p> <p>二筆</p> <p>五筆</p>	<p>一、二八、八二四、〇二一</p> <p>九七、一七三、三三三</p> <p>二、九、〇三五、六九五</p> <p>九、九〇、六一五、六</p> <p>一、六、一四、四二六</p>	<p>三、三、三五、六〇八、八八</p> <p>二、〇〇、三、六五、八八四</p> <p>三、〇、四、五二、三、一〇</p> <p>一、五、三、三三、〇〇</p> <p>一、二、〇、九四、九、五</p>
<p>○ 本第三區方面</p> <p>一 吉野國民學校敷地</p> <p>二 特別病棟敷地</p>	<p>小劉莊</p> <p>佟家樓</p>	<p>二五、二一一、三六一</p> <p>九、一五〇、〇〇〇</p> <p>一、六、〇六一、三六一</p>	<p>三、七、七、七六、三、九七</p> <p>一、四、〇、九一、六、〇〇</p> <p>三、三、六、八四、六、九七</p>
<p>○ 八河北方面</p> <p>一 三並國民學校敷地</p>	<p>新大路</p>	<p>二七、七五〇、八九六</p> <p>九、九二一、七二一</p>	<p>八、三、六、四、七、五、七、四</p> <p>一、〇、六、一、六、九、五、〇</p>

二五〇坪三七五八清潔隊敷地ヨリ

三三坪七七八未貸付地ヨリ

四三〇坪六五八工業學校ノ

二六八坪八〇七八清潔隊ノ

三三坪七七八一一般貸付地ノ

臨時貸下地三六四坪八七五ヲ

含ム

二、建物明細書

春日國民學校敷地	五、七四〇、五二七	三、三九〇、七三〇	
三、貸 家 敷 地	五、八六三、一三七	二、四六九、八二八	
四、河北水泳場予定地	四、四一七、一〇五	九〇、二四〇、三六	
五、公立病院河北分院敷地	七、一七三、六〇〇	三、三三六、〇〇〇	
六、民間河北出張所敷地	一、〇九一、〇四六	一、二一六、五〇〇	新規買収ニヨリ増
〇 卜 其 ノ 他			
一、大和國民學校敷地	六、七六九、三〇七	九〇九、五三四、九六	
二、茨西洲職員及団信貸家敷地	八、六二〇、〇二四	一、四五四、二八、一六	一〇、五坪五八三、二六、二六円六〇〇 新規買収ニヨリ増
三、臨海學校敷地	七、七五三、〇三三	一、一七、八七三、六四	
四、北戴河土地	二、四、七四三、四六九	一、五、一九〇、〇〇	
五、大和國民學校附属水泳場敷地	七、六三六、七七一	九、九、七七、一六	
六、工業學校予定地	一、八一七、七五五	五〇、〇七五、〇〇	
七、宮島女學校敷地	三、三、七九六、七三七	四〇、二、九三三、〇〇	
小 計	三、一〇、三九六、九四一	五、三三三、一四三、五〇	
總 計	五、二、八七三、七四一	一三、四〇〇、八五四、三九	

(二〇九十三)

名稱	所在地	延坪	帳簿價格	摘要
○イ 廳舎関係				
一 才二才三事務所及附属建物	福一八	二、六九二、九二	六五四、三二四、八	大正三年新築其ノ後数次ニ修リ増改築(公会堂ヨリ大坪五八〇編入)
二 会議室及稅務課事務室	"	五四、一、二五	一四二、〇二八、五九	
三 水道課及學務課	"	九三、六〇八	一三、八七五、三二	
四 用度課及車庫	"	一〇九、二〇一	三〇、〇〇〇、〇〇	
五 旧俱樂部宿舎及經濟課倉庫	"	七八、四八一	三、五〇〇、〇〇	
六 日本俱樂部及公会堂	"	六六、八五四	二、〇八〇、〇〇	才一及才二事務所ノ大坪五八〇
七 武 資 館	"	五七、二四九、四	八六、七七三、六八	昭和十八年十二月新築
八 防空監視所	"	一、三五四、二九	一八、八二五、〇〇	昭和十九年六月二十八日新築(元演武場跡)
九 用度及防護課倉庫	福一八	二、六七一	六三五、〇〇〇	
三 廳舎附属工作物	"	五八、二七四	八、三三三、四九	
二 協働会事務所及芙蓉幼稚園	秋一六	二、六三、八八二	一八五、二〇〇、〇〇	昭和十九年十二月五日煤瓦増築三〇〇ル價格六、〇〇〇円増 昭和十七年四月朝鮮人民会ヨリ継承
三 河北出張所	河北大経路 三七三、三八號	二、五八一、七三	七三、〇〇〇、〇〇	昭和十九年四月二十日新規買収
○ロ 用度課倉庫				
一 第一倉庫及傭人宿舎	西浪一丁目	三三、二六八	四三、五三〇、八四	昭和十五年八月新築
二 三三號倉庫	"	四七、二五八	九七、一〇〇、〇〇	十月
三 四号倉庫及傭人宿舎	"	七〇、一三二	一一、一三九、〇五	十六年六月
四 監視人宿舎	"	四四、四九七	一八、八七九、四	十五年十月
		一九、二七九	七、五三三、四五	

(二百九十四)



〇二、警備及消防関係

五五号倉庫	西浪一丁目	四〇二二〇〇	一三三五六〇〇	昭和十七年五月新築
〇八 宿舍関係				
一 高島街宿舍	住三	五〇八三六七三	二〇二二三六七九	昭和十七年三月新築
二 淡路街	淡七ノ五	八四、六六三	一二、九九〇〇	三月
三	住一ノ一八	一、九一、九〇四	三四、五甲三〇〇	十四年八月
四 伏見街	伏一八ノ八	二〇五、七三三	四九、一四八六〇	十一年九月
五	伏二七、二一	三六八、九一三	二四、一三五、八七	十三年十月
六	宮三九ノ一四	八三、六〇七	一五、〇四九一〇	十一年十月
七 住吉街宿舍	住一、二五、二二大	一七、三〇一五	三〇、九六三〇〇	十一年十月
八	住一、九一、二〇	三三、四四五	四一、二四三、〇〇	廿三年六月増築
九	住一、一〇、二	一三、四、五三四	三三、八九〇、〇〇	十三年十月新築
一〇	住一、三	四一、二、五五四	一七、三、八九、一五四	十六年十二月
一一 西伏見街宿舍	西伏一丁目	七七、四、二七六	二八、七、三、七、〇〇	十五年十月
一二 西浪速街宿舍	西浪三丁目	七五、三、一一〇	四一、三、五、九、六、八〇	昭和十六年十二月新築
一三 老西開宿舍	老西開五七	九五、〇、九三〇	五〇、五、四、五〇、五〇	昭和十六年十二月新築
一四	吉屋南里	二五、五〇、五八	二四、四、一、四、九、一一	十九年三月煉瓦増設二依
一五 加茂街宿舍	加茂里	三三、八、四四	九三、三、三、二七	昭和十七年五月
	淡一四ノ一			昭和十七年九月
				昭和十九年三月十三日内部改造
				依此価格五〇七、四、三、五、三、三増加

(五百九十五)

一、本区第一警察分局		昭和三十二年六月新築
一、才二	昭三三、三五四	昭和三十二年六月新築
二、巡捕宿舍	昭九、一三三	昭和三十二年七月
三、消防署及宿舍	昭二七、花二四 昭一三	昭和三十二年十一月
四、消防署及宿舍	昭一三	
○本工務関係		
一、橋立街備へ宿舍	橋二ノ内	昭和三十二年九月新築
二、住吉街備へ宿舍及附属建物	住三ノ内	昭和三十二年九月新築
三、乳剂製造所	西表一丁目 西宮二丁目	昭和三十二年九月新築
四、ローラ庫及備へ宿舍	西浪一丁目	昭和三十二年十月
五、クラッシュヤ上家	西浪一丁目 西宮二丁目	昭和三十二年七月
六、土木倉庫	西浪一丁目 西宮二丁目	昭和三十二年七月
七、監視人宿舍	西浪一丁目 西宮二丁目	昭和三十二年七月
○公園関係		
一、遊藝所及温室	福一ノ内	昭和三十二年二月公園倉庫ヨリ 昭和三十二年編入、尚誤謬ヨリ 昭和三十五年増加
二、番人小屋及公衆廁	昭二	昭和三十五年十二月新築
三、柴街御筒所	昭三	昭和三十五年八月
四、児童遊園地	昭四	昭和三十五年九月
五、綜合運動場内詰所 及倉庫	昭五	昭和三十五年六月
	昭六	昭和三十五年六月
	昭七	昭和三十五年六月
	昭八	昭和三十五年六月
	昭九	昭和三十五年六月
	昭一〇	昭和三十五年六月
	昭一一	昭和三十五年六月
	昭一二	昭和三十五年六月
	昭一三	昭和三十五年六月
	昭一四	昭和三十五年六月
	昭一五	昭和三十五年六月
	昭一六	昭和三十五年六月
	昭一七	昭和三十五年六月
	昭一八	昭和三十五年六月
	昭一九	昭和三十五年六月
	昭二〇	昭和三十五年六月
	昭二一	昭和三十五年六月
	昭二二	昭和三十五年六月
	昭二三	昭和三十五年六月
	昭二四	昭和三十五年六月
	昭二五	昭和三十五年六月
	昭二六	昭和三十五年六月
	昭二七	昭和三十五年六月
	昭二八	昭和三十五年六月
	昭二九	昭和三十五年六月
	昭三〇	昭和三十五年六月
	昭三一	昭和三十五年六月
	昭三二	昭和三十五年六月
	昭三三	昭和三十五年六月
	昭三四	昭和三十五年六月
	昭三五	昭和三十五年六月
	昭三六	昭和三十五年六月
	昭三七	昭和三十五年六月
	昭三八	昭和三十五年六月
	昭三九	昭和三十五年六月
	昭四〇	昭和三十五年六月
	昭四一	昭和三十五年六月
	昭四二	昭和三十五年六月
	昭四三	昭和三十五年六月
	昭四四	昭和三十五年六月
	昭四五	昭和三十五年六月
	昭四六	昭和三十五年六月
	昭四七	昭和三十五年六月
	昭四八	昭和三十五年六月
	昭四九	昭和三十五年六月
	昭五〇	昭和三十五年六月
	昭五一	昭和三十五年六月
	昭五二	昭和三十五年六月
	昭五三	昭和三十五年六月
	昭五四	昭和三十五年六月
	昭五五	昭和三十五年六月
	昭五六	昭和三十五年六月
	昭五七	昭和三十五年六月
	昭五八	昭和三十五年六月
	昭五九	昭和三十五年六月
	昭六〇	昭和三十五年六月
	昭六一	昭和三十五年六月
	昭六二	昭和三十五年六月
	昭六三	昭和三十五年六月
	昭六四	昭和三十五年六月
	昭六五	昭和三十五年六月
	昭六六	昭和三十五年六月
	昭六七	昭和三十五年六月
	昭六八	昭和三十五年六月
	昭六九	昭和三十五年六月
	昭七〇	昭和三十五年六月
	昭七一	昭和三十五年六月
	昭七二	昭和三十五年六月
	昭七三	昭和三十五年六月
	昭七四	昭和三十五年六月
	昭七五	昭和三十五年六月
	昭七六	昭和三十五年六月
	昭七七	昭和三十五年六月
	昭七八	昭和三十五年六月
	昭七九	昭和三十五年六月
	昭八〇	昭和三十五年六月
	昭八一	昭和三十五年六月
	昭八二	昭和三十五年六月
	昭八三	昭和三十五年六月
	昭八四	昭和三十五年六月
	昭八五	昭和三十五年六月
	昭八六	昭和三十五年六月
	昭八七	昭和三十五年六月
	昭八八	昭和三十五年六月
	昭八九	昭和三十五年六月
	昭九〇	昭和三十五年六月
	昭九一	昭和三十五年六月
	昭九二	昭和三十五年六月
	昭九三	昭和三十五年六月
	昭九四	昭和三十五年六月
	昭九五	昭和三十五年六月
	昭九六	昭和三十五年六月
	昭九七	昭和三十五年六月
	昭九八	昭和三十五年六月
	昭九九	昭和三十五年六月
	昭一〇〇	昭和三十五年六月

大吉 糸堂 大里台 八里台 三、二九九、三七一 七五八、五六六 二〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇 九、二〇〇、〇〇〇

○卜病院関係  
一 療病院 淡二八三番二ノ内 三、二九九、三七一 一、二〇〇、一三〇、九

二 療病院分院 南门外大道 六七七、七三四 一、三九、六〇九、八〇

三 婦人病院 秋一 二六〇、〇四六 一〇五、六二五、三〇

四 公立病院 福二四 八〇一、八四五 一四三、二八三、〇〇

五 特別病院 修表楼 二七九、六七五 一〇三、三三三、九二四

六 特別病院附属建物 〃 一四四、四三〇 九二、四四三、七五

七 公立病院自動車庫及 福四ノ内 一八七、七八 二、三三三、七三

八 公立病院河北分院 河北街釋路 四五八、三一七 五〇五、〇四〇、〇〇

○千清掃関係  
一 清潔隊事務所及車庫 西伏一丁目 四三八、〇五三 三、五三三、七八三

二 馬小屋及病人宿舍 〃 七七四、六〇 五、六四五、一六

三 器具倉庫 〃 五二五、〇〇 六〇三、三〇〇 九、七四、六〇

新築以來昭和十三年以後累次  
増設築をり

昭和十三年一月改築を依り價格  
二七、六〇六、四八〇増設

昭和十五年十二月増築  
一、六〇〇、〇〇〇増設

昭和十六年五月増築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十七年六月新築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十七年七月増築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十七年八月新築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十七年九月新築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十八年七月増築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十八年九月増築を依り  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十八年十月増築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

昭和十八年十一月新築  
一、〇〇〇、〇〇〇増設

(二百九十七)

四 倉庫及使所	西伏一丁目	一七二九一	一、五四七一九	昭和十五年六月新築 昭和十九年九月記入簿終尾ニ 依リ追加登録
五 苦力收容所及馬車庫	〃	二五三、八四三	一五、一七〇、五八	依前登録ノ一三三ノ三ニ 七四三三四九ニ支誤謬ニ付抹消 シ昭和十九年九月実測ニ依リ 上記表 新ニ登録ス
六 海光寺元徹水唧筒所	福五四	四、七四一	一、〇〇〇、〇〇	
七 塵埃集捨所及共同便所	橋二ノ内	二五、四五七	五、〇〇〇、三〇	
〇リ 學校關係				
一 商業學校	住三ノ内 三島一ノ内	二二、七三二、七五八	八、四四六、三六三、四八	昭和十二年四月新築其後數次増築 昭和十二年六月新築
二 學校武道場	住三ノ内	一、九七九、〇八七	四一八、二二七、四四	
三 松島女學校	淡二ノ二、三、四、三島二ノ一	三、一三三、三三七	三、八〇五、三、〇〇	昭和七年十月新築其後數次増築
四 元大弓場	才大区七号路	一、六二六、六九七	二、八八八、四二、六五	昭和十年五月新築
五 宮島女學校	才大区七号路 一七一号	四、〇五、六三	四、一〇〇、〇〇	昭和十八年買収、同十九年五月内 部改造ニ依リ価格 三三、二〇七、八 円五大増加
六 芙蓉國民學校	美三ノ伏三橋一六、二、九、二 二一	二、一〇八、三三六	三、五七五、五〇七	昭和四年新築其後數次増築 昭和四年六月追加五半ニ依リ 二二坪、二五、九四七、三〇増加
七 淡路國民學校	淡四三島一ノ一	一、六七五、五五五	三、五〇七、二〇、〇〇	昭和七年四月新築、同年十二月 増築
八 工業學校	西宮三丁目	一、〇五五、三五〇	四、七五〇、四五三、三	十五年十二月新築其後 數次増築

九、三笠國民學校	河北新大路	二四九、〇二九	六九九七、二八三	昭和十五年三月新築、 十九年六月増築ニ依リ一、二二坪 三〇〇、一七六五七、二四四六増加●訂正七 坪四六五増大、五三九四、四〇
三、全教員宿舍	〃	五〇八、三六一	二一七、六九五、四一	昭和十五年三月新築 十七年増築、十九年五月訂正 ニ依リ二、八坪三、二一 九五、〇八七、四一増加
二、春日國民學校	河北日輝路三經路 月輝路三經路	四〇七、七四〇	九八六、六八九、八三	昭和十七年十月新築馬公祠構内
三、元全做校舎	黄緯路三二号	四八、〇〇〇	三三、一三〇、〇〇	昭和十八年十月増築 十九年三月改造ニヨリ 価格七、〇〇〇円増加
三、春日國民學校 教員宿舍	河北日輝路 三經路宜仁里	三四三、九九三	一一二、六〇一、九五	昭和十六年九月新築 十七年十月増築 十九年五月延坪訂正ニヨリ 〇坪〇二〇減
四、大和國民學校	才五区新市街地	二六九、六二〇	一三四、六一五、七〇	昭和十七年九月新築 十二月
五、全教員宿舍	〃	三三〇、六三〇	一四九、五〇〇、〇〇	昭和十七年六月、十八年四月増築 十九年六月増築ニヨリ二坪〇〇〇 二〇、〇〇〇円増加
天全青年學校銃器庫	〃	四八、二七〇	二〇、三三六、一一	昭和十七年五月新築 十八年四月増築
七、吉野國民學校	小劉荘	一、三〇三、七五〇	六〇七、三五五、八七	昭和十七年五月新築 十八年四月増築
八、全教員宿舍	〃	三六八、六六〇	二一九、五〇四、九〇	昭和十七年五月新築 十八年四月増築 増改築ヲ為セリ
元、日本青年學校	美三宮三三内	一八二、二一五	三四九、五〇〇、〇〇	昭和十五年四月新築其後数次増築 昭和十七年四月新築其後数次増築 現在民団分發合トシテ使用中
三、元日本幼稚園	淡九ノ一七	三八五、四三三	一一〇、〇五六、〇〇	

(二百九十九)

三 臨海學校	山海關	木園三八六一	一三二九七九七五
三 中學校及 附屬建物	八里台	四七一八三六六	一三三三三三三三
○又電氣事業關係			
一 變電所	住三三三二	四八六三六六	一三三三三三三三
二 職員及電工宿舍		一五六三三三	一三三三三三三三
三 材料倉庫及宿舍		一六八八三三	一三三三三三三三
四 變電所	一大ヶ所	三五三三三三	一三三三三三三三
○儿埠 關係			
一 事務所及倉庫	山三〇	一四九〇一七九	一三三三三三三三
二 公衆廁	山三一	一〇〇〇〇〇	一三三三三三三三
三 埠頭買收家屋	山三二	二〇三三三三	一三三三三三三三
	山三三	七五三三三三	一三三三三三三三
	山三四	七〇三三三三	一三三三三三三三
	山三五	一三三三三三	一三三三三三三三
	山三六	一三三三三三	一三三三三三三三
	山三七	一三三三三三	一三三三三三三三
	山三八	一三三三三三	一三三三三三三三
	山三九	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四〇	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四一	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四二	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四三	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四四	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四五	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四六	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四七	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四八	一三三三三三	一三三三三三三三
	山四九	一三三三三三	一三三三三三三三
	山五〇	一三三三三三	一三三三三三三三

三埠頭買収家屋		〇ヲ面營貸家	
山	六〇、六〇三	住	九、三〇九、八八五
二	三、九二六、四七三	一	二、三六一、一九八
三	三、九二六、四七三	二	二、五二六、五一八
四	六、〇三〇、八三二	三	一一九、五三八
五	二〇、八三〇、一三一	四	一一三、〇二六
六	五、九二六、四七五	五	一四、五九、五六
七	二、四〇四、一六六	六	一〇、四、五六四
八	八、二六八、八八	七	一〇、四、五六四
九	三、六八六、三三	八	八八、二二九
十		九	一八、九、四六六
十一		十	一八、〇、二九〇
十二		十一	一七、四、〇三九
十三		十二	七、五、七〇四
十四		十三	七、九、七〇八
十五		十四	一、六、〇七五元
十六		十五	一七、八〇、二一〇
十七		十六	四、九、三六〇、五〇
十八		十七	
十九		十八	
二十		十九	
二十一		二十	
二十二		二十一	
二十三		二十二	
二十四		二十三	
二十五		二十四	
二十六		二十五	
二十七		二十六	
二十八		二十七	
二十九		二十八	
三十		二十九	
三十一		三十	
三十二		三十一	
三十三		三十二	
三十四		三十三	
三十五		三十四	
三十六		三十五	
三十七		三十六	
三十八		三十七	
三十九		三十八	
四十		三十九	
四十一		四十	
四十二		四十一	
四十三		四十二	
四十四		四十三	
四十五		四十四	
四十六		四十五	
四十七		四十六	
四十八		四十七	
四十九		四十八	
五十		四十九	
五十一		五十	
五十二		五十一	
五十三		五十二	
五十四		五十三	
五十五		五十四	
五十六		五十五	
五十七		五十六	
五十八		五十七	
五十九		五十八	
六十		五十九	
六十一		六十	
六十二		六十一	
六十三		六十二	
六十四		六十三	
六十五		六十四	
六十六		六十五	
六十七		六十六	
六十八		六十七	
六十九		六十八	
七十		六十九	
七十一		七十	
七十二		七十一	
七十三		七十二	
七十四		七十三	
七十五		七十四	
七十六		七十五	
七十七		七十六	
七十八		七十七	
七十九		七十八	
八十		七十九	
八十一		八十	
八十二		八十一	
八十三		八十二	
八十四		八十三	
八十五		八十四	
八十六		八十五	
八十七		八十六	
八十八		八十七	
八十九		八十八	
九十		八十九	
九十一		九十	
九十二		九十一	
九十三		九十二	
九十四		九十三	
九十五		九十四	
九十六		九十五	
九十七		九十六	
九十八		九十七	
九十九		九十八	
一百		九十九	
一百一		一百	
一百二		一百一	
一百三		一百二	
一百四		一百三	
一百五		一百四	
一百六		一百五	
一百七		一百六	
一百八		一百七	
一百九		一百八	
二百		一百九	
二百一		二百	
二百二		二百一	
二百三		二百二	
二百四		二百三	
二百五		二百四	
二百六		二百五	
二百七		二百六	
二百八		二百七	
二百九		二百八	
三百		二百九	
三百一		三百	
三百二		三百一	
三百三		三百二	
三百四		三百三	
三百五		三百四	
三百六		三百五	
三百七		三百六	
三百八		三百七	
三百九		三百八	
四百		三百九	
四百一		四百	
四百二		四百一	
四百三		四百二	
四百四		四百三	
四百五		四百四	
四百六		四百五	
四百七		四百六	
四百八		四百七	
四百九		四百八	
五百		四百九	
五百一		五百	
五百二		五百一	
五百三		五百二	
五百四		五百三	
五百五		五百四	
五百六		五百五	
五百七		五百六	
五百八		五百七	
五百九		五百八	
六百		五百九	
六百一		六百	
六百二		六百一	
六百三		六百二	
六百四		六百三	
六百五		六百四	
六百六		六百五	
六百七		六百六	
六百八		六百七	
六百九		六百八	
七百		六百九	
七百一		七百	
七百二		七百一	
七百三		七百二	
七百四		七百三	
七百五		七百四	
七百六		七百五	
七百七		七百六	
七百八		七百七	
七百九		七百八	
八百		七百九	
八百一		八百	
八百二		八百一	
八百三		八百二	
八百四		八百三	
八百五		八百四	
八百六		八百五	
八百七		八百六	
八百八		八百七	
八百九		八百八	
九百		八百九	
九百一		九百	
九百二		九百一	
九百三		九百二	
九百四		九百三	
九百五		九百四	
九百六		九百五	
九百七		九百六	
九百八		九百七	
九百九		九百八	
一千		九百九	
一千一		一千	
一千二		一千一	
一千三		一千二	
一千四		一千三	
一千五		一千四	
一千六		一千五	
一千七		一千六	
一千八		一千七	
一千九		一千八	
二千		一千九	
二千一		二千	
二千二		二千一	
二千三		二千二	
二千四		二千三	
二千五		二千四	
二千六		二千五	
二千七		二千六	
二千八		二千七	
二千九		二千八	
三千		二千九	
三千一		三千	
三千二		三千一	
三千三		三千二	
三千四		三千三	
三千五		三千四	
三千六		三千五	
三千七		三千六	
三千八		三千七	
三千九		三千八	
四千		三千九	
四千一		四千	
四千二		四千一	
四千三		四千二	
四千四		四千三	
四千五		四千四	
四千六		四千五	
四千七		四千六	
四千八		四千七	
四千九		四千八	
五千		四千九	
五千一		五千	
五千二		五千一	
五千三		五千二	
五千四		五千三	
五千五		五千四	
五千六		五千五	
五千七		五千六	
五千八		五千七	
五千九		五千八	
六千		五千九	
六千一		六千	
六千二		六千一	
六千三		六千二	
六千四		六千三	
六千五		六千四	
六千六		六千五	
六千七		六千六	
六千八		六千七	
六千九		六千八	
七千		六千九	
七千一		七千	
七千二		七千一	
七千三		七千二	
七千四		七千三	
七千五		七千四	
七千六		七千五	
七千七		七千六	
七千八		七千七	
七千九		七千八	
八千		七千九	
八千一		八千	
八千二		八千一	
八千三		八千二	
八千四		八千三	
八千五		八千四	
八千六		八千五	
八千七		八千六	
八千八		八千七	
八千九		八千八	
九千		八千九	
九千一		九千	
九千二		九千一	
九千三		九千二	
九千四		九千三	
九千五		九千四	
九千六		九千五	
九千七		九千六	
九千八		九千七	
九千九		九千八	
一万		九千九	
一万一		一万	
一万二		一万一	
一万三		一万二	
一万四		一万三	
一万五		一万四	
一万六		一万五	
一万七		一万六	
一万八		一万七	
一万九		一万八	
二万		一万九	
二万一		二万	
二万二		二万一	
二万三		二万二	
二万四		二万三	
二万五		二万四	
二万六		二万五	
二万七		二万六	
二万八		二万七	
二万九		二万八	
三万		二万九	
三万一		三万	
三万二		三万一	
三万三		三万二	
三万四		三万三	
三万五		三万四	
三万六		三万五	
三万七		三万六	
三万八		三万七	
三万九		三万八	
四万		三万九	
四万一		四万	
四万二		四万一	
四万三		四万二	
四万四		四万三	
四万五		四万四	
四万六		四万五	
四万七		四万六	
四万八		四万七	
四万九		四万八	
五万		四万九	
五万一		五万	
五万二		五万一	
五万三		五万二	
五万四		五万三	
五万五		五万四	
五万六		五万五	
五万七		五万六	
五万八		五万七	
五万九		五万八	
六万		五万九	
六万一		六万	
六万二		六万一	
六万三		六万二	
六万四		六万三	
六万五		六万四	
六万六		六万五	
六万七		六万六	
六万八		六万七	
六万九		六万八	
七万		六万九	
七万一		七万	
七万二		七万一	
七万三		七万二	
七万四		七万三	
七万五		七万四	
七万六		七万五	
七万七		七万六	
七万八		七万七	
七万九		七万八	
八万		七万九	
八万一		八万	
八万二		八万一	
八万三		八万二	
八万四		八万三	
八万五		八万四	
八万六		八万五	
八万七		八万六	
八万八		八万七	
八万九		八万八	
九万		八万九	
九万一		九万	

四 淡路街貸家	淡 五ノ一	二四九六〇	一一五、五四三五	昭和十八年九月贈與取得、 十九年四月模様替、価格 一六六〇円増加
五 民団食堂及貸家	芙 三〇	四三九三三	二六五、六六八〇	昭和十八年六月新築 十九年実測ニヨル延坪変更 三五坪三二〇減
六 河北鐘山里貸家	河北宿纒路	二四五三〇	七九、六一、三九	昭和十七年十二月買收
七 樹德里	及纒路	二五二〇〇	一〇九、五三七、三二	昭和十八年三月 十九年三月改造工事ニ依リ 価格一三三〇円増加
八 元海光寺公館及 第一生計所	宮 二一 明 二〇	一、三二、一五四	三三六、八一六、二四	昭和十七年十二月買收 十九年七月贈與ヲ受ケタルニ 依リ、一九坪六六、価格八、八三九円 八〇及内部改造ニ依リ、価格二、九八 三、六円ニ増加、取致ニヨリ 四、九六坪三〇五、二四八、〇円ニ減 昭和十九年三月新規買收
九 老西開貸家	老西卅五九号路 泉沢里	二二九、七四三	三五、八八三、四〇	
〇 其ノ他		二五九、六五〇七	一七〇、三、五八〇、四〇	
一 図書館	福 一八	四一八、八八六	一七四、〇八一、六九	昭和十年六月新築、其後数次 増築、昭和十二年五月誤謬訂正 ニヨリ六一坪三九二増加
二 教育博物館	〃	一一四、三六四	四六、六三三、四二	昭和十六年十二月新築 十九年五月誤謬訂正ニヨリ 一五坪六九六増加



三、上水道財産明細表

(昭和十九年十二月末現在)

三 國防婦人会	福一八	九八、六五三	六、二〇〇	昭和十年六月新築
四 水泳場	住三A	二六、三三五	四、〇〇〇	五月
五 野球場	六里台	三三、九六三	一、二、六四六	十七年四月移築
六 旧火葬場	海光寺外	四四、二七八	四、四三〇	
七 新火葬場	八里台	一四、三九四	二、七一九	昭和十八年六月新築
八 綜合運動場内揚水塔及唧筒室	〃	三、九八〇	九、三六一	〃
九 北戴河建物	海 決	四〇、九七八	四、八七七	昭和十五年十月故玉井利三郎ヨリ寄贈
〇 元唧筒所建物	山一五	三三、四五〇	四、三八〇	
一 河北陸徳里外建物 (春日國民学校内 家屋併下残存分)	河北三馬路	三九、二〇〇	八、四〇〇	昭和十八年七月買収、十九年一月廿六日及二月拂下減、七坪九五〇 価格二四、六〇〇円尚訂正ヨリ 二四坪二〇増価格三、〇〇〇円減 全七月拂下ヨリ一七坪五〇〇 二五、二〇〇円減
三 北洋飯店	松 五	六八七、九七二	一〇、三一九	昭和十九年三月廿八日民会決議 依り山台八良ヨリ無償譲受
総 計		四九、三八七、五四七	一七、〇〇四、九六二	

(三、西、三)

一四拾大萬貳千五百八拾四円參拾參錢也

内譯

種別	延長	価額	摘要
配水管 二五〇糎	八二七、〇米	一七、三八七、三七	
〃 二〇〇〃	六七〇、〇〃	一五四、五四八、一四	
〃 一五〇〃	一九二七、〇〃	二二、二〇三、九〇	
〃 一〇〇〃	一九、六四二、〇〃	一三九、八〇〇、八〇	
〃 七五〃	一、六二六、〇〃	一五、四八七、七五	
〃 六五〃	九〇七、〇〃	六、〇二二、二二	
消火栓其他		三、九一五、〇九	
鑿井		二、一五〇、〇〇	
工爭材料在庫品		七、一七二、三八	
計		四六三、五八四、三三	

(三四)

備品明細書

(昭和十九年十二月末現在)

一、七百七拾參萬七千參百參拾八圓五拾五錢也

科目	昭和十八年十二月末現在		購入又ハ移管		廃品又ハ移管		昭和十九年十二月末現在	
	数量	価	数量	価	数量	価	数量	価
宿舎備品	七〇〇〇	一四〇、六七一、六五	三七八	五〇、六七四、四四	三三	一、三五、四一六、五五	七、四三〇	一、九一、三九二、五九
事務所	二四八、三九	二八、三三四、六一九、三六三	三六三	七〇、七三三、三八	三三	一、三五、四一六、五五	二、七、六五八、三二	
會議	二五五	六四、八五、七八	二〇三	一、三〇、八八、八〇	三	五、七、四五	六、四八、五七八	
會	八二九	一、三三、六四、七	二二五	一、三〇、八八、八〇	三	一〇、一一	二、四、四〇、五二七	
圖書館	七四〇	四三、七九三、九九	二二五	一、五〇、七六、六二	三	五、八、一一、一六	五、八、一一、一六	
衛生部	一八九七	六四、三九八、八二	一〇四	一、〇、三九八、八二	一九四	六、五、三〇、〇〇	六、八、二七、三二	
療病院	六六二	三三、四七九、二七	五	七、八〇、〇〇	一九	三、三、三六、五八七	三、三、三六、五八七	
婦人病院	四七三	七四、七七八、三〇	一〇五	一、七九、六八、九	一	四、八、三〇	七、六、五七、五、一九	
公立病院	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
医療器具	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
實費診療所備品	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
土木器具	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
造園器具	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
電氣圖書	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
人工備品	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
水道器具	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
埠頭器具	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	
金融部備品	三三三	一〇、七、九三、三四	五	四〇、八〇	一	四、八、三〇	一〇、八、〇三、四、一四、五	

五 在 庫 高 明 細 書

品名	数	量	金	額	備	考
貸住宅備品	左	一一六七八				
警防団	田五田三	二大田三六〇七八六〇七		三七三〇八五八一	一九三〇	一一六七八
北敷河	三二六	四、五、四、八、八、〇				五三〇〇、四一七九
博物館	九〇〇	二五、三、八、九、八、五		一五八七六五	三二六	四、五、四、八、〇〇
コレラ病棟	三四七	九、〇、四、三、〇、〇				二六九七七、五〇
河北出張所	五八	一、九、九、四、八、五		四六二七〇	八二四〇、五六	二、三、七、四、一五
鏡筋各種	〇	〇	二三四六二六九〇			一〇四、〇七八〇
木材並板類	檜床板	外十大点	一九四九七六二一〇			六七三五、六〇
煖房用品	放射器還水弁	外六三点	五五〇〇九七三〇			二〇、一七八〇〇
アスファルト並雜品	アスファルト	外二四点	二八一五七九二一〇			一〇、一七八〇〇
黒瓦	スリ	各 種	一四九八三六三二〇			一、〇、一七八〇〇
杉丸太	外八八点					一、〇、一七八〇〇
第四種絶縁電線	同	外 九 点	七九六一三〇〇			一、〇、一七八〇〇
電氣用品	同	外 九 点	四二九一四〇八二			一、〇、一七八〇〇
コイル	外四二点					一、〇、一七八〇〇
外土木用品	同	外四二点	九六六、九四九、五四二			一、〇、一七八〇〇
計						

福島街変電所	一三、六八九〇〇	一、二七二七〇〇	三、八〇〇	三、八〇〇	街路灯用電磁開閉器及 全用電力計一個撤去
下天仙	五、三三〇〇〇	五、三三〇〇〇	三、三〇〇	二九〇〇	低圧避雷器一台設備 街路灯用電磁開閉器及 全用電力計一個撤去
橋立	九、二五六四五	九、二二三四五	三、三〇〇	二九〇〇	低圧避雷器一台設備 街路灯用電磁開閉器及 全用電力計一個撤去
北旭	九、四四三九三	九、四七二九三	三、三〇〇	二九〇〇	低圧避雷器一台設備 街路灯用電磁開閉器及 全用電力計一個撤去
松島	一四、三五五〇一	一四、三三二九二	三、三〇〇	二九〇〇	低圧避雷器一台設備 街路灯用電磁開閉器及 全用電力計一個撤去
芙蓉	九、二二七四〇	九、五二七四〇	三、三〇〇	三、〇〇〇	三相四〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 三〇〇キロボルトアンペアニ取替 低圧避雷器一台設備
淡路	一三、一四八〇九	一三、一一五〇九	三、三〇〇	三、〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
舊住吉	二七、三四〇六	二七、三三四〇六	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
栄	八、四七一六〇	八、四七六六〇	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
明石	一八、〇七九四五	一八、〇七九四五	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
海光寺	六、五九〇二二	四、三九八八四	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
中原	四、三三七〇一	四、八三七〇一	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
新興路	五、三一一〇四	四、四四四〇七	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
興洋	六、九八六六四	六、八五〇〇四	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
大里台	二、二二〇八二	六、八五〇〇四	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
新住吉	九、二九八八六	九、二六五八六	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去
公立	四、〇〇七三四	四、〇〇七三四	三、三〇〇	五〇〇〇	三相三〇〇キロボルトアンペア変圧器ヲ三相 四〇〇キロボルトアンペアニ取替 街路灯用電磁開閉器及全用 電力計一個撤去

(三百七)

一、高压地下ケーブル線路	一〇四三三九六六	一〇四三三九六六	一五四〇五六一		増設三線式直長九八六米改修三件 撤去二件 根元補葺十八本 増設一本建替三本 新設四件改修三十三件撤去二件 新設五四戸改修一〇四六戸 購入大〇個廃キ一一個 送電線連絡設備
二、高压架空線路	六〇七四四五四	四五三三八九三	一八九五七三三		
三、低圧	一八〇、四四九三	一六一、四九一九九	六三四四四		
鉄柱	二八、六五一	二八、〇三七	八三一〇〇		
木柱	一五四五二三九	一四、六三〇三九	一七五〇一八		
電線其他	一三、六三四六四八	一八、八四四六〇	三四八八四		
五、引込線及積算電力計	二四六六五三〇五	二四三、一六四九一	二〇〇四三四		
引込線	一、六九四三三	一、四九三三八四	一四八三八〇		
積算電力計	一、二九七〇九八一	一、二八、二六〇一	三五九八一		
六、静電蓄電器	一五、五五二〇	一五、五五二〇	三五六四		
七、受電所代機器具並附屬品	四、五三三三	四、四九六四	一三三六八		
八、在庫品	二〇八、〇七八三	三〇一、一四一八七	六九三六四四		
電氣材料機器具	三、七七八五七〇	三、六六四九三	一、一三六八		
修理工場材料	三、三三三	三、三三三			
電線及ケーブル	九、二七四〇五七	八、一五九四五〇	一一、四六〇七		
材料其他	七、四一九六八〇	七、九五四六一			
総計	一、〇二六六九五八	九七二、九〇五	五三、七九〇	五、三四五八一	